昭和43年4月3日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）平成5年11月1日発行（通巻417集）

MODELING MAGAZINE

モデルアート

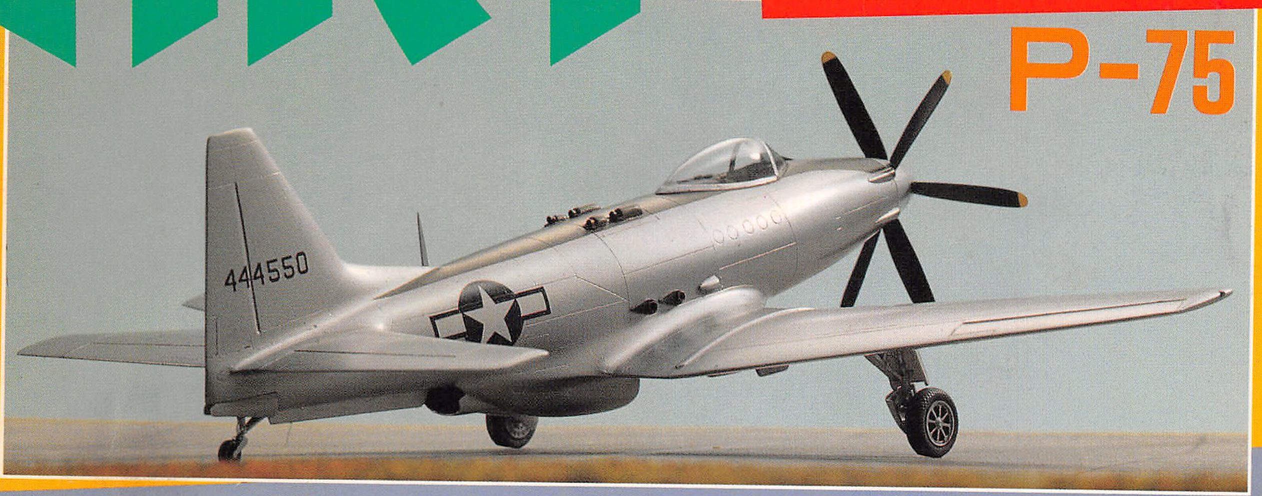
# MODEL ART



XP-55

## USAAF XP FIGHTERS IN WWII

特　集：WWIIアメリカ陸軍の試作戦闘機




P-75



XP-54

NEW KIT REVIEW

BRABHAM BT60B

LOTUS 79

1993 NOV. 11

# 伝統と先進のアメリカンRV

## 1/24 ジープ・グランドチェロキー・リミテッドV8《新発売》¥2,000



### 可動式の足まわりも作りごたえ。

4WDの代名詞ともいえるジープ。そのジープが21世紀を目指して開発したニューモデル、グランドチェロキーがタミヤの1/24スケールで登場です。しかも、国産4WDとは一線を画した車高の低いスタイリッシュなフォルム、乗用車に近いセミモノコックタイプのフレーム構造、パワフルなV8エンジンなど、特徴の全てをリアルに再現したフルディスプレイモデルです。アメリカンRVならではの、5.2リッターの大排気量を持つV8エンジンをリアルにモデル化。クォドラコイルサスペンションと呼ばれるマルチリンクタイプの足まわりは、各アーム類を別パーツで再現。金属コイルスプリングを装備して可動するサスペンションからは、複雑に取り回されたサスアームの働きも理解できることでしょう。さらに、本革シートが標準装備された豪華な室内も質感たっぷりにモデル化。シートは革ならではの独特のシワの彫刻がリアル。加えてドアの内張りを別パーツとして立体感あふれる仕上がりです。また、センターコンソールやドア内張りのウッドパネルはスライドマークで表現しました。モデルを組立てながら、ジープならではの伝統に培われた確かな技術と先進性を感じとって下さい。




三菱パジェロ・スポーツオプション・2,500円




ランドクルーザー・スポーツオプション・2,500円




**タミヤRCガイドブック**

ご希望の方は模型取扱店でお求め下さい。1部600円。(税別)。当社直接お申し込みの場合は送料込で700円。

**田宮模型**

静岡市恩田原3-7〒422

New HIGH-TECH MODEL

# 名車はよみがえる――陸王。

Newハイテック・モデル・オートバイシリーズ第2弾は、1950年代に君臨した大型重量バイク〝陸王RT-II〟。

ホイールベース1500㎜という長大なボディに、V型 2気筒 746ccのエンジンを搭載した堂々としたスタイルは、ハーレーにひけをとらない迫力満点のマシンでした。

キットは、フレーム、ハンドルバー、フェンダー、ホイールバブとリム、フェーエルタンク、オイルタンク、ガードなど組み立てのベースとなる部分をプラパーツで構成し、エンジン部やマフラーを金属部品で再現してありますから、完成度が高く、しかも、ずっしりとした重量感も味わえる素晴らしいものになっています。

第1弾〝カワサキ マッハIII〟とあわせてコレクションして下さい。




カワサキ500 マッハIII モデルH1
■1/12・¥6,000《好評発売中》

陸王 RT-II ■1/12・¥6,500《新発売》

［近日発売ご期待下さい］

★Newハイテックモデル第3弾!!
1941 インディアン スポーツスカウト
●1/12・¥6,500（予）

★ハイテックモデルAFVシリーズ
10.5cm軽野戦榴弾砲18/40型
●1/35・¥8,500（予）
III号突撃砲G型　後期型
●1/35・¥13,000（予）

## DetailCars ©

1/43ダイキャストカーシリーズ、ディテールカーズに新製品が加わります。いままでより以上にディテールアップされた素晴らしいもので、とくにF-40とXJ220はエンジ部も再現されています。ミニカーファンには見逃せないアイテムです。

［完成モデル・各¥2,300］
フェラーリ F40（レッド）《新発売》
フェラーリ F40（ブラック）《新発売》
フェラーリ F40 ルマン
ジャガー XJ220（シルバー）《近日発売》
ジャガー XJ220（グリーン）《近日発売》
フェラーリ 456GT（メタリックレッド）《近日発売》
フェラーリ 456GT（メタリックブルー）《近日発売》

［組立キット・各¥3,000・新発売］
フェラーリ F40 ルマン
フェラーリ F40（ブラック）


フェラーリ F40


フェラーリ F40


フェラーリ 456GT


ジャガー XJ220



フェラーリ F40ルマン

## 新発売

エアーブラシ用エアー
Mr.エアー134a/450
■450g入り・¥1,900

オゾン層を破壊しない新しいガス、フロン134aだから安心して使えるエアーブラシ塗装用エアーです。容量も450g入りでだんぜん経済的。他社のエアーブラシにも使えます。




AIRFIX　Heller　ESCI　JO-HAN

◆グンゼ産業は、●エアフィックス●エレール●エッシー●ジョハン各社の日本における輸入総代理店です。

GUNZE SANGYO
グンゼ産業・ホビークラフト部
〒111 東京都台東区柳橋1-8-1
TEL.03(3861)1605



▲今年初めて表彰台に上った３人。１位は鈴木利男、２位はH.H.フレンツェン(左)、３位はR.ラッツェンバーガー(右)。

## 1993年全日本F3000選手権第８戦
## 富士インターF3000選手権レース

- ９月４～５日／富士スピードウェイ
- 主催：ビクトリーサークルクラブ(VICIC)、FISCOクラブ、富士スピードウェイ(株)

第７戦の富士のレースに続き、今回も天気に恵まれない予選となった富士インターF3000レース。土曜日の予選１回目は、あまりにも激しい雨のため中止となった。雨の降り方も尋常ではなく、ピットから一歩も出ることが出来ないほどで、観客はメインスタンドの陰に隠れて大変な思いをしていた。

午後には天気も回復し予選が行われたが、突然雨が降ったりと、安定しないなかで、１回のみとなった予選が始まった。その中でポールポジションを奪ったのが、新型の無限エンジン搭載の⑩H.H.フレンツェン。２位は第６戦のウイナー⑧M.アピチェラが入った。

予選中の突然の雨により、タイムアタックのタイミングを失い、⑪E.アーバイン、㉕R.チーバー、㉝清水正智らは嘆願書を提出し、グリッド後端にマシンを並べることとなった。そのため、いつもとかなり違うグリッドとなっている。

日曜日の決勝レースは、前日とうって変っての好天気の中で行われた。

朝のウォーミングアップ走行で、㊲M.サロがクラッシュしてしまい、メカニックの必死の作業にも関わらず、スタートまでに修復は間に合わず、グリッドにつくことは出来なかった。

レースは、ポールのフレンツェンがうまいスタートでトップに立つが、２周目で予選２位のアピチェラがトップを奪った。第６戦のように優勝かと思われたが、レース中盤にリア・カウルのファスナーが壊れリア・カウルを失い、残念ながらリタイヤとなってしまった。

これによって⑦⑦鈴木利男がトップに立ち、そのままゴール。筑波のGr.A、鈴鹿1000kmのGr.Cに続き、３週連続で優勝ということになる。

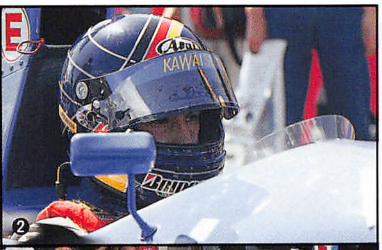
２位には、初めて表彰台にのぼったフレンツェン、３位には㉑R.ラッツェンバーガーがそれぞれ入った。

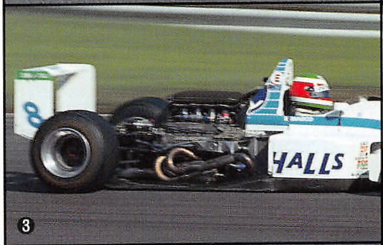
ポイントトップの⑲星野一義は、今回もポイントなしに終ったが、依然トップをキープしている。(撮影：門脇 滋)

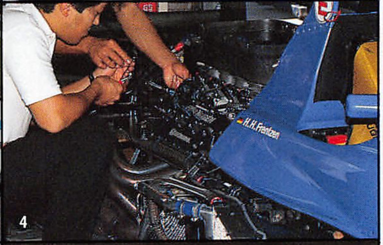



▲今シーズンF3000初優勝の⑦⑦鈴木利男(ユニバーサル・ローラT92DFV)。予選８位からスタートし、７周目に２位に進出。26周目、アピッチェラの不運を機にトップに。


1


2


3


4

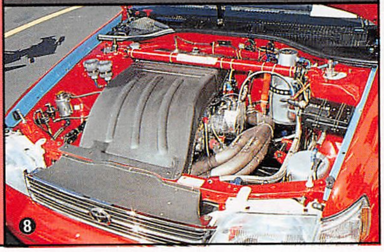

5


6

❶❷全日本F3000参戦9戦目にして初のポールを奪った⑩H.H.フレンツェン(カワイ・スティールT93無限)。決勝では2位に入り、残り２戦では優勝の可能性充分だ。なんたって星野がフレンツェンの走りをジッと見つめてたというくらい速いのだ！
❸予選２位ながら２周目にトップに立ち、順調に周回を重ねた⑧M.アピチェラ(童夢F103i無限)だったが、24周目にリア・カウルのファスナーが壊れ、結局ピットでリタイヤとなってしまった。
❹M.マルティニに続いて、フレンツェンのマシンにも無限＋ホンダ・エンジンが積まれた。打倒DFVなるか。
❺ファーステストタイムを叩き出した(98)服部尚貴(トステム・ローラT92無限)。
❻グリッド後方からスタートとなった㉝清水正智。F3000中最も目立つカラーだ。
❼❽来年から2ℓニューツーリングカー用のトヨタ・コロナ。なんと290馬力！



7


8

# MILLION CARD CUP RACE Round3 SUZUKA



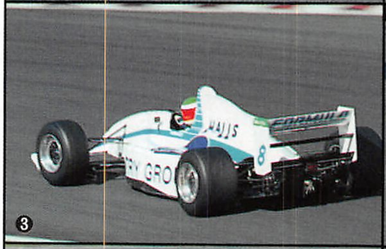
▲今シーズンF3000の優勝者6人のうち、初めて2勝目をあげた㉕R.チーバー(プロミス・レイナード93D無限)。ポイントトップに立つが、まだまだ予断を許さない今年のF3000。



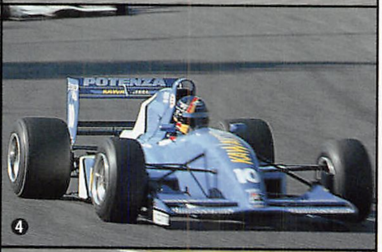
1



2



3



4



5



6



7



8

❶予選7位から2位にあがった⑪E.アーバインを追う(77)鈴木利男のローラT92。
❷毎レース着実にポイントを稼ぐ⑪E.アーバイン(コスモオイル・ローラT92無限)は、今回2位でゴール。F-1の日本GPとオーストラリアGPに、ジョーダン・チームからの出場も決まり、二重の喜びとなった。
❸M.アピチェラ+⑧童夢F103i+無限エンジンのトリオは、シーズン後半になってメッキリ速くなった。今回も4位。
❹ファーステストタイムを出した⑩H.H.フレンツェン(カワイ・スティール・ローラT93無限)。やたら速い彼、来年はF-1か。
❺5位に入り久々にポイントしたが、チーバーに2差つけられた⑲星野一義(ニッセキ・ローラT92DFV)。
❻第10戦ではシートを野田英樹に渡す㊱関谷正徳(トムス・レイナード93D DFV)。
❼❽F3優勝のA.リードはF3000にも出場というスケジュールをこなす。



▲この優勝でR.チーバーはポイント25でトップに。2位のE.アーバイン(左)は24で2位に、3位の鈴木利男(右)は20で4位に。

1993年全日本F3000選手権第9戦

## ミリオンカード・カップ・レース ラウンド3 鈴鹿

● 9月25〜26日/鈴鹿サーキット

●主催:(株)鈴鹿サーキットランド、SMSC

全日本F3000選手権第9戦は、4ケ月ぶりに鈴鹿に戻って行われた。第7、第8戦の富士2連戦は天気に恵まれなかったが、今回の鈴鹿は2日間とも良い天気に恵まれた。

予選は、㉕R.チーバーが好タイムをマークし、他のドライバーがそれを目標にアタックするというパターンになった。このところリタイヤが多いチーバーだが、久々に良い方向に働いているようだ。

これまで2勝目をあげたドライバーがいないなか、誰が勝つか、より高ポイントをあげるかという激しいポイント争いが行なわれている今年のF3000は、F-1より面白い。

日本人ドライバーで優勝しているのは、⑲星野一義と(77)鈴木利男のみで、他の日本人ドライバーは何をしているのだ。そんななか、昨年の最終戦でF3000初優勝をした(98)服部尚貴が、予選2番手につけた。3番手に鈴木、4番手には今シーズン最後のF3000になるかもしれない㊱関谷正徳と続き、ポイントトップの星野は6番手と振るわない。

決勝日のウォームアップ走行でトップタイムを出したのが(88)中谷明彦。が、中谷は予選結果ではグリッド最後列からのスタートである。中谷と同じ童夢F103iに乗る⑧M.アピチェラもウォームアップ走行で2番タイムを叩き出す。

星野はあまり良いタイムが出ないためか、決勝までのインターバルで、クラッチ等の交換を行なっている。

また、このインターバルの間に⑪E.アーバインのF-1参戦が発表になった。ジョーダン・チームから日本GPとオーストラリアGPに出場する。また鈴木利男もラルース・チームから日本GPへ出場という話もあり、日本のF3000ドライバーの実力を、F-1で示してもらいたいものだ。

レースは、ポールのチーバーが久々の好スタートをみせ、以下服部、7番手からジャンプアップしたアーバインと続く。チーバー、服部は他車を離し周回を重ねていくが、アーバインのタイムがあがらず以下の車を押えにかかる。ゴールまであと3周というところで服部がスピン。これでチーバー、アーバイン、鈴木という順番で次々とゴール。チーバーは今シーズン初の2勝目をあげたドライバーとなった。

(門脇 滋)

# 昔はみんな怪獣博士（第二回）

# 怪獣ブースカ

## 人間万事塞翁がブースカ



超不定期連載「昔はみんな怪獣博士」の第２回目である。第１回目が何年前だか忘れてしまったが、確かガイガンをやったハズ。えーともしかしたらタイトルもちょっと違うかもしれないが、趣旨はそう変わらないのでどうか御安心頂きたい（だから何？）

●ファルシオン1/8
●製作・文：河野嘉之




〝シオシオのパー〟。本当によくできている。尚、このAタイプは初期の数話だけ使用されたもの。口には〝ロびる〟があり、目も動くようになっていた。それに対して一般によく知られているBタイプは頭部が丸くて〝ロびる〟がなく、目も固定されている。全体の色や斑点の位置などはA、Bタイプ共、殆ど同じのようだ。

### ＝僕らのブースカが帰ってきた！＝

いや、ほんと、うれしいね。

こんなに楽しく模型を作ったのは何年ぶりだろうか。ま、パーツ数10点そこそこのソフビキットだから組み立てと塗装には二日とかからなかったけれど、作っている間じゅうずっと〝ボークはブースカ、ブー、ちぃからもちぃ〟とか鼻歌を歌っていたし、模型を作っていない時もニコニコしていた。

知らない人が見たらさぞ不気味な光景だったろう。先日、近所のT氏と一緒に行ったカラオケスナックで、森高の〝私の夏〟とかを歌っていたら、そこのママさんに〝本当に無邪気な顔して歌ってたよ〟と言われてしまった。

たぶん今回もそんな顔をしながら作ってたんだと思うんだけど、三十過ぎたオッサンにとって無邪気な顔ができるなんて時間はそうめったにあるもんじゃない（ただ気持ちわるいだけだよ！って？）。とにかく、これは文句なしに楽しめるキットだ。やっぱ模型は楽しくなくちゃね。

### ＝ファルシオンといえば＝

ソフト・ガバドンとかエビラとかなかなかしぶいところをリリースしてくれるメーカーで、今回のブースカもまってましたのアイテムだ。

しかも〝やっぱりブースカはこれだよな〟というAタイプ・ブースカのキット化で三十〜四十代のオジサン達はまさにバラサ、バラサ状態だ。

オレンジイエローでモールドされたソフビパーツは胴体、頭、両手、両脚、両耳などに分割されており、ブー冠はホワイトメタル、しっぽはソフビ製とモールのどちらかが選べるようになっている。

こういったボア風の着ぐるみをキット化する場合、表面のモールド表現がネックになる。まさか昔、レベルから出ていた動物シリーズのように実際に



かわいい〝しっぽ〞はモール製とソフビパーツの両方から選べる。作例ではモールの方を使った。このAタイプからBタイプへの改造は容易ではないが（誰もしないってば）、Aタイプである事に目をつぶって老眼鏡と帽子、ひざかけなどを自作すれば第45話に登場したブースカのお母さんにすることも可能だ（しない、しない）。

植毛するわけにもいかないし、かといってツルツルじゃあみっともないし。

で、キットはというと、御覧のとおりだ。もちろん触った感じはソフビそのもので硬いが、見た目にはこれ以上の表現は無理じゃないかと思える程の出来でただただ感心するばかりだ。

全体の雰囲気も前述のように初期の数話に使用されたAタイプの着ぐるみを完璧に再現していて、原型製作者の思い入れがひしひしと伝わってくる。

また数あるブースカのはまりポーズの中でも〝シオシオのパー〞を選んだこともこのキットのよさのひとつだ。

そのうえ、オマケとして〝ガチャポン風〞のデフォルメ指人形も付いている。これがまたなんとも言えないかわいさだ。埼玉にあるイヌクマという専門店がブースカのキャラクター商品をいくつか発表しているが、この指人形を見ていると今の子供達にも充分ウケるキャラクターなんじゃないかと思うのだがどうだろうか。３才になるウチの娘は僕と一緒にブースカのビデオを見ていてすっかりはまってしまい、イヌクマのブースカ人形を抱いて寝ているが〝ホイクエンでブースカの話してもお友達はだれも知らないの〞とさみしがっていた（あたりまえだろーが！って？）。

ここは一発、円谷プロもがんばって当時の設定そのままの〝帰ってきたブースカ〞なんて新番組を作って頂きたい。グリッドマンよりはあたると思うんだけどなぁ。

で、組み立ては大した変形もないので瞬着プラス２液エポキシでスンナリいける。頭は実物の着ぐるみも上からかぶるようになっていて、その部分の布のたるみがあるので合わせ目はそのままでいいが、手と脚は少し合わせ目が気になった。きれいなキットの表面処理をこわさないように合わせ目を消そうと思い、あれこれ考えたが、ポリパテを少し盛って、その表面を古ハブラシやドライブラシ用の筆で軽くたたいてみた。なかなかうまくいったと思うがどうだろうか。

結構悩んだのが塗装で、ブースカはモノクロ放送だったため正確な色はわからない。当時のイメージとしてはモールド色のようなオレンジイエローに茶色の斑点だったし、残っているカラー写真にもそう写っていた。

しかし、当時着ぐるみに使われていたボアが一部残っていて、それの斑点は茶色ではなく、赤紫だという話だ。

私が実際にそれを見たわけではないのでえらそうなことは言えないが、そういえば今、ビデオで見かえしてもかなり明度差が大きい事は確かだ。

とりあえず茶と紫の中間の色ということにしたが、くちびるや手足の先の色なども含めて〝ま、こんなもんやね〞と言ったところだ。

### ＝昭和40年以降＝

に生まれた若い衆のために、当時の話も少し。

〝怪獣ブースカ〞の放映が始まったのは昭和41年11月９日のこと。円谷プロのテレビ進出第一弾である〝ウルトラＱ〞は同年１月２日から放映を開始しており〝ウルトラマン〞の放映もブースカより先の同年７月には始まっていた。

ＴＶ番組における特撮ブームは昭和33年から35年頃にかけて〝月光仮面〞〝鉄腕アトム〞〝鉄人28号〞〝海底人8823（ハヤブサ）〞〝ナショナルキッド〞などにより、すでに第一次の盛り上がりを見せており、昭和38年４月の円谷プロ誕生を受けて第二次ＴＶ特撮ブームとも言える時期の放映開始だった。



そのままでもちゃんと立つが、作例では念のため、両脚の中におもりを入れている。こうなるとチャメゴンも欲しいよね。けど、オープニングのアニメにでてくるチャメゴンってアンパンマンのドキンちゃんにそっくりだと思いませんか。

〝ウルトラQ〟〝ウルトラマン〟が円谷プロとTBSの製作で、日曜夜７時というゴールデンタイムの放映だったのに対し、〝怪獣ブースカ〟は円谷プロ、日本テレビ、東宝の製作で水曜夜７時の放映だった。つまり、必ずしも当時のいち押し、売れセンではなかったのだが、同じ年に日本初のカラー特撮TVドラマとして放映が始まった〝マグマ大使〟や一連の〝ウルトラシリーズ〟がいわゆる巨人、巨大怪獣ものだったのに対し、特撮を使った科学空想ホームコメディという新しい分野を開拓した功績は非常に大きいといえよう。

そして、同時期に放映された〝丸出だめ夫〟〝忍者ハットリくん〟などと共に確立された〝実写ものドタバタギャグコメディドラマ〟（長いな）というジャンルは昭和40年代初期に子供時代を過したオジサンたちの共通の原体験だったはずだ。

実写ものの特撮TVドラマは昭和41年10月から始まった〝悪魔くん〟を初めとして翌42年から43年頃にかけて、〝光速エスパー〟〝マイティジャック〟〝怪獣王子〟〝仮面の忍者・赤影〟〝コメットさん〟〝怪奇大作戦〟、そして巨人ものの〝ウルトラセブン〟〝ジャイアントロボ〟などありとあらゆるジャンルのものが放映された。しかしたった１～２



オマケの指人形。これもまたカワイイでき。子供に人気なのもうなずける。

年の間に、よくもこれだけ多くの番組が作られたものだと驚いてしまう。

この第二次TV特撮ブームはいわゆる第一次怪獣ブーム（昭和40～43年）に対応しており、怪獣ブームの衰退とTVアニメの台頭によってTV特撮ブームも終わってしまう。

そして昭和46年には第二次怪獣ブームとともにTV特撮ブームも再燃、46年１月には〝宇宙猿人ゴリ〟（スペクトルマンね）、同年４月には〝帰ってきたウルトラマン〟〝シルバー仮面〟などが放映され、これまた等身大変身ヒーローものの元祖〝仮面ライダー〟も同年に放映を開始することになる。

## ＝全47話で完結＝

した〝怪獣ブースカ〟は少年発明家、屯田大作がイグアナの子どもを300倍にしようとしてクロパラ（クロレラパラギン）という薬を作るが、その中に混ぜたふくらし粉が特売の安物だったため人間と同じ大きさにしかなれなかったという設定だ。第26話からはリスから生まれた弟分のチャメゴンも加わってドタバタコメディーを演じ、子供達の人気者になるというお話し。

数年前、関西地区で一部が再放送され、その時に録画したビデオを今回見たのだが、やっぱり最終回が１番だ。

由利徹扮するカミナリ博士のたのみでチャメゴンと共に光速ロケットに乗り、10光年先のR星へとブースカは旅立つことになった。ロケット内ではたった20日間だが地球上では20年かかる計算だ。大作はそのことを内緒にしてブースカ達を送り出す。当時もこの最終回を観てとても悲しかった事を思い出した。こりゃ泣けます。是非、見て下さい。

第21回

# スペイン内乱のキット（その1）

## フランコ軍の機体



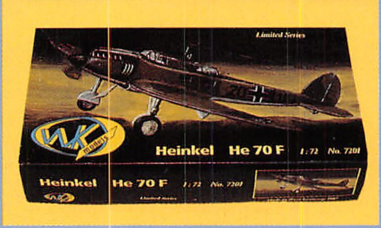
ハセガワ1/72He51。水上型と陸上型のコンバーチブル。最近再販された。



CMK1/72Ar68。チェコ製の簡易インジェクションキット。



フーマ1/72Ar68。こちらはドイツ製のキット。やはり簡易インジェクション。



WKモデルズ1/72He70。ドイツ製の簡易インジェクションキット。



マッチボックス1/72He70。WKモデルズとほぼ同じ時期にリリースされた。



エアフィックス1/72Hs126。他にマッチボックスのキットもある。



mpc1/72Ju52。プロファイルシリーズのひとつ。中味はエアフィックスのキット。



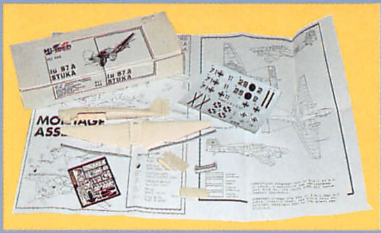
イタレリ1/72Ju86。一時E型となっていたが、近年D型としてリバイバルした。

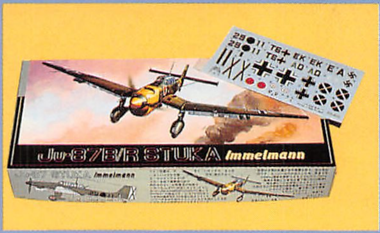


mpc1/72Do17。これもプロファイルシリーズで、キット自体はエアフィックス。

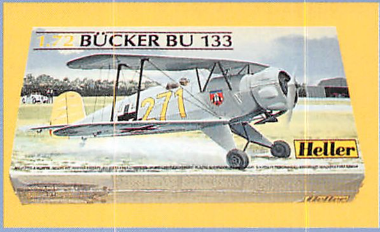


MPM1/72Ju87A。チェコ製の簡易インジェクションキット。

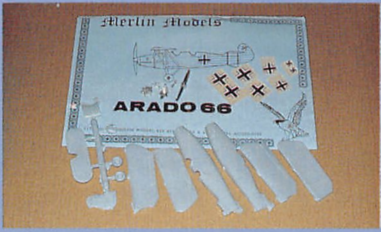

ハイ・テック1/72Ju87A。フランス製のレジンキット。ディティールがすごい。



フジミ1/72Ju87B。我がフジミのキットにもスペイン内乱のデカールが付いている。



エレール1/72Bü133。モールド、組み易さ、プロポーション共に最高のキット。



マーリン1/72Ar66。簡易インジェクション。かなりハードな出来だ。



フーマ1/72Go145。このキットもモーヴによって国内販売されるかもしれない。

今月と来月は、スペイン内乱に登場した飛行機を特集する。まず１回目はフランコ軍サイドの機体を紹介しよう。
ドイツ機、イタリア機が中心となるフランコ軍、キットは割と揃っているが、まだまだ無い機体も多いし、あっても改造が必要な場合も多い。
なお、今月はレベル1/72Ｉ-16改修用レジン製翼セットのプレゼントがあるので、本文記事60ページを見てどしどし応募して下さい。
右は中野Ｄ児率いるデージー＆レッツゴーズ。これも本文参照。





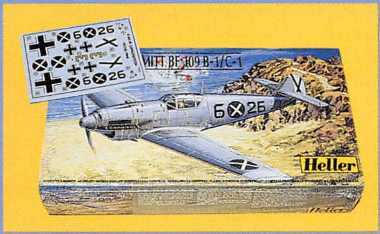
アエロファイル1/72He60。簡易インジェクションキット。



Flugzeug1/72He60。キット自体は左のものと同じだ。



エレール1/72Bf108。新パッケージで現在も入手可。出来もいい。



エレール1/72Bf109B。最近再販されたキット。パッケージからして内乱している。



SMER1/72Fi156。オリジナルはエレールのキット。



エアフィックス1/72フィアットＧ50。カウリングの形状に問題がある。



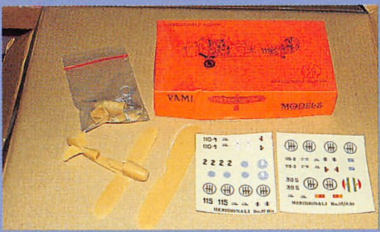
スーパーモデル1/72フィアットCR32。翼間支柱の組み立てがむずかしい。



グンゼ産業1/72フィアットCR32。オールジュラルミン製の金属モデル。



エアモデル1/72IMAM Ro37。バキュームフォームキット。


Vami1/72IMAM Ro37。フランス製のレジンキット。



エアフィックス1/72SM79。トミー版には内乱デカールが追加されていた。



スーパーモデル1/72SM81。内乱のデカールはセットされていない。



イタレリ1/72フィアットBR20。これも内乱デカールはセットされなかった。



イタレリ1/72カントZ501。内乱のデカール付きだ。



ブレダーBA.65。ユーロキット1/72。簡易インジェクション。デカールが目を引く。

# USAAF XP FIGHTER

## IN WORLDWAR II

［特　集：WWIIアメリカ陸軍の試作戦闘機］



大戦中の、試作だけに終った戦闘機といっても、使い物にならず実用されなかったものや、終戦までに間に合わなかったものなど、いくつかのパターンがある。しかしいずれにしても特異なスタイルや機構を持つものが多く、モデラーにとっては興味深いもの。中でもルフトバッフェのそれは有名だし（もっともドイツの場合ジェットが多いが)、日本では震電やKi-87等がよく知られている。さて、それではアメリカの場合はどうだったのだろうか？通常進化型の量産機P-47やP-51が質、量共に強力であるためか余り目立たないが、実はかなりラディカルな機体も試作されていたのである。今月はそんな試作戦闘機のいくつかを特集してみた。

Northrop
# XP-56
Black Bullet

1/72でモデリングされたアメリカ陸軍の試作戦闘機。ムスタングを手掛かりにしてその大きさを想像して頂きたい。大がらな機体が多い中、XP-77のミニ振りが目立つが、これはなるべく物資を使わずにと考えられたためだ。サンダーボルトの様なフル装備の巨人機を15,000機以上も生産しておきながら、一方ではこんな小型戦闘機も開発していたのである。



Bell
# XP-77

North American
# P-51B
Mustang





# XP-54 SwooseGoose

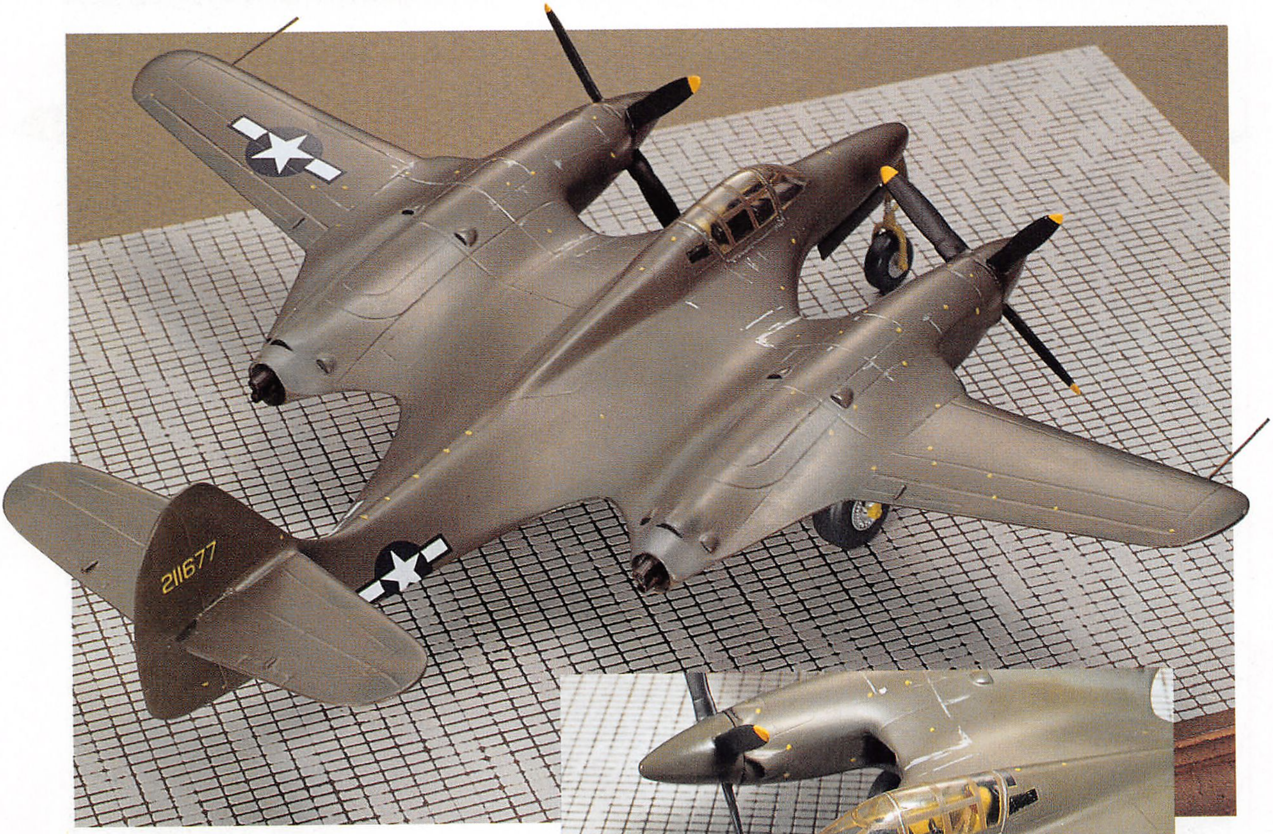


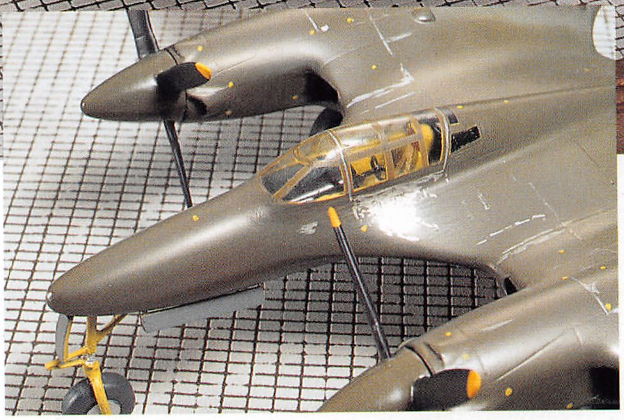




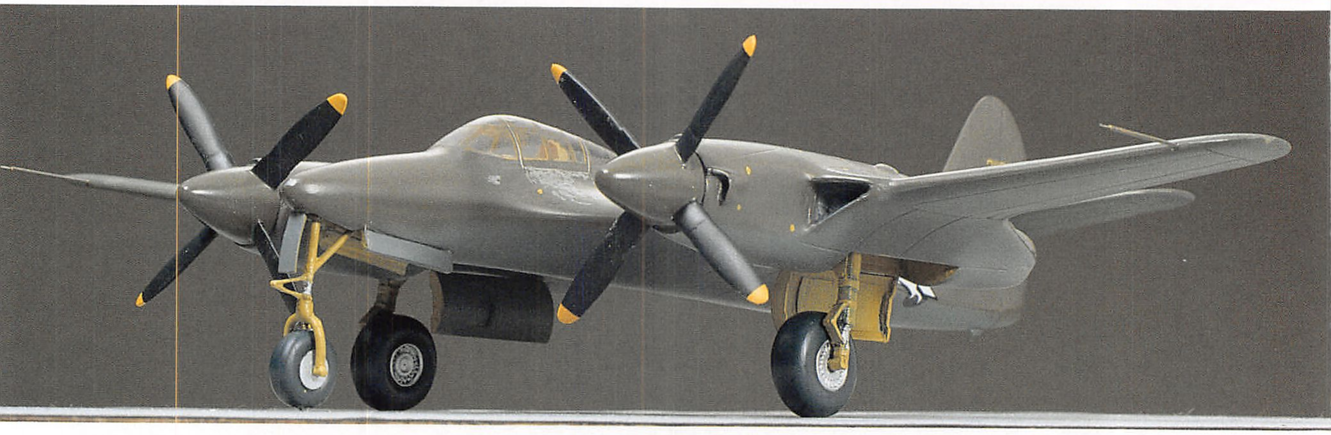

# XP-56BlackBullet



# XP-67 Bat



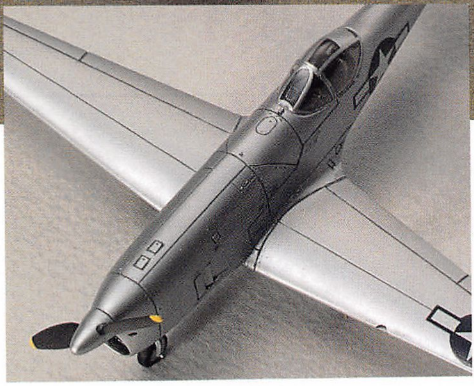
# P-75Eagle

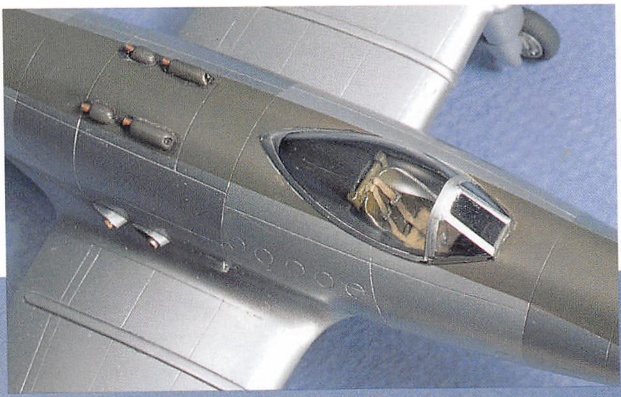




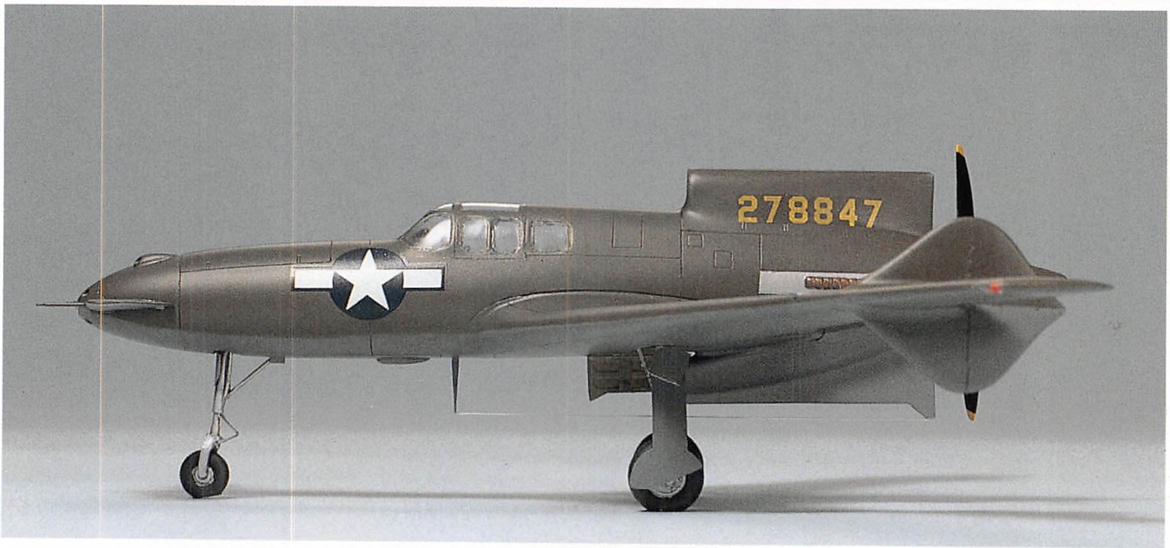
# XP-77










時速800kmを目指した先端技術機

# XP-55 ASCENDER

MPM1/72　製作・文：松樹祐司

このMPMのアセンダーは今回の特集では救いの神、とにかく今のところ国内で入手可能な唯一の射出成形キットなのである。

大戦期の米陸軍の試作戦闘機をリストアップしてみると、まだ真空成形キットすらないものもかなりある。といっても、これは他の国についてみても似たようなもので、試作機をキット化して商売になりそうなのはドイツ機位のものだろう。さして嘆かわしい状況という訳でもない。

アセンダーは米の試作戦闘機の中では、そのラディカルかつ比較的コンパクトな外形から最もキットには恵まれた機体となった。

1/72では都合５点が発売されているが、ウイングスとビクトリア・プロダクツの真空成形キット、チェコ製エポキシ・キット、それにMPMのキットは基本的には同じものの筈で、同じ原型から真空成形、樹脂、射出成形と「進化」してきた訳で、チェコ人は商売が上手いという事。

1/72のもう１点、エアモデルのキットは1970年代中期の乱造期に出されたもので、真空成形キットとしてもワースト・クラスの出来。

1/48ではトライアングルのレジン・キットが唯一で、出来も良かったらしいが現在は入手不能となっている。

1/32ではコンバットモデルから真空成形キットが出ている。同社のキット



脚カバーやアンテナ柱はエッチングパーツで、これは効果的に使われている。

はかなり大雑把なので、取り組むならそうとうな覚悟が必要となるだろうが、デカい分手が入れ易いとも言える。

## キット内容

キットはライトグレイのプラ製パーツが33点に、エディアルド製のエッチングパーツが22点で構成されている。キャノピーは真空成形のもの。

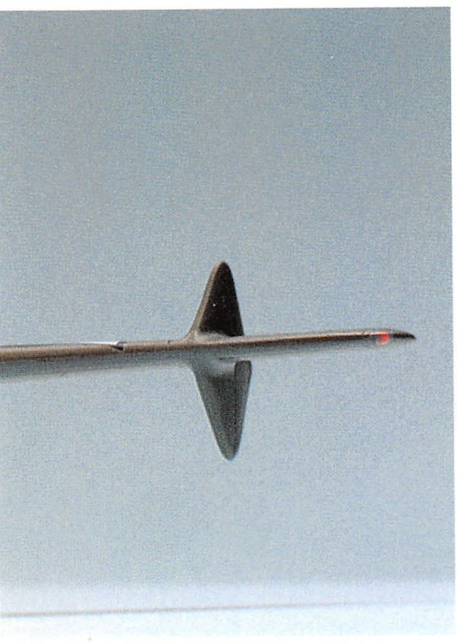
金型には金属成分を多く含む樹脂が使われていると思われ、原型からの反転時にディティールの潰れてしまった部分が見受けられるし、小パーツの切れ味も良くない。また、左右で完全に対称になっていない等、手作りのガレージ・キット性が垣間見える。

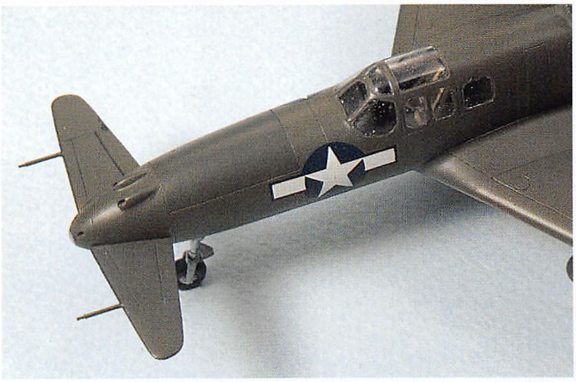
表面はチェコ製らしくなかなかシャープな仕上がり。パーツの合いはまずまずといった所で、そう込み入った構造でもないので、組み立ては比較的容易に進む。

マイナー機の強みで一見判り難いが、プロポーションにはかなりミスが見受けられる。といっても特徴的な外形のお陰で、完成後の印象は悪くない。

尚、キットがモデル化しているのは3機作られた内2、3号機で、デカールはこの2種分が用意されている。

エッチングパーツは、確かにものによっては精密感を高めてくれるが、合いが悪かったり、薄すぎたりして使い難いものも少なくない。

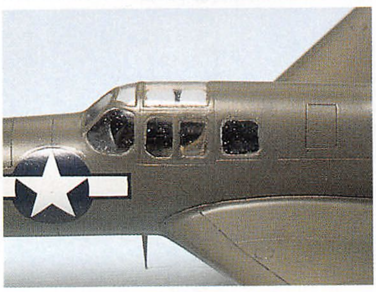




機首部分。断面形状に手を加えた他、細部では上面のインテークバルジや先端のライトを加工している。昇降舵は可動式だが、当然これは固定してしまった方がよい。棒状のバランスは、まず真鍮線を昇降舵てに埋め込みそこへ真鍮パイプを被せたもの。




スピナーは前後の合いが悪く、本格的に直すとなると一旦プロペラを切り離さないとならない。また胴体への接合も設計が不親切で、センターピンの自作など各自工夫が必要。
下面のフィンはプラ板で自作した。



キャノピーはエンビ製なので胴体の方を合わせる様にして工作する事。




インテークはシャープに削る。この辺の形状も実機とやや異なる。

## 組み立て

作業はまずキャノピーの切り出しから始めよう。簡易射出成形のキットではキャノピーがぴったり合うという事はしばしば期待出来ないので、ここの合わせを最初にやっつけてしまう。

真空成形のキャノピーはいじりようがないから、胴体の方をキャノピーに合わせるようにする。

胴体左右はそのままではきちんと合わないので、真空成形キットよろしく接着面を平面上の水ペーパーで整形してやらなくてはならないが、この際にキャノピーと幅が丁度合うように調整しておく。キャノピーの厚みのため、胴体と一体に整形されてる計器盤のシュラウドが邪魔になってしまうので、シュラウドを少し削り込んでおく。

インテリアはエデュアルドの計器盤を除くとパーツがダルで、ちょっと垢抜けない。

コクピット後方の隔壁は、実際には後方窓の直後辺りに来るのが正解。

機首にはバランスウエイトを仕込む必要があるが、これは少量で大丈夫。

昇降舵は可動式となっているが、作例では固定した。

胴体のプロポーションだが、機首を殆ど回転体としてしまったのはミス。実際には機首は上下で非対称で、キットの機首下面を削り、上面にはパテを盛って、先端部がもう少し上よりにくるようにしてやる。

胴体後部では、カウルフラップを接着する尾端の断面形が、正円でなく楕円となっているため、フラップのパーツとぴったりしなくなっている。









形状、設計共に甘い部分も多いが、かといって今後アセンダーのプラモが出るとも思えず、これに手を加えるしかないだろう。



各翼の後縁を薄くしたり、各ライト類を透明化する事で精密感はかなり上昇する。

カウルフラップは開状態でモールドされているので、前後を間違えない事。

排気管の位置はやや下すぎるし、パネルラインの位置等も考証が甘い。排気管前方のエアインテークは1号機のみに見受けられるもので、2、3号機の場合は削り取らなくてはならない。

機首に戻って、機首上部のインテークのバルジは、機首の一部を切り取って別パーツを接着するようになっているが、形状がいまひとつだったので、作例ではバルジを自作した。パーツの合いを考えると、手間は同じ位の筈。

説明書ではこのパーツを選択式としているが、バルジのないのは1号機だけで、これは主翼が短い等、何箇所かに相違点がある。

2、3号機には機首先端にランディングライトが設けられているので、透明のプラ材で自作。

主翼は真空整形時代の名残か、上半角が付けられておらず、自分でいったん切り離して再接着してやらなくてはならない。これは結構面倒な作業で、メーカーの怠慢と非難されても止むを得ないところだ。

主翼付け根上面の部分はやや凹面となっているので、パテで平滑にする。

主翼の平面形に付いては、筆者の手許に信頼に足りる図面や真上／真下からの良い写真がなく、細かい事は言えないが、資料によれば前縁の後退角は45°で、キットはいささか不足という事になる。

本機の主翼は層流翼形となっている筈なのだか、キットではうまく再現されていない。

主脚収容口内部の隔壁は省略されているので再現してやりたいが、胴体にかかっているためコクピットのパーツとも干渉してしまい、作業はちょっと大変。で、作例ではノータッチ。

キットでは主脚収容口内部の隔壁はエッチングパーツで用意されているのだが、2、3号機では地上でもカバーを閉じているので、これは無くもがなであった。

垂直尾翼は左右共、トリムタブの操作リンクのカバーが内側になるように取り付ける。

エンジン下部のフィンはエッチングパーツが用意されているが、案の定カーブが胴体下面にフィットせず、作例ではプラ板で自作した。

脚柱は仕上がりがダルで、出来れば自作か流用を図りたい。

## 仕上げ

塗装は3機共オリーヴドラブとニュートラルグレイの標準塗装だった。

説明書では2号機の機首上面のパネルを黒としているが、写真で見ると国籍マークのブルーより明るく、実際には新しく塗装して褪色していないオリーヴドラブではないかと思われる。

作例は3号機としたが、この機体でも同じパネルが他よりやや暗めなので、そのように塗装してみた。

2号機のスピナーも説明書のように黒ではなくオリーヴドラブ。

デカールは国籍マークとシリアルナンバーだけで、コクピット左舷に付けられたアセンダーのロゴマークが入っていないのは困りもの。

考証・質共に余り上等とはいえず、ブルーは明るすぎるし、白と黄は透けてしまう。50～60度のお湯に浸せと書いてある所を水に浸したせいか、何箇所かに切れ目が出てしまったので、予めスーパーフィルムを塗布しておく事をおすすめしたい。

国籍マークはオーバーサイズで、作例では他のものを流用したが、主翼のものはひとまわり大きすぎた。

3号機の機首右舷には白で12が記入されているが、これも含まれていないので、エビエーション・ウースクの零観用のものから流用した。

MPMは今後のラインナップにもかなり楽しみな機体が含まれているのだが、まだ質的に向上の余地も多く、ガレージメーカーからの脱皮をアピールするためにももう少し頑張ってほしいというのが実感ではある。

# 現存する試作戦闘機

photos：中川裕幸





## XP-55

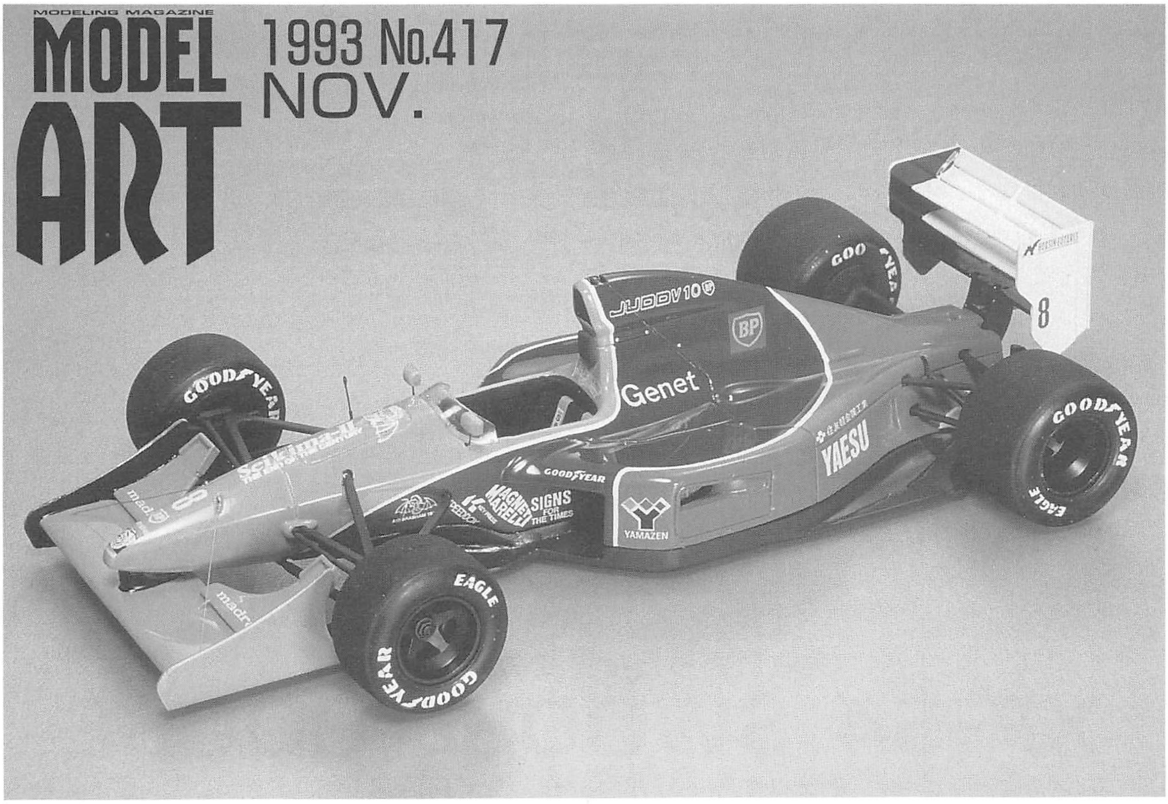
メリーランド州スミソニアン・ポールガーバー施設でレストアされるのを待つ２号機。

## P-75



オハイオ州デイトンのアメリカ空軍博物館に展示されている５号機。
この他にXP-56の２号機がタキシング可能な状態で、ノースロップ社に保管されている。

MODELING MAGAZINE
MODEL ART 1993 No.417 NOV.

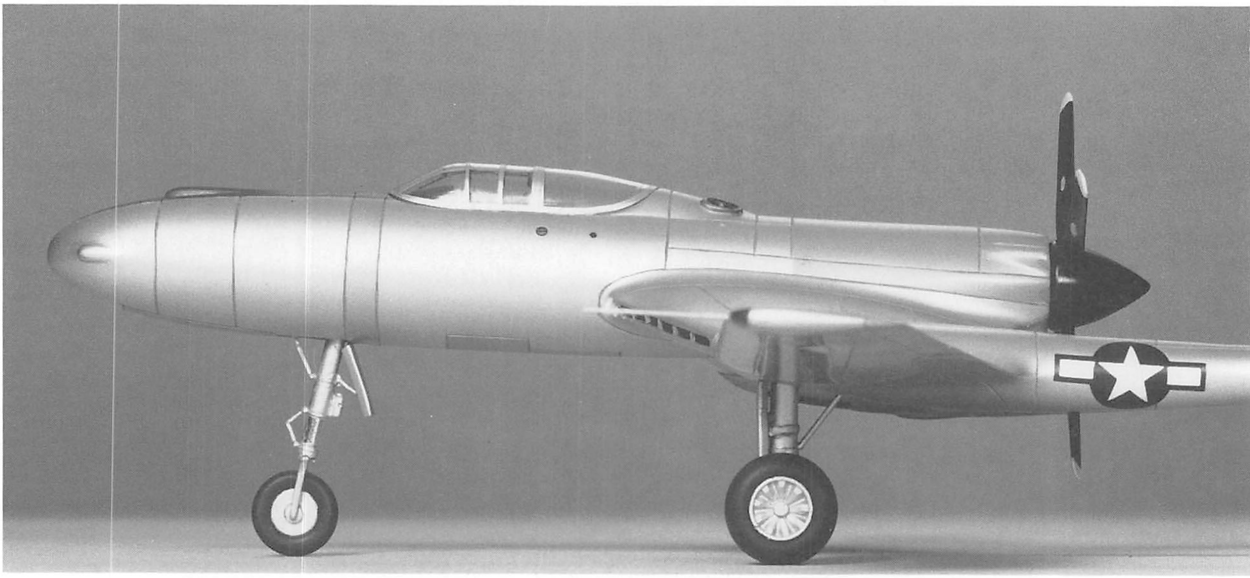



CONTENTS



モデルアート　1993年11月号　第417号
印　刷：1993年10月25日
発　行：1993年11月1日
発行人：井田　博
編集人：真島栄二
発行所：有限会社モデルアート社
［編集部・広告部］
〒102 東京都千代田区飯田橋2-11-5 栄昇ビル207号
TEL 03-3288-3715　FAX 03-3288-4561
［営業部］
〒102 東京都千代田区飯田橋2-8-3 花菱軒ビル3F
TEL 03-3262-6450　FAX 03-3262-7932
印刷所：株式会社サンニチ印刷
写　植：有限会社アドバン
有限会社イーグル・クリエーション
雄美デザイン
価　格：800円（本体価格777円）
送　料：76円
MODEL ART Co.,Ltd.
8-3, 2chome, Iidabashi Chiyodaku,
Tokyo, Japan



## 失敗に終った推進式の大型戦闘機

# XP-54 SWOOSE GOOSE

チェコキット1/72　製作・文：河原畑　啓

### 両極端

私はギリギリまで空力を絞った豆戦闘機（コードロン714等）と、いかにも「パワーで引っ張る」と言った戦闘機（F2Gコルセア等）の両極の飛行機が好きです。と言う理由で今回の担当は軽戦XP-77と重戦XP-54なのであります。

### とにかく固い！

編集部から送られて来たキットは、何でもアメリカで買って来たとの事で、ビニール袋にバラバラと入ったパーツはメーカー名さえ判らない代物で、もちろん説明書やデカールなんて付いてません。そしてエポキシかポリエステルか知んないケド、こいつがまた固いの何のって。加工性は最悪でした。当然気泡は入り放題で（気泡どころか空洞があった）、スジ彫りも大甘ですが、幸いにして基本型は割としっかりしているのと、変形が無い点は救いです。また、瞬間が良く効くのも救いです。落下試験（笑）にも耐え、おかげで右主翼の上半角が足りないのに気付いてももうどうしようもありませんでしたよ。

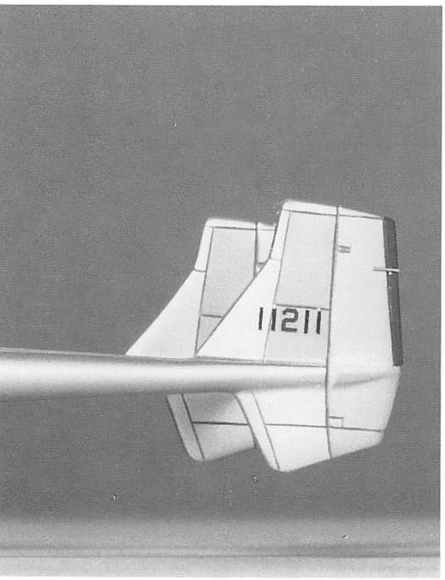
パーツ構成は主翼内翼と一体の胴体、外翼、主翼後縁以降のテールブーム、水平尾翼、バキュームのキャノピー、脚（脚柱、トルクリンク、ストラット、タイヤ）と脚カバー、シート、計器盤（グレアシールド一体）、スピナー一体のペラ、ピトー管と言ったもの。まあいわゆる個人レベルの「ガレージキット」と言った感じですね。

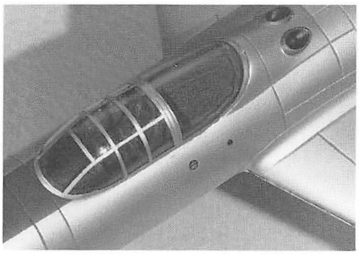
### とにかく形にする

さて組み立てです。まずはとにかく飛行機の形にします。主翼は取り付けタボが有るのはいいんですが、穴の方が完全に埋まっていたので、タブを切り取ってベタ付けしました。前述のように瞬間が良く効くので、強度的には充分以上です。問題なのはテールブームで、接着面（ただ切り落してあるだけ）が膨らんでいたり、パーティングラインが走っていてしかもそこが段になっていたりで、位置が決まりませんので、垂直尾翼の垂直と、センターライン（平行四辺形にならない様）及び水平角に注意しながら水平尾翼共々瞬間で固めてしまいました。これで一応XP-54の形はするんですが、ここからが大変！もちろん各パーツの接着部はバッチリ隙間が開くし（ポリパテ盛り）、水平尾翼は分厚いし（削る）、テールブーム接着部の断面がブームと主翼側で違うし（ブームに合わせて主翼側を整形する）、垂直尾翼は左右で厚みが違うし（薄い方に合わせて削る）、なんと言っても止めは主翼コードが左右で違う（後縁をプラ板で延長）んですから。

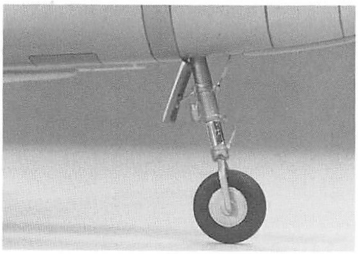
形状的には垂直尾翼の下端の面積が足りない（プラ板とポリパテで延長）ぐらいで、ほぼ良好…かと思ったら、ありましたよ大きな落とし穴が！パーツを初めて見た時から、XP-77と一緒に作っていた事もあって「スゲー長い機首！」と言ったイメージでいたため、ノーズがコクピット前で6㎜程短いのに完成直前まで気づきませんでした。ハハッ。実機はもっと長かったのです。従って作例はそのままですが、延長する場合ノーズの可動部（2本のスジ彫りが接近している所）で切断して延長した上、その分前脚庫を後にズラしてやる必要があります。キットはノーズが短いのにホイールベースはそのままなので、前脚収納部がノーズコーンにまで食い込んでしまってますので…。細部では、主翼前縁のラジエターインテークと、ペラ下のアウトレット部をトライツールのノミで彫り込んでおき（仕切は後でプラ板で作る）、排気管、右主翼下のランディングライト、ノーズ先端の穴、スピナー上の穴、脚取り付け穴、それにピトー管取り付け穴をドリリングしておきます。機銃は搭載されていませんので、機銃口はありません。もちろん翼端灯は透明化します。

さて、大きな気泡や空洞はポリパテで埋め、スジ彫りを追加したなら、サーフェイサーを厚めにかけます。私はプラモデルには、モールドが埋まってしまうので、サーフェイサーは使わない人なのですが、流石にレジンキットの場合はね。特にこのキットの場合、ワザと厚くかけて砥ぎ出して、ダルなスジ彫りを少しでもシャープに見せる



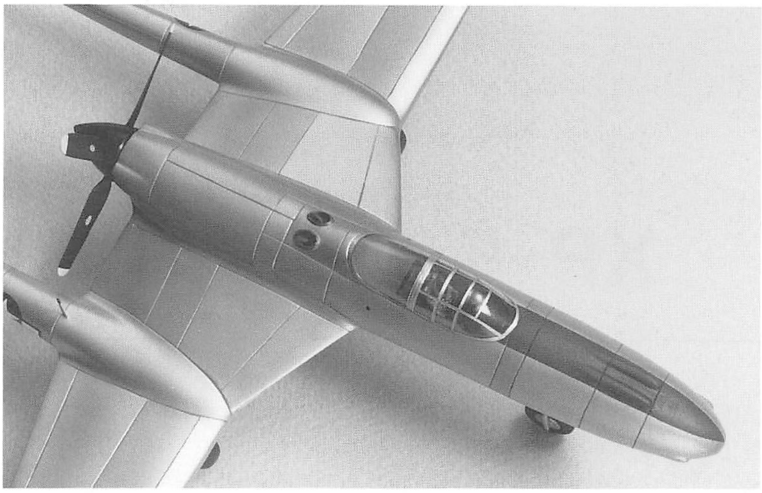
キャノピーはエンビのヒートプレス。コクピットは流用パーツでそれらしく。

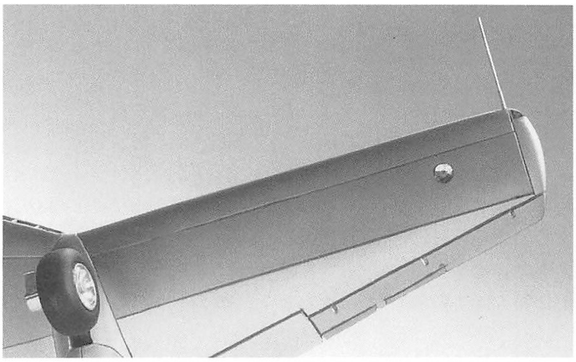


前脚。車輪はP-40の主車輪を使用。その事だけでもこの機体のでかさが分かる。

と言う目的があったのでした。もちろん一旦埋めて彫り直すのが一番なんだケド。いずれにしろ、サーフェイサー後プラパテでキズや欠けを修整したら、銀塗装なので、2000番までのペーパーで仕上げをしてやります。細部パーツは、ペラはハセガワのF6Fのものを（2機分）使用。ただし本当はピッチが逆です。ピトー管は真鍮パイプと洋白線、着陸灯は1/43のヘッドライトを埋め込んで、ドフィックスクリスタル仕上げ。主脚は長さを調整しながら使用。プッシャー機だから割と腰高です。主脚カバーは3㎜程詰めて使用しました。前脚はフォーク部が欠品だったのでプラ板で作り、タイヤはP-40の主脚を流用。また、長過ぎるので5㎜程切って使います。

デカールは市販のデカールです。





上：胴体。トーンを変えたいくつかの銀で塗装、それが全体を引き締めてくれる。プロペラは、ピッチが逆ではあるものの、F6Fより流用してそれらしくまとめてみた。スピナーには真鍮線を介して固定されている。

左：左翼下面。翼端灯、着陸灯、ピトー管に手を加えている。




作例は2号機だが、1号機はオリーブドラブとニュートラルグレイに塗装され、コクピット横にスゥーズ・グースのマークが記入されている。




ノースロップの試作機は得意の無尾翼機

# XP-56 BLACK BULLET

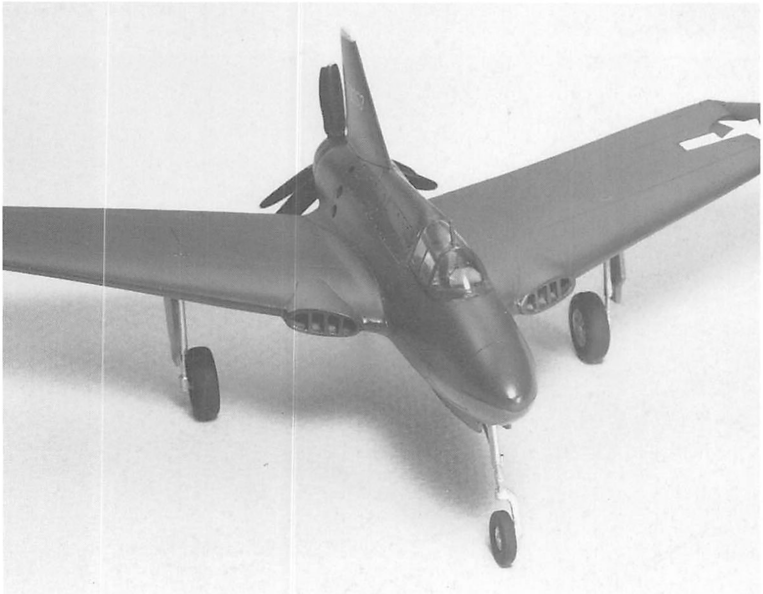
チェコキット1/72　製作・文：阿部幸夫

ついに出ました！怪しげなヨモスエ試作機特集です。町内秋祭り、花巻秋祭り、三沢航空祭そして盛岡八幡秋祭りと、秋祭りボケが抜けきらない私が製作したのは、ノースロップが作った横から見ると「秋水」みたいなXP-56です。ノースロップの一連のフライング・ウィング機群の１機です。XP-79には負けるけど、こいつも仲々のヘンテコリン（死語）な飛行機ですなあ。

これは試作２号機のキャストキットです。一応凹モールドなので見た目はキレイ。しかし肉厚の胴体、ヒネリのきいた主翼、バリの中に埋もれている脚部、２号機のクセに下面尾翼が無いなど、一筋縄ではいかないキットですよ。

では何にも無いコクピットから自作していきましょう。床部分をプラ板から作り、大体の位置に仮止めして、他の自作部品を現物合わせで付けていきます。尚、接着剤は曇らないタイプの瞬間接着剤を使いました。普通のプラ用の接着剤では全くくっ付きません。正面パネル、操縦桿、両サイドのラジオボックス等はプラ板から、座席は他のキットからの削り出し流用です。シートベルトは紙テープにて付けてあります。ヘッドレスト部分も厚めのプラ板から。正面パネルへは計器盤のデカールを流用して貼ってあります。正面パネル上にはでっかい防弾ガラスがあるので、塩ビ板にて自作します。さらにその前にはN-2Aガンサイトがあるので、これまたプラ板で自作です。でもキャノピーを付けると、ほとんど見えなくなるので、程々にしておきました。

ところが、このキャノピーは胴体後部に向かって窄まっていくので段差と隙間が大きく出来ます。瞬着で少しずつ埋めていき、ペーパーがけをし、塗り直しとなってしまいました。手間の割に、みっともなくなってしまいお恥ずかしい限りです。塗装はコクピット内をインテリアグリーンで塗ってあります。



脚柱は真鍮線とピアノ線で自作したもの。キットにはキャストパーツが付いていた。

胴体左右を接着する前に前脚収納部を箱組みしておきます。機首部への錘は、場所が狭いので内側を思いきり削ってから詰めました。胴体接着部分は平らでは無いので、ヤスっておきましょう。このキットの材質はとても固いので、左右を接着するのも一苦労です。スジ彫りをやり直す時もガリガリするので、気をつけます。胴体後部の上面下面にある排気ダクトの穴は２㎜のドリルで開け直しました。

主翼は左翼が少々ネジれていますが、直しきれなかった。主翼と外翼、胴体とは真鍮線にて補強しました。主翼の付け根のエアインテークはムクのままだったので、ピンバイスとトライツー

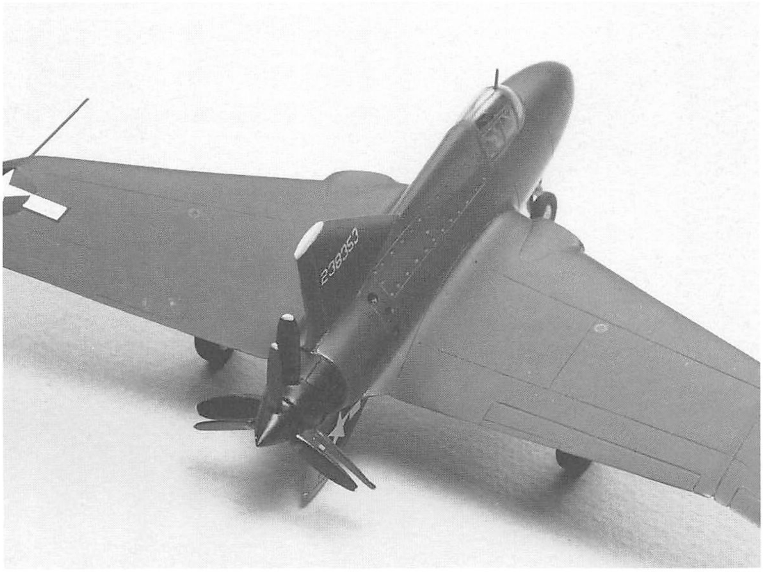
ルのノミにて削り込みました（ああ、モーターツールが欲しい！）。あとは仕切板をプラ板にて取り付けます。翼端のダクトも前後を同様に開口します。左翼のピトー管を忘れずに。胴体上下にある垂直尾翼は上面の分しかなかったので下面の分はプラ板の自作です。ただ、上面分のそれも異様にブ厚いので、金ヤスリにてガシゴシ削ってあります。胴体との合いも主翼同様、良くないのでパテが必要となります。ここの垂直尾翼の付け根の辺りは写真で見てもあやふやなので、多少の憶測があると思いますが、悪しからず。

主脚・前脚とも短かく、変型しているので使えません。真鍮パイプとピアノ線にて作り直しました。主脚の長さは下面の垂直尾翼が地面ギリギリにくる様に調整します。前脚は、機首が少々あがり気味になるので少し長めにします。あとはステアリング装置等を付けます。実機のタイヤには菱形のトレッドパターンが付いていました。

二重反転プロペラは、実機ではプロペラの付け根の所に段が付いていますが、今回はキットのままです。カウルフラップも本当は円筒の形をしています。ペラのネジレが今ひとつですね。

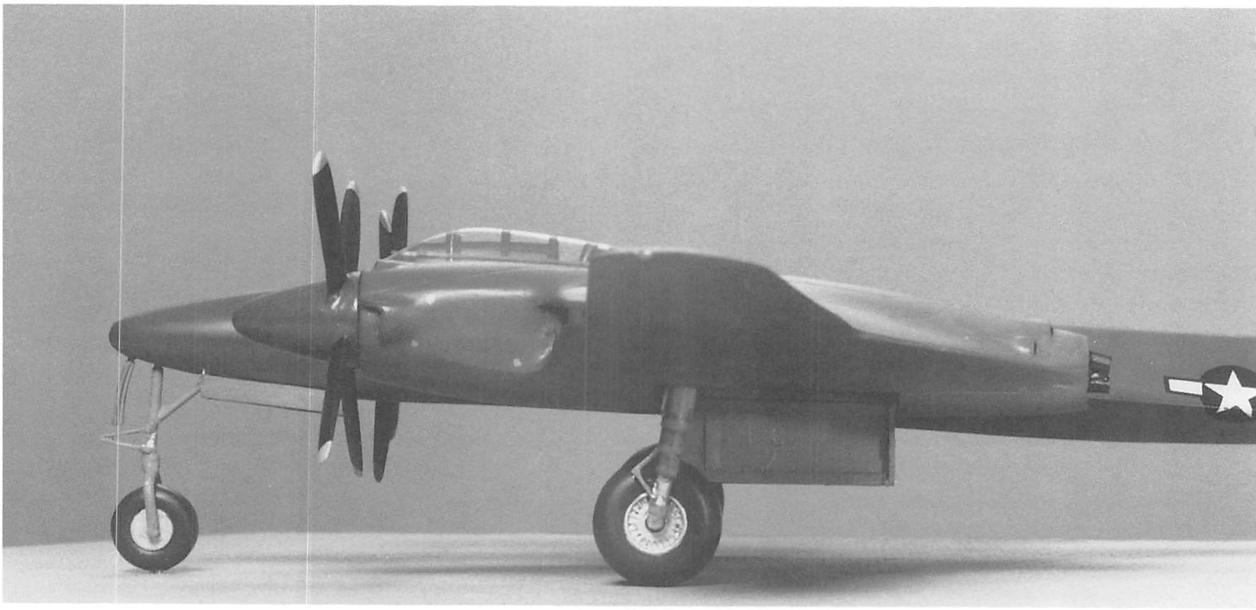
塗装です。上面オリーブドラブ、下面ニュートラルグレイの標準塗装の様です。因みに上面垂直尾翼が小さい試作1号機はナチュラルメタルでした。脚部収納部の機体内部色27番と脚柱のシルバーは想像です。間違っていたらごめんなさい。プロペラ部はフラットブラック、上面垂直尾翼端とプロペラ端は黄色です。デカールはついて無かったので、国籍マークとシリアルナンバーはスーパースケールを使用。赤字のレタリングは他のデカールからの流用です。こうして完成したキットを見ると実機より多少スマートになった印象を受けます。しかし、細かい所ウンヌンと言うよりも、作った人の勝ち！という感じのキットでした。

この号が出る頃は秋の紅葉って所かな？ムフ、温泉もいいなあ。まあ、秋の夜長にいつもとは違う、こんな珍キットを作って一人ほくそ笑むっていうのもいいかもしれない…。ムヒョ!!



この手のキットの常として、キャノピーはエンビをヒートプレスしたもの。高さがやや不足していて胴体とのラインがおかしくなっている。


作例は内翼に上反角が付いてしまったが、実際にはこの部分は水平になっている。



マクダネルの１作目は大型のコウモリだった

# XP-67 BAT

チェコキット1/72　製作・文：桑原恒治

　あれは多分小学生の頃だったと思うが、今でも出版されている、M誌（あの戦中派のおじさん達のための船みたいな名前の雑誌）の特集に、米国試作戦闘機というのがあった。

　純粋な田舎の小学生は、異様な形をした試作機の数々に、強いインパクトを受けたのであった。その中で一際目立ったのが、XP-67バットであった。ブレンディッド・ウイングボディ風の特異な平面型はなぜか、モダンでカッコ良かったんだ、これが。

　その当時、小学生の僕は試作機というのは、全て実戦に間に合わないために、結果的に試作に終ったと本気で思っていた。恥ずかしいことであるが、割合最近まで、このバットについても用兵的な理由などで、試作に終ったと思っていた。今は廃刊になってしまったが、ある航空雑誌からマクダネル戦闘機の歴史の本が出版されて、このバットが完全な失敗作であったのと、マクダネルの戦闘機の第１作目であったという事実を知ったのであった。

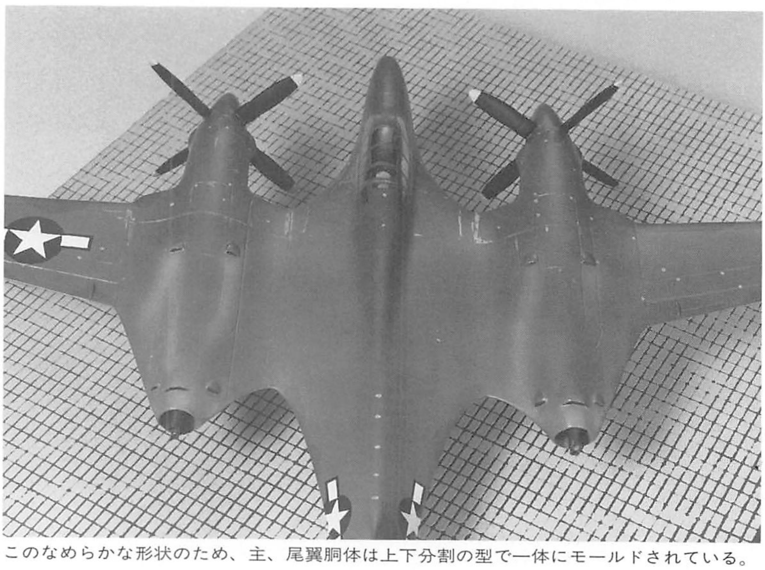
　今回工作したのはチェコキット？と呼ばれているらしい、チェコ製のレジンキットである。編集部から送られてきた箱には少し白っぽいグリーンの成形色で（多分樹脂はエポキシだろう）取敢えずバットの形が出来上がったものが、その他のパーツと一緒に、ゴロっと入っていた。

　最初はこんなもの簡単に出来ると思っていたが、これがどうして大変で、キャノピーはブッ潰れているは、機体表面を研磨すると、気泡が現われてくるはで、途中で当初計画していた、レアプレーンの真空成形キットにしようかと思ったりした程であった。

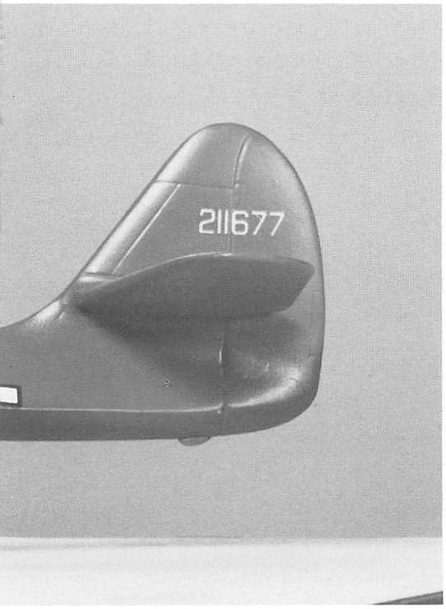
　前置きはこれくらいにして本題に入ろう。全部品数は16個。エポキシ製パーツは15個。真空成形のキャノピーが１個。そのほかに後から販売店が追加したと思われる、レアプレーン用エアロクラブ製メタルパーツが入っている（このメタルパーツはレアプレーン用で、一回り小ぶりで、役に立たない）。

　機体の外寸は全幅で約４㎜短く、全長では約３㎜長いが、この手のキットではむしろスケール的には正確なほうであろう。機体外形は、ほぼバットの特異なイメージを再現しているといって良い。

　ただ僕の手持ちの資料の中にあるバ



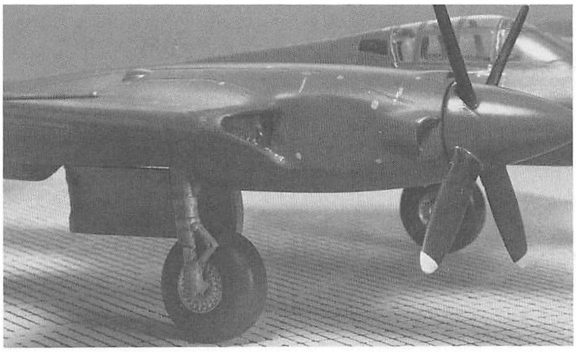
このなめらかな形状のため、主、尾翼胴体は上下分割の型で一体にモールドされている。



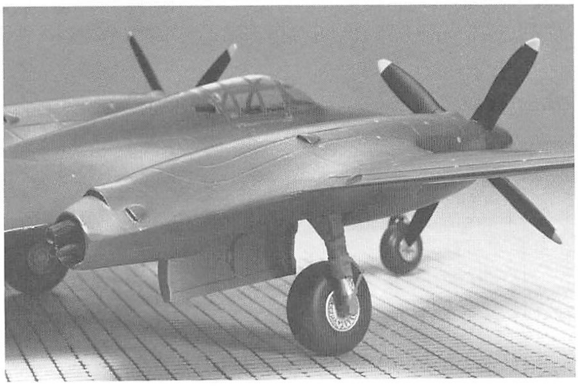

ットの図面はどれもいい加減なものばかりで、全く参考になるものがなかった。写真をもとに機体外形を見てみると以下の点が気になるようだ。

主翼と連続するエンジンナセルの下面の深さが少し浅いようで、もう少しナセル外側下面の傾斜が強いほうが実機に近い感じがする。その他にはスピナーがスマート過ぎ、プロペラブレードが一回り程細い、といったところだ。ただ細かいところがどうなっているのかは、決定的に資料不足のため正確にはコメント不可能である。特にバットの慢性的な悩みであった、エンジンの冷却能力不足のために、エアインテークやアウトレットの改修が幾度となく行なわれており、この辺が曖昧なような気がするが、良く解らないというのが正直なところだ。

実際に工作する場合の第一歩は各パーツの全面研磨である。400から600番程度のサンペで全体をくまなく磨くと、各パーツの表面に気泡が現われてくる。大きな気泡にはプラ板のクサビを瞬間で接着し、また小さな気泡についてはポリパテを使って丁寧に埋めておく。再び全面を研磨し、表面をフラットにする。その研磨で現われた気泡につい



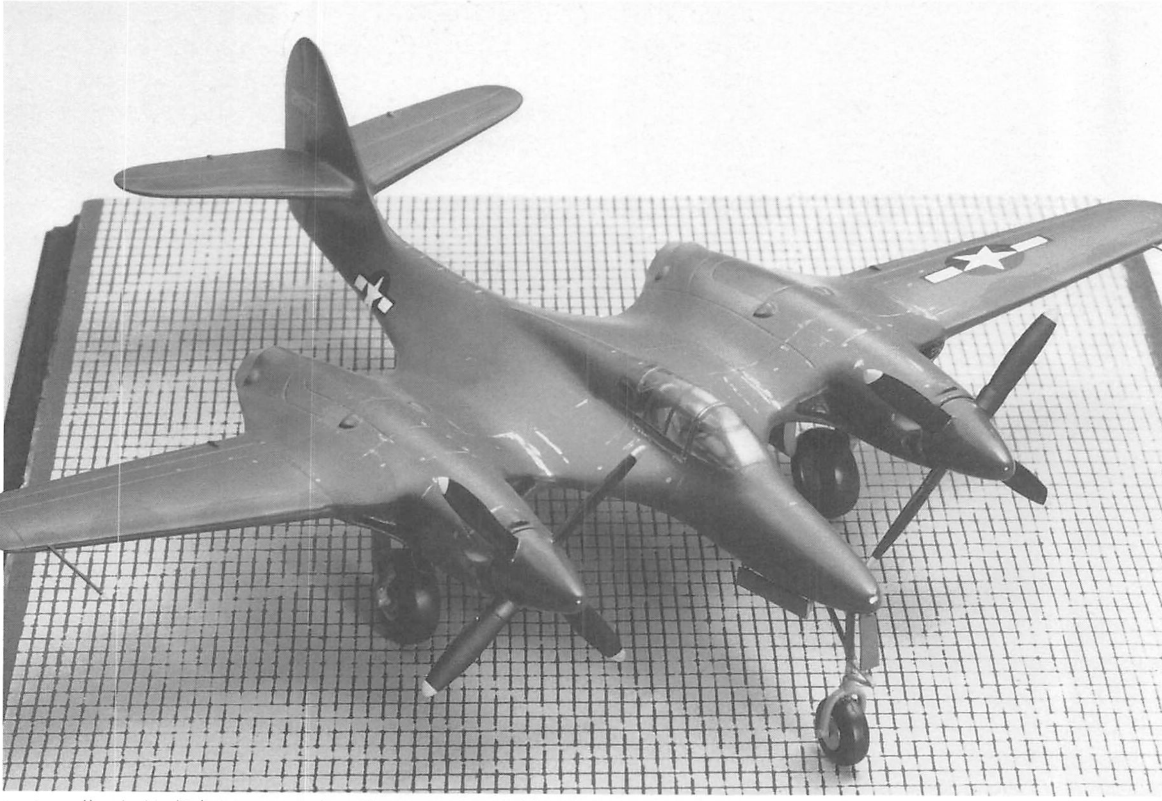
エンジンナセル。スピナーと合わせてこのあたりはちょっとスマート過ぎの様だ。



後方から見たナセル。脚柱はホワイトメタル製のも付いているが、作例で使ったのはレジンの方。
ナセル後端が排気口になっている。




寸法的には月光と同じ位であるが、この形状と単座のためかもっと大型機の様に見える。



レジン一体のために極度のテールヘビー。作例はベースに固定した。

ては同様の方法で埋めておく。これを何度か繰り返すと一応フラットな機体表面が現われてくる。

このキットの表面にはかなり太めのスジ彫りが入っているが、手持ちの図面とは全く異なったものが彫ってあるが、資料不足からそのままとした。また今回３点姿勢を保とうとして、胴体後部をくり抜いたり、機首、ナセルなどにたっぷり鉛を入れてみたが、テイル・ヘビーが強く、結局のところ３点姿勢を保つことができなかった。

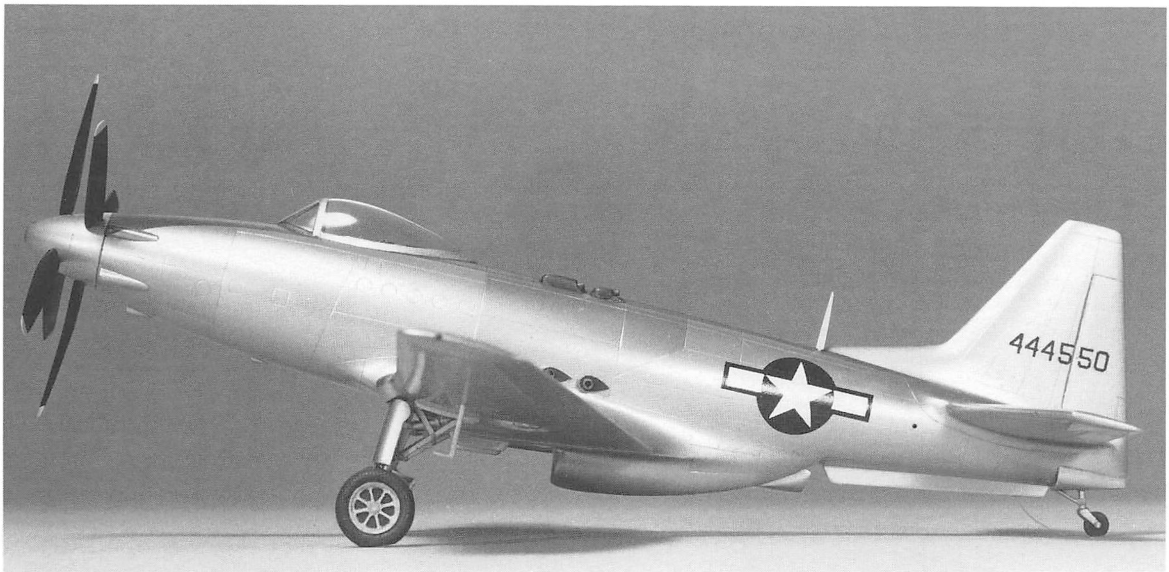
またあちこち磨いた際に、スジ彫りが消えてしまったところがあるが、改めて入れ直そうとすると、また気泡が出てきたりして作業が進まず。結局のところそのままとしたところがある。もし完璧を期すならば、太めのスジ彫りはパテを使って一度埋めてしまい、仕上げ後に軽く入れ直したほうが良いだろう。気泡潰しをした後にサーフェイサーを吹きつけることになる。サーフェイサーは河原畑啓氏に教えてもらったソフト99プラサフを使ってみた。これがなかなか具合が良かった。乾燥後に目の細かいサンペで表面を磨いてやると下地仕上げが完了する。

一番の問題点はブッ潰れたキャノピーの再生であった。今回は元のキャノピーにポリパテを充塡整形硬化後にキャノピーを取り除き、仕上げをしてヒートプレス用の原形とした。ヒートプレスで作ったキャノピーを胴体にフィットさせるのが大変であった。接着にはエポキシ系のデゥフィックスを使用した。なぜかなかなか硬化せず心配であったが、硬化後もクリアーでなかなか宜しい。コクピット内は全く解らないので、適当にデッチ上げておく。細部パーツもレジン製を使用したが、全体の重量がかなりのものになるので前脚はブラス・パイプの組み合わせで自作し、主脚柱は金属線を入れて補強しておいた。

塗装は上面がオリーブドラブにグリーンの迷彩、下面はニュートラルグレイのUSAAFの標準塗装であった。ただ度重なるエンジントラブルのために、主翼上面及びナセルの上面の汚れやエロージョンがひどく、これをうまく再現すれば、良いアクセントになると思う。

インシグニアはスケールマスターを使用し、垂直尾翼のシリアルはレアプレーンのキットに入っていた、デカールを使用した。

レジン・キットは一見簡単そうに見えるが、実際は結構大変なので、ひょっとすると真空成形のほうが楽かもしれないな。




## 今回の特集で唯一の制式採用機

# P-75 EAGLE

レアプレーン1/72　製作・文：松樹祐司

今回の特集のキット群は、まぁ壮絶な事になってしまい、そんなものどこで手に入るんだという読者のブーイングが今から聞こえるよう。

レジンキットの方はまだ流通しているらしいが、このキットは真空成形の上に絶版なんだものね。

今回も一時は諦めたものの、かの秋山氏が保有しておられるとの事でそれを拝借し、めでたく（何が）登場となった次第。

レアプレーンは御存知のように真空成形キットメーカーとしては老舗のひとつで、1969年からコンスタントに新製品を開発してきた。

運営していたのはゴードン・スティーヴンスという人で、彼は原型の製作から生産、販売まで全くワンマンでこなしていたが、1988年にモールド、権利等まとめてハナンツという模型店に売却し、それ以後彼はモールドの製作のみに専念している。

真空成形キットメーカーには到底射出成形キットの発売が望めないような、マイナーな機種ばかり出す所もあるが、レアプレーンの場合はあってしかるべきといった、それなりにネームバリューのある機体を選んでいたため、後に射出成形キットが発売されて絶版となったキットが多数あった。

例を挙げればHe51、La-5、Hs126、He112、SBC-3/4、B-17D、F3H、ビクター、コンステレーション、U-2等々といった具合だ。

このP-75Aは1980年代に入ってから発売されたもので、現在に至るも唯一の存在である。それではなぜ絶版になったのかといえば、モールドが破損してしまったか、或いはこのキットには実験的に射出成形パーツが付いていたのだが、これの補充が困難になったためだろう。もしそうであれば、これらをメタルパーツに置き換えての再発売を期待したい。

## 製作記

そういうキットであるので、製作ガイドという訳にはいかないが、私は如何にして心配するのを止めてイーグルを愛するようになったか製作記という事でお付き合い願いたい。

レアプレーンのキットの表面はリベットラインまで凸線で入ったモールドで、精緻とも言えるが、今様ではないというか、煩雑だし工作中これらを残す事はなかなか困難なので、筆者は通常表面はペーパーを掛けてツルツルに仕上げてしまう。

レアプレーンといえどもシリコンや樹脂の事後収縮の影響等で、左右の対称性が完全でない場合がある。作例ではこのチェックを充分に行なわなかったので、主翼の面積が左右で若干違ってしまった。反省。

コクピット内部は床板と側壁を成す箱状のパーツと座席、隔壁、インパネから構成されるが、出来は余り良くなく、隔壁以外は自作ないし流用となった。

座席はちょっと贅沢だが、バーリンデンのP-47ディティールセットのものを編集部に都合を付けてもらって使用。これは大変出来が良く、確かに作品がグレードアップする。こういった座席だけのセットを発売してもらえると、真空成形キットや一昔前のキットを作る際には大いに助かるのだが。

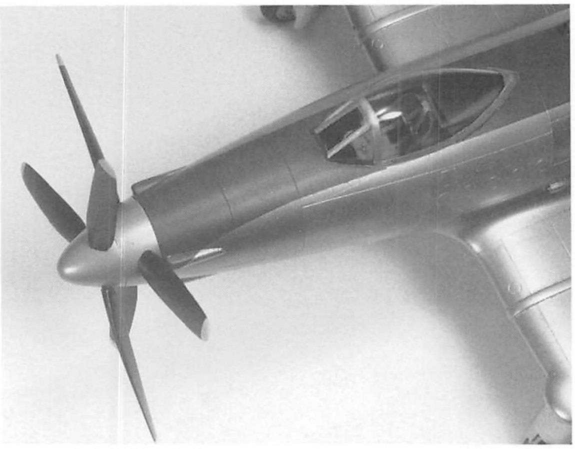
イーグルは機首には機銃、胴体には排気管のフェアリング等がいくつも突出しているが、キットでは当然これらが一体成形されている。

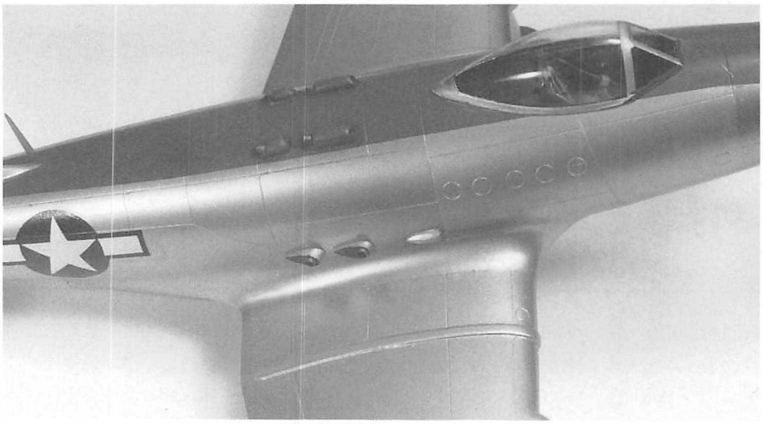
真空成形ではこういう大きな突出はシャープに成形出来ず、先の方はプラが延びてヘナヘナになっている事も多いから、始めから削り落として作り換えるものと覚悟しておかないとイケナイ。作例ではこれらはプラ板とコントレールのプラパイプで自作した。

液冷機で胴体とラインが完全につながっているデザインのスピナーは少々厄介である。しかもイーグルは２重反転ペラだ。

キットにはスピナーの他、脚回り、

プロペラはハセガワのコルセアのものとキット付属のものに手を加えたもの。キャノピーは実物同様P-47サンダーボルトから。

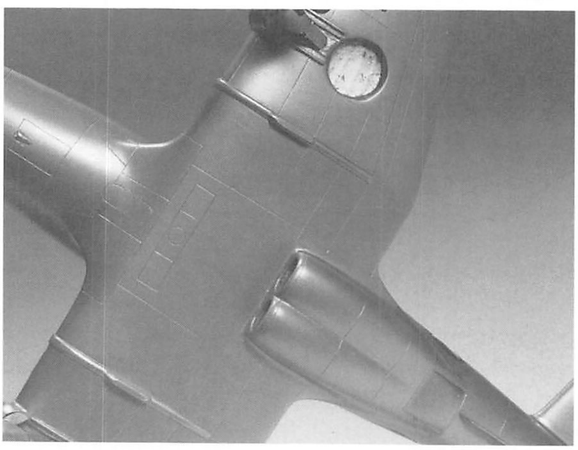




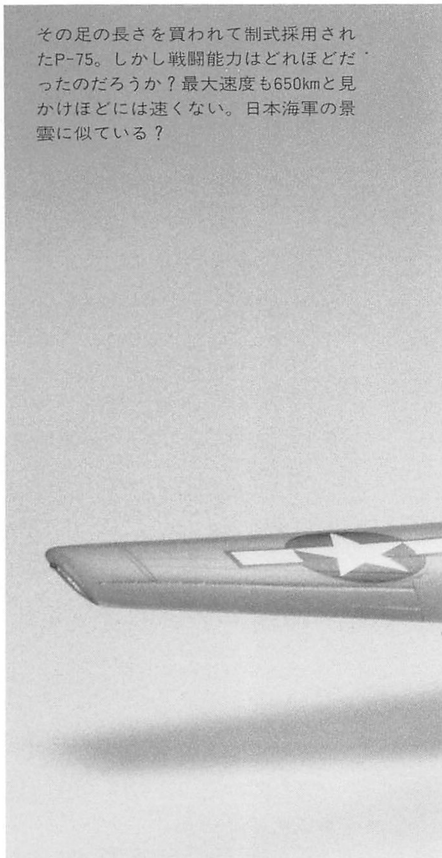
胴体のエアスクープや排気口等は、一旦キットのモールドを削り取り、プラ板やプラパイプで自作した。



脚回りは、これまた実機同様コルセアの部品を流用した。



胴体下面のレイアウト。ラジエターハウジングの形状は実機と少々違ってしまっている。



その足の長さを買われて制式採用されたP-75。しかし戦闘能力はどれほどだったのだろうか？最大速度も650kmと見かけほどには速くない。日本海軍の景雲に似ている？

プロペラにアンテナの類が射出成形パーツで入っているが、脚柱等はまるで1960年代の駄菓子屋キットなみという代物。それでもまるっきり自作よりはマシという事で、スピナーには付属パーツを使いすったもんだして仕上げた。

回転体の自作や修整には電動ドリルがあると便利だが、過信は禁物で、ドリルも工具も手持ちの工作では完全な回転体を作る事は難しく、しばしば歪みが生じてしまう。最後の手段は現物合わせで、機首にスピナーを差し込んで、ズレている部分にパテを盛って強引に仕上げてしまう訳だ。

プロペラ回転式であって回転式に非ずという作品にはなってしまうのだが、見栄えが大切。

プロペラブレードは右回転の方はハセガワのコルセアのもの、左回転の方はキットのものに手を加えて使用した。

キットのキャノピーも比較的良い出来だが、これも編集部よりスコードロン製を提供してもらい、実機同様サンダーボルトのものを乗せた。これならバーリンデンのシートも良く見える。

うっかりして照準器は付け忘れてしまった。

主翼は後縁をシャープに仕上げるの




に留意し、内翼と外翼の継ぎ目のパネルはいったん削り落とし、プラ板を貼りつけた。このパネル、上面では薄い板状なのが、下面では断面が半円形に近くなっている。

プラ板には外国製のものを用いたが、これは国産のものより柔らかく、前縁部にも難無く馴染んでくれた。

主翼はP-40のものを流用しているとは言え全く同じという訳ではなく、パネルラインには一部推定を加えた。

脚柱は前述の如くキットのものは使用に耐えないので、実機同様コルセアのものを流用した。車輪の方はまずまずなのだが、やはりハセガワ製のものと比べるとね。

尾脚もやはりハセガワのコルセアから流用。

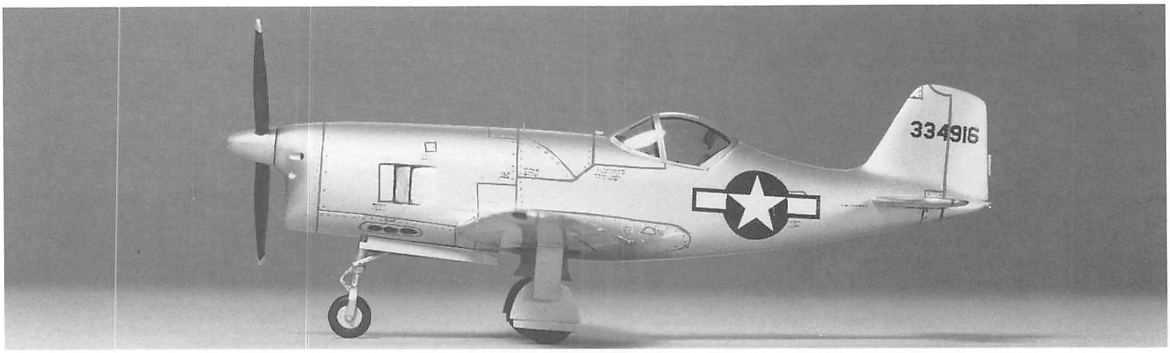
胴体下面のラジエターハウジングの部分はちょっと省略があって、実際の形状と違っているが、肉の薄い真空成形キットでは修整は難しく、作例ではそのままとした。

## 仕上げ

P-75Aのフィニッシュは全面無塗装にオリーヴドラブの防眩塗装、マーキングも国籍マークにシリアルナンバーが記入されているだけ。メリハリを付けるなら、せいぜいシルバーの調子を変えてやる程度か。

プロペラブレードにはエアロプロダクツのマークが付くのだが、適当なデカールが見つからなかったので、現在は保留の状態。

今後P-75の新しいキットが出るとは思えないし、イーグルと名の付く機体を作る事は永久に有るまいと思う筆者であった。

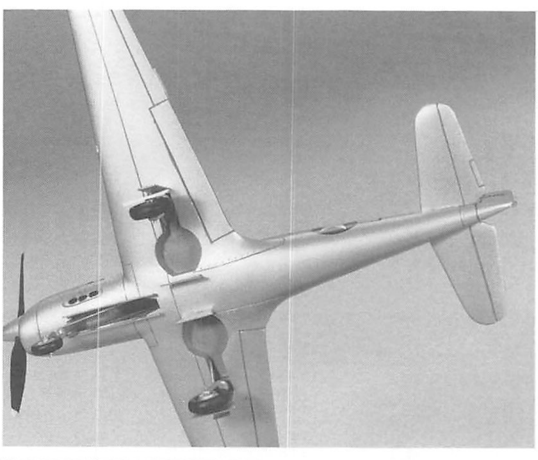



## 大国の超小型戦闘機
# XP-77

12スクェアード1/72　製作・文：河原畑　啓

この手の簡易インジェクションやバキュームメーカーの常で、ほとんど1人でやっている12スクェアードです。今後の入荷の予定も全く立っていませんので、読者の皆さんには申し訳無いのですが、こんな機体ですからこのキットしか有りませんので、今回はこれを使わせてもらいました。キットの出来自体は他の12スクェアードの物と同レベルの'いかにも簡易インジェクション'といった甘い出来、モールドのキットです。こう言ったはっきり言って出来の悪いキットを作る時には、コツがあります。これは精神的な部分が大きいものなのですが、まず「仮想目標キット」を想定します。例えば'ハセガワのAPシリーズならこのぐらいのモールドのはず'と言った風に、自分のイメージするクラスのキットのモールドレベルになる様にパーツの1ケ1ケを確実に仕上げて行くのです。これにより手の入り具合のバランスが取れ、一ケ所だけ手の入れ過ぎで浮いてしまうと言った事が防げる上、「全体」として考えると気が滅入ってしまうキットも、例えば脚カバーだけなら何とかなりそうでしょ？それの積み重ねと考える訳ですね。

と言う訳で、入手困難なキットの製作記事になってしまうんですが、一応工作内容をば。まず胴体ですがコクピット以後の断面が「角の丸まった四角」になってしまっているので、だ円断面になる様削ります。コクピット横からカウリングにかけての側面もちょっと膨らみが足りないのですが、カウリングの肩部を削って良しとしました。垂直尾翼は、なんと後部胴体と同じ厚みが付いているので、1/3程に薄く削り、尾翼が独立した感じにします。その際、前縁にプラ板を貼ってキッチリ直線を出し、後縁もプラ板にて0.5mm程延長しました。タブはプラペーパー、尾灯は基部をプラ板で作り、ライトはドフィックスのクリスタルをチョンと付けて再現しました。カウリング前面パーツは、機銃口の下あたりを少々削り、銃口とその下（左側のみ）に穴を開けます。ラジエターアウトレットは最後部にRを付けて後方に延長すると良いでしょう。前脚収納部はキチンと機軸に平行になる様に整形し、前部は凸形にプラ板を貼って修整しますが、ここら辺は主翼を取り付けてから、調整しながら行ないます。パネルラインに関してはほぼキットのままでOKですが、コクピット前の物のみちょっとズレている様です。後部胴体のハッチは左側のみ。ラジエターアウトレット後ろのハッチは右側のみです。木製機で銀ドープ一色なので、金属部にリベットを打って変化を付けてみました。順序は前後しますが、コクピットは機体が機体



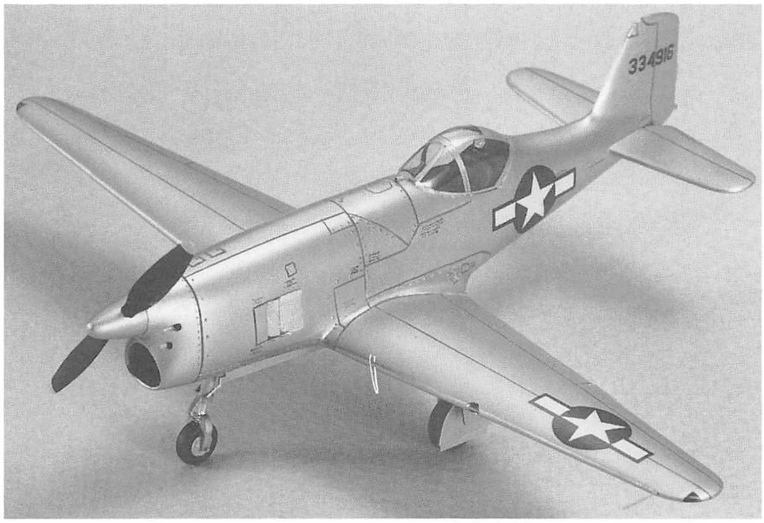
機体下面。脚庫内の継ぎ目をきれいに整形し、脚カバーはプラ板で自作した。

だけに（資料も無いし）床板を少し前方に延長し、他キットより操縦捍を流用し、シートベルトを付け、プラ小片でガンサイトを付けてやるぐらいで良いでしょう。あっ機首には重りを忘れないように。風防はキットのパーツは形自体はそう悪く無いのですが、厚みが不均等に歪んでいるので、キットのパーツを少し（エンビの厚み分）削って型にし、エンビを絞りました。カプチーノやビビオＴトップみたいに胴体内に収納されるキャノピーの項部にはヘッドレストを作ってやります。スピナーは凸凹しているので、パテを盛ってきちんと回転体に仕上げ、ペラはエレールのHe112より流用しました。

主翼は、翼形をしてなくて、ただのだ円断面なので、揚力を発生しそうな翼断面形状になる様、内外からガシガシ削ります。前縁半径が小さな、層流タイプの翼形です。前後縁をビシッと直線を出したら、脚収納部を作ります。脚庫内に主翼上面と胴体との接合部が見えるのは生理的にイヤなので、裏に１㎜プラ板を貼って奥行を稼いでから、プラペーパーで底板を付けました（主翼上面裏面に当る部分は、主翼側を削って調整します）。キットの脚庫の穴ふさぎパーツは使いません。主翼と胴体は全く合わないので、隙間は気にせずに、当たる部分を削って、機軸との直角のみに気を付けながら瞬間でムリヤリ接着してしまいました。どうせ寸足らずのフィレット部にポリパテを盛るから、隙間はその時ついでに埋めれば済む事だからです。脚はそのまま使いましたが、左右の長さが違っているので、地上姿勢に注意しながら詰めます。ノーズギアは主脚を決めた後に長さを調整すると良いでしょう。脚カバーはプラ板から切り出し、脚のストラットはプラ板や洋白帯金より自作しました。

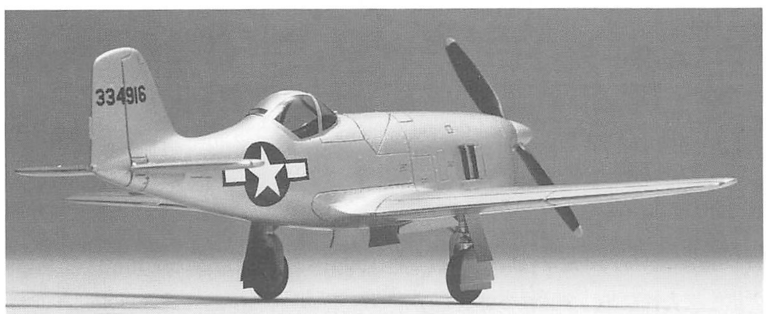
翼端灯は透明ランナーより作り、左主翼前縁の穴にはプラペーパーで仕切りを付け、ピトー管は真鍮線で作りました。

マーキング（と言ってもインシグニアとシリアルだけ）はキットのデカールをタッチアップして使用しました。









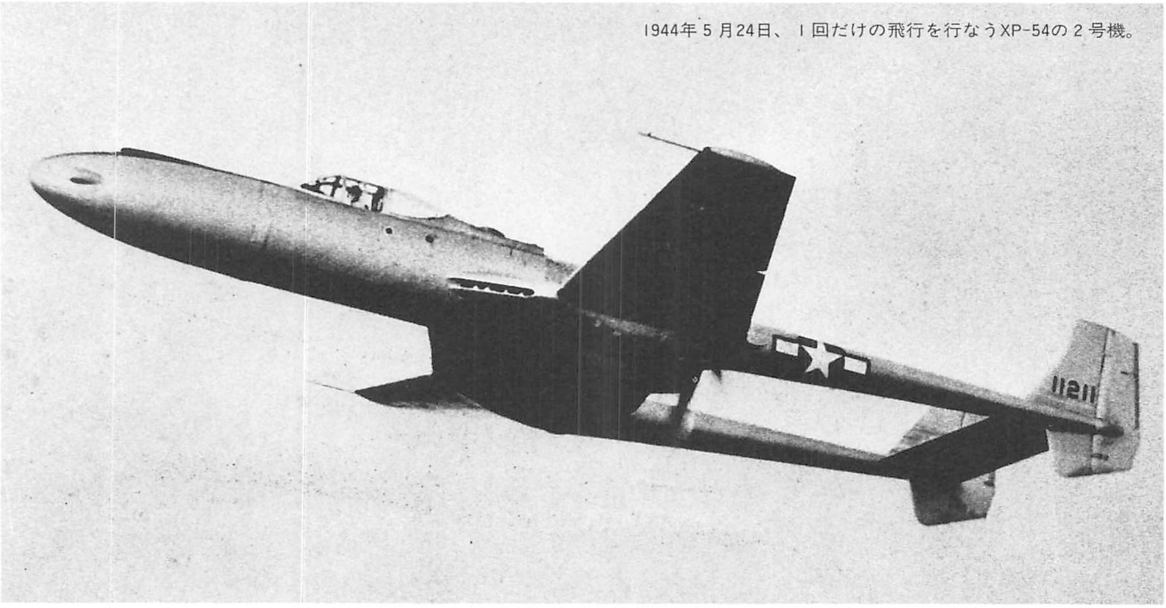



キャノピーはキットのものを型にエンビ板をヒートプレスした。



プロペラはエレールのHe112より。スピナーも整形した部分。

1944年５月24日、１回だけの飛行を行なうXP-54の２号機。




# アメリカ陸軍の試作戦闘機

文：松樹祐司　写真提供：野沢　正

## Ⅰ.R-40C戦闘機

1930年代後半からの10年は、レシプロ戦闘機にとって最後の時代で、各国でその究極の姿を求めて異端とも言える設計が競われた。

アメリカ陸軍では試作にまで至った戦闘機には、比較的オーソドックスな形状のものが多かったが、1940年初頭に出された仕様に応じた機体には、特異な作品が集まっていた。

### 開戦時の米陸軍戦闘機

第１次大戦以後、アメリカの航空産業は着実に力を付けてきたが、1930年代には開発が停滞し、特に戦闘機は既に試みられた事を踏襲するばかりで、何ら新機軸を盛り込む事のない、凡作が続く事になった。

この頃、アメリカの戦闘機の速度は多発の爆撃機と余り変わらなくなっていたが、ついにB-17が出現するに及び、これに追い越されてしまった。又、火力の点でも、やはり速度では余り違いのない攻撃機の方が、より強力なものを持っていた。

勿論、新世代の戦闘機の開発も進められてはいたが、1940年初頭に於ける米陸軍航空隊の新鋭機はまだセバースキーP-35とカーチスP-36で、海外列強の第一線機に伍する事は出来なかった。

この頃の新鋭戦闘機開発の状態を見てみると、カーチスでは前年の１月に受注したP-40の生産中で、1940年の４月に量産１号機が初飛行する。さらにP-40の後継、XP-46も前年の９月に試作を受注していた。

ロッキードのP-38とベルのP-39は、既に前年に初飛行していたが、その後の開発に手間取り、最初の生産型が引き渡されるのは1941年の事である。ロッキードはこの頃、P-38の後継であるXP-39の設計も始めている。

リパブリックではP-43の開発中で、試作１号機が完成するのはこの年の９月。又、XP-47は前年の11月に受注し、まだ設計段階であった。

新参のノースアメリカンにはまだ何ものもなかった。同社が英国航空機購入委員会に新型機の設計を提案し、その承諾が得られるのはこの年の４月の事である。

上記の内、XP-46とXP-47は、1939年８月に「1941会計年度（その年の７月１日に始まる）陸軍航空隊研究・開発計画」の一環として出された、新鋭戦闘機の要求に応じたものだったが、この要求から脱落したダグラスの穴を埋めるための新しい機体が必要とされた。

しかし1940年２月１日、陸軍航空隊司令長官、ヘンリー〝ハップ〟アーノルド少将はより斬新な設計の戦闘機を求めるため、既に中断された案、模型段階のもの、実験機等も含め、対象をより広範囲に求めた新しい仕様の作成を命じた。

これにより米資材局技術部長エドワードM.パワーズ少佐が「データ要求R-40C」という仕様書をまとめ、同月20日にはメーカー選定が行なわれた。

### 仕様R-40C

この仕様は３つのクラスに分けられており、クラスⅠは既存の量産機を改造した機体、クラスⅡは一般的な配置を避け、1942会計年度中の生産開始が見込める機体、クラスⅢは何ら制限が設けられていなかった。

提出したのは、ベル、カーチス・ライト、カーチス・ライト・セントルイス、マクダネル、ノースロップ、リパブリック、そしてヴァルティーの各社だったが、提出数は100点程度を見込んでいた軍の思惑と異なり、計25点に止まった。

デザインの評価には、FOM（フィギュア・オヴ・メリット）という得点制が採用され、全ての要素を考慮に入れ、1,000点満点での採点が行なわれた。

軍が最も関心を抱いていたのはクラスⅡの機体で、事実、選ばれた上位３種の機体はいずれもここからのものだった。

### ヴァルティーXP-54 スウーズグース

R-40Cに提出された内で最高のFOM,817.9点を獲得した機体はヴァルティーのプッシャー式双胴戦闘機、モデル84だった。

ヴァルティー社は1930年代初めに興された航空機メーカーで、全て単発の民間用輸送機や軍用練習機を製作していた。まだ高名ではなかったが、先進技術を取り入れる事には意欲的で、作品は始めから金属製で引き込み脚を採用していた。戦闘機として初めて採用されたのはP-66ヴァンガードで、前年の9月に1号機が初飛行を行なっていた。

オーソドックスなレイアウトのP-66とは全く対照的なスタイルの本機は、同形式で、より小型のモデル70、78から発展し、1939年に設計の開始されていた機体で、プッシャー双胴という外見も特異だったが、他にも多くの新機軸が盛り込まれていた。

エンジンには2,200馬力のX型液冷24気筒、プラット・アンド・ホイットニーH-2600（社内呼称X-1800-A3G）が選ばれたが、同社は親会社の意向で全ての液冷エンジンの開発を中止してしまったため、ヴァルティーはこれをほぼ同じ馬力を持つライカミングのXH-2470に変更しなければならなかった。

これはH-2600と同じH型液冷24気筒ではあったが、より重く、より大きかったため、モデル84は設計の変更を余儀無くされた。

プロペラも初めは2重反転式となる予定だったが、エンジンの変更に伴いハミルトン・スタンダードの4翅（直径3.5m）ペラが採用された。

1941年1月8日にはXP-54の制式呼称が与えられ、1機の試作が契約されたが、開発は初めからうまく行かなかった。

XP-54は内翼にはラジエーターとインタークーラーが収められ、燃料タンク、武装、パイロット、エンジンの全てが胴体に集中的に配置されていたが、いざ作業が進むと、重量は予定の3,856kgからたちまち倍以上の8,165kgにまで膨れ上がってしまった。

エンジン自体の重量増加に加え、24気筒の巨大なエンジンを冷やすためには大型のラジエーターが必要であり、結局これが内翼全体を占め、空力的洗練にも制限を与える事になったのである。

実際に形になってみると、それは巨大でいささか怪物じみたものになっており、社内ではスウーズ・グース（白鳥と鵞鳥の雑種）と呼ばれるようになった。

武装はコルト・ブローニングM2 0.50インチ(12.7㎜)機銃6挺（各500発）を機首に装備したが、特徴的なのはこれらを上方に3°、下方に6°動かせるようになっている事だった。これで機体を水平に保ったまま、地上の掃射や上方の敵機の攻撃が出来るというものだったが、そのための余分な装置も又重量を押し上げた。

1942年3月11日には試作2号機の製作が発注されたが、この時武装の変更が行なわれ、機銃を2挺に減らして、替わりにオールズモビルのT-9 37㎜砲2門（各60発）を装備する事になった。

可動装置も残されたが、上方にも作動するのは機銃だけで、37㎜砲は下方にのみ作動する事になった。この武装のためには、特殊で複雑な構造の照準器も用意されていたが、実際にはテスト中、武装が搭載される事はなかった。

その後も続いた重量増加の結果、全ての性能が予定を下回り、最高速度も予定値の820km/hには到底及ばないであろう事が明らかとなったため、エンジンにターボ・スーパーチャージャーを取り付け、コクピットを与圧式として、高々度戦闘機への方向転換が図られた。

このためキャノピーは側面の窓がスライド式に開けられる他は完全に機体に固定され、パイロットの乗降は胴体下面のハッチから行なわれる事になった。ここの設計も凝っており、レールに取り付けられた座席がモーターによって昇降する仕掛けだった。これは射出座席の先駆けでもあり、緊急時には座席ごと脱出出来た。

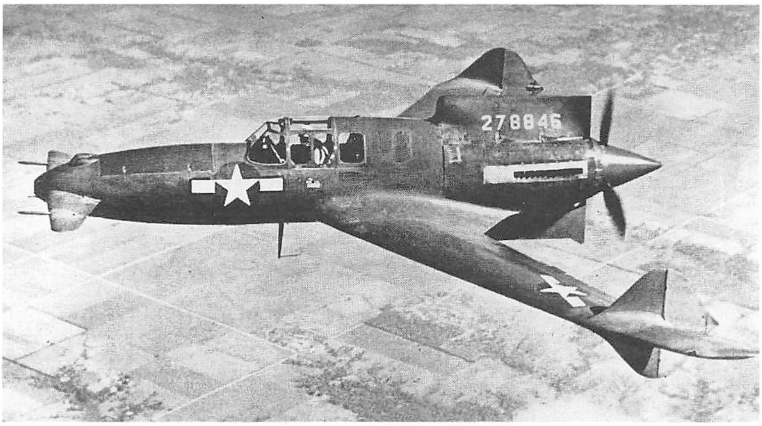
試作1号機(41-1210)は漸く1943年に入って完成したが、ヴァルティー・フィールドでは狭すぎたため、初飛行は1月15日にモハヴィ砂漠で行なわれた。

その後オンタリオとライト・フィールドでテストが続けられ、10月28日に飛行が86回、計63時間10分に達したところで、トラブル続きのエンジンがついに修理不能となった。

試作2号機(41-1211)は1号機の部品の一部も使用して完成し、翌年5月24日にヴァルティー・フィールドからノートン基地に飛行したが、そこでエンジンが壊れてしまい、2号機にとってこれが最初で最後の飛行となった。

軍はついにXH-2470に見切りを付けたため、XP-54自体のテストも継続は困難となり、事実上開発は打ち切りとなった。

さらに、エンジンを2,350馬力の42気筒6重星型空冷という怪物、ライトR-2160トーネードに換え、XP-68として開発する計画もあったが、XP-54の低性能と、既にP-47やP-51が充分な働きを示していた事から、これも実現しなかった。



飛行中のXP-55アセンダー（2号機）。



XP-55アセンダー（3号機）。

## カーチスXP-55 アセンダー

カーチス・ライト社は各社の中で、最も多くの機種を提出したが、その中でも先尾翼式（カナード）で後退翼を持ったP-249Tが、ヴァルティーに次ぐ801.2点を獲得して、第2位となった。

第1次大戦後に数々の戦闘機を送り出して、米戦闘機メーカーの「名門」として自他共に認める所であったカーチスは、当時P-36、P-40と久々に陸軍主力戦闘機の座を確保して、面目躍如の感があった。しかし、同時に諸外国の新鋭戦闘機開発の急激な進展に危機感を抱いていたのも確かで、P-40の改良に加え、前述のようにその後継機の開発も進めていた。これが、同社がこのようなラディカルな機体のデザインを試みる事になる背景だった。

P-249TはP-36やP-40の設計を担当したドノヴァン・バーリンではなく、カーチス・ライト・セントルイスのE.M.〝バド〟フレッシュのチームによって設計され、軍との最初の契約は1940年6月22日に結ばれた。

しかし、全金属製の1/4風洞モデルを使い、600回以上繰り返されたテストで得られたデータは、軍を満足させるものではなく興味は失われかけた。このためカーチスは自費を投じて、鋼管羽布張りの胴体に主翼は合板張り、275馬力のメナスコC68-5エンジンを搭載した飛行可能な実物大模型、モデル14Bを作成し、テストを継続した。これが再度、軍の関心を呼ぶ事に成功し、1941年11月28日に新たな契約が結ばれ、モデル24Bには42-39347のシリアルナンバーも与えられた。

テストはミュロック基地（現在のエドワーズ基地）で11月から翌年5月まで行なわれ、169回の飛行を事故もなくこなす事が出来た。安定性の不良といった欠陥は細部の改修でかなり改善され、1942年7月10日にXP-55アセンダー（上昇するもの）として3機の試作が発注された。

XP-55がぶつかった最初の問題はやはりエンジンであった。P＆W H-2600が前述のような状態であったため、カーチスはこれを早々に切り換えたが、選ばれたのは元々10年も前に開発されたアリソンV-1710（液冷V型12気筒）だった。これは信頼性は高かったが、1,275馬力と出力は大幅に減少し、プロペラも当初予定していた2重反転式ではなく、通常の3翅のもので充分となった。因みにプロペラはカーチス・エレクトリック製（直径3.05m）で、パイロットの脱出時には投棄する事が可能だった。

1号機(42-78845)は列車でスコット・フィールドに運ばれ、2日間の地上滑走テストの後、1943年7月13日に初飛行が行なわれた。

最も問題とされたのは機首の昇降舵の効きが悪い事で、直ちに面積が15パーセント増大された（余談だが、XP-55の「水平尾翼」はオールフライング式で水平安定板を持たない為、厳密にはカナードとは言わない）。

この他に運動中に突然発生する偏揺れや失速傾向があり、11月15日に失速時の縦揺れ傾向に対するスポイラーの効果を調べるためのテスト中、機体は急激に失速し、引っ繰り返った状態でエンジンが停止し、そのまま墜落した。パイロットは脱出したが、機体は地面に激突し炎上した。

カーチスはこの事故にかなり慌てたが、テストで得られたデータは順次、次の2機に生かされ、まず失速傾向を改善するために主翼端が61cm延長され、後縁にはトレールロンと呼ばれる補助エルロンが取り付けられた。昇降舵の作動角度は増大され、宙返り状態でもより長時間燃料が供給できるような改良も施された。

2号機(42-78846)は1944年1月9日、3号機(42-78847)は同年4月25日に初飛行したが、後者は機首に0.50インチ機銃4挺（各200発）を装備していた。

エンジンの変更で当初予定された800km/hは不可能だったが、640km/hは達成し、10月17日に提出されたテスト報告でも評価は必ずしも悪くはなかったが、まだ不満足な箇所は少なからず指摘された。後方に配置されたエンジンの冷却は充分でなく、地上ではオーバーヒートし易かったし、空中でも失速傾向と安定不良で操縦は容易とは言えず、縦揺れのために正確な照準は難しかった。

テストは翌年も断続的に続けられた




ノースロップXP-56（2号機）。

が、終戦前に3号機はライトフィールドで墜落し、開発は終焉を迎えた。

設計スタッフはジェットエンジンの搭載も検討したというが、軍に認められなかった。

唯一生き残った2号機は、現在NASMでレストアを待っている。

## ノースロップXP-56 ブラックブリット

ヴァルティー、カーチスに次いで選ばれたのはノースロップの無尾翼機、モデルN-2Bで、得点は725.8点だった。

設計者のジョンK.ノースロップは第1次大戦中からロッキードで設計を担当していたが、ベガを完成させた直後の1928年に独立し、以後、アルファに始まる一連の単発旅客機で名を知られるようになっていた。

彼は1923年以来全翼機に対する興味を抱き続け、ロッキードを離れて最初に設計した機体も、2本のブームで接続された尾翼を持つものの、コクピットを中央部に埋め込んだ全翼機だった。ノースロップ社は実際には他社の傘下にあったため、設計には制限があったが、1938年に完全に独立すると、再び全翼機の設計を始めた。

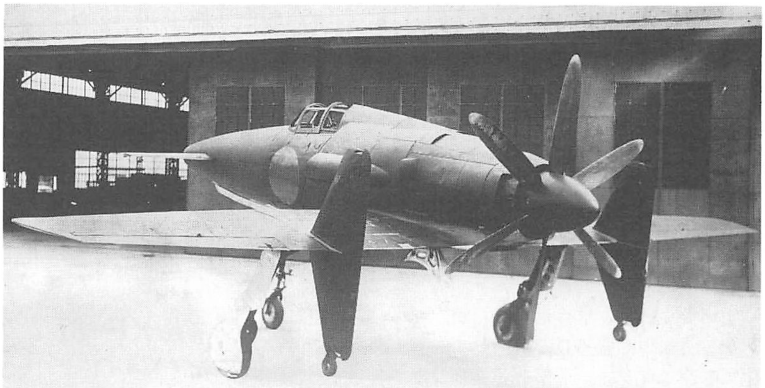
これはN-1Mといい、65馬力のライカミング O-145 2基を装備した小型全翼機だったが、N-2Bの設計開始時にはまだ完成していなかった。

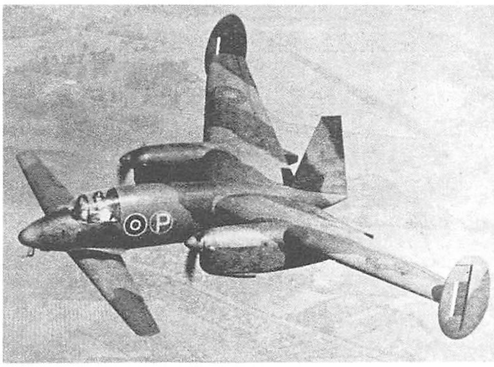
N-2BにはXP-56の呼称が与えられ、1940年6月22日にデータの提出と、風洞モデルのテストに対する契約が交わされた。

N-2BのデザインはほぼN-1Mの中央部に、細長い卵形の胴体を取り付けたような形状で、エンジンは他の2機同様プッシャー配置となっていたが、これは全くの偶然だった。

エンジンはこれにもP＆W H-2600が予定されていた。仕様書にH-2600の使用が明記してあったわけではないのだが、記されている条件を満たすエンジンはこれだけだったのである。

XP-56では当初H-2600は2号機以降に用いるという事で、とりあえず2,000馬力のプラット・アンド・ホイットニー空冷18気筒2重星型R-2800ダブルワスプが選ばれた。





カナード機はライト兄弟のフライヤーを始め、創草期にしばしば試みられた配置で、大戦期には日本の震電（写真上）の他、イタリアではアンブロシーニ、イギリスではマイルズが試作しているが、軍用機として成功したものはなかった。左のマイルズM.39Bは爆撃機として設計されたが、これ以前には単発の研究機、M.35があった。カナードが軍用機として成功したのはサーブ・ビゲンが最初だが、今後は戦闘機デザインの主流になろうとしている。

1/5の模型を使った風洞実験は9月9日に開始された。事故で模型が破損したため実験は中断されたが、それまでのところでは、結果は「全く満足すべきもの」であったという。

このレポートを受けて、同月26日にモックアップと1機の試作型(41-786)が発注された。

エンジンでは、H-2600の開発が中止されたばかりでなく、R-2800も引き渡しが遅延したが、1941年7月15日にはモックアップの視察が行なわれ、関係者はその先進的なデザインにかなり良い印象を受けた。

エンジンの遅延のため、XP-56の原型ともいえるN-1Mを用いた飛行テストが9月に実施され、列席したアーノルド将軍らに感銘を与えた。この頃ノースロップは、後にB-36を生み出す事になるMX-140という超長距離爆撃機計画にも参加していたが、この飛行テストにより彼はXB-35全翼爆撃機を受注する事が出来た。

これでノースロップは同種の2つの機種の開発を行なう事になり、スタッフのやりくりや、軍とのコストに関するゴタゴタを経て、1942年2月13日に試作2号機の契約を交わした。

XP-56の斬新さは外形に止まらず、材料には世界で始めて全体にマグネシウム合金を使い、接合にはヘリウムを用いた、ヘリアークと名付けられた特許の溶接法が駆使された。

プロペラはカーチス・エレクトリックの2重反転式6翅（直径2.90m）で、緊急時にはシャフトに仕掛けられた爆薬で切り離す事が出来た。

主翼は、取り付け角が4°、前縁の後退角が28°58′、上反角が6°、主翼端には垂直安定板の役割を持たせるために6°の下反角が付けられていた。

実際に武装は搭載されなかったが、予定では0.50インチ機銃４挺（各400発）にイスパノ・スイザM-2 20mm砲２門（各 100発）が機首に装備される予定だった。

１号機の滑走テストはホーソーンで1943年４月６日に始まったが、高速時、急激に危険な偏揺れが発生し易い事が判明してテストは中断され、油圧ブレーキに改良が加えられた。

次いでミュロックへ送られたが、ギアボックスの固定不良で、振動テスト中にドライブシャフトがひどく飛び出してきてしまい、飛行は延期となった。

代替エンジンがすぐには入手出来なかったため、初飛行はR-40C戦闘機３種中最も遅れ、漸く９月８日の事だった。

この日の短い２度のテストの結果、XP-56は非常に操縦し難く、さしあたり方向安定性を改善するために、垂直安定板の面積の増大が提言され、実際にこれは４倍の大きさとなった。

その他の改修も施され、10月８日に地上滑走テストが行なわれたが、左タイヤがパンクし、機体は操縦不能に陥って、後ろ向きに２回半宙返りをし、地上に激突大破した。パイロットは座席ごと投げ出されたが、軽傷で済んだ。

２号機はタイヤを新型のものに換えるとともに、各所に改良が加えられたため、完成は予定より２か月程遅れ、1944年１月となった。さらにミュロック乾湖はこの季節、モンスーンのために本当の湖となってしまうため、テストは３月23日からローチレークで開始された。

テスト飛行の結果、以前からの機首下げ傾向が残っていたため、重心位置を僅かにずらして次のテストが行なわれた。４度目のテストはこれまでよりうまく行き、高度1,370mまで上昇し、速度も予定値には遠く及ばないとは言え400km/hに達した。

その後数回の飛行テストを繰り返して２号機はノースロップへ戻されたが、一向に改善されない性能にスタッフの希望はほぼ挫折した状態になっていた。

その後NACA（後のNASA）で、XP-56はなぜ所期の速度を出す事が出来なかったか、詳しいデータを得るためにモフェットフィールドの12×24mの風洞で実機テストを行なう計画が立てられたが、NACAは他の実験で忙しく、一時延期されたものの、結局実現しなかった。

ノースロップもXB-35の開発が忙しくなり、XP-56は自然に忘れ去られていった。終戦を迎えてからは各所を転々とし、NASMに長い間保管されていたが、1985年にノースロップ社に返還され、現在は元社員の手によりレストアされ、タキシングが可能な状態で保管されている。

XP-56には公式には名前が付けられなかったが、開発中、関係者からはブラック・ブリット（黒い弾丸）の他、ダンボ、バンブル・ビー（マルハナバチ）等と呼ばれていた。

## マクダネルXP-67 ムーンバット

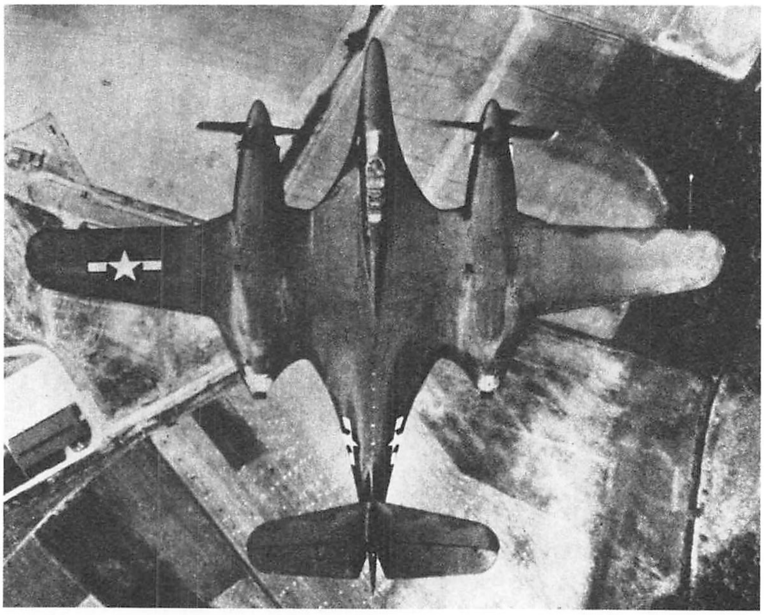
R40-Cに「入選」という形で開発が進められた機体は上記の３種だけである。しかし点数は低かったものの、斬新な設計が着目され開発に至った機体があった。それがマクダネル社のモデルⅠである。

同社はマーチンを離れたジェームズ・マクダネルによって1939年６月に発足したばかりの新興メーカーで、まだ実績のない同社にとってR40-Cはまたとないチャンスだった。

マクダネルのモデルⅠは上位３種とは異なり機体は通常の配置だったが、動力の伝達法が変わっており、胴体中央部に配した１基のアリソンV-3420（このエンジンについてはP-75の項参照）から特殊なドライブギアを介して、両翼のプッシャー配置のプロペラを駆動するというものだった。審査ではこの案のFOMは466.4点で、コンチネンタル・エンジン装備型のP-39に次いで、25機中21位という成績だった。それでも軍はとりあえず啓発の意味も含め、設計の継続を認めたのである。

マクダネルは1940年６月30日にモデルⅠの改良型と、より無難にまとめたモデルⅡの案を提出するが、これらも共に拒否されてしまった。その後エンジンの胴体配置を止め、通常の牽引双発式としたモデルⅡaが翌年４月24日に提出され、漸く認められて５月５日にモックアップの契約が結ばれた。

モックアップの視察はそれからおよそ１年後の1941年４月半ばに行なわれ、９月30日にはXP-67として２機の試作





マクダネルXP-67ムーンバット（バット）。

が発注された。

マクダネルは自社の将来がかかったXP-67の風洞テストを、NACA、デトロイト大学、軍の協力も得て、可能な限り繰り返し、空力的な洗練度を高めていった。

XP-67の胴体、主翼、エンジンナセルはデリケートな３次曲面で融合し、非常に特異なスタイルとなった。

コクピットは与圧式、エンジンはコンチネンタルの液冷倒立V型12気筒IV-1430-17（左）/-19(右）で、ジェネラル・エレクトリックのD-23ターボ・チャージャーを装備していた。プロペラは当初は４翅のカーチス・エレクトリック（直径3.25m)だったが、後にエアロ・プロップのモデルH-20(直径3.35m)が使用された。

武装は当初0.50インチ 6挺に20mm砲４門の予定だったのが、ヨーロッパ戦線の状況に触発された軍の要求で、対爆撃機迎撃用にオールズモビルのM-4 37mm砲６門（各45発）に変更された。さらに後には75mm砲の搭載も検討されていた。

度重なる軍の仕様の変更や、風洞テストの繰り返し、ダクトのデザインに起因するエンジン冷却の問題等で、開発は遅延した。

与圧システム等を除き、１号機(42-11677)が完成したのは受注から２年以上が過ぎた1943年12月で、地上テストに次いで、翌年の１月６日に初飛行が行なわれた。

果たして、地上テスト時から火を吹いていたエンジンはこの時も加熱し、テストは15分で打ち切られた。

この月の下旬に行なわれた２回目と３回目のテストは成功裡に終わったが、４回目の飛行では離陸直後に左のエンジンが火を吹き、不時着した。

機体は修理と同時に、垂直尾翼の30cm延長といった改造も施され、５月中旬には陸軍パイロットによるテスト飛行が実施された。

この結果、運動性は既存の戦闘機に劣り、計算値よりも速い速度で失速する事等が指摘された。又、エンジンのパワー不足に起因する欠点もいくつか挙げられた。

XP-67は重量の増加で自重が８トンに達しており、マクダネルは２号機用にはアリソンV-3420又はパッカード・マーリンとジェット・エンジンとの併用を申し出ていたが、認められていなかった。

余談だが第２次大戦で最も重かった戦闘機は、一時XP-67のライバルと目された事もあるロッキードXP-58で、3,000馬力エンジンを２基備えているとは言え、自重は14トンを越えていた。

１号機最後の飛行は９月６日に行なわれた。高度3,000mで右エンジンの不調に気付いたパイロットは冷静に降下したが、間もなくエンジンは火を吹いた。着地はうまくいったが、右ブレーキの故障で機体は左に回頭して停止、パイロットの脱出後、機体は横風の中で炎上した。

もはや大戦の趨勢も決定し、爆撃機迎撃機の必要性はなくなっていおり、XP-67の開発は中止された。

２号機(42-11678)は1943年10月に15%が完成した所で作業の中断が命じられていたが、これも当然再開される事はなかった。

XP-67に軍が拠出した費用は474万ドル以上だったが、失敗に終わったとはいえ、マクダネル社にとって貴重なデータと経験を提供し、同社のその後を実績を見れば、これがR-40Cが残した唯一の成果かも知れなかった。

### 陸軍試作戦闘機キットリスト

| | |
|---|---|
| セバースキーXP-41 | 無し |
| カーチスXP-42 | エアモデルⓥ |
| カーチスXP-46 | エグゼクフォームⓥ |
| ロッキードXP-49 | 無し |
| グラマンXP-50 | ミドリ／オダカ／エンテックス、エアフレームⓥ、フォーマプレーンⓥ、チェコレジンⓡ |
| ヴァルティーXP-54 | チェコレジン／エアモデルⓡ |
| カーチスXP-55 | エアモデルⓥ、ウイングスⓥ、チェコレジンⓡ、ビクトリア・プロダクツⓥ、MPM、トライアングルⓡ1/48、コンバットモデルⓥ1/32 |
| ノースロップXP-56 | エアモデルⓥ、エグゼクフォームⓥ、チェコレジンⓡ、トライアングルⓡ1/48、コンバットモデルⓥ1/32 |
| ロッキードXP-58 | エグゼクフォームⓥ |
| カーチスXP-60 | 無し |
| カーチスXP-62 | 無し |
| マクダネルXP-67 | レアプレーンⓥ、チェコレジンⓡ、コンバットモデルⓥ1/48 |
| リパブリックXP-72 | 無し |
| フィッシャーXP-75 | レアプレーンⓥ |
| ベルXP-77 | エアフレームⓥ、チェコレジンⓡ、12スクェアード |
| ノースロップXP-79 | 無し |
| ヴァルティーXP-81 | 無し |
| ベルXP-83 | 無し |

ⓥはバキュームフォームキット、ⓡはレジンキット、無表示はインジェクションキット。スケールの表示がないものは全て1/72。

## II.フィッシャーP-75A イーグル

1942年８月、いよいよアメリカはヨーロッパ戦線に直接介入し、B-17Eがイギリスから作戦を開始した。

当時、米陸軍戦闘機隊の主力はまだP-40とP-39で、ドイツではFw190A-4、イギリスではスピットファイアMk.IXが既に出現していた事を考えると、これでは如何にも見劣りがした。

新鋭戦闘機ではP-38Fの配備が進み、この月に大西洋上で初戦果を記録していたが、P-47Bは第56戦闘グループに配



XP-75イーグル（4号機と思われる）。

備され本国でトレーニング中、米軍向けムスタングは1号機の完成が間近だったが、まだ攻撃機A-36Aとしての採用であった。

さらに当時、アメリカにおいてはドイツ軍の米東海岸への攻撃や小規模な侵攻が真剣に憂慮されていた事もあり、米陸軍航空隊は、敵の戦闘機又は爆撃機の編隊に対し甚大な損害を与え得る強力な火力と、極めて優れた上昇力を持った迎撃機の必要性を感じていたのである。

この要求に応じたのがジェネラル・モータースであった。

戦争は例え自国が巻き込まれたものであってもメーカーにとっては又とない「稼ぎ時」である。アメリカにおいても数多くの優れた工業技術を擁したメーカーが急遽兵器の生産に携わり、結局枢軸国の工業力を圧倒する事になる。

アメリカの自動車産業のトップであるジェネラル・モータースも、既に民間向け自動車の新規開発は中止し、その持てる力の殆どを各種の兵器の生産に向けていた。

ジェネラル・モータースは航空機の設計には携わっていなかったが、その傘下には当時アメリカで液冷エンジンのトップメーカーだったアリソンや、プロペラメーカーのエアロプロダクツがあり、本格的な空への進出が試みられたのである。

基本的なアイデアはカーチスでP-36やP-40を設計していたドノヴァン・バーリンによってまとめられた。

これによれば、この新型機は契約から1号機の完成までを6か月の短期間で済ませるために、主要パーツを既存の機体から流用する事とされた。

エンジンは勿論アリソン製で、機体の製作はデトロイトのフィッシャー・ボディで行なわれる事になった。

バーリンの案は9月24日に提出されたが、この寄せ集め機に対する関係者の反応はかなり懐疑的なものであった。

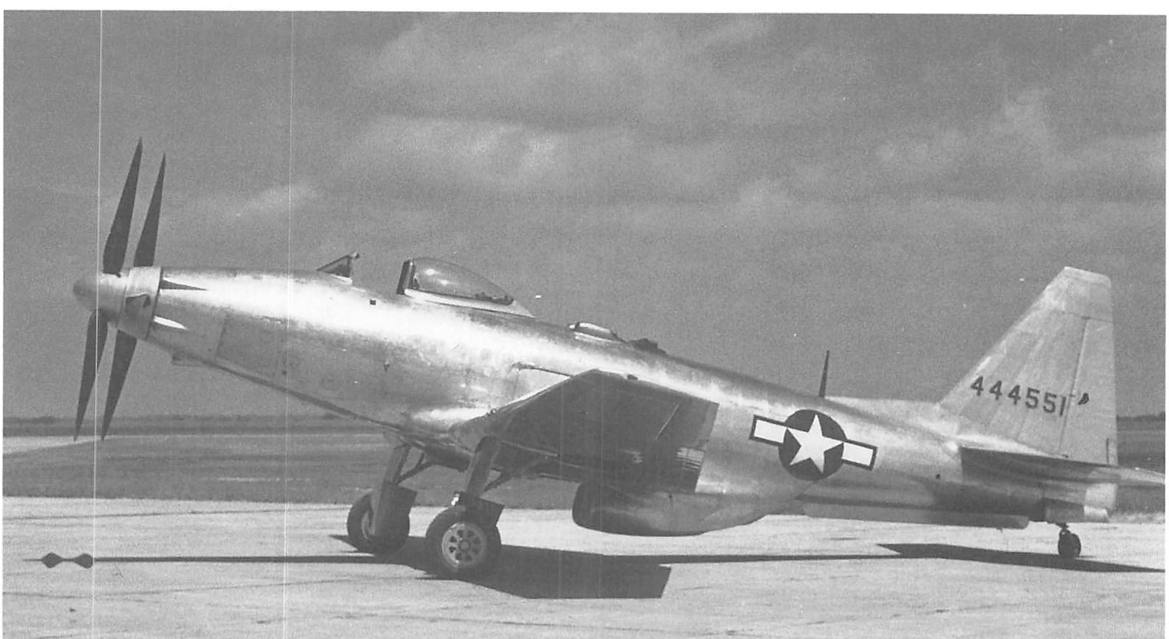
それでも、翌月7日に正式にメーカーからの提出があると、僅かその3日後に許諾が下りている。これは前述の危機感がかなり切羽詰まったものであった事の証明だろう。

当初の計画では、フィッシャーで新たに設計された胴体に、ムスタングの主翼を逆ガル式に取り付け、P-40Eのキャノピーと計器板、A-24（ドーントレスの陸軍型）の脚回りと尾翼を移植する事になっていた。

エンジンは極秘扱いのアリソンV-3420（液冷V型24気筒）をミドシップ配置とし、延長軸でエアロプロダクツ製の6翅プロペラを2重反転させる仕組みだった。

このXP-75イーグルと命名された機体に対し、軍需管理局のグロス大佐が挙げた要求値は、最高速度は高度6,100mで708km/h、初期上昇率は毎分1,700m、実用上昇限度11,600m、翼面荷重は171kg/m²という厳しいものだった。

モックアップの視察は1943年3月と5月に行なわれたが、最初の2機のXP-75-GM（GMはジェネラル・モータースのフィッシャー・デトロイト工場製を示す）はメーカーの不慣れによる開発の遅延等から当初の計画と異なり、主翼は旧式なP-40のものを使い、逆ガル配置も取り止めになっていた。脚回りはA-24ではなく、海軍のF4Uのものを流用していた。武装は0.50インチ(12.7mm)機銃を左右の主翼に3挺ずつ、機首に




P-75イーグル（3号機）。

４挺の計10挺が予定されていたが、これは結局搭載される事はなかった。

その外観は借り物のパーツを不器用に繋ぎ合わせた、P-39を引き延ばしたような冗慢なものだった。

この頃既に当局には、さらに大幅な遅延が見込まれる事から、開発の凍結を具申する者も現れ始めていた。しかし、前線からの要望で長距離飛行の出来る護衛戦闘機を求めていた軍は、1943年６月６日の会議で、XP-75に燃料タンクを増設して護衛戦闘機として設計し直させる事を決定した。

その際さらに６機の試作機と、実に2,500機の量産型の発注が決定されたのである。楽天家のフィッシャーは、量産開始は1944年５月で、10月までには月産250機に達するだろうと発言したが、この契約には、量産機の性能が当初の要求値に達しなかった場合は全てがキャンセルされるという、厳格な付帯条件が付けられていた。

新たな６機の試作機はそれまでのデトロイト工場からクリーヴランド工場で製作される事になり、呼称はXP-75-GC（GCはジェネラル・モータースのフィッシャー・クリーヴランド工場製を示す）となった。

１号機（43-46950）の初飛行は1943年11月17日に高名なレーサー、ラッセル・ソウによって行なわれた。彼の印象は決して悪いものではなかったが、その後のテスト飛行の結果、操縦性が悪く戦闘機には向かない事が指摘され、諸性能は予定値を全面的に下回る事が判明した。

そのため、XP-75-GCの製作に当たっては、主翼の延長、尾翼の改修、ダイブリカバリーフラップの追加、冷却システムの大幅な変更等かなりの部分に手が加えられ、エンジンもV-3420-19からよりパワーアップしたV-3420-23となった。

イーグルに装備されたアリソンV-3420というエンジンは、その名が示す如くV-1710を双子式に２基並列につないで離昇時2,600馬力を出そうというものだった。

つまりイーグルの機体サイズもミドシップ配置も、このエンジンのサイズから必然的に導き出されたものだった。

ジェネラル・モータースとしては、このエンジンを使いたいがために機体の設計にまで乗り出したようなものであったのだが、ドイツのHe177の場合程ではないにしろトラブルが続発し、イーグルの開発を遅延させる一因となっていた。

イーグルの性能改善への努力は精力的に継続されたが、1944年４月８日には５号機が事故で失われ、７月26日には３号機が漸く676km/hの最高速度に達したものの、これも８月５日に失われた。しかし、上昇率は毎分914mとついに要求値に及ばなかった。

この年の５月に軍は、参戦以来膨大な数に膨れ上がってしまった開発機種の、思い切った絞り込みの検討を始め、その候補リストにはP-75も記される事となった。

数々のトラブルが充分に解決されぬまま、フィッシャーは開発を強行し、量産型P-75A-1の１号機（44-32161）は1944年９月15日に初飛行を迎える事になった。

P-75AはXP-75に比べ各所に改修が加えられ、キャノピーがP-47D から流用してきた水滴風防に替えられた事もあって、外見はそれなりに洗練されたものなっていた。

しかし、エンジンもついに所期の出力には達せず、最高速度は650km/h、上昇率は海面上で毎分730mとXP-75にも劣るものでしかなかった。

テストの結果、軍の結論は10月３日に出され、P-75Aの生産は30機迄とする事が勧告された。さらに27日には、完成間近になっている残り５機を含めた計６機を除き、P-75A全てのキャンセルが通達されたのである。

この初代イーグルのために軍が支出した総額は約910万ドル、もし2,500機の受注に成功していれば、ジェネラル・モータースは約２億5,900万ドルを手にする事が出来た。

因みに１機当たりの価格でみると、これはおよそP-47Dの２割り増し、P-51Dの２倍に相当する。

作例で作ったチェコ製のレジンキットについては下記の所へ問い合わせて頂きたい。
なお、MPMのXP-55アセンダーは読者プレゼントがあるので、108ページを御覧頂きたい。

AVIATION USK
602 Front St., Box97
Usk Washington 99180, U.S.A.

６機のP-75Aの行方だが、１号機は初飛行から１週間目にクラッシュ、２号機は風洞実験用、３号機はアリソンにテスト用に貸与、４、５号機はV-3420エンジンのテスト再開に備え、テストベッドとしてライトフィールドに保管、６号機は結局完成に至らず、パーツ取り用となった。

シリアルナンバーはXP-75-GMが43-46950及び43-46951、XP-75-GCが44-32161から44-32166、P-75A-1が44-44549から44-44554である。

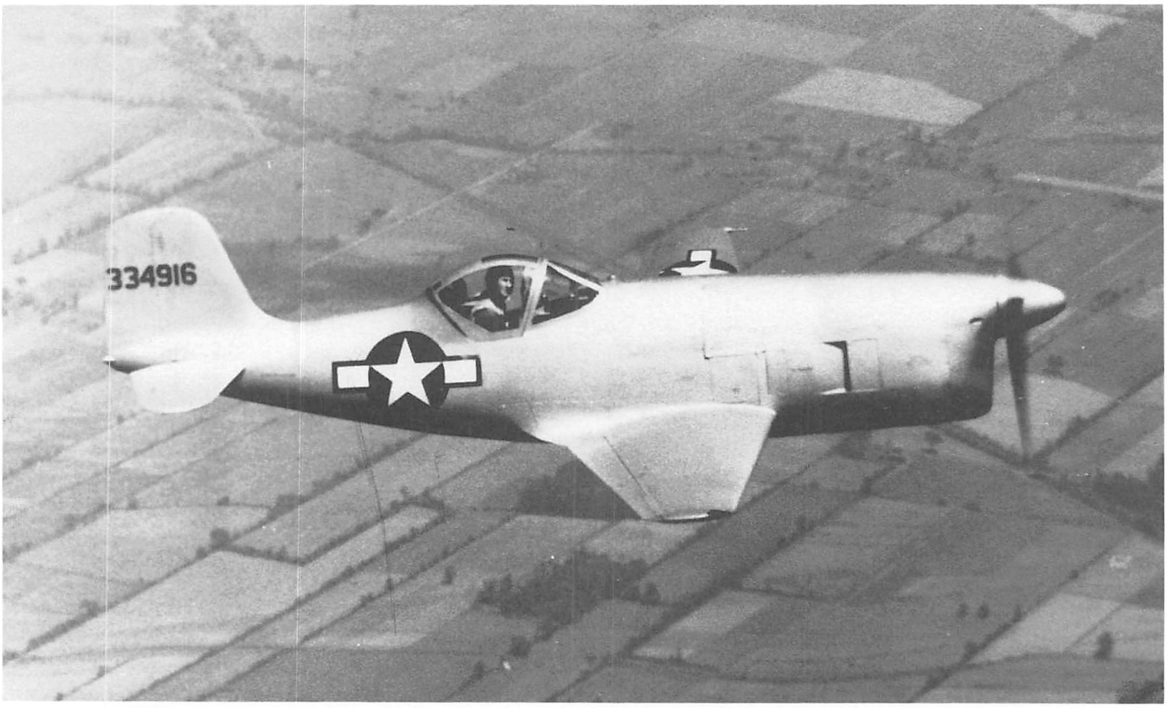
初代イーグルは１機を残してスクラップとなり、現在はデイトンの米空軍博物館にP-75の５号機が展示されている。

## Ⅲ.ベルXP-77

XP-77は第２次大戦中に設計された中でも最も小型軽量の木製戦闘機だが、潤沢な天然資源を持つアメリカが作ったという点で、注目すべき存在だった。

ベルが社内呼称をTri-4という小型戦闘機の開発を始めたのは1941年の事である。当時、既に対英作戦で挫折を体験していたとは言え、ドイツの無敵神話、そして直接的には、まだ決定的な対抗策が見出されておらず、英国に対する経済封鎖に猛威を奮っていたUボートへの脅威は、米市民の間にかなり浸透していたらしい。

戦争の行方が読めない状況下、将来どれ程の兵器が必要となるか判らない以上、アメリカにおいても非戦略物資を用いた兵器の設計に関心が向けられるのも、不思議な事ではなかった。



ベルXP-77（２号機）。

そういった風潮の中で、新機軸を取り入れる事の好きなベル社の設計チームは、非戦略物資である木材を用い、より僅かなマンアワーで生産出来る高性能戦闘機の設計を開始したのである。

ロバート・ウッズに率いられたチームが設計した機体、Tri-4の構造は、木製の構造材に積層合板を釘と接着剤で固定し、その表面に保護用に木綿の羽布をドープで張り付けるというものだった。降着装置は先のエアラキューダやエアラコブラと同じく、３点姿勢式となっていた。

設計期間中、日本が中国戦線に格闘性能に秀でた新戦闘機を登場させたというニュースがスタッフに伝わり、彼らはその存在をかなり意識したという。

彼らは、小さなTri-4はドッグファイトにおいて、敵を制する機敏な行動が取れると考えていた。

武装はプロペラ軸を通して発射する20㎜砲１門に、0.50インチ機銃２挺の機首への配置が計画された。

問題だったのはエンジンで、当時アメリカにはこれ以外に適当なものが存在しないという理由で、空冷V型12気筒で過給器付きのレンジャーV-770-9が選ばれた。この500馬力のエンジンで、Tri-4は640㎞/h以上の速度を出せる筈だった。

ベルは1941年10月30日にTri-4の案を提出したが、さすがに陸軍も面食らったらしく、暫くは回答は得られなかったが、漸く翌年５月16日になって25機の発注が行なわれた。

この際、地上攻撃にも使えるように、小型爆弾及び爆雷が装備出来るようにする事が指示された。

Tri-4はD-6という新しい社内呼称の下で作業が開始されたが、間もなくトラブルにぶつかった。

過給器付きで12機筒のV-770-9は、それまで軽飛行機用の６機筒エンジンを作ってきたレンジャーにとっては手に余るもので、予定どおりの供給は困難だったのである。

そのため止むなく海軍向けのV-770-6をV-770-7として使用する事になったが、これは過給器が付いていないために、高度3,700mを越えると性能がガタ落ちになるというものだった。

しかもこれすら数が揃わず、予定のテストの期日までに間に合うのは６基だけだったため、軍の発注数も６機に減らされた。この時点で本機には軍の制式名称、XP-77が与えられた。

作業が進むにつれ機体の重量は予定を超過してしまい、20㎜砲の搭載を取り止めにし、細部の設計を変更する等、重量の軽減に時間が割かれた。

この開発の遅延に伴いコストが上昇し、その結果軍の発注数はついに２機にまで減らされてしまった。

この頃になると軍はP-47やP-51の成功で、一方ベルはP-63やP-59の開発に忙殺され、共にXP-77の開発に興味を失っていたのは明らかだった。

試作１号機の初飛行は、発注から２年近くが経った1944年４月１日の事だった。テスト飛行を行なってみると、XP-77は安定性を欠き、エンジンの取り付け方の問題によると思われる激しい振動があり、高速時にはエルロンにフラッターが発生した。

１号機及び間もなく完成した２号機はライトフィールドとエグリンフィールドで軍の評価を受けたが、まずそのV-770エンジンはやかましい事でパイロットに、取り扱い難い事で整備員に嫌われた。機体は充分な強度を持っていなかった為、一切の急激な運動は制限されていたが、10月２日、２号機のテスト中にパイロットがインメルマン・ターンを行なうと、機体は失速し錐揉みに入ってしまった。パイロットは脱出して無事だったが、機体は地面に激突して失われた。

これが事実上XP-77の終焉となり、開発は12月に正式に打ち切りとなった。V-770は後に大戦期最悪のアメリカ製航空エンジンという評価を得る事になったもので、これを選んだ時点でXP-77の命運は決定したとも言えた。それより基本的なコンセプトが既に的外れであり、仮に本機が優れた性能を発揮したとしても大戦末期にそれを生かす場所はどこにも見出せなかっただろう。

残った１号機は暫く保管された後焼却処分にされ、結局XP-77は技術的にも用法的にも後に何も残す事なく消え去ったのである。

## 性能諸元

| | XP-54 | XP-55 | XP-56 | XP-67 | P-75 | XP-77 | P-38J | P-47D-22 | P-51D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　幅(m) | 16.41 | 13.42 | 12.95 | 16.76 | 15.04 | 8.38 | 15.85 | 12.42 | 11.29 |
| 全　長(m) | 16.69 | 9.02 | 8.38 | 13.64 | 12.60 | 6.99 | 11.53 | 11.00 | 9.82 |
| 全　高(m) | 3.96 | 3.53 | 2.03 | 4.80 | 4.72 | 3.33 | 3.00 | 4.32 | 4.17 |
| 翼面積($m^2$) | 42.36 | 19.42 | 28.42 | 38.46 | 32.24 | 9.29 | 30.42 | 27.87 | 21.90 |
| 自　重(kg) | 6,923 | 2,415 | 3,946 | 8,051 | 5,105 | 1,252 | 5,797 | 4,536 | 3,463 |
| 全備重量(kg) | 8,770 | 3,497 | 5,509 | 11,521 | 8,809 | 1,625 | 9,798 | 8,800 | 5,262 |
| 最高速度(km/h) | 820(612) | 800(640) | 748(400) | 760(652) | 708(650) | 640(539) | 666 | 697 | 705 |
| 巡航速度(km/h) | 507 | 483 | 637 | 435 | 402 | 435 | 466 | 563 | 583 |
| 上昇限度(m) | 11,300 | 11,100 | 10,000 | 11,580 | 12,190 | 9,140 | 13,410 | 12,800 | 12,770 |
| 上昇力(m/分) | 610/1 | 6,100/7.1 | 6,100/7.2 | 792/1 | 730/1 | 1,097/1 | 6,100/7 | 6,100/11 | 6,100/7.3 |
| 航続距離(km) | 805 | 1,022 | 716 | 4,561 | 1,850 | 1,046 | 4,184 | 1,448 | 1,609 |
| エンジン | XH-2470-1 | V-1710-95 | R-2800-29 | IV-1430-17/19 | V-3420-23 | V-770-7 | V-1710-89/91 | R-2800-21 | V-1650-7 |
| エンジン | 2,300 | 1,275 | 2,000 | | 2,600 | 500 | 1,425 | 2,300 | 1,490 |
| 武装(mm) | 37×2 | 12.7×4 | 20×2 | 37×6 | 12.7×10 | 12.7×2 | 20×1 | 12.7×8 | 12.7×6 |
| | 12.7×2 | | 12.7×2 | | | | 12.7×4 | | |
| 初飛行 | 43/1/15 | 43/7/13 | 43/9/8 | 44/1/6 | 44/9/15 | 44/4/1 | 39/1/27 | 41/5/6 | 40/10/26 |
| | | | | | (43/11/7) | | | | |

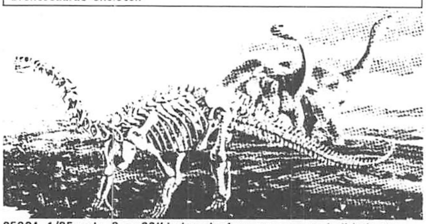
●最高速度は計算値。(　)内は実際の計測値。
●P-75で初飛行(　)内はXP-75のもの。
●P-38、P-47、P-51は比較のため掲載。また、その初飛行は原型機のもの。

日本総代理店（有）三晃産業 神戸市灘区将軍通1丁目4-4
TEL078-802-6440 FAX078-881-0535

## グレンコモデル

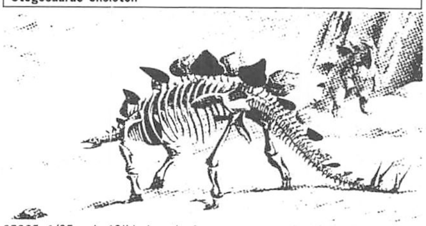
## Dinosaurs

Brontosaurus Skeleton



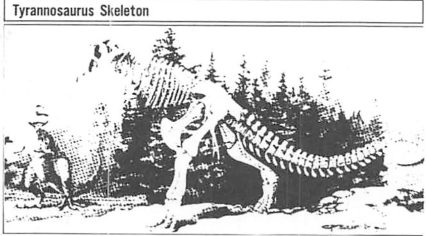
05904 1/35 scale Over 20" in length. Accurate, easy to build plastic model kit with 50 parts and extensive and easy to read educational packet included in each kit

Stegosaurus Skeleton



05905 1/25 scale 12" in length. Accurate, easy to build plastic model kit with 57 parts and extensive and easy to read educational packet

Tyrannosaurus Skeleton



05906 1/25 scale Over 16" in length. Accurate, easy to build plastic model kit with 47 parts and easy to read educational packet

### グレンコモデル
### 恐竜骨格模型シリーズ

値引きしました。直接大卸・卸致します。

| | |
|---|---|
| ブロンサウルススケルトン 1/35 | ¥2,400 |
| ステゴサウルススケルトン 1/25 | ¥2,400 |
| チラノサウルススケルトン 1/25 | ¥2,400 |
| ネアンデルタール人 1/8 | ¥2,400 |

| 品　番 | ★　飛　行　機　★ | 価　格 |
|---|---|---|
| 03101 | スピリット オブ セントルイス（1/48） | ¥1,600 |
| 04001 | ブリストル シカモア HC・14（1/72） | ¥2,000 |
| 04002 | ブリストル シカモア MK・51（1/72） | ¥2,000 |
| 04101 | グラマンダック J2F2（1/48） | ¥1,800 |
| 05001 | マーチン MB-2 爆撃機（1/72） | ¥2,200 |
| 05101 | アルバトロス D3（1/48） | ¥2,200 |
| 05102 | オーストリア アルバトロス（1/48） | ¥2,200 |
| 05104 | リパブリック シービー（1/48） | ¥2,200 |
| 05107 | デハビランド ベノム FB.4（1/48） | ¥2,200 |
| 05108 | デハビランド ベノム FB.1（1/48） | ¥2,400 |
| 05109 | フォーランド ナット F・1（1/48）8月 | ¥2,200 |
| 05110 | オースター AOP5（1/48）8月 | ¥2,200 |
| 05111 | オースター AOP6（1/48）11月 | ¥2,200 |
| 05112 | ヒンドスタン エイジート（1/48）8月 | ¥2,200 |
| 05201 | XVI コンバーチプレイン（1/32） | ¥2,200 |
| 05202 | バイアセッキ ZV-8P エアジープ（1/35） | ¥2,200 |
| 05501 | ビッカーズヴァイカウント（1/96） | ¥2,200 |
| 05502 | コンベア 880（1/126）9 | ¥2,200 |
| 05503 | SM-55（1/96） | ¥2,200 |
| 05504 | U・S 海軍飛行船（1/330） | ¥2,200 |
| 05505 | マーチン M-130 チャイナクリッパー（1/144） | ¥2,400 |
| 06101 | カーチス コンドル（1/81） | ¥2,700 |
| 品　番 | ★　宇　宙　★ | 価　格 |
| 05002 | リトルリーバー ロケット（1/72）5月 | ¥2,200 |
| 05003 | 月着陸船 5月（1/72） | ¥2,200 |
| 05103 | ジュピター C ロケット（1/48） | ¥2,200 |
| 05901 | エクスプロラー（1/6） | ¥2,200 |
| 05908 | 3段フェリー ロケット（1/288）5月 | ¥2,200 |
| 05909 | 原子力宇宙ステーション（1/300）5月 | ¥2,200 |
| 05113 | UFO（1/200）11月 | ¥2,200 |
| 05910 | 輸送ロケット 11月（1/200） | ¥2,200 |
| 05911 | コンベア オブザベーション（1/200）11月 | ¥2,200 |
| 07901 | 太陽宇宙ステーション（1/350）11月 | ¥3,300 |
| 05902 | コンベア VH（1/96）11月 | ¥3,300 |
| 品　番 | ★　人　形　★ | 価　格 |
| 05902 | U・S パラトルーパー（1/10）11月 | ¥2,200 |
| 05903 | U・S 海軍シール（1/8） | ¥2,200 |
| 05907 | 1940年代スペースマン・スペースウーマン（1/20） | ¥2,200 |
| 品　番 | ★　戦　車　★ | 価　格 |
| 06401 | PT-76 ソ連戦車（1/32） | ¥2,600 |
| 06402 | BTR-50 兵員輸送車（1/32） | ¥2,600 |
| 07401 | フロッグ3 ミサイル運搬車（1/32） | ¥2,600 |
| 品　番 | ★　船　★ | 価　格 |
| 05301 | U・S 沿岸警備隊救命ボート（1/48） | ¥2,200 |
| 07301 | 駆潜挺 U・WWI（1/72） | ¥3,300 |
| 08301 | U・S 戦艦 オレゴン（1/225） | ¥4,400 |



## ウイリアムス

| 品　番 | ★　飛　行　機　★ | 価　格 |
|---|---|---|
| 72-210 | マーチン B10 | ¥3,100 |
| 72-214 | ノースロップガンマ | ¥1,700 |
| 72-247 | ボーイング 247 | ¥3,100 |
| 72-346 | カーチス C46 | ¥4,200 |
| 72-424 | ダグラス DWC | ¥2,500 |
| 32-711 | ジービー R-1 | ¥3,100 |
| 32-121 | ウェルデル ウイリアムス | ¥3,100 |
| 32-460 | ロードロンレーサー | ¥2,700 |
| 32-426 | ジービー Z | ¥3,100 |
| 32-135 | セバスキー P35 | ¥3,300 |
| 32-F9C | カーチス スパローホーク | ¥3,500 |
| 32-118 | ショーンフェルト ファイヤー クラッカー | ¥2,700 |
| 48-3191 | コルベンスーパー エース | ¥1,700 |
| 48-661 | フォード フリバー | ¥1,700 |
| 48-161 | ピットカーン オートジャイロ | ¥3,500 |
| | 1/32 ホールズブルドックレーサー | ¥3,500 |

## サーティセカンドパラレル社（1/32大型ラジコン模型）

◎ドイツ Uボート VII型
◎VS-8 ドイツ高速輸送水中翼船（WWII）
◎ドイツ S-100 魚雷艇
◎ドイツ XXIII型 沿岸警備用小型潜水艦
◎USガトーバラオ艦体潜水艦
◎USオハイオ級 SSBN潜水艦
◎別売 機銃・大砲・魚雷
◎カタログ・価格表（送料込み710円）

## マスターキット

| 品　番 | ★　品　名　★ | | 価　格 |
|---|---|---|---|
| 98-010 | ビリーブ Be-12 チャイカ | 1/144 | ¥1,900 |
| 98-011 | KC97L | 1/44 | ¥1,900 |
| 98-012 | 737-300 ジェットライナー | 1/144 | ¥2,300 |
| 98-013 | 757-200 ジェットライナー | 1/144 | ¥2,600 |
| 98-018 | IAI-1123 ウエストウインド | 1/72 | ¥1,900 |
| 98-020 | IAI-1124N シースキャン | 1/72 | ¥1,900 |
| 98-015 | カマン HH-43F ハスキー | 1/72 | ¥1,800 |
| 98-019 | ミル Mi-6 フック | 1/72 | ¥3,200 |
| 98-014 | ウエストランドワイバーン | 1/72 | ¥1,900 |
| 98-017 | コンベア C-131E | 1/144 | ¥1,800 |
| 98-021 | 747-400 改造 | 1/144 | ¥1,800 |
| 98-016 | ヤク 28P ファイアーバー | 1/72 | ¥2,600 |



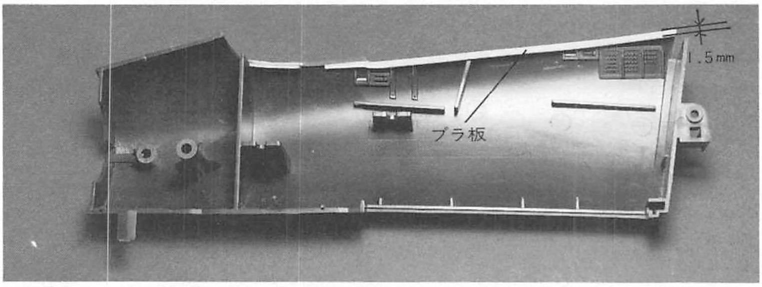
究極のビッグスケールキット

# タミヤ1/32 F-15Eストライクイーグルを作る!!

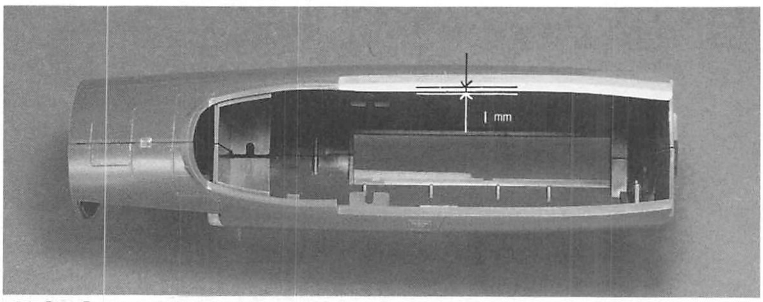
## その4. まだ胴体

製作／解説：阿部圭志

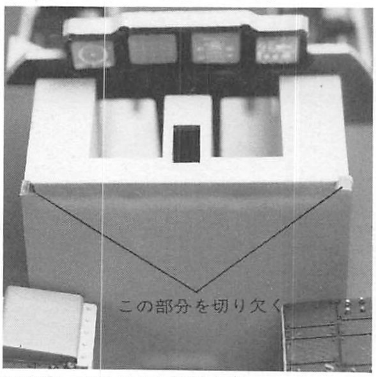
**コクピットは出来上がっただろうか？今月は胴体回りの工作へと進んでいく。**
**と、先月と同じ書き出しになってしまったが、そう、実は今月もまだ胴体の工作が続くのである。本当は主翼まで話が進むハズだったのだが〝主翼フェチ″のみなさんごめんなさいという事で、もう少し胴体をこねくり回してみた訳だ。**
**とはいっても、今回の作業もよりよい作品を目指すなら欠かせないものばかりなのだ。**



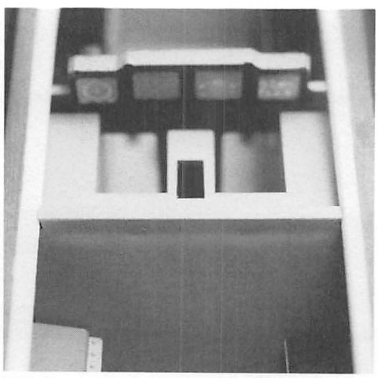

写真①：コクピットの縁を厚くする。



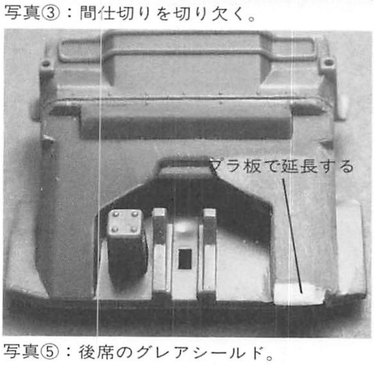

写真②：①を上から見たところ。




写真③：間仕切りを切り欠く。



写真④：切り欠きは現物合わせで調整。




写真⑤：後席のグレアシールド。




写真⑥：取り付けたグレアシールド。

雨続きの夏も終り、残暑らしい暑さも感じられないまま季節はもう秋になってしまった（この稿を書いている時点)。いつもであればこの時期のニュースで必ずといっていい程耳にするのが「今年のビールの消費量は霞ケ関ビル何杯分…」などと、あたかも日本国民総酒飲みとも思える様な話題が取り上げられていたのだが、今年は夏らしい日がほとんど無かったためかそれに代わって「冷夏による影響で野菜の値が云々…」とか、「バブル崩壊後の不景気がどうした…」などといった暗いニュースばかり耳にしている様な気がする。そんな日々の中でチマチマと模型を作っているなんてもっと暗くなっていく様な気がする。ああっ…。

### ーと、最初からー

暗い話で始まった連載4回目の今回は、前号の予告では各翼の工作や接合を紹介する予定だったのだが、1回目で紹介したコクピット部分が未完成のままだったので予定を変更して、まずはこちらの方から紹介してみたいと思う。

### ーで、今回はー

何をしたかというと、まずはパーツNo.のA2とA3の縁の部分がキットのままでは少々厚みが足りないため、プラ板を貼り付けて厚みを増してやる（写真①、②参照)。この時注意する事はプラ板をそのまま貼り付けるのではなく、内側に向かってだいたい60度位の角度を付けて貼ってやる。あとは接着した縁の平面部分(上面)を、あて木にペーパーを巻き付けてキレイに整形しておく。そして次は、縁の部分をプラ板で増積したのだから当然の事ながらコクピットフロアがキットのままだとパーツNo.A2とA3の中にキッチリと収まってくれないので、写真③の様にコクピッ

トフロアの前席と後席の間仕切り部分を切り欠いてやる。そうやって挟み込んだ状態が写真④である。

ここで注意する事は、コクピットフロアを入れて機首両側のパーツ (A2とA3) がスンナリと合わさる状態になる迄、切り欠き部分を現物合わせで調整してやる事である。ここで写真には写っていないが、この間仕切り部分もキットのままでは高さが低いので、0.5㎜のプラ板を貼り付けて高さを高くしておく。

## ーさて次はー

後席用のグレアシールド、パーツNo.F21の修整と機首パーツ (A2、A3) のディティールアップについて。

まずは後席用のグレアシールド (パーツNo.F21) の修整だが、これは写真⑤、⑥を見てもらった方が早いのでそちらを参照していただきたい。ここで注意する事は写真中で示した部分の削り合わせを、先程の間仕切り部分同様に現物合わせで行なう事くらいだろう。

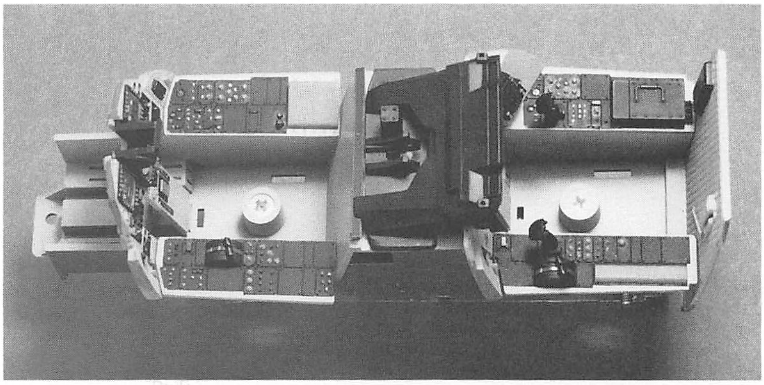
あとは、第1回目で紹介した各計器盤を所定の位置に接合して、前脚格納部のパーツ (D24) にネジ止めしてやるのだが(写真⑦)、この時に瞬間接着剤も併用してやればより確実な固定をする事が出来る。

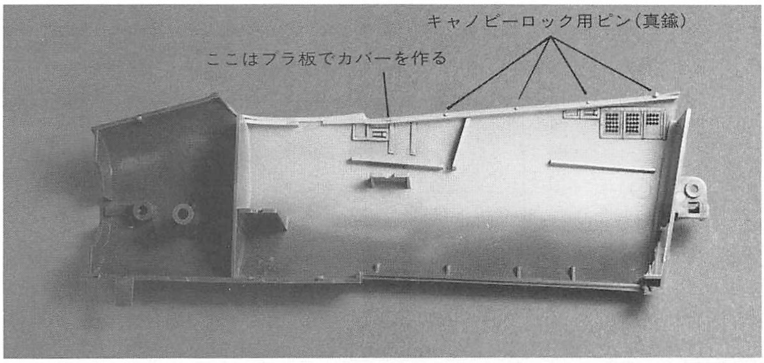
さてここで説明書では、前脚の取り付けをビスとナットで行なう様になっているが、これでは後々の作業性が悪くなってしまうので、今回は前脚 (金属部品) のビス穴を金ノコ等で切り開いて完成後に取り付けられる様にしておき、ビスとナットのみを先に取り付けておいた。この時、プラ部品に対してビスとナットを締め付けるのだから、締め過ぎによるプラ部品のたわみが出るため、充分に注意する事。やり方としては、まず2㎜ナットを取り付け位置に瞬間接着剤で固定しておき、次にビスを軽くネジ込んで先程ビス穴を切り開いた前脚部品を仮止めしてビスを締めて行き、同部品がスンナリと脱着できる位置になる様に締め具合を調整して、ナットのビス穴に瞬間接着剤を流し込んでやれば良いだろう。

それでは次に機着パーツのディティールアップについて話を進める事にしよう。と、こんな事を書くと「どんな事してんねん？」と思われそうだが、ハッキリいってそんな大したことはしてません。じゃ、どんな事をしたかというと「せっかくの1/32モデルだから」ということで、先程プラ板で厚みを増した、縁の部分にキャノピーのロックピンを真鍮パイプと棒を使って再現したっちゅう事ですわ。しかし、日本のプラ模メーカーはこういった所には気ィ使わんと、部分ばっか多くしてユーザーにしてみたら作り難いモンばっか出し過ぎとんのとちゃいまっか？ (なぜか急に関西弁)

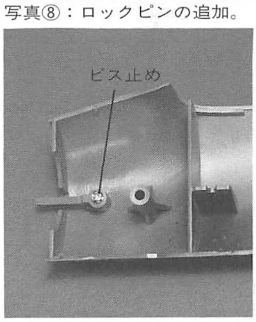
まっ、この辺は写真⑧～⑩を参考にしてチョ～ダイッ！ (お前は財津○郎かぁ？)

ここまで来たらあとは写真⑪の様に

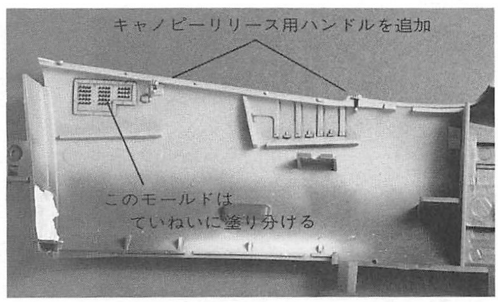

写真⑦：組み上がったコクピット。



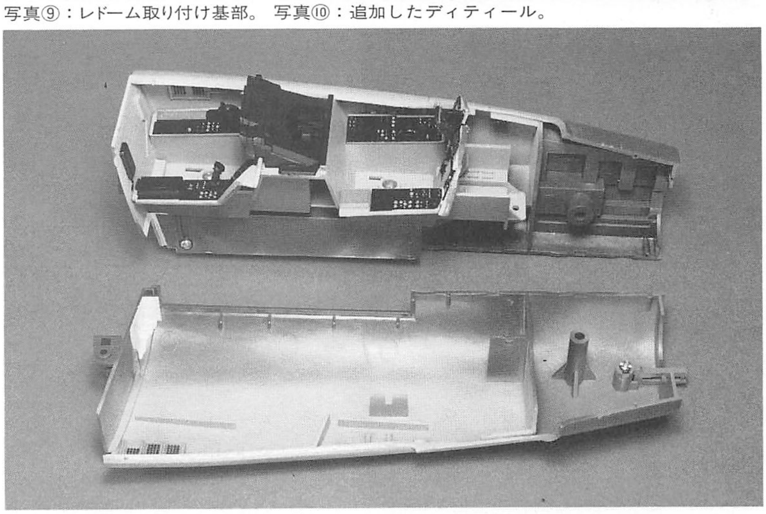
写真⑧：ロックピンの追加。

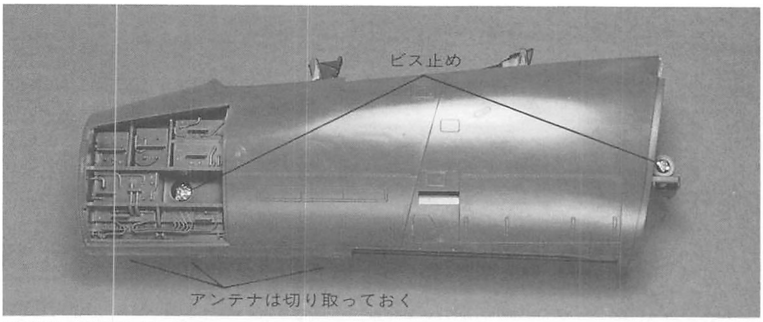


写真⑨：レドーム取り付け基部。

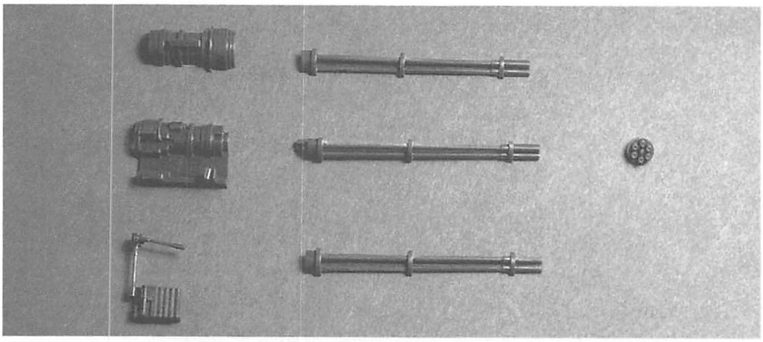


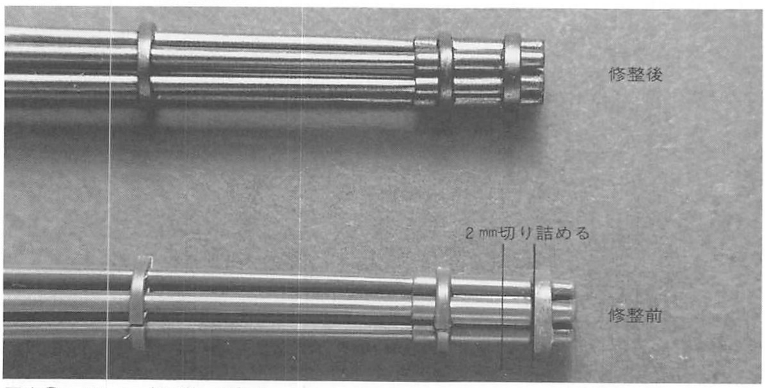
写真⑩：追加したディティール。


写真⑪：コクピットを機首に取り付ける。



写真⑫：機首左右の接合。

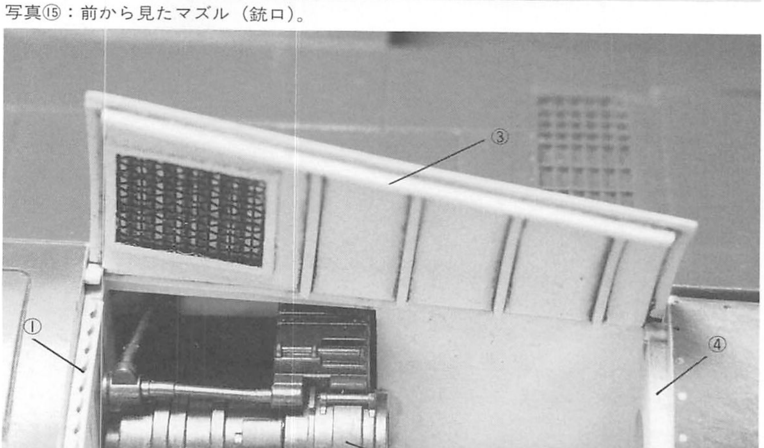

写真⑬：バルカン砲の部品。



写真⑭：バレル（銃身）の長さ。



写真⑮：前から見たマズル（銃口）。



写真⑯：バルカン砲の組み込み。

コクピットフロアを機首パーツに挟み込んで写真⑫の様にネジ止めしてやれば、やっとといった感じでコクピット部分が出来上がる訳である。ここでもビスの締め過ぎには充分注意する事。

## ーちょっとー

この辺で、気分を変えてオ○ナ○ン…じゃなかった。バルカン砲でも作ってみるかという事で、説明書の⑮にワープしてみよう。キットのバルカン砲は7つの部品で構成されており（写真⑬)、このスケールとしては充分の再現度といえるだろう。が、問題はバレル（銃身）の長さで、キットのままだと所定の位置に取り付けて砲口カバーをかぶせるとあろう事か、バルカン砲のマズル（砲口）部分が同カバーの穴の所から「まいど！」といった感じで顔を出してしまうので有る。

そこで今回は、写真⑭の様にバレルを先端部分より2㎜程カットし長さを調整してみたが、手持ちの資料等で確認してみた所これで正解の様である。

あとはキットのままでは少々浅すぎるマズル（砲口）の開口部分を、写真⑮の様にピンバイスで深くしてやれば良いだろう。でもって今度はバルカン砲を胴体に組み込む訳だが、この段階でバルカン砲の点検ハッチのパーツも写真⑯に示した順番で組み込んでおいた方が良いようだ。

## ーさてさてー

次も話はスッ飛んで、今度はインテークのパーツについて（なんかボロボロや）。

前回の時に書いたと思うが、今回の作例ではインテークの可動ギミックをやめて「上げた位置」に固定するため、不要になってくる（要するに邪魔な）部分が有るのでそこら辺の処理について。具体的にどこが不要な部分かというと、インテークパーツの表面にモールドされているピボット（写真⑰）と裏面に有るピン（写真⑲）で、これらの部分をピボットは写真⑱の様に、またピンの方に関しては写真⑳の様にそれぞれ削り飛ばすなり、切り飛ばしてしまえば良いだけの事で有る。

と、ここまで来ればあとはインテークのパーツを組み上げるのが普通の順序なのだろうが、なんせ「女心と秋の空」といった感じの僕の気持ちは何処か別の所へ飛んでしまい、胴体の貼り合わせ作業へと進んでしまったのである。おいおい。

## ーにしてもー

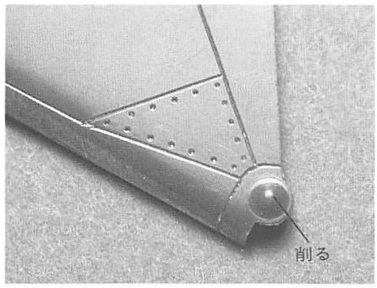
「ゴツイなぁ～」と友人はいった。「これやったら、マブチの水中モーター付けて水に浮かべたら走りよんで」とものたまった。それ位サンニイのイーグルはデカイのである。その大きな胴体をタミヤは、ビス止めというR/Cカーや1/12F1シリーズで培って来た手法で接合する事にした。

ま、これ程の大きさの物を貼り合わすのだから、これ位の思い切った配慮はむしろ我々モデラーも、素直に受け入れるべきだろう。が、やはりこれ程の大きさの胴体を止めるのにネジ３本（主要な所）では少々不安が有ったので、今回は上下の胴体パーツに接着用のベロを写真㉑、㉒の様に貼り付けておいた。要はこのベロにタミヤセメントなどのプラモ用接着剤をベタベタ塗って「ほらよっ！」てな感じで上下を貼り合わせてやりあとは接合面に瞬間接着剤を「ラリラリ」てな感じで流し込んでがっちりと接着してしまう。

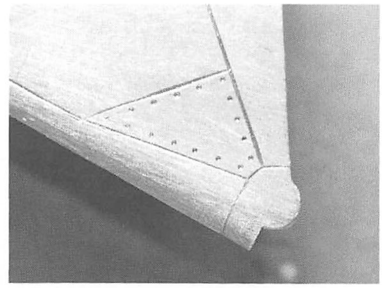
でもってあとは、説明書に指示されている所に３㎜と２㎜の丸ビスをグリグリとネジ込んでやれば良いのである（写真㉓、㉔参照）。

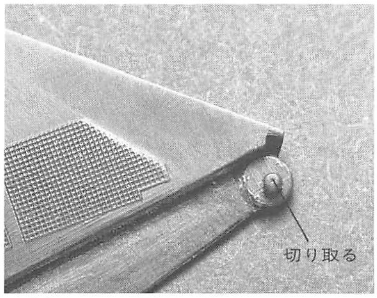
この時にも注意する事はネジの締め加減で、あまり「バカの力」で締め込んでしまうと、パーツに思わぬひずみやそれに伴う接合部のズレが出る恐れが有るので、パーツの状態を見ながら慎重に行なう事だ。

さてここでパーツのズレと書いたが、このキットでは写真㉔に示した所に大きなズレが出来るので、今回はガイド用のピンを切り飛ばしてしまい、平ヤスリの先端を使ってパーツが白くなる位までグッと押し込んでやり、強引に接着するといった荒療法を行なっている。

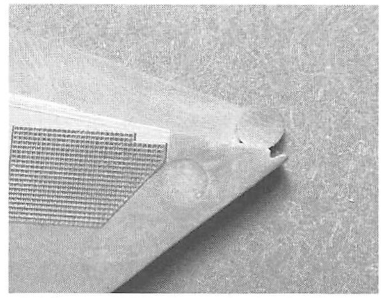


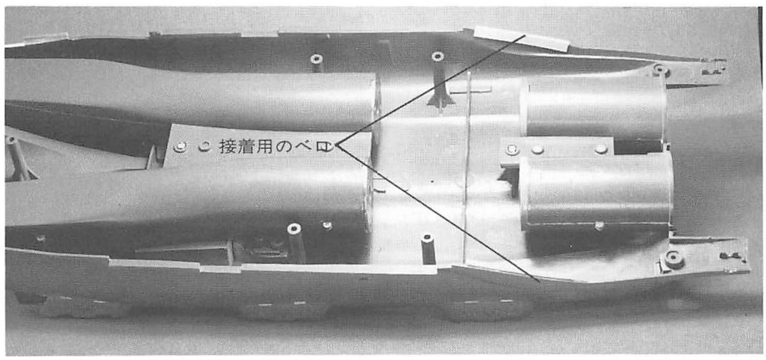
写真⑰：インテークのピボット。


写真⑱：削り取る。

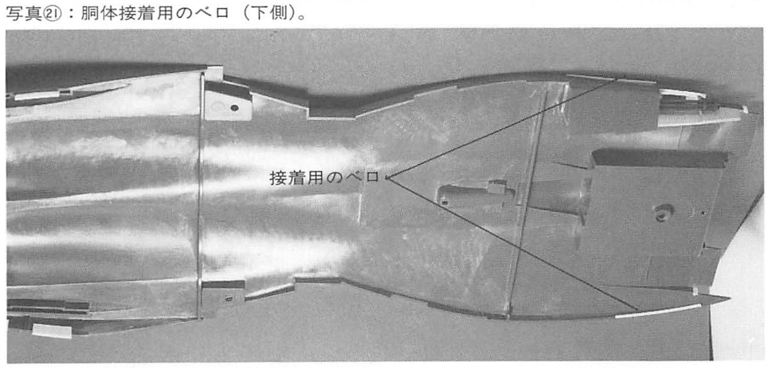


写真⑲：インテークのピン。


写真⑳：削り取る。



写真㉑：胴体接着用のベロ（下側）。



写真㉒：胴体接着用のベロ（上側）。

## ーそうそうー

一つ大切な事を書き忘れてましたけど今回の工作中に「うーむ！」と思わず唸ってしまった所が有った。それは何かというと、バルカン砲口カバーのパーツ(A10)で有る。とにかくこの出来はすごいの一言だ。今まで数あるイーグルのキットを見たり、中には何機か作った事の有る僕だが、ここの再現が実機どおりになっている物は今回のタミヤのキット以外には無かったと記憶している（もし間違っていたらお許し頂きたい)。

とここまでは良かったのだが、このパーツをしげしげと眺めていたら「おやっ？」と思ってしまった。何とパーツの断面がいびつになっとるじゃないの。「しえ〜っ！」と心の中で思いつつ今度はそのパーツを所定の場所に仮組してみるとコンフォーマルタンクとの接合面に0.5mm位の幅で隙間が出来るのを発見してしまい、またまた「しえぇぇ〜っ！」とブッ飛んでしまった。

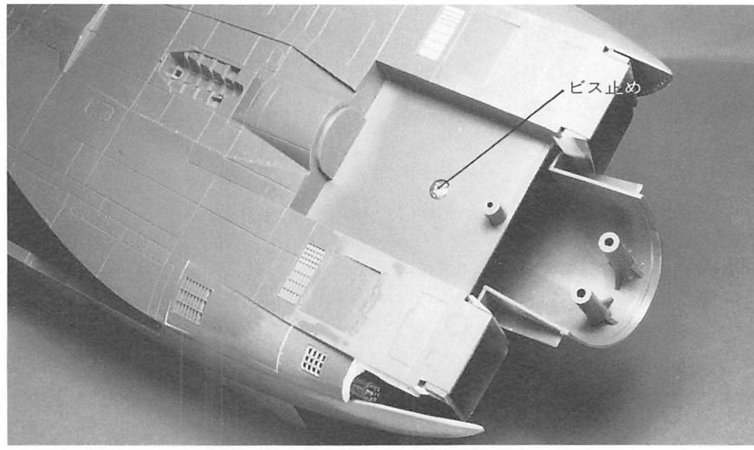
まだ 隙間 の方は写真㉕の様に0.5mmのプラ板で処理すれば簡単に解決出来るが、いびつなカバーの断面は「ポリパテで強引に直せば早いやろ」とか、「いいやここはひとつ、整備員のおっさんが整備中に誤ってカバーを落してしまい、変形してもーたんや」の図にしようかと悩んでいるうちに〆切りとなってしまった。

## ーという事でー

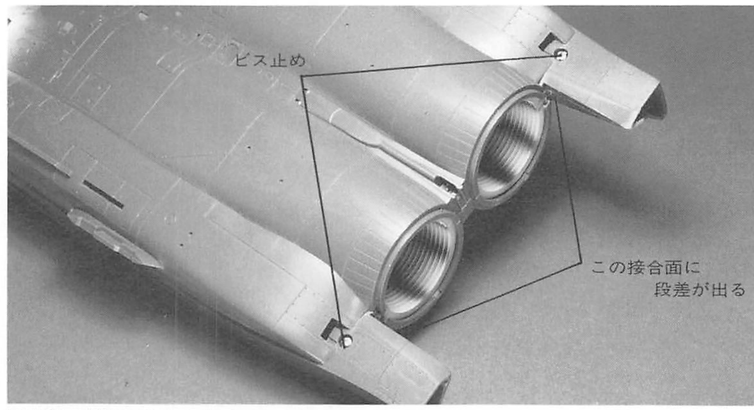
次回は今回より一回遅れで、主翼を始めとする各翼の工作ポイントや胴体との接合方法に話を進めてみたいと思っている（ホンマかいなぁ？)。

しかしこんな調子で行って、本当に6回で完成するんやろか？と他人事の様に思っている無責任な私でした。

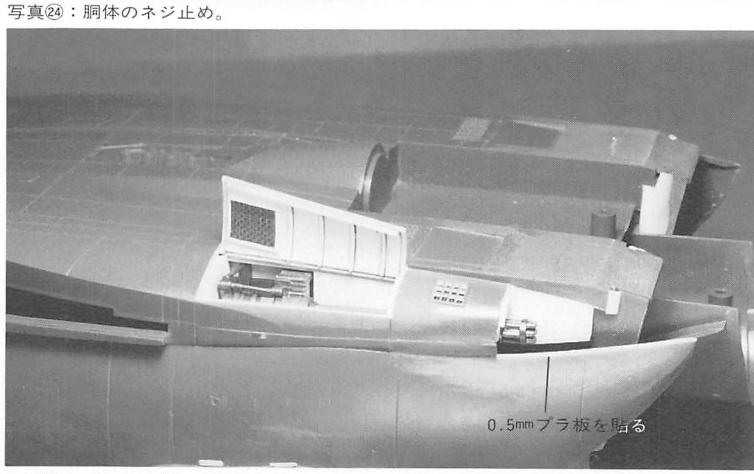
編集長、連載あと2回延長して！



写真㉓：胴体のネジ止め。



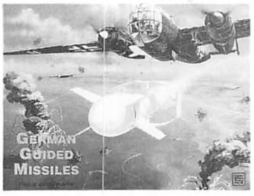
写真㉔：胴体のネジ止め。



写真㉕：バルカン砲口の隙間。

# BOOK REVIEW ブックレビュー

## GERMAN GUIDED MISSLES




●Heinz J.Nowarra著
●Schiffer Publishing刊
●1,630円(西山洋書調べ)

こちらはヴァッフェン・アルゼナールの英訳版、シッファー・ミリタリー・ヒストリーの65冊目。

大戦中に開発されたドイツの誘導兵器をまとめたもので、著者は昨年亡くなったハインツ・ノヴァラ。機載ロケット弾から空対艦ミサイル、地対空ミサイルの数々を、写真とマニュアルからの図面等で解説している。写真には不鮮明なものや、ひどく加筆・修整を加えられたようなものが多いが、これも独特のアヤシイ雰囲気を助長している。20.5×28cm、48pp.、写真・イラスト120点。

## SCHNEIDER TROPHY Racers




●Robert S.Hirsch著
●Motorbooks International刊
●6,160円(西山洋書調べ)

今年が開始から80周年に当たるためか、昨年あたりからシュナイダー杯レースとその出場機に関する出版物がポツポツと出されているが、これはアニメ映画で魅せられたニワカ・レーサーファンにもお薦めできる一冊。内容は水上機の歴史から書き起こし、1回毎のレースを解説している。写真は出来るだけ鮮明なものが選ばれており、主要な機体には図面も附されている。ただ、折角の図面なのに、残念な事にサイズがいささか小さすぎる。

21×26cm、192pp.、写真184点。

## F-104 STARFIGHTER in action

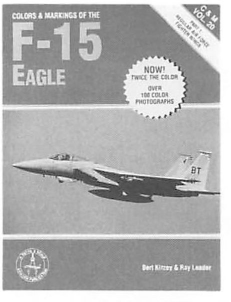



●J.Sewell, L.Basham著
●Squadron/Signal Pub.刊
●1,600円(ハセガワ調べ)

インアクションのNo.135。スターファイターは既にシリーズのNo.25（絶版）で取り上げられているが、今回新版が発行された。

インアクションのアメリカ機ものでは、外国での使用については必要以上に触れていない事が多いのだが、さすがにスターファイターではそうもいかず、前半がアメリカでの使用機、後半が殆ど外国での使用機に充てられている。写真はフィルムがネガカラーのせいか、あまり鮮明でないものが多いのが残念。21×28cm、50pp.（カラー4）、写真105点。

## F-15 EAGLE

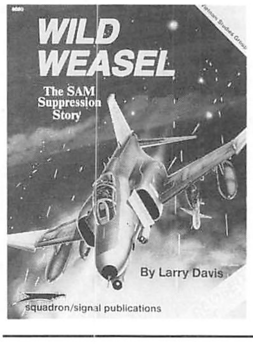



●B.Kinzey, R.Leader著
●Kalmbach Books刊
●2,800円(ハセガワ調べ)

ディティール・アンド・スケールのカラーズ・アンド・マーキングスが始まって10年、20冊目にして漸くスーパースターのF-15登場。2部作の予定で、ANG所属機等はパート2に収録される。出版元はファインスケールモデラーのコームバック出版に変わり、カラー写真の数が倍増でグレードアップした。写真はいつも通り部隊毎にまとめられている他、湾岸戦争での撃墜マークや特殊な塗装例等も掲載されている。

28×21.5cm、64pp.、写真205（カラー104）点。

## WILD WEASEL




●Larry Davis著
●Squadron/Signal Pub.刊
●2,200円(ハセガワ調べ)

表紙は変わっているが、以前から出ていたものの増補改訂版。

ワイルドウィーゼルは米軍の対空ミサイル潰し専門機の事。本書はスコードロンのベトナル戦史ものの1冊として出ていただけに、ベトナムでのサンダーチーフとファントムの活躍を主体にまとめられたものだったが、今回の増補により、先のデザートストーム作戦でのワイルドウィーゼルの戦い振りが書き加えられた。

追加されたのは8ページに写真30点。 28×21.5cm、72pp.（カラー8）、写真187点（カラー5）。

## 巨人機の時代




●石川潤一著
●文林堂刊
●2,400円

航空ファンイラストレイテッドのNo.72。アメリカ空軍の戦略爆撃機の歴史をまとめた力作で、ボーイングB-9からN.A. B-70までの17機種を、とにかくふんだんな写真で見せてくれる。写真は鮮明で、大サイズで収録されたものは迫力がある。サービス精神とページ数の制約の狭間で、カタログなみに小さなサイズで収録された写真も少なくないが、少なくとも国内の出版物でB-49やB-70の写真をこれだけまとめて見られる機会はもうないだろう。28.5×21cm、240pp.、写真624点。

## Ⓐ流線形の時代 Ⓑ風と翼の戦い




●著者Ⓐ佐貫亦男、ⒷJ.シュルツ（江藤　巌訳）
●グリーンアロー出版社刊
●Ⓐ1,800円Ⓑ2,000円

Ⓐは「スパイ」誌連載の加筆単行本化。流線形をキーワードに飛行機は言うに及ばず、自動車その他の工業製品のデザイン、各国民の民族性にまで及ぶ佐貫ワールド。佐貫氏の筆致が存分に楽しめる一冊。

Ⓑはアメリカばかりでなく、世界の航空機及び宇宙開発に多大の功績を残した、NASAのラングリー研究センターの75年の歴史を、多数の写真を織り込んで解説したもの。

Ⓐ19.5×13.5cm、205pp.、Ⓑ25.5×18.5cm、155pp.、写真多数。

## ヴィッカース・スーパーマリン スピットファイア

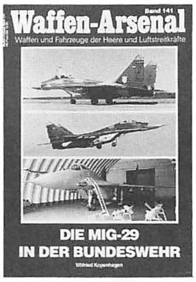



●大日本絵画著
●2,900円

エアロ・ディティールの8冊目。この秋は端無くも模型界ではスピットファイアの競演となったが、グッドタイミングで登場したのが本書。スピットファイアは多数が現存しているため、贅沢にもMk.Iのみを取り上げている。ディティール写真の対象となっているのは、いずれも本国に保存されている4機で、なかには再塗装が施されておらず、オリジナルのままのものもあり、参考になる。後半も例によって、野原氏によるカラー図、細部イラストと図面だが、こちらはMk.Vまでカバー。

25×26cm、84pp.（カラー48）、写真多数。

**DIE MIG-29 IN DER BUNDESWEHR**




**●Wilfried Kopenhagen著**
**●PODZUN PALLAS VERLAG刊**
**●1,700円(西山洋書調べ)**

ヴァッフェン・アルゼナールの141冊目。

現在、ドイツ空軍は24機のMiG-29を保有しているが、本書はこれらを多数の写真で紹介している。全体写真の他、整備中の内部構造が良く判るものや、搭載兵器、射出座席、トレーニングシステム等まで見る事が出来る。残念なのは現用機でありながら写真の出が良くない事で、せっかくのディティールが潰れてしまっているものが少なくない。

29.5×21cm、48pp.、写真92(カラー3)点。

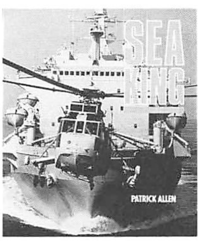
**EAST GERMAN AIR FORCE**




**●C.J.Van Gent著**
**●Airlife刊**
**●3,380円(西山洋書調べ)**

東ドイツ空軍が消滅して3年が経つが、本書はその直前の頃の装備機をまとめた写真集。主役クラスのMiG-21、MiG-23、MiG-29、Mi-8といった機体の他、An-2、An-26、L-410、L-39、Mi-2、Mi-9、Mi-14、Mi-24、Su-22M、Tu-134、Z-43等についてもそれぞれ2から数ページで紹介されている。写真はいずれも鮮明で、一部を除いては、もはや生きた状態を見る事の出来ない、これらの機体のかつての姿を良く再現してくれる。　21.5×21.5cm、128pp.、写真114点(オールカラー)。

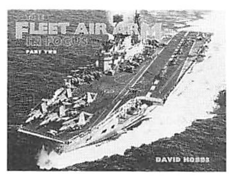
**SEAKING**




**●Patrick Allen著**
**●Airlife刊**
**●4,620円(西山洋書調べ)**

シーキングの歴史を多数のカラー写真を織り込んで解説した本だが、イギリスの出版社らしく対象はウエストランドのライセンス生産型だけで、アメリカ製は一切登場しない。内容は各バリエーションから、使用部隊、各国への輸出型、訓練の様子、そしてフォークランド戦、湾岸戦争、ユーゴ内戦と、実に良く働いているシーキングの姿がまとめられている。概して写真は非常に良く、最後には後継のマーリンも登場する。　27×23cm、112pp.、写真150点(モノクロ4)。

**FLEET AIR ARM IN FOCUS PART 2**

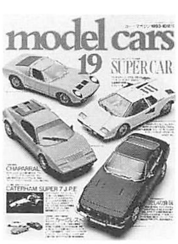



**●David Hobbs著**
**●Maritime Books刊**
**●2,770円(西山洋書調べ)**

イギリス海軍機写真集のパート2で、1950年代から60年代までカバーされている。写真は殆どが各ページ1枚で、空母上での事故や空母から発着するアクティブなシーンも多い。収録機種はバラエティに富んでいるが、有名機だからといって極端にページ数が多いといった事はなく、シーガル、ブラックバーンYB1、スタージョン、シーミューといった珍品まで、ちょっとずつだが顔を見せてくれる。紙質がいまひとつなのが惜しいところ。

17.5×24cm、120pp.、写真129点。

**model cars19**




**●ネコ・パブリッシング刊**
**●1,500円**

今回の特集は「スーパーカーの伝説」と題し'70年代にブームとなったスーパーカーを取り上げている。モデルは1/24スケールのランボルギーニ・ミウラP400S、カウンタックLP400、イオタSVJ、フェラーリ365GTB/4デイトナ、512BBに加えて現代のスーパーカー、ランボルギーニ・ディアブロ、ジャガーXJ220等も合わせて紹介。また、わずか1台しか現存しないシャパラル1の実車ディティール写真も見逃せない。他にも古くなったミニカーのレストア、お菓子のおまけとして付いている「食玩」を取り上げたコーナー等仲々興味深い内容。

**M1A1と米陸軍装甲車両**




**●デルタ出版刊**
**●2,600円**

戦車マガジン10月号別冊。前半はM1A1について、実車写真、マニュアル、ノートの3項に分けて解説。実車写真ではマイプラウやマインローラーを装着した姿も多数紹介され興味深い。またマニュアルの項ではM1A1オペレーターズ・マニュアルから抜粋された文章、イラストを中心に構成され、装備品の特徴や性能諸元の他、エンジンの始動法等の各部の操作要領も解説されている。

後半は、M2、M3、M113ファミリー、M109、M110、MLRS、M728CEV等の米陸軍装甲車両をカラーとモノクロ写真でダイジェストに紹介している。

# 輸入雑誌内容紹介

**[AIR COMBAT]**

Vol.21 No.6('93/7-8)　1,850円
○クロアチア機、○新生国の新生空軍、○レッドフラッグ'93、○STOVL機他、72pp.(カラー16)。

**[Air Progress]**

Vol.55 No.7('93/7)　1,440円
○オシュコシュ・エアショー'93、○パイパー・チェロキー140、○ビーチT-34/富士LM-2他、80pp.(カラー20)。

**[FLUGZEUG]**

'93/5　1,570円
○現用イタリア空軍の偵察機、○フロリダANGのF-16、○ライヘア・グライダー、○ブレゲー763、○ブルガリア空軍のDo17、○Su-25のノーズアート、○Me262C-2、○MACのC-124、○レストア中のJu52他、72pp.(カラー15)。

**[SCALE MODELLER]**

Vol.28 No.7('93/7)　1,850円
○EA-6B(モノグラム)、○複座型ハリケーン(モノグラム改造)、○A-7D(ハセガワ1/48)、○カストロール・フューエル・ドラッグスター(レベル)、○F4U-5N細部写真、○ブルーズのF6F(ハセガワ1/72)他、64pp.(カラー8)。

**[Fly Past]**

No.145('93/8)　1,620円
○V兵器、○ペーネミュンデ爆撃、○サンダーランド、○プロエシュティ爆撃他、72pp.(カラー20)。

**[AIR International]**

Vol.45 No.3('93/9)　1,410円
**●90年代のイスラエル空軍**、○ウエストランド・スカウト、○新鋭機の操縦席、**●ドルニエDo217(構造図付)**、○エイボン・ミラージュ、**●各国の軍用ヘリ**他、56pp.(カラー28)。

**[AIRFORCES MONTHLY]**

No.66('93/9)　1,550円
○電子装備機、**●ロシアの新鋭機**、○三沢基地、○フォシュ、○国際戦闘機パイロット学校、○攻撃ヘリ、○F-117他、64pp.(カラー30)。

**[AVIATION NEWS]**

Vol.21 No.24('93/5/7-20)　1,220円
**●ソマリアの各国機**、**●ソマリア空軍機の末路**、**●ドイツ駐留のMiG-23/27**、○ヒースロー空港、○Vol.21インデックス他、48pp.(カラー6)。

※西山洋書調べの価格は消費税込みの価格です。

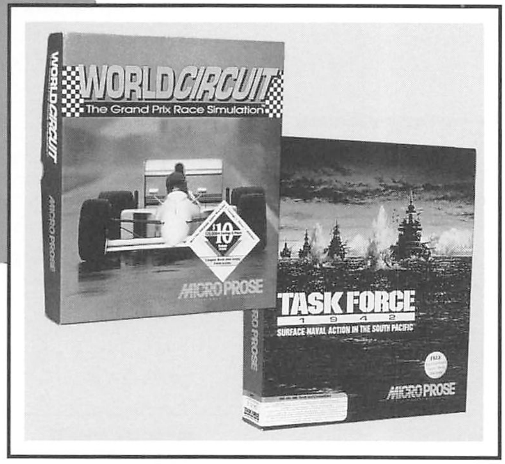
●価格は西山洋書調べ(税込み)。太ゴシックは注目記事。

第6回

# ゲーム道楽

## マイクロ・プローズ
## ワールド・サーキット
## タスクフォース1942

文：後藤　仁




**今月はIBM互換機用のゲームを２本同時に紹介するというデラックスな企画。まず１つめはF1を扱った「ワールド・サーキット」そしてもう１つがソロモン海戦をテーマとした「タスクフォース1942」だ。どちらも凝った内容のシミュレーション・ゲームとなっている。**

国産ゲームばかり紹介していたが、なにも私が国粋主義という訳ではない。

ただ単にIBM互換機を買えなかったという清貧人間だったからだ。

でも、今は違うゾ。なけなしの貯金をはたいて486、50MHzのコンパチ機を導入したのだ！

こうなると紹介したいゲームは山ほどあるのだが、いかんせん隔月で２ページという状態では、思うことも充分伝えられない。なんとかしてくれぃ。

おまけに、エーシーズ・オーバー・ヨーロッパの発売が遅れており、今月号の紹介は不可能となった。

グチはともかく、今月はマイクロ・プローズ社の製品から〝ワールド・サーキット〟と〝タスクフォース1942〟の２本をまとめて紹介してしまおう。

マイクロプローズといえば、ソフト業界では老舗で、ソフトに当り外れがなく、常に水準以上の仕上りが保障されており、何の情報がない新作でも安心して購入でき、ストライクイーグルII／III、ガンシップ2000、シビライゼーション、エアデュール、ジャンプジェット等の傑作を次々と送り出している、シミュレーション・ファン御用達といったメーカーなのだ。

有難いことに、同社にはマイクロプローズジャパンという日本支社があり、この支社を通じて輸入された製品の大半には簡単なものだが日本語の説明書が付属しているというメリットがある。

平行輸入の製品より実売価格でわずかに高いが、インストールやゲームの進め方を日本語で読めるというのは、わずかな価格差など吹き飛んでしまうほど大きなメリットがあろう。

もちろん英語なんて鼻クソさって言う人には有難くはないだろうけど…。

でも、パソコンを初めてやるって人や、英語はどうもって人も多いはずなのだからこのサービスはやはり有難い。

英語はあまり判らず、DOSコマンドって？という人にはこの小冊子、かかせない味方となろう。

さて、ワールド・サーキットだが、実のところIBM互換機ではF1を扱ったゲームはほとんどなく、現在入手できるのはこのワールド・サーキットの他に〝テスト＆ドライバー・グランプリ・アンリミテッド〟と、〝グランプリ・サーキット〟ぐらい。内容は文句ナシにワールド・サーキットに軍配があがろう。

元々Amiga用に開発されたソフトをIBM互換機向けに移植したもので、Amiga自体がカルトなマシーン（その内Amigaのソフトも紹介したいとは考えているんだけどネ）のため、ソフト自体も大変マニアックな内容に仕上っている。

ポリゴン処理されたマシーンは、TVゲームなどの現実感はないものの、カラリングなどかなり実車の雰囲気を再現しており、Amiga版で気になった速度はマシン性能の差で、スピード感も充分楽しめよう。

パソコン買ってF1レースをやりたいとなれば、間違いなくこの１本を勧めたい。

買って最初にまずやることはインストール。互換機のゲームはNEC98などとは違ってフロッピーではまず不可能で（じゃないのもたまにはあるけど）、ハードディスクが必須となるのだ。

ハードディスクのスペースはフルに展開すると6MBを必要とするが、イントロ等を省略することでディスク・スペースを節約することも可能。

インストール自体はインストールEXEがついているので簡単そのもの、まずハードディスクのDOSを起動させ、Cプロンプト（c：>）の状態でディスクAをAドライブに押入（互換機の世界では常にハードディスクがCで、フロッピー・ドライブがA、Bとなるのだ）し、Aと：（コロンという）をタイプしてカレント・ドライブをAに移し、Aプロンプトが表示された状態でINSTALLとタイプすれば後は自動的にハードディスクにインストールしてくれる。

この際サウンドボードの指定などがあるので画面の表示をよく見ておくこと。

たいがい音が出ないなどの状態はこの初期設定がカスッている場合が殆どなのだ。

もしインストールで失敗したと思ったら、もう一度インストールなどしないで、ディレクトリーをこのゲームのディレクトリーに移して、INSTALLとタイプしてやれば初期設定の変更がで



ホッケンハイムをセレクトした画面。サーキットレコードの表示もされる。



走行中の画面。コース上のラインがベストラインだ。


こんな事にならない様にしたいもの。画面は様々な角度にチェンジできる。

きる。

ちなみに、ゲームの起動は説明書に書かれているようにディレクトリーをこのゲームのディレクトリーに移してゲーム名をタイプすることでできるが、ゲームの数が多くなってくるとマニュアルを見るのもめんどうになってくるため、起動にはDOSシェルの使用をお勧めしたい。

このやり方は簡単で、まずTABキーを用いてディレクトリー・ツリー・ウィンドにカーソルを移し、ゲームのディレクトリーにアローキーでカーソルを移した後、TABキーを押して選んだディレクトリーのファイル表示ウィンドウにカーソルを移動、ここでアローキーを用いてファイルのゲーム名のEXE、もしくはCOMを選びエンターキーを押せばゲームがスタートする。

このワールドサーキットの場合ファイル名はGP EXEを選べばよい。

なお、ファイル名はゲームによって異なるが、だいたいゲームに合った名前（フルに出る場合と略称になる場合があるが、いずれにせよEXEかCOMで起動するのだ。EXE、COMの両方がある場合はCOMを優先するが、EXEの場合がほとんど）だ。

文字で書くとめんどうだが、実際に操作して見ればすぐ判ると思う。

以上DOSシェルの簡単な使い方講座でした。

ゲームが起動すると、何やら文字と数字が現れ、何かをタイプするようになっているが、これがコピー・プロテクトで、上から順にページ、段落、段落内の行番、行内の単語番が記されているので、マニュアルの該当するページを開いて指定された段落内から、これまた指定された行を見つけて、その行内の単語番（3と記してあったら前から3番目ということ）に相当する単語をタイプしてやればゲームが開始される。

後はマニュアルを見て各自楽しんでくれたまえ。

チームも16チームの内から任意に選べるし、年間を通じてレースを続けることも、また好きなコースを選んでひと走りすることもできる。

オート機能も充実しており、ベストラインという白いラインがコース上に引かれているので（もちろん消すこともできる）、最適のコース取りもできるが、この白線を中心において走るというのも仲々難しく、非常に奥の深いゲームではある。

ジョイスティックも使用できるし、走行中の勇姿を様々な角度から楽しめるのに加え、お約束のリプレイ・モードも用意されている。

いやあ、オールジュの坂を一気に駆け抜ける（その前にちょっとミスってはいたが）のって、本当に最高スよ。

オッと忘れちゃいけない、このゲーム実に周囲の風景がコースとマッチしており、ホッケンハイムの森など他のゲームがまあいいやで済ませるところを実にていねいに描き込んであり、これだけでも必見の価値がある。とにかくお買得の一本だ。

最後に一言。このゲームこれだけ高度な内容なので、コンベンショナル・メモリーが600,000バイトないと動作しないので要注意。

説明書のようにブート・ディスクを作製するか、あるいはDOSシェルから英語環境への切り替えを選んでやればその程度のメモリーは確保できる。

私のメモリーは今のところ620,000バイトなのでまず動かないというゲームはないが、もう少しシェイプアップしてメモリーを増やそうと考えている。

残るタスクフォース1942は、互換機のパワーを十二分に生かした艦隊砲撃戦ゲームで、タイトルからもお判りのように大小様々な艦艇が、日、米、豪入り乱れて死闘を繰り広げたソロモン諸島をメインとしている。

となると、前回紹介した〝激闘ソロモン海戦〟と似たようなものかと考えられそうだが、チト、いや大きく違う。

激闘～は従来の交互にターンを繰り返し、戦闘場面も上方からしか見れないというものに対し（もちろんこれはこれでリアルなゲームであり、隠れた傑作と言っても良いのだが）、タスク～のほうは自ら艦船に乗り込み、リアルタイムで敵艦と打ち合うという、従来の海戦ゲームとは一味も二味も異なる現実感をかもし出している。

マップで艦隊に対する指令を行なったり、艦長となって操艦したり、はたまた主砲、魚雷を発射することも可能と、海戦ゲーマーの夢を見事に実現した。

実際にゲームを進めていると、敵の砲撃による水柱や、自艦の主砲発射、敵弾の命中により画面が揺れ、火災が発生する等々、実際の海戦で起き得る現象が再現され、しかもリアルタイムで進むのだからもうたまらない。

もちろん外部から自艦の闘いぶりを見ることも可能で、こりゃあまだまだ98じゃ無理な世界だネ。

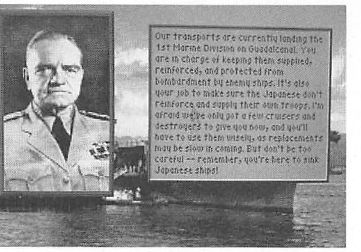
もちろん、任意に日、米両軍を選択することができるし、独立したシナリオ（サボ島夜戦、ガダルカナル上陸作戦等8つのシナリオを選べる）、またはガダルカナル・キャンペーンを選んで継続して海戦を行なうこともできるのに加え、エディット機能が用意されており日、米両軍から好きな艦船を選び艦隊決戦を行なうことだってできる。

とにかく目一杯内容が濃いゲームで、このため操作自体はかなり複雑で、ゲームに取りかかる前にまずマニュアルをちゃんと読んで、それなりに理解しておかないと楽しむことなど不可能なのだから。

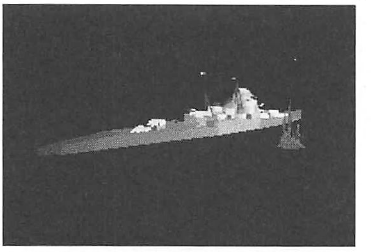
インストールはワールド・サーキットと同様で、コピープロテクトは艦の側面シルエットが出て、これを8つの艦名から正しいものを選択するというものだが、艦船ファンにはどうってものではない。でも、トーシロのためにちゃんと艦型図表がセットされているから間違うことはないよネ。

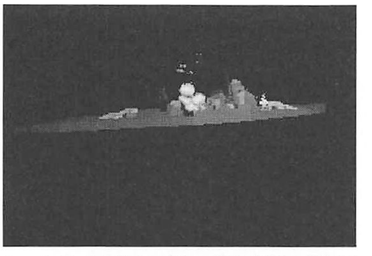
メモリーもワールド・サーキットが作動する状況ならまったく問題ナシ。

これまたお勧めの一本、というより互換機パワーを見れるのに最適のゲームの一つと言っても過言ではない。



こんな風に指令が下る。これはアメリカ側だが日本を選べば山本五十六が登場するぞ。


砲撃される日本艦。操作をしっかり憶えておかないと反撃もままならない。


シーンはこの他にブリッジや主砲、魚雷の制御室が選べる。

「ワールド・サーキット」
発売元：マイクロプローズジャパン
問い合わせ：0423-33-7781
定価：10,900円
使用環境
IBM-PC286以上の機種、もしくはこのモデルと100%互換機
マウス、ジョイステック対応
DOS Ver.5.0以上
ハードディスク必須
VGA/MCGAのみ
アドリブ／サウンドブラスター／ローランドLAPC-Iサウンドボード対応

「タスクフォース1942」
発売元：上記に同じ
問い合わせ：上記に同じ
定価：12,900円
使用環境
IBM-BC386以上の機種、もしくはこのモデルと100%互換機
マウス、ジョイステック対応
DOS Ver.5.0以上
ハードディスク必須
VGA/MCGAのみ
アドリブ／サウンドブラスター／ローランドMT-32対応

# 活劇倶楽部通信 Vol.3

●文／イラスト：永野寿彦

# ゴジラvsメカゴジラ

## 天下無敵超娯楽活劇 ゴジラ映画を殺すな!!

またまた、ゴジラの季節がやってきました。

85年にスクリーン復帰を果たして以来、大人気を博している、いわゆる平成ゴジラ。年を追う度に興行成績記録を次々と塗り替えていく様を見ていると、まるで作品そのもののグレードがアップしているかのようにも思えるが……果たして、実際のところはどうなのだろうか。

ぼくの、あくまでも個人的感覚で言わせてもらうならば、成績とは逆に年々観るのが辛くなってきている、というのが正直なところ。

タイムスリップSFの要素をドドーッと織り込むなどして、貪欲に娯楽映画してしまった『〜VSキングギドラ』あたりまでは、「うんうん、頑張ってるよねェ」という意味で評価していたんだけれど、昨年の『〜VSモスラ』、そして最新作であり、40周年記念作（記憶によれば、来年なはずなんだけれど……!?）と銘打たれている『〜VSメカゴジラ』になると、もうダメ。SFXのレベルがどうの、演出力がどうのという以前に、怪獣映画ならではのセンス・オブ・ワンダーが全くと言っていいほど感じられないのだ。

何も頭の固い映画評論家先生のように、意味もなく毛嫌いして、ボロクソに批評しようってワケじゃないよ。むしろ逆、逆。子供の頃から怪獣映画に燃えまくっていた熱血ファンだったからこそ余計に、観ていて哀しくなっちゃったのである。

例えば、『〜VSモスラ』のオープニングのお粗末さはどうだ。どこの誰が今さら『インディ・ジョーンズ』のパロディ（もし、パロディですらなく、大真面目にやっているのだとしたら、もう絶望的だ！）なんて、観たいものか。その後の展開も観ていられないほど辛かった。コメディとも、悪ふざけともつかない恥ずかしい秘境冒険風エピソード。生物としての存在感を全く感じさせない新怪獣バトラの幼虫のデザイン（好き嫌いもあるだろうけれど、ぼくはあの悪夢のようなメガロのことを思い出してしまった）。まるでUFOキャッチャーの安っぽい縫いぐるみのような新生モスラ。モスラの美しい変態シーンに対し、あまりに安直なバトラの変身シーン。そして、「一体、何が起こったんだ!?」と思わず試写室で気を失ってしまった、東宝怪獣映画ファンを見捨てるかのような、モスラの光線攻撃（!!）——。どれもこれもが、怪獣映画ならではの魅力から、20億光年も掛け離れたモノばかり。つまり、怪獣映画を含めたSF映画に絶対に必要とされている映画的リアリティに欠けているネタが次から次へと登場するのだ。

SFXについてはあえて問うまい。日本特撮の大巨匠、故・円谷英二による神業的特撮とは製作費があまりにも違うのだから、比べるのは酷というものだろう。製作費があるから凄い映画になるというものではないだろうが、SFXパートの場合は製作費と製作期間（なぜかは知らないけれど、平成ゴジラは劇場公開に間に合わせようとしているのではなく、毎年9月下旬に開催されている東京国際映画祭に出品のために慌ただしく作られている。そんな不完全なシロモノを国際的舞台に出して、何がうれしいんだろうか？）の影響が大きいのだから。

しかし、ドラマやゴジラを始めとする怪獣たちのデザイン＆設定といった部分は、頭で勝負ができるはずである。そういうところが手抜き、或いは信じられないくらいに勘違いしているとしか思えないのだ。

特に、今回の『〜VSメカゴジラ』に至ってはその勘違いパワーが炸裂しまくっている。

まず、前情報だけでブッ飛んだ。ベビーゴジラという新キャラクターが登場するというではないか。「何だコリャ！」と頭がウニになっちまいましたぜ。ぼくのような旧ゴジラ・シリーズを追いかけた者にとっては、ミニラの悪夢の再現。新しいファンにとってみても、角川製子供ダマシ映画『REX』の陳腐な引用にしか思えないのではないだろうか。

実際に本編を観ると、もっと悲惨な現実を目の当たりにすることになる（ここからはチョイと中身をバラしてしまうんで、楽しみにしている人は読まないように！）。

オープニングはナレーションによるテンポ良い展開で始まる。ゴジラ退治を本格的に考え出した人類は、前々作で海中に没したメカ・キングギドラの未来の科学力を応用（今まで調査していない方が不思議）し、対ゴジラ兵器メカゴジラを開発した、という前説をタイトル・バックだけで一気に見せてしまう。「おおっ！」と思わせる、なかなかカッコイイ開幕である。

ところが、まともに見られたのもここまで。やがて、ベーリング海の孤島で、まるでラジコン飛行機のように生命感のない新生ラドンが登場したと同時に、もうボロボロ。ゴジラですら飛ばされるほどの猛風を起こすラドンの翼の下でも、人間たちは平気で歩いて逃げ回るし、ヘリコプターも無傷のまま。映画としてのリアリティなんて、まるでない。

もちろん、悪夢のベビーも予想どおりの扱い。佐野量子扮する古生物学者を母親と思い込んだベビーとの交流なんていう、お決まりの呆れるほどのチープなお涙頂戴ドラマも展開される。このあたりになると、観る方もどうでもよくなってきているのだが、さらにダメ押し的掟破りネタがバッチリ用意されている。

平成ゴジラ・ファンには好評を博すであろう、20分以上に渡るSFXバトル・クライマックス場面にも、とんでもない場面が登場する。個人的にはその延々と続く死闘だけでも疲れてしまうのだが、そのトドメの場面が恐ろしいのだ。ガルーダという飛行型攻撃兵器と合体したスーパー・メカゴジラによって、一時は死んだはずのゴジラが、ナント、瀕死のラドンと金箔キラキラの摩訶不思議な融合（？）をし、復活してしまうのだ。こんなのありかい？いくらなんでもこれはないんじゃないの。観客を馬鹿にするにも程がある。ドラマとしての面白さも緊張感も何もない。こんな無茶苦茶な作り方をしていたら、画面上でゴジラを生き帰らせることはできても、低迷している邦画界において数少ない純粋娯楽ジャンルとして生き延びているゴジラ映画は死んでしまうに違いない。

もし、ゴジラ映画を死なせたくなければ、ぼくたちゴジラ・ファンがもっと冷静にゴジラ映画を評価し、それを世に知らしめるべきなのだろう。「うんうん、頑張ってるよねェ」なんて甘い評価をし、ヒットを続けさせていたら、この映画の製作サイド（おそらく、思い切り勘違いしているであろう、作品の決定権を持つトップの人）が、ホントに死滅的作品を作りかねないぞ。

監督＝大河原孝夫
脚本＝三村渉
音楽＝伊福部昭
出演＝高嶋政宏／佐野量子／小高恵美／原田大二郎／川津祐介



# 趣味の通販 レインボー・テン

## フライトパス(エッチングパーツ)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| | ●1/72 | アブロアンソン MK・1(エアフィックスパーツ数150点) | ¥2,400 |
| | ● | アブロバルカン B・2(エアフィックス 140×70mm) | ¥2,400 |
| | ● | ハンドレーページビクター K・2 ディテールセット パーツ数110点 | ¥2,400 |
| | ● | ロッキード C・130(イタレリ 140×215mm) | ¥5,200 |
| | ●1/48 | ボーイング B・17G(モノグラム用 140mm×215mm) | ¥5,200 |
| | ● | アブロランカスター B・I/III ディテールセット(タミヤ用) | ¥8,000 |
| | ● | バンパイヤディテールセット(ホビークラフト用 140mm×70mm) | ¥2,400 |

## プラガチーム(ペーパークラフト)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| 0601 | ● | タイガー I | ¥1,200 |
| 0602 | ● | メッサーシュミット Bf-109E | ¥750 |
| 0603 | ● | スーパーマリーンスピットファイヤー MK5 | ¥1,200 |
| 0604 | ● | ラボチキン La-5PN | ¥1,200 |
| 0605 | ● | ハノ マーク | ¥1,200 |
| 0606 | ● | クロムウェル | ¥1,200 |
| 0607 | ● | MIG 21 MF | ¥1,200 |
| 0608 | ● | ジープ ウイリー | ¥1,200 |
| 0809 | ● | シュトルム ティーガー | ¥1,200 |
| 0810 | ● | MiG-17 PF | ¥1,200 |
| 0701 | ● | ジープ ウイリー6 A-3 | ¥450 |
| 0702 | ● | ジープ スコウト | ¥450 |

## ヒストレックス

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| | | 騎馬モデル | |
| 0001 | ● | ナポレオン 正装 | ¥2,400 |
| 0002 | ● | ナポレオン オーバーコート | ¥2,400 |
| 0003 | ● | 将官 | ¥2,400 |
| 0004 | ● | 準将・親衛騎兵 | ¥2,400 |
| 0005 | ● | 準将・親衛歩兵 | ¥2,400 |
| 0006 | ● | 司令官・槍騎兵 | ¥2,400 |
| 0007 | ● | 将官 | ¥2,400 |
| 0010 | ● | 親衛軽騎兵 | ¥2,400 |
| 0011 | ● | 親衛槍騎兵 | ¥2,400 |
| 0012 | ● | 親衛竜騎兵・ラッパ手 | ¥2,400 |
| 0013 | ● | 親衛擲弾騎兵 | ¥2,400 |
| 0014 | ● | 親衛憲兵騎兵 | ¥2,400 |
| 0100 | ● | 親衛軽騎兵・パレード | ¥2,400 |
| 0101 | ● | 槍騎兵 | ¥2,400 |
| 0102 | ● | 胸甲騎兵 | ¥2,400 |
| 0103 | ● | 竜騎兵 | ¥2,400 |
| 0104 | ● | 軽騎兵・パレード | ¥2,400 |
| 0105 | ● | 軽騎兵 | ¥2,400 |
| 0106 | ● | 擲弾騎兵 | ¥2,400 |
| 0200 | ● | スコッツグレー | ¥2,400 |
| 0201 | ● | ドラグーンズ | ¥2,400 |
| 0202 | ● | ドラグーンズ | ¥2,400 |
| 0205 | ● | 親衛騎兵・マルチポーズ | ¥2,400 |
| | | 騎馬モデル(ベーシック) | |
| 0403 | ● | スコッツグレー | ¥1,300 |
| 0404 | ● | 竜騎兵・ラッパ手 | ¥1,300 |
| | | 徒兵モデル | |
| 0015 | ● | 擲弾歩兵 | ¥1,500 |
| 0016 | ● | 擲弾歩兵・正装 | ¥1,500 |
| 0017 | ● | 擲弾歩兵・パレード | ¥1,500 |
| 0018 | ● | 擲弾歩兵・野線服 | ¥1,500 |
| 0107 | ● | 竜騎兵・将校 | ¥1,500 |
| 0108 | ● | 竜騎兵・兵士 | ¥1,500 |
| 0109 | ● | 歩兵・マルチポーズ(将校/兵) | ¥1,500 |
| 0110 | ● | 歩兵・マルチポーズ(兵) | ¥1,500 |
| 0111 | ● | 歩兵・マルチポーズ(将校/兵) | ¥1,500 |
| 0112 | ● | 歩兵・マルチポーズ(兵) | ¥1,500 |
| 0203 | ● | 戦列歩兵・マルチポーズ(将校/兵) | ¥1,500 |
| 0204 | ● | 戦列歩兵・マルチポーズ(兵) | ¥1,500 |
| | | 徒兵モデル(ベーシック) | |
| 0400 | ● | ナポレオン・オーバーコート | ¥900 |
| 0401 | ● | 擲弾歩兵・パレード | ¥900 |
| 0402 | ● | 親衛歩兵 | ¥900 |

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| | ● | カタログ | ¥600 |
| | ● | ガイドブック(仏語) | ¥2,000 |

## クーパーディテイル

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| CD7202 | ● | スピットファイア コックピット | ¥2,100 |
| CD7203 | ● | P51ディテールセット | ¥2,100 |
| CD7206 | ● | Me109コックピットセット | ¥2,150 |
| CD7209 | ● | Me262Aディテールセット | ¥2,150 |
| CD7210 | ● | He219ディテールキット | ¥2,400 |
| CD7212 | ● | Fw190A-5/A-6改造パーツ | ¥2,100 |
| CD7214 | ● | Fw190A.F.D Ta152ディテールセット | ¥2,150 |
| CD4802 | ● | シーフュリーディテールキット | ¥3,750 |
| CD4805 | ● | Bf109F/G ディテールキット | ¥3,050 |

## ザ・ショーモデリング

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| 040 | ● | ドイツ・キングダイガー コーティングシート | ¥1,200 |
| 041 | ● | ドイツ・キングタイガーVOL.1 エンジンメッシュ | ¥1,400 |
| 042 | ● | ドイツ・キングタイガーVOL.2 装備品フックetc | ¥1,300 |
| 043 | ● | ドイツ・ブルムベア用 コーティングシート | ¥1,200 |
| 044 | ● | ドイツ・サイドカーBMW&ツェンダップ・イタレリ用 | ¥2,200 |
| 045 | ● | ドイツ・タイガーI エンジンメッシュ&籐製砲弾ケース | ¥900 |
| 047 | ● | ドイツ・38tグリレ/バイソン自走砲 キリン用 | ¥1,800 |
| 050 | ● | ドイツ・ワンメル自走砲VOL.2 砲弾ラックetc | ¥1,800 |

## オンザマークモデルズ(エッチング パーツ)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| ON3501 | ● | USA 第二世界大戦 ライフリング | ¥1,500 |
| ON3502 | ● | M-4 シャーマン 第二世界大戦 | ¥1,700 |
| ON3503 | ● | T-34/SU-85/SU-122 | ¥1,800 |
| ON3504 | ● | KV-I/KV-II | ¥1,950 |
| ON3505 | ● | チャーレンジャー 主力戦車 | ¥1,700 |
| ON3506 | ● | レパード 2 主力戦車 | ¥3,700 |
| ON3507 | ● | USA 現用 ライフリング | ¥1,500 |
| ON3509 | ● | パンツァー III | ¥3,200 |
| ON3511 | ● | ドイツ国防軍 ライフリング | ¥1,500 |
| ON3512 | ● | 戦後 M-4 シャーマン | ¥1,900 |
| ON3514 | ● | チーフテーン 主力戦車 | ¥1,900 |
| ON3515 | ● | M-24 チャーフィ | ¥1,600 |
| ON3516 | ● | ソムア S-35 | ¥1,600 |
| ON3517 | ● | Rohrzuge 同盟国/日本 | ¥1,500 |
| ON3518 | ● | パンツァー IV | ¥1,950 |
| ON3519 | ● | BTR-60 APC | ¥1,950 |
| ON3520 | ● | ホッチキス H35/R35 | ¥1,700 |
| ON3521 | ● | ソ連 ライフリング | ¥1,500 |
| ON3522 | ● | H-35 Grabenausleger | ¥1,950 |
| ON3523 | ● | BRDM-2 | ¥1,700 |
| ON3524 | ● | ルノー FT-17 | ¥4,300 |
| ON3525 | ● | パンターG型とヤグトパンター | ¥5,900 |
| ON3526 | ● | Pzkw.VI E タイガー | ¥5,600 |
| ON3526 | ● | タイガーI E アフリカ | ¥1,700 |
| ON3526 | ● | ストームタイガー | ¥1,700 |
| ON3527 | ● | NATO/ウァーサーパクト ライフリング | ¥1,500 |
| ON3528 | ● | タイガーII と ヤークトタイガー | ¥5,400 |
| ON3529 | ● | パンター D型とA型 | ¥5,600 |

## バーリンデン

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| 787B | ●1/32 | P-51Dコクピットセット | ¥3,800 |
| 788S | ●1/35 | ステンドグラス ウインドウセット | ¥1,300 |
| 789B | ●120ミリ | モンゴル軍指揮官 | ¥4,600 |
| 790P | ●1/35 | 工具セット | ¥1,300 |
| 791R | ●1/4 | 胸像 モントゴメリー元帥 | ¥3,800 |
| 792B | ●1/35 | RAM II 戦車 | ¥5,400 |
| 793B | ●200ミリ | Roman Signifer Bust | ¥1,900 |
| 794B | ●120ミリ | ドイツ MG34 マシンガン | ¥1,500 |
| 795B | ●120ミリ | ドイツ WWI 突撃兵 | ¥4,400 |
| 796B | ●120ミリ | ドイツSSスナイパー | ¥4,400 |
| 797B | ●1/35 | ドイツ 戦車兵将校&SS将校 | ¥2,200 |
| 798本 | ● | ロックオンNo.20 A-6E.KA-6D.EA-6B | ¥2,500 |
| 799本 | ● | ロックオンNo.21 MIG21 フィッシュベッド | ¥2,500 |
| 800本 | ● | ウォーペイントVOL.2 ユーロミリタリー | ¥2,900 |
| 801B | ●1/4 | トップガン | ¥3,800 |
| 802B | ●120ミリ | ジャパニーズウォーリア | ¥4,400 |
| 803B | ●1/35 | シャーマン コンバージョン カリオペ | ¥4,100 |
| 804B | ●1/72 | アップデートセット F6Fヘルキャット | ¥2,700 |
| 805B | ●120ミリ | エジプト "ファラオ" | ¥4,400 |
| 806B | ●120ミリ | ミハエルビットマン | ¥4,000 |
| 807B | ●1/35 | イスラエル M51 スーパーシャーマン | ¥12,100 |
| 808P | ●1/24 | 自動車用工具セット | ¥1,300 |
| 809B | ●1/4 | パットン将軍 | ¥3,800 |
| 810B | ●1/35 | ドイツ WWII 小型潜水艦 "ビーバー" | ¥6,600 |
| 811B | ●1/35 | 76mm シャーマンターレット | ¥2,800 |
| 812B | ●1/35 | 切り株 | ¥1,600 |
| 813B | ●1/35 | 車両搭載用装備品 | ¥1,400 |
| 814B | ●150ミリ | ファンタジー ザルロンの攻撃隊 | ¥5,000 |
| 815B | ●120ミリ | WWII ドイツ軍将校 | ¥4,000 |
| 816B | ●1/35 | 人間魚雷 "ネイグー" | ¥4,000 |
| 817B | ●1/35 | ベトナム リバー "サンパン" | ¥4,000 |
| 818B | ●120ミリ | キャリバー50マシンガン | ¥2,000 |
| 819B | ●1/4 | ドイツ戦闘機パイロット | ¥3,800 |
| 820B | ●1/48 | エジェクションシート 4個入 イントルーダー/プラウラー用 | ¥1,400 |
| 821S | ●120ミリ | Cレーション(携帯食料) | ¥1,000 |
| 822S | ●120ミリ | MREレーション(携帯食料) | ¥1,000 |
| 823 | ●150ミリ | クリリアン ダンジオン・ガード | ¥3,800 |
| 824 | ●120ミリ | 戦車猟兵 WWII | ¥4,600 |
| 825 | ●1/4 | WWII 太平洋 アメリカ海軍 戦闘機パイロット 胸像 | ¥3,800 |
| 826 | ●120ミリ | 木の幹 | ¥2,300 |
| 827 | ●1/35 | シャーマン マインローラーT1E3 | ¥5,100 |
| 828 | ●1/48 | アップデートセット A-6Eイントルーダー | ¥4,800 |
| 829 | ●1/35 | WWII(2体入り)対戦車チーム | ¥2,500 |
| 830 | ●120ミリ | 道路標識セットWWII | ¥1,800 |
| 831 | ●1/72 | Fw-190 A8アップデート | ¥2,700 |
| 832 | ●120ミリ | WWII イギリス海兵隊コマンド | ¥4,100 |
| 833 | ●120ミリ | バイキング 侵略者 | ¥4,600 |
| 834 | ●1/35 | M4A1シャーマン車体 ハル(後期型) | ¥3,000 |
| 835 | ●1/4 | WWII Uボート艦長 胸像 | ¥3,800 |
| 836 | ●150ミリ | ファンタジーフィギア ウォームの逆襲 | ¥4,800 |
| 837 | ●120ミリ | ソビエト陸軍 WWII 女性狙撃兵 | ¥4,800 |
| 838 | ●1/35 | 1994年(2体入)ノルマンディー解放 | ¥2,500 |
| 842 | ●1/15 | スーパースケール PzkfwII AusfC | ¥32,400 |

## ファルコン・キャノピーセット

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| No. 1 | ●1/72 | WW2米海軍 | ¥2,200 |
| No. 2 | ●1/72 | WW2 英戦闘機 | ¥2,200 |
| No. 3 | ●1/48 | WW2 各国戦闘機 | ¥2,200 |
| No. 4 | ●1/72 | WW2 米海軍 第二次大戦機 | ¥2,200 |
| No. 5 | ●1/72 | 第二次大戦 ドイツ戦闘機 | ¥2,200 |
| No. 6 | ●1/72 | WW2 米空軍 戦闘機 | ¥2,200 |
| No. 7 | ●1/48 | WW2 米空軍 パート1 | ¥2,200 |
| No. 8 | ●1/72 | 英空軍爆撃機 | ¥2,200 |
| No. 9 | ●1/72 | ドイツ空軍爆撃機 | ¥2,200 |
| No.10 | ●1/72 | 米空軍爆撃機 | ¥2,200 |
| No.11 | ●1/72 | WW2 米海軍 パート2 | ¥2,200 |
| No.12 | ●1/48 | WW2 米海軍 パート3 | ¥2,200 |
| No.13 | ●1/72 | 日本陸軍 戦闘機 | ¥2,200 |
| No.14 | ●1/48 | WW2 ドイツ空軍 | ¥2,200 |
| No.15 | ●1/72 | WW2 ドイツ空軍 パート3 | ¥2,200 |
| No.16 | ●1/48 | WW2 ドイツ空軍 パート2 | ¥2,200 |
| No.17 | ●1/72 | RAF 爆撃機 パート2 | ¥2,200 |
| No.18 | ●1/72 | 日本海軍機 | ¥2,200 |
| No.19 | ●1/48 | 第2次大戦 戦闘機パート2 | ¥2,200 |

## クリッパーモデル(レジン)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| 101 | ● | ドイツ戦車兵 シャフスタイル | ¥1,300 |
| 102 | ● | ドイツ戦車兵 シャフスタイル(立ちポーズ) | ¥1,300 |
| 103 | ● | ドイツ戦車兵 ヘリンボーン戦車服 | ¥1,300 |
| 201 | ● | 女性フィギュア 一般市民 | ¥1,300 |
| 202 | ● | 女性フィギュア 一般市民 | ¥1,300 |
| 203 | ● | 女性フィギュア 一般市民 | ¥1,300 |
| 301 | ● | イギリス軍 L85を持つSAS兵士 | ¥1,300 |
| 302 | ● | イギリス軍 パラシュート連隊兵士 | ¥1,300 |
| 601 | ● | Kwk 40 75mm L48 | ¥1,500 |
| 602 | ● | Kwk 43/II III 88mm L71 | ¥1,200 |
| 603 | ● | Kwk 40,42 75mm L48,70 | ¥1,500 |
| 604 | ● | Kwk 43/I 88mm L71 | ¥1,200 |
| 611 | ● | ナースホルングレードアップセット | ¥1,800 |
| 612 | ● | フンメル前期型セット | ¥1,800 |
| 613 | ● | フンメル後期 グレードアップセット | ¥1,800 |
| | ● | ドイツ OVMセット(4号用、ボッシュ型ライト、消火器 他 | ¥1,800 |
| | ● | ドイツ 4号戦車 ジャッキセット 前期用 | ¥800 |
| | ● | ドイツ 4号戦車 ジャッキセット 後期用 | ¥800 |
| | ● | ドイツ パンター ジャッキセット | ¥800 |

## タミヤ(限定)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| | ●1/12 | ヤードレ マクラレーン M23 | ¥4,000 |
| | ●1/12 | フェラーリ 312T | ¥4,000 |
| | ●1/12 | タイレル P34 シックスホイラー | ¥4,000 |
| | ●1/12 | ホンダ F1 | ¥4,000 |

## MPM(簡易インジェクション)

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| 72119 | ●1/72 | 川崎 Ki64 | ¥1,900 |
| 72113 | ●1/72 | ME262VO56&Me262A-2a/U3 | ¥1,900 |
| 72114 | ●1/72 | Me262V9/V12 | ¥1,900 |
| 72020 | ●1/72 | カーチス XP-55 | ¥1,900 |
| 72021 | ●1/72 | ベル P63A キングコブラ | ¥1,900 |
| 72023 | ●1/72 | 川西 KIKI-J 紫電 | ¥1,900 |

## ブラジル タミヤ

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| | ●1/20 | ブラバム BT46 | ¥1,800 |
| | ●1/20 | ウルフ WR1 | ¥1,800 |
| | ●1/6 | モンキー | ¥3,200 |
| | ●1/6 | ゴリラ | ¥3,200 |
| | ●1/6 | ダックス | ¥3,200 |
| | ●1/35 | M10 | ¥1,200 |
| | ●1/35 | M36 | ¥1,200 |
| | ●1/100 | ベル イロコイス | ¥450 |
| | ●1/100 | イントルーダー | ¥450 |

## ADLER

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| G1001 | ● | WWII ドイツタンククルー シャツスタイル | ¥1,400 |
| G1002 | ● | WWII ドイツタンククルー セータースタイル | ¥1,400 |
| G1003 | ● | 独軍歩兵 M43コート姿 | ¥1,400 |
| G1004 | ● | 独軍歩兵 SSコート姿 | ¥1,600 |

## トイクラフトベルグ

| 品番 | スケール | 品名 | 価格 |
|---|---|---|---|
| PU-01 | ● | PU-2000 無発砲ポリウレタン(色:ライトベージュ)促進剤付 | ¥2,300 |
| PU-02 | ● | PU-3000 無発砲ポリウレタン(色:アイボリー)促進剤付 | ¥2,300 |
| SI-01 | ● | DOWシラスコン #8000 中硬度高品質型取用シリコーン | ¥5,400 |
| SI-02H | ● | DOWシラスコン #8600 軟質高強度 型取用シリコーン | ¥7,000 |
| MR-03 | ● | MR-103 シリコーン合わせ型用 ハケ塗ワセリンタイプ一般用離型剤 | ¥750 |
| CL-01 | ● | 「クレイ エース」グリーンタイプ 高品質型取用油粘土 | ¥950 |
| CL-02 | ● | 「クレイ エース」レッドタイプ 高品質パーテイング整形用油粘土 | ¥1,500 |
| TS-01F | ● | 「スパチュラ」10本組(柄:5本付) パーテイング整形用。材質:亜鉛 | ¥3,450 |
| TS-02F | ● | 粘土台製作用ツールセット(伸し棒、たたら板、ノック棒) | ¥1,950 |
| TS-021 | ● | 粘土伸し棒 30φ×300 | ¥850 |
| TS-022 | ● | たたら板(5mm厚×30mm幅×300mm長) | ¥900 |
| TS-023 | ● | 粘土台ノック棒(5φ/8φ 両面加工) | ¥450 |
| DHP-01 | ● | ウレタン用脱水剤「DHP」ペースト状 | ¥800 |

●御覧の雑誌名をお知らせ下さい。

**お支払いは商品到着後**

●一括払い/一括代引は、商品お届け時に代金と引き換えでお支払い下さい。一括払込は最寄りの郵便局から当社がお送りする振替用紙で7日以内にお支払い下さい。
●分割払い(3万円以上お買い上げより6回・12回払いが御利用いただけます。)
※お申し込み商品によって、お支払い方法等の変更をお願いする場合があります。

**お申し込みはお電話で!!**

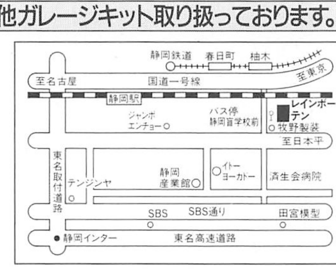
●商品は御注文いただいてから完全梱包の上14日前後でお届けいたします。
●返品・お問い合せ等は7日以内にお願いいたします。
●返品の場合の送料は、お客様のご負担とさせて頂きます。(開封後の返品は御遠慮願います。)
●お買い上げの場合には3%の消費税をいただきます。

**無料** 無料総合取り扱いリスト進呈中!バーリンデン・その他ガレージキット取り扱っております。

RT 趣味の通信販売 レインボー・テン

お申し込み、お問い合せはフリーダイヤル 0120・007654
年中無休※受付時間はAM9:00〜PM6:00

〒422 静岡市曲金6丁目1-54 TEL(054)283-6999



## 第21回

# スペイン内乱のキット(その1)

ついこの間、年が開けたと思っていたら、アッという間にもう冬の足音が忍びよってきています。

このコーナーも早いもので、連載開始以来、2年になろうとしています。

私のやりたい事を好き放題にやらせていただいて感謝の極みであります。

というわけで、今月は、私の最もお気に入りのアイテムである「スペイン内乱」をお送りいたします。2回に分けて、今回は、そのパート1「フランコ軍」編です。

スペイン内乱といわれてもあまりピンとこない人のために、私の分かっている内で少し説明します。

第2次世界大戦の直前、1936年7月より1939年5月まで続いたスペインの内戦の事をスペイン内乱といいます。

36年、当時の共和党を中心とした連合政権に対して、フランコ将軍率いる一部の軍部がクーデターを起こしました。

再軍備を始めていたヒトラーのドイツは、将来を見こしてフランコ軍の支援を決定し内乱に介入します。

航空機を中心とした軍事物資だけでなく、それらを扱う〝人的資源〞も〝外国研修旅行〞という名目で大量に送り込みました。ヒトラーと急接近していたムソリーニも同調し、同じように援助しました。

そのドイツ義勇軍航空部隊は、第88飛行隊とされ〝LEGION CONDOR(コンドル軍団)〞と呼ばれました。

ほとんど航空力を持たなかったフランコ軍は、ドイツ・イタリアの機体で充実しました。

そして、対する共和政府軍には、当然のようにソ連を中心としてアメリカ、フランス諸国がバックアップをしました。

現在の目で見れば、スペインを舞台とした「プレWWII」だったわけです。

ヒトラーは、将来のためのリハーサルとばかりにルフトバッフェの機体をどんどん送り込みます。実用試験中であったHe112や、Bf109までも惜し気もなく派遣しました。

戦局が激化する中、スターリンのソ連がドイツと接近し(直後、独ソ不可侵条約が結ばれる)共和政府軍の支援を取り止めたため、スペイン内乱は、フランコ軍の勝利で終結しました。

というのがスペイン内乱の私流のあらましです。

何の事はない、スペイン内乱をダシにした独伊対ソ米仏の代理戦争だったのです。

今回は、その「影のルフトバッフェ」コンドル軍団を中心としたフランコ軍を特集します。

中身はドイツ空軍とはいっても露骨にドイツ軍の国籍標識のままとはいかず、フランコ軍を示す黒丸、黒または白×印を描いていました。

また、機種番号、機体番号も明確に胴体に記入されました。

リストの左側に記してあるのがそれです。例えば、Bf109は6番、Ju87には29番の機種番号が割り当てられました。また捕獲された共和政府軍の機体も使用可能な場合は、国籍標識をフランコ軍側のものに変えられ使われました。I-16は1wとなっているように振り当てられた機種番号の後にwの文字が付けられています。

胴体の国籍標識の前にその機種番号が明記され、後には、その機種の何機目かを確認する機体番号が記入されました。

「6●25」とあれば、Bf109の25機目に当たります。

塗装は、ドイツ空軍塗料規格でいうところのRLM02という薄いグリーングレイが中心で、2色や3色迷彩の機体もありました。

というわけで、スペイン内乱フランコ軍に起用されたキットのご紹介を始めましょう。

リストは、機種番号順に作成しています。ここに記した他にも登用された機体はありますが、数がたった一機だったり写真も残っていなかったりしているので、割愛している機種もあります。また、キットのメーカーも現在入手可能なものを中心としています。Bf109等は多数あるため、最も一般的なメーカーのみ明記しました。当初は、バキューム・フォーム・キットのみで、その後インジェクション・キットが発表された場合は、バキューム・フォーム・キットは省略していることもありますのでよろしく。要するに「完全キット・リスト」ではありません。



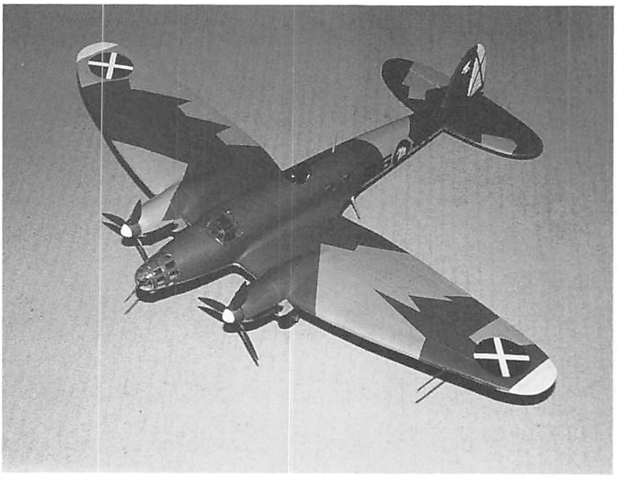
去る9月23日、東京・池袋サイバーのライブに出演した中野氏率いるデージー&レッツゴーズ。今月は3年ぶりに全7曲入りのCDをリリースする。プラモはもちろん、ストーンズ、バンドと全開状態。このパワーはすごい‼

### <コンドル軍団>

まずは、ドイツ機から、1936年当時の第一線機He51は、ハセガワから72で好キットが発売されています。

陸上機型とフロート付きの水上機型のコンバーチブル・キットと陸上機型のみの2種発売されていますが、いずれにもスペイン内乱機用のデカールが付属しています。それぞれマーキングも異なります。しばらく絶版でしたが、今年、コンバーチブル・キットの方が限定再販されましたね。

実機は、共和政府軍側のI-16に歯が立たず、それを知ったドイツ空軍は、後継機の開発を急いだそうです。そして、その後継機候補の一機がHe112でした。しかし、ライバルであったBf109が選ばれたため、数機のみ生産され内乱



エアモデルのパーツを用いて改造したハインケルHe111。

に起用されました。エレールから優秀なキットが発売され、現在はアンコールというメーカーがライセンス販売し、デカールにも内乱ものが収められるようになりました。

すでに第二線機となっていたAr68も参加していました。かつては、バキューム・キットだけでしたが、近年、ヨーロッパの簡易インジェクション・メーカー、それも2社から発売されました。キット自体の出来は、どちらも一長一短ですが、スペイン内乱機を作る上では、はずせませんネ。

He46となるとかなりのドイツ機マニアでもすぐには機体が思いうかばないのでは…。20年近く前にエアモデルからバキューム・キットがリリースされただけです。それも最近は、お店で見かける事はまれです。

He70は、高速郵便機という名目で開発された機体でしたが、ちゃ～んとスペイン内乱にも姿を現わしました。88年にマッチボックスとドイツの簡易インジェクション・メーカーのWKモデルズがほとんど同時に開発したのでビックリでした。表面仕上げ等は、マッチボックスの方が優れていますが、翼のアウトライン等はWKモデルズの方が勝っていると思います。う～ん、作りやすさを取るか形の正確さを取るか考えます。マッチボックスの方は、スペイン内乱仕様で塗装された機体がボックス・アートとなっていましたが、今年ドイツ・マッチボックスより再販された箱絵は、民間仕様となってしまいました。ただし、デカールには、同一の内乱ものが入っています。

Hs126は、パラソル翼が特徴です。昨年レベルより旧マッチボックスのキットが再販され、今年は、エアフィックスのキットが再登場しました。出来は、エ社の方が良いですネ。内乱用のデカールは入っていないので、他から流用しなくてはなりませんが、スタイルが珍しいのでコレクションには加えたい一機ですネ。

Ju52は、エアフィックスとイタレリ、エレールと3社より発売されていますが、いずれも内乱以後に登場したタイプです。内乱型にするには、胴体下に鳥カゴ状の銃座を追加しなければいけません。また、これは、当時のドイツ爆撃機の標準装備だったようで、He111B～EやJu86D等にも共通です。

アメリカでエ社のキットをライセンス生産していたmpcのプロファイルシリーズのJu52のデカールに内乱用のものがセットされていますが、前述の改造は必要です。キット自体は、イタレリのものが最も作りやすいようです。

Hs123は、エアフィックスの好キットが存在していましたが、現時点では絶版です。ただし、最近のエ社は再販ラッシュなので再登場する日も近いでしょう。初版では、ドイツ空軍のデカールでしたが、二版目でスペイン内乱仕様になりました。それに供い箱絵も塗装だけが変更されました。

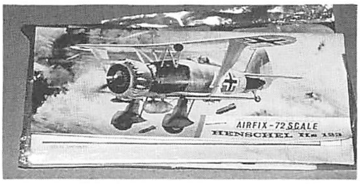
He111B～Eは、マッチボックスかイタレリのキットをベースに、かつてエアモデルより発売されていた機首部分の改造パーツを組み合わせて作るのがいちばん良いようです。翼の形状も後期のH型とは異なるのでリサーチが必要です。

私は、エアモデルの機首にすげかえ翼の前縁を少し直して、胴体下の鳥カゴ型の銃座をつけて、ハイ完了でした。細かく見れば、もっと手を入れなくてはいけないのですが、まあ、50センチ離れてそれなりならば、ヨシとしています。

Ju86Dは、イタレリからズバリそのもののキットが、内乱用のデカールもセットされて発売されました。その後、絶版になり、E型が発売されました。D型の金型を直したものと思っていたのですが、近年、D型のキットが当時のままの仕様で限定再販されたのでひと安心でした。

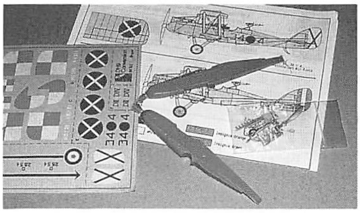
Do17E/Fは、エ社より上物が発売されました。現在は、絶版ですが、いずれ再販されるでしょう。mpcのプロファイル・シリーズでは、内乱用のデカールもセットされていました。

Ju87のA型も長い間バキュームのキットや改造パーツだけでしたが、2年前に旧チェコスロバキアのMPMより簡易ながらインジェクション・キットが登場しました。また3年前には、仏のハイ・テックよりレジン・パーツを中心とした複合素材によりやはりA型が発売されました。コクピット内部の構造等かなりのハイグレードなキットで





エアフィックス1/72Hs123。イラストは後になってコンドル軍団に修整された（デッサン、バックはそのまま）。



ブルーライダー1/72DH9改造パーツ。内乱デカールも付属している。

した。内乱用のデカールもセットされているので、クオリティとデカールで選ぶならこちらですネ。

Ju87のB型は、初期タイプで排気管の形状がエ社のそれとは異なります。フジミのキットには初期タイプのパーツも内乱用のデカールもセットされているのでだん然おススメであります。

練習機も各種持ち込まれ、その中では、Bü131のバキューム・キット、小さな芸術品といえるエレールのBü133、プラの塊りとしか思えないマーリンのAr66c、上昇著しいフーマのGo145と、さすがはドイツ機、それなりに揃っています。内乱用のデカールはいずれもセットされていないのが残念です。

輸送機というよりは、連絡機といった、Bf108BとFi156Aは、エレールの決定版キットが存在しています。

水上機では、He60Eが当初、ドイツの出版社Flugzeugより発売され、その後箱絵とデカールがスペイン内乱仕様に変更されドイツのアエロファイルより登場しました。箱絵はとてもカッコイイです。でも、私が入手したキットの価格は、6,500円で、ウーンとうなりながらも買ってしまいました。元々の

Flugzeug版も5,000円でした。ウーン、簡易インジェクション・キットは、大メーカーでは発売されそうもない渋い機種をリリースしてくれるのでありがたいのですが、生産コストの関係かプライスがかなり割り高なのが泣きドコロですネ。トホホ…。

飛行艇のドルニエ・ヴァルは、昨年ついにフーマよりインジェクションキットで登場しました。複葉の大型水上機He59もエアモデルのバキュームでは存在していました。最近、アヴィエイションUSKより発売されるとの情報も入りましたが、胴体等の主要パーツは、やはりバキュームで残念。

大物のバキュームは、作るのがたいへんなんですよネ〜。

Ju52の水上機タイプも参加したようですが、写真は確認出来ませんでした。陸上型が装備している胴体下部の銃座がこちらにも装備されていたかは不明です。

**〈イタリア派遣機〉**

イタリアより支援された機体は、本家イタリア空軍の塗装のままで、国籍標識のみコンドル軍団と同仕様です。

戦闘機で、内乱に登場したG.50は初期型のバブルトップ・タイプのキャノピーなので、エ社のG.50は、ストレートには組めません。10年程前に、エアフォームというメーカーから改造用パーツとして、このG.50バブルトップ・キャノピーが発売(MC.200用のバブルトップ・キャノピーとCR.42の艤装パーツも一緒にセットされていた)されました。現在では、もう、このパーツ・セットは絶版のようです。

48ではセクターより、ズバリの内乱用キットが近日発売の予定でお楽しみです。

CR.32は、スーパーモデルのキットが現在でも入手可能です。翼間支柱と翼の組み合わせに問題がありますが、基本的には上物のブツなのでマストアイテムです。7〜8年程前グンゼ産業より金属素材のキットが発売されていたこともあります。

攻撃・偵察機では、Ro.37という複葉機がバキューム・キットで存在していました。最近は、フル・レジンのキットがフランスのVamiというメーカーから発売され、日本では一部のお店では入荷していました。このキットには上質の内乱用のデカールもセットされています。

Ba.65は、渋いプロポーションの二流攻撃機でした。これも数年前にユーロキットより簡易インジェクションで発売されました。ただ、作る手間はバキュームと変わりません。しかし、龍のシンボルマーク等の他から流用出来ないデカールがセットされているので貴重です。私のお気に入りの一機。

爆撃機では、SM.79がエ社、SM.81がスーパーモデル、BR.20がイタレリより発売されています。基本的には、内乱用のデカールは、セットされていないので、別売りデカールが必要です。

水上機は、さすが本家のスーパーモデル、Z.501、Z.506と2種リリースしています。ストレートに内乱仕様に出来る大型キットは少ないので、コレクションには加えやすいですネ。

捕獲され使用された共和政府軍の機体に関しては、次回パート2にてお話しいたします。

というわけで、「影のルフトバッフェ」コンドル軍団を中心にお送りしましたパート1はいかがでしたでしょうか。

**〈I-16.レジン製翼プレゼント〉**

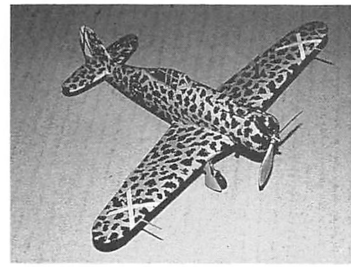
共和政府軍をバック・アップしたソ連空軍機の中では、I-16が最も活躍したといえるでしょう。

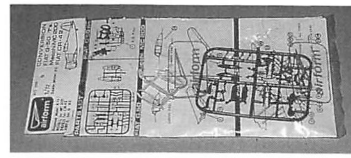
このキットは、72では、レベルのものが唯一(コピー商品は除く)です。表面モールドや作りやすさは優秀なので、発売当時は、決定版的な評価でした。しかし、資料がそれなりに揃ってしまった現在の目で見るとかなり不満な点が目立ちます。その中で、最も問題なのは翼の大きさです。レベルのものは、実機の写真や図面で比較するとかなり細く薄いのです。私は、どうしてもガマン出来なかったので、翼のみレジン・キャストで作りました(技術のある人にお願いしたのですが)。これで、プロポーションは、それなりです。

というわけで、もしも、読者のミナサンで欲しい人がいたら抽選で差し上げます(10名様)。私が個人用で作ったので市販されているレジン・キットのクオリティーとはかなり異なります。

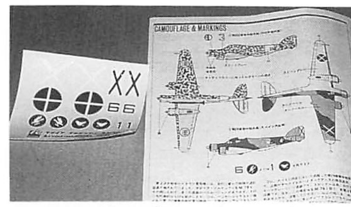
このコーナーについての意見、感想、希望を必ず書いて、I-16の翼希望と明記していただき、〒102 東京都千代田区飯田橋2-11-5栄昇ビル207号　モデルアート・D児コーナー係まで御応募下さい。〆切りは、11月20日到着分までです。

それでは、来月は、スペイン内乱・パート2、共和政府軍機をお送りいたします。

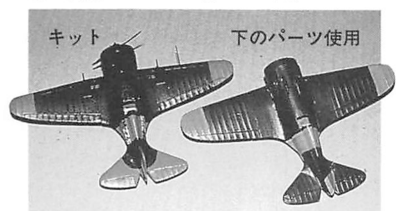


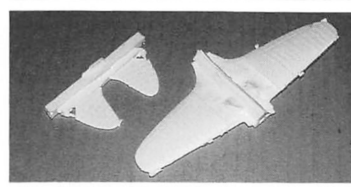


改造したエアフィックス1/72G.50とそれに用いたエアフォーム製の改造パーツ。射出成形品であった。




エアフィックス1/72SM.79。トミー版では独自の内乱デカールが付いていた。



これがプレゼントのI-16の翼だ！上の写真はストレートに作ったI-16との比較。グッとプロポーションが良くなるのが分かる。応募待ってます！

## フランコ軍　キット・リスト

| 機　種 | 1/72 | 1/48 |
|---|---|---|
| 戦闘機 | | |
| 1● Fiat G.50-Ⅰ | ＊Airfix, ★Airform | ◆Secter（予定） |
| Nieuport 52 | | |
| 2● Heinkel He 51B | ◆Hasegawa | |
| 3● Fiat CR.32 | ◆Super Model, ◆Gunzesangyo(M) | Smer |
| 4● PWS-10 | | |
| 5● Heinkel He 112B&V-4 | ◆Encore | |
| 6● Messerschmitt Bf 109V, B~D | D=◆Heller | B=◆Hobby Craft |
| Messerschmitt Bf 109E | E=Hasegawa | E=◆Hasegawa |
| 7● Romeo Ro.41 | | |
| 8● Heinkel He 112V-9 | ＊◆Encore | |
| Polikarpov Ⅰ-15 | Aviaton USK, Airmodel | Vacukit(V) |
| 9● Arado Ar 68E | ◆CMK, ◆Huma | |
| 攻撃、偵察機 | | |
| 10● Breguet Br.19 | | |
| 11● Heinkel He 46C | Airmodel(V) | |
| 12● Romeo Ro.37 | Airmodel(V), ◆Vami Models(R) | |
| 13● | | |
| 14● Heinkel He 70E/F | ◆Matchbox, WK Model | |
| 15● Heinkel He 45B | | |
| 16● Breda Ba 65 | ◆Euro Kit | |
| 17● Aero 101 | | |
| 18● Caproni Ca.310 | | |
| Vultee V-1A | | |
| 19● Henschel Hs 126A | Airfix, Revell | |
| 爆撃機 | | |
| 20● Fokker F Ⅶ | ＊Frog | |
| Fokker F Ⅻ | | |
| 21● Savoia-Marchetti SM.81 | Super Model | |
| 22● Junkers Ju 52/3mg3e/3mg4e | ◇＊Airfix, ＊Italeri, ＊Heller | |
| 23● Fiat Br.20 | Italeri | |
| 24● Henchel Hs 123A | ◇Airfix | ◆Esci |
| 25● Heinkel He 111B/E | ＊Matchbox, ＊Italeri, ★Airmodel | |
| 26● Junkers 86D | ◆Italeri | |
| 27● Dornier Do 17E/F | ◇Airfix | ◆Hobby Craft |
| Dornier Do 17P | ＊Airfix, ★Airmodel | ◆Hobby Craft |
| 28● Savoia-Marchetti SM.79 | ◇Airfix | |
| 29● Junkers Ju 87A | MPM,Flugzeug, ◆Hi-tech(R) | Vacukit(V) |
| Junkers Ju 87B | ◆Fujimi, ＊Airfix | ＊Airfix |

| 機　種 | 1/72 | 1/48 |
|---|---|---|
| 練習機 | | |
| 30● Farman F 192, Monocoupe 90A, Miles M3, Klemm Kl 32 | | |
| 31● G.A.ST-12 | | |
| 32● Caproni AP.1 | | |
| 33● Bucker Bü 131 | Airmodel | |
| 34● DH-9 | ＊Airfix, ★Blue Rider | |
| Breda Ba.28 | | |
| 35● Bucker Bü 133 | Heller | |
| 36● Arado Ar 66C | Merline | |
| 37● | | |
| 38● Gotha Go 145 | Huma | |
| 39● | | |
| 輸送機 | | |
| 40● De Havilland D.H.89 | ＊Up Grade | |
| 41● Airspeed Envoy | | |
| 42● Duglas DC-2 | Formaplane(V) | |
| 43● Junkers W 34, Vultee V-1A | | |
| 44● Messerschmitt Bf 108B | Heller | |
| 45● Fokker F Ⅶ | ＊Frog | |
| Fokker F Ⅻ | | |
| 46● Fieseler Fi 156A | Smer, Airfix | |
| 47● Fleester 11 | | |
| 48● | | |
| 49● | | |
| 水上機 | | |
| 50● Macchi M.41 | | |
| 60● Heinkel He 60E | ◆Aero File, Flugzeug | |
| 61● Savoia-marchetti SM-62 | | |
| 62● Cant Z.501 | ◆Super Model | |
| 63● Fairchild | | |
| 64● Arado Ar 95W | | |
| 70● Dornier Wal | Huma | |
| 71● Heinkel He 59B | Airmodel(V) | |
| 72● Junkers Ju 52/3m W | ＊Italeri | |
| 73● Cant Z.506 | Super Model | |
| 捕獲機 | | |
| 1W● Polikarpov Ⅰ-16/5, 6&10 | ＊Revell | Hobby Craft |
| 2W● Polikarpov Ⅰ-152 | ◇Aviation USK, Airmodel(V) | |
| 3W● Letov S 231 | KP Models | |
| 4W● Hawker Fury | ＊Matchbox, ★GA&ZW | ＊Airfix |
| 5W● Grumman G-23 | ＊Meikraft, ★Roseparts(R) | |
| 16W● Polikarpov R-5 | Anekc | |
| 17W● Polikarpov R-Z | Vacukit(V) | |
| 20W● Tupolev SB-2 | Frog | Euro Kit(V) |

＊＝改修が必要。★＝改修用パーツ。◆＝キットにフランコ軍用デカール入り。◇＝一定期時あるいはシリーズによって該当デカール入り。(V)＝バキューム・フォーム・キットあるいはパーツ。(R)＝レジン・キャスト・キットあるいはパーツ。(M)＝メタル・キットあるいはパーツ。

WL **連合艦隊編成講座** No.184

# 新製品で作る金剛型・開戦当時の霧島



ハセガワ1/700　衣島尚一

## はじめに

7月号でお送りしたレイテ沖海戦時の「金剛」に引き続いて、ハセガワより開戦時の「霧島」がリリースされた。「金剛」の紹介では試験打ちのパーツを入手しての製作であったため、製品化されるパーツ割りが不明のままある程度推定を交えながらの記事であったが、実際に発売されてみると、副砲、高角砲、後檣などのCパーツと機銃や零式三座水偵、小物パーツを主体としたDパーツは「金剛」型4隻に共通で各2枚入り。艦橋を主体としたEパーツは「金剛」「霧島」「榛名」に共通。煙突・後部艦隊を主体としたFパーツは「金剛」「霧島」に共通。

ナックル付きの砲塔部品Gパーツは「金剛」「比叡」共通となっている。

なるたけ小型の金型を使用して、開発コストを軽減しようという努力の結果、不要部品として煙突基部のC8や高角砲座C5、後檣部品のC9、11、零式三座水偵本体部品1機などが余ることとなっている。今回の霧島の場合はより顕著で、25mm3連装機銃が24基と盛大に余剰部品となったわけだが、精度の良い機銃がこれだけ多数ストックパーツとなるのは大歓迎である。

## ハセガワの「霧島」について

さて、「霧島」であるが以上述べたような事情から、ほぼ「金剛」と同一のキットとなったため、修整を加える部分が何カ所か発生している。とは言うもののフジミのシーウェイシリーズの「金剛」級にくらべれば圧倒的に修整点は少ないわけで、WLシリーズを担当している筆者としては、原稿用紙の弁目を埋めるのに一苦労させられる好キットであることに変わりはない。

それでは開戦当時の「霧島」製作の紹介を始めよう。

**●船体**

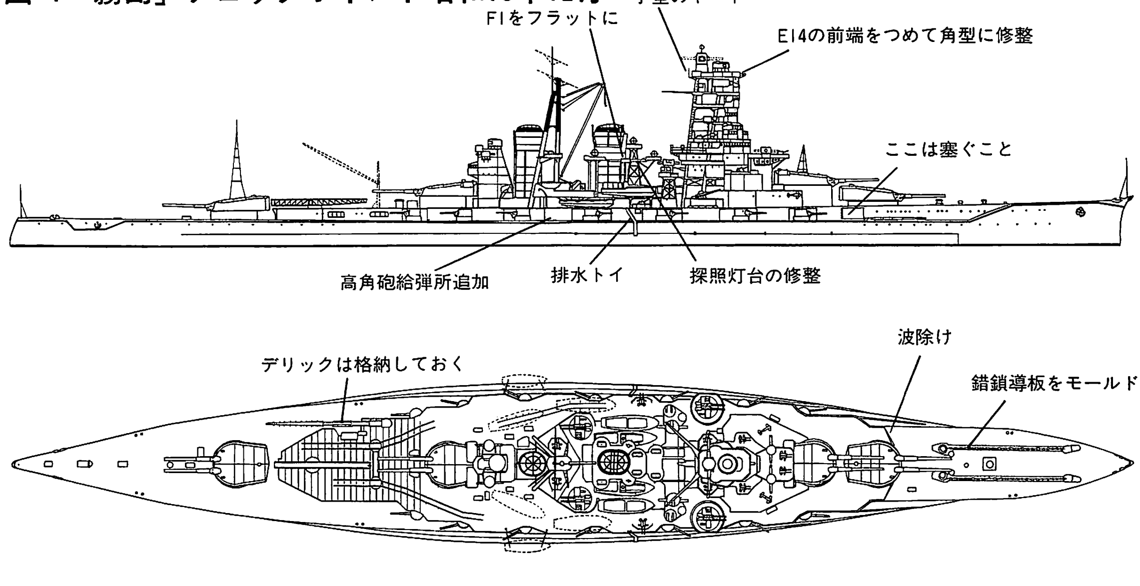
7月号で紹介した「金剛」と同じ部品を使用している以上、まったく同じ修整を繰り返すこととなる。艦首の錨鎖導板を表現するための塗り分け、一番砲塔両側の波除け、舷側の排水樋、航空作業甲板のリノリウムモールド部分の差異等が修整点として挙げられるがリノリウムモールド部分の修整は上甲板の木甲板モールドが相当な密度でなされているため、中途半端なテクニックではトライしないほうが正解であろう。それよりは撤去された1番・2番副砲跡をプラ板で塞いでやるなどの基本的な修整をきちんとするほうが望ましい。

**●前檣楼の工作**

これも「金剛」とほぼ同様の修整となる。まずはトップの防空指揮所E14のブルワーク前端を1.5mmほど切り詰めて左右に角を付け、細く切ったプラ板で作りなおして面積を縮少してやろう。「金剛」では切り離して位置を修整したE15の両側の25mm連装機銃座は「霧島」の場合修整の必要はない。

前橋の支柱を真鍮線で表現したり、基部やガーターのトラス等を伸ばしランナーで再現するなど細かなグレードアップは各自の好みで実施すればよい

**図-1「霧島」チェックポイント昭和16年12月**




だろう。さらに上部見張り所背後のガーター左右に小型のヤードがあるので0.4㎜の真鍮線を20㎜に切って接着してある。

その他、これだけのキットとなるとより細かな点として、前檣楼と左右の高射指揮装置とを結ぶ連絡路や、艦橋周囲の小さなスポンソンなど、図面や写真から読み取れるものを付加して、より良いモデル作りにアタックしてやりたくなるが、何度も述べているようにWLシリーズとして他のモデルとのバランスを考えて作り込みをしてやらないと、1隻だけ浮いてしまう結果となるので製作前にしっかりとした方針を立ててからアタックしてやりたいものである。

**●その他の上部構造物**

「金剛」と主な部品の共通化を図ったため、何カ所か「霧島」らしからぬ部分がある。

まず探照灯台F6＋F4は図2のように前半分、上段のステーを残してカットし、折断面は内側からそぎ落としたのち、伸ばしランナーでトラスを組んでおく。次に探照灯座F1はカッターで曲がり部分に切れ目を入れフラットになるように修整してから接着してやろう。

**図-2探照灯台の改造**

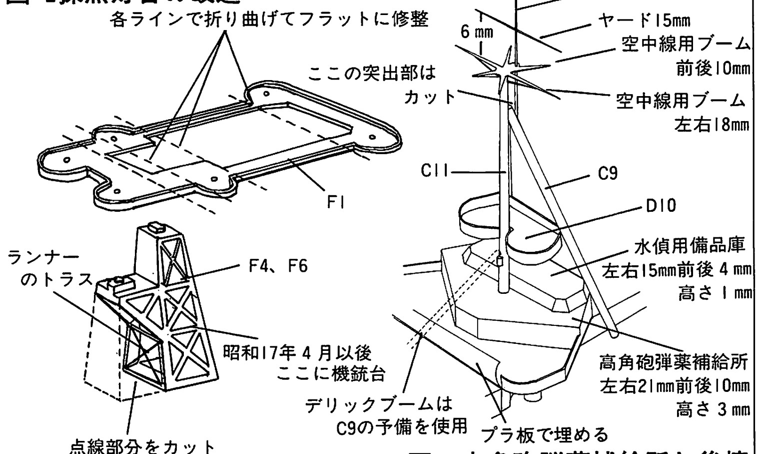



**図-3高角砲弾薬補給所と後檣**

昭和17年4月以降、最終時までは探照灯台中段の左右に25㎜連装機銃が上甲板から移設されたとされているので、この状態とする場合には予備部品となるC13を半分に切断して左右に接着し、その上に機銃を搭載すればよい。

「金剛」の解説で、後部3番4番高角砲座の弾薬補給所が省略されているが気にするほどでもないと述べたところ、どのような形状かとの質問が寄せられたので図示しておく。それほど難しい工作は不用で、1㎜厚のプラ板の積層で簡単に作ることができる。まずC8にC5を接着の後、前半分の段差を1㎜厚のプラ板で埋め、次に2番煙突の前端までの部分も同様に埋める。

次にC5の平面形状に添って後方へプラ板を切り揃え、その上に1㎜のプラ板を2枚積層し、前部は図のように台形に仕上げてやる。後檣を建て込んだ後、水偵部品格納庫を図のように取り付ければ終了である。

「霧島」の場合の最大の特徴は後檣で、三脚檣合流部にモールドされてい

る張り出しは無く、主檣トップより６方向へ空中線展開用の桁が張り出しているので、部品C11の上部にある張り出しは斜めの支柱C9を接着後にカットしてヤスリで整形し、トップにプラ板とランナーでヤードを接着後トップ檣を真鍮線で接着してやればよいだろう。

煙突および後部艦橋には特に修整点はない。精々１番煙突のH型小煙突や蒸気捨て管などを付加する程度で良いと思う。なお、艦載艇搭載台は面積が少ないので、プラ板でC8の左右を各３㎜程拡大してやるとよいが、このままでもなんとか搭載は可能ではある。

**●武装および小物部品**

主砲ケースメイトは「金剛・比叡」に搭載された側面にナックルが付いたものとは異なり、側面が滑らかな後期型の砲塔が部品化されており、フジミの旧作とは一味違った出来上がりである。ただし全体に小振りな出来で、縮尺的には正しいようだが、「伊勢」型や「扶桑」型と並べた場合少々バランスを欠くような気がする。

ピットロードの戦艦用部品セットを多数所有されている方は載せ替えを考えられると思うが、こちらは２番砲塔後端と指令塔がわずかに干渉してしまう。キットを生かすも、ピットロードパーツで統一するのも各自の判断でよいだろう。

高角砲も同様で、シリーズ全体のバランスを考えるならば、すべてをピットロードで統一するほうが望ましいがこのままでも特にバランスが崩れるほどではない。

25㎜連装機銃はすばらしいモールドでシリーズのなかでもピカ一のものだが主砲に比して少々オーバースケールで、これはピットロードに統一するかあるいは機銃のスポンソン（艦橋前の機銃座E10を除く）を拡張して使用することになろう。なお、多数余った25㎜３連装機銃も少々大振なため、小型艦艇には使用しにくい。質問にピットロードの第１作と第４作では機銃の大きさが異なるのが気になるというものがあったが、模型の場合すべて縮尺に忠実だとかえってリアル感を失うことがある。機銃などの小物部品その例が顕著である。作例ではスポンソンをそのままに作ったため少々機銃がはみ出し気味となってしまった。

なお、開戦当時の「霧島」を工作する場合上甲板の１番煙突両舷に載せる７番８番機銃にはプラ板で小さなブルワークを取り付けていただきたい。

搭載機揚収用のデリックは航行時はほとんど格納されている場合が多いので、作例ではデリックポスト基部より切り放して甲板上にデリックブームを接着し、航空作業甲板を加工して主柱の格納状態としてある。

「金剛」に続いて発売された「霧島」は細かくみれば以上のような修整部分はあるもののシリーズの中ではやはり第一級の出来上がり。旧海軍の戦艦の中では非常に高い人気を持つタイプだけに時間をかけてじっくりと作り込むには最適の素材であろう。このあとは「榛名」「比叡」が製品化されるが、おそらく期待を裏切らないものとなることだけは保証できよう。

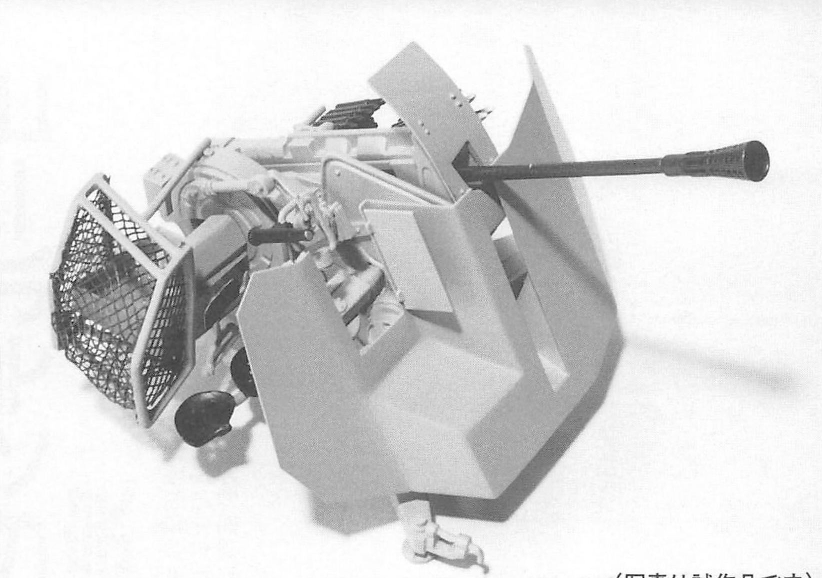
この号が発売される頃は東京ホビーショーも終わっており、WLシリーズの新たな展開が始まっているはず。

新生WLシリーズがより充実するか否かは、ひとえに我々ファンの支援にかかっている。秋の夜長、高速戦艦の美しい姿をじっくりと楽しみながら、コレクションのリニューアルに努めることとしたいものである。

さて、次回は本来ならば「大和」級であるが岡本氏の労作イラスト集が発表されたので、これを参考として、より良い作例にチャレンジするため、当初の予定をずらして最近発表されたガレージキットの中からピックアップして紹介し、「大和」は１月号からスタートすることとしたい。



# 連合軍ヤーボの天敵


（写真は試作品です）

GF007 1/35メタルキット
ドイツ3.7cm対空砲
## FLAK 43
11月中旬発売予定
限定発売品

1943年頃よりドイツ軍が使用した新型対空機関砲です。
キットは、50点を超えるホワイトメタルパーツとエッチング製防盾による重量感あふれるキットで、砲身の可動に伴う照準器の連動も楽しめます。

## SkyWave 1/700 スカイウェーブシリーズ新製品

J-10 海上自衛隊 護衛艦 DDG168 たちかぜ 11月上旬発売予定……¥1,500
改装によりレイアウトが変化した艦橋後部などの新パーツ追加で現在の姿に製作できます。
W-11 日本海軍 海防艦丁型(2艦入り) 12月上旬発売予定……………¥1,200
S-8 日本海軍機I(銀河、一式陸攻、飛竜etc.) 好評発売中…………¥1,000
S-9 WWII米国軍用機I(C-47、B-26、B-17、PBY-5)11月下旬発売予定 ¥900
S-10 ウエスト・ウイングス2 11月上旬発売予定……………¥1,000
内容 F86F、F104、S2F、PS1(US1) 各×2、61、74、90式戦車、89式装甲戦闘車、82式指揮通信車、87式偵察警戒車、73式大型トラック、81式短SAM、FH70、75式自走砲 各×2



電子の要塞イージス護衛艦登場
J-11 海上自衛隊 イージス護衛艦
## DDG173 こんごう
12月中旬発売予定
予価¥2,000

1/700 ポリウレタンキット ハイモールドシリーズ
HM-10 日本海軍 戦艦 三笠 11月下旬発売予定 予価¥5,800

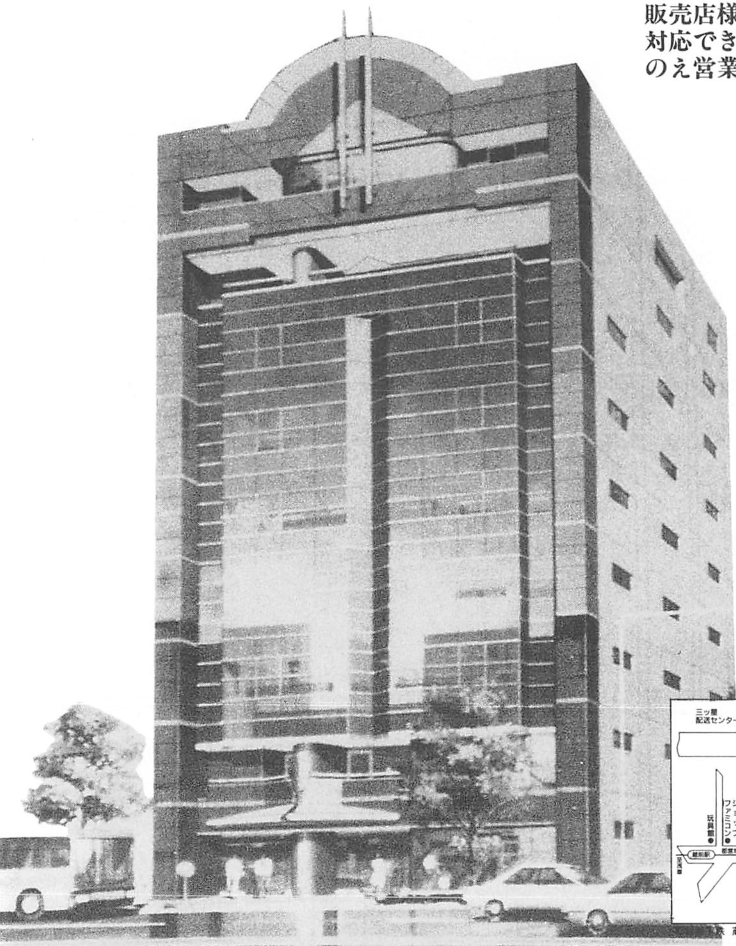


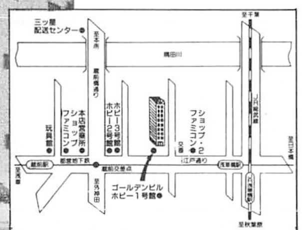
ツーリングカーの名車再び!!
ER-003 1/24
## TSサニーレーシングフォージ8 限定発売品
ポリウレタン製キット(メタルパーツ、デカール付き)
好評発売中 ¥11,000

PIT-ROAD
(有)ピットロード東名
〒213 川崎市高津区梶ヶ谷5－10－3
TEL.044(865)2460 FAX044(865)5221

# 三ツ星商店 ゴールデンビル 完成！

販売店様のニーズに迅速に対応できるよう体制をととのえ営業致しております。






蔵前駅より1分　JR総武線 浅草橋駅より3分

# ご好評に応えて タミヤ1/12F-1 限定販売!!




## ヤードレー マクラーレンM23

1975年4月誕生キット
1/12ビッグスケール
4,000円

好評発売中!!




## フェラーリ312T

1979年9月誕生キット
1/12ビッグスケール
4,000円

※1/12 タイレル P34 シックスホイラー、ホンダF-1 各4,000円も僅かながら在庫がございますので、あわせてご用命下さい。



## ★ビッグニュース★

当社ゴールデンビルに左のタイレルP34シックスホイラーの実車が展示してあります。是非ご一見を…。

〔取扱い営業所〕

- ●ホビー1号館 TEL 03-3861-1521(代) FAX 03-3863-3066
- ●ホビー2号館 TEL 03-3865-2578(代) FAX 03-3863-4668
- ●ホビー3号館 TEL 03-3861-6176(代) FAX 03-3863-2736
- ●名古屋店 TEL 052-565-1900(代) FAX 052-581-6503

株式会社 三ツ星商店

■卸業者のため、お問い合せ小売りはいたしておりません。

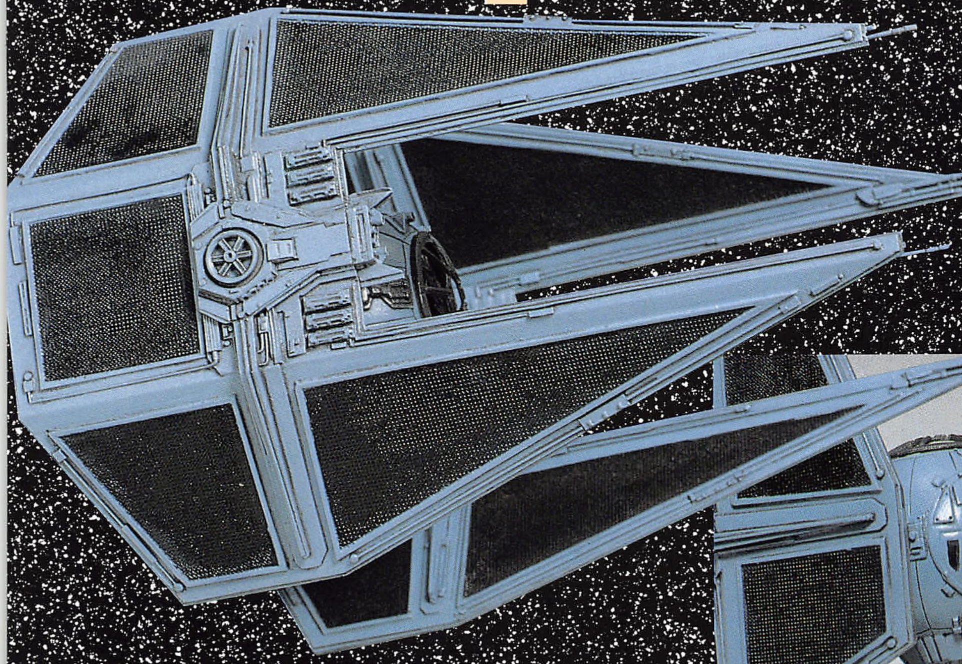
■統括本部　東京都台東区蔵前1－8－5
TEL03(3865)3578(代)

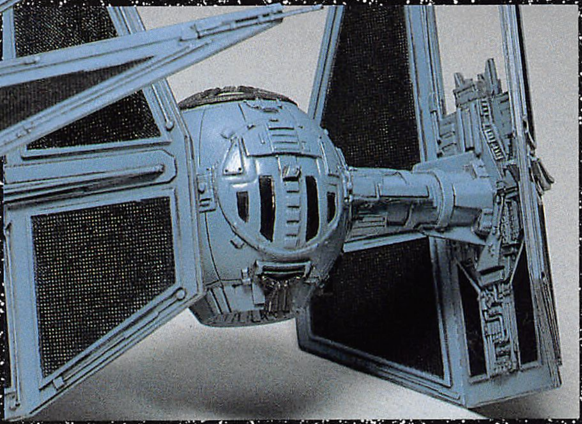
NEW KIT REVIEW!

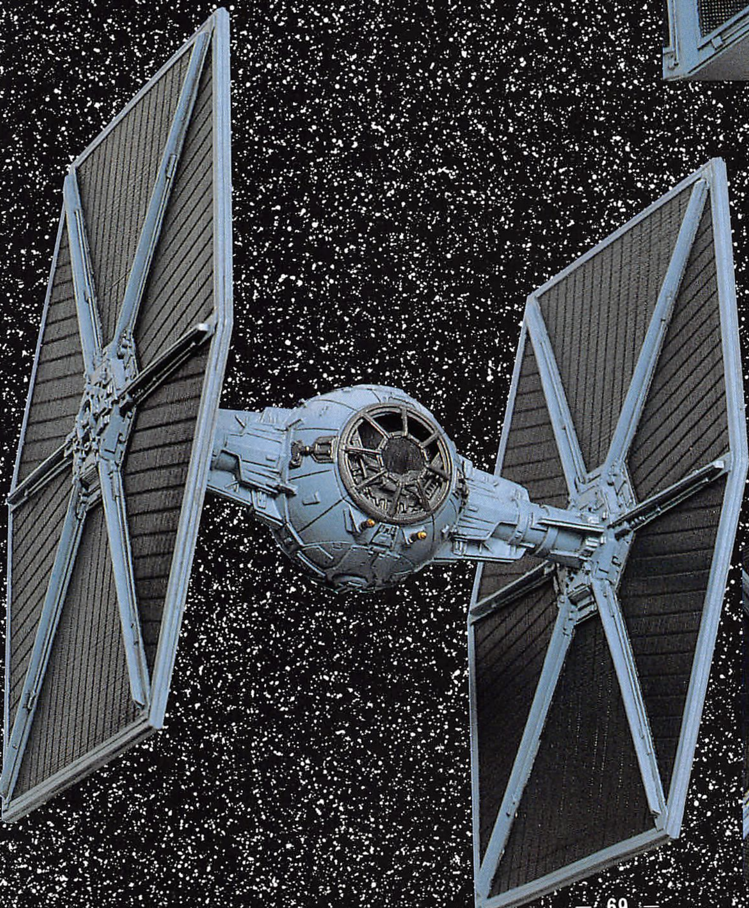
TIE-INTERCEPTOR/TIE-FIGHTER

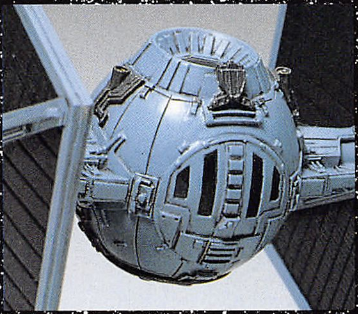
# TIEインターセプター TIEファイター

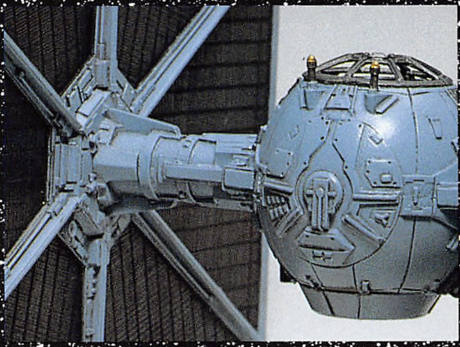
アルコノーツ/アオシマ1/72









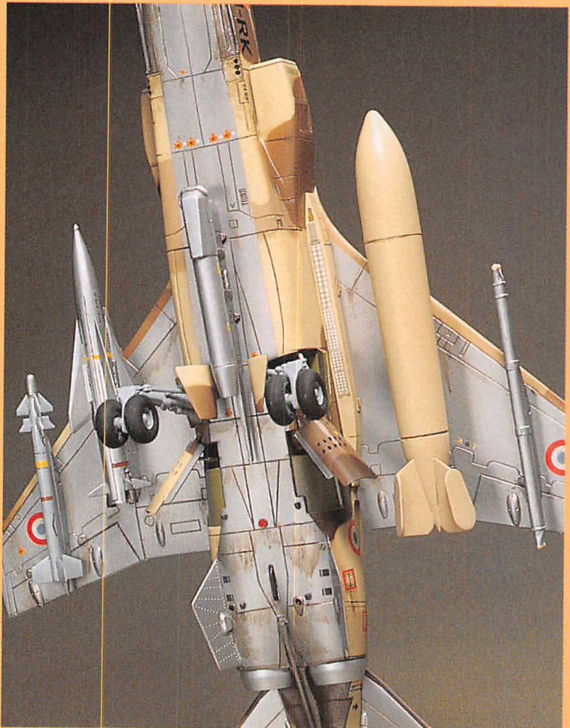


NEW KIT REVIEW!

# JAGUAR A
# ジャギュア A

エレール／グンゼ産業1/48






11-RK


A149






1-RK
SAUVETAGE

NEW KIT REVIEW!

# LOTUS 79
# ロータス79
ウェーブ1/24




VALVOLINE
John Player Special
OLYMPUS
CAMERAS
Valvoline
GOOD YEAR
5
Valvoline

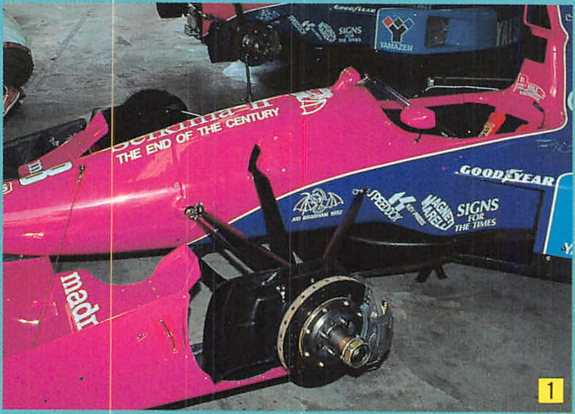
Mario
Valvoline
John Player Special
VALVOLINE
John Player

John Player Special

John Player Special
NGK
SPARK PLUGS
GOOD YEAR
5
GOOD YEAR

Mario
Valvoline
John Player Special
NGK
OLYMPUS
CAMERAS
5
GOOD YEAR

# Brabham BT60B
## フォトファイル



1



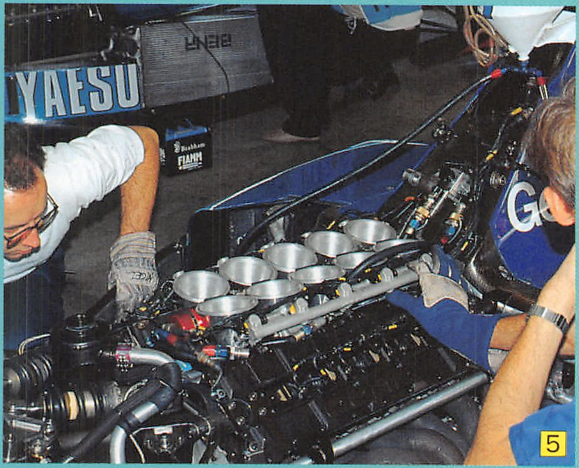
2



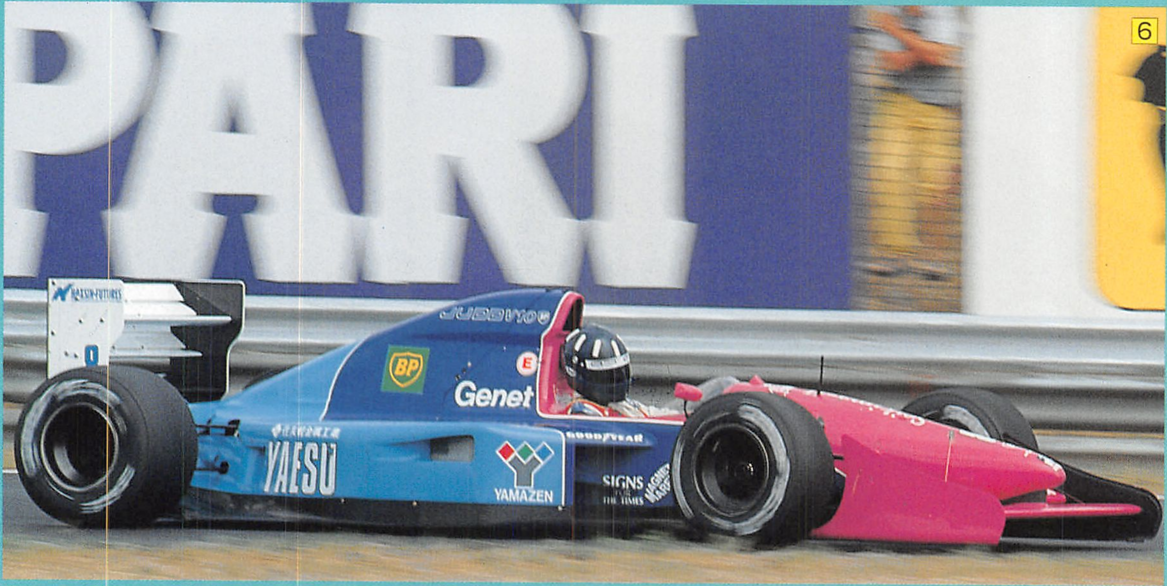
3



4



5



6

写真提供：中内商事、協力：ZACO制作室

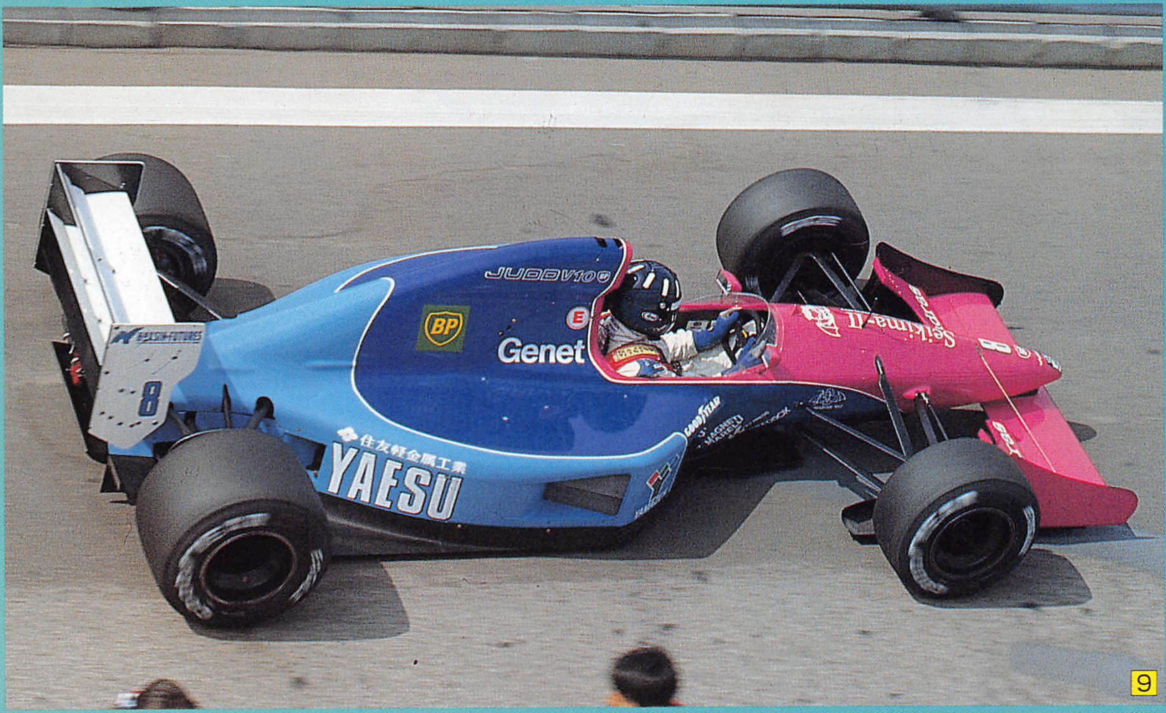
NEW KIT REVIEW!







1フロント部。サスペンション基部やディスクブレーキ、ブレーキダクト、ウイング補強のワイヤー取り付け部等が良く判る。
2ピットでリアカウルをはずした状態のBT60B。サイドのラジエターエアダクトの開口部が4と較べて半分程しかないのに注意。
392年第11戦ハンガリーGPの決勝、25番グリッドでスタートを待つD.ヒル。名門ブラバムも苦しいチーム状態ではこの位置がやっと。
5エンジンはジャッドGV・V10を搭載。
67ハンガリーGPでは1台エントリーとなったブラバムだが、D.ヒルが最後まで走り抜き11位を確保した。
8女性ドライバーのアマティに替わりブラバムのステアリングを握るD.ヒル。今年はウイリアムズでA.プロストとともに大活躍だ。チーム、マシンが違うとこれほど変るもので、D.ヒルにとっては正に天国と地獄状態‼



NEW KIT REVIEW!

# Brabham BT60B
# ブラバムBT60B

**ヤシオ/ZACO制作室1/24**












# とびきりの新製品が今、フジミから

## 進化し続けるベーシック・サルーン




ライトウェイトスポーツカー
シリーズ

No.① ローバー ミニクーパー 1.3i
（予価）¥1,200　11月上旬発送

No.② ミニ・メイフェア1.3
（予価）¥1,200　12月中旬発送

○豊富なオプションパーツで
充実の内容

キットは1/24本格スケールキットとして12インチホイール装着型では初のモデル化です。現在の高度な金型技術を駆使しボディラインや各ディティールのモールドはプラモデルマニアも納得の逸品です。
更にフジミ"ローバー・ミニ"の最大の特徴として、豊富なオプションパーツが付属されます。ユーザー一人一人の持つイメージ通りの個性的なミニを作り上げることが可能です。

## 街で人気のコンパクト・ボディ




インチアップシリーズ

No.68 日産マーチG#
（予価）¥1,200　11月下旬発送

No.69 日産マーチi・z-f
（予価）¥1,200　12月上旬発送

キュートなルックスを完全再現

フジミが自信を持ってお届けするのが「日産マーチ」です。'92のデビュー以来、愛敬のあるルックスとバラエティ豊かなカラーバリエーションで女性をはじめ若いユーザーに高い人気を持つ「日産マーチ」を1/24インチアップシリーズ最新作としてリリース致します。
エクステリアはもちろんシャーシや内装までも精密再現。ハンドル、スイッチ類からシート各部に至るまで細やかな彫刻が目を引きます。

## 高性能レシプロ戦闘機
## グリフォン系スピットファイア

1/72スケールエアクラフト

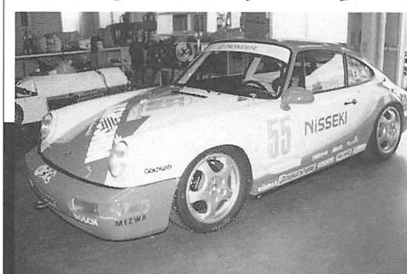


第1弾 スピットファイア F.R.MK.14E
（予価）¥1,000 11月中旬発売

第2弾 スピットファイア F.MK.14C
（予価）¥1,000 12月上旬発売

1/72スケールにおいては過去、スピットファイアの最強版であるのにもかかわらず、グリフォン系のモデルが無いに等しい状況でした。レシプロ機ファン、とりわけ英空軍機ファンから切望されていたモデルのキット化です。第1弾は戦闘偵察型、第2弾はV-1撃墜で名を高めたF.Mk.14Cです。

## カレラカップジャパン'93







1/24スケール
ツーリングカー
シリーズ

NISSEKI 矢野新ポルシェ
（予価）¥1,800 11月上旬発売

KEN WOLF クルーズポルシェ
（予価）¥1,800 11月下旬発売

年4回、開催されている「カレラカップジャパン」第3戦が、9月5日FISCOで行なわれました。勝利を納めたのは相原浩一氏ドライブの「NISSEKI矢野新ポルシェ」、2位に池沢さとし氏ドライブの「KEN WOLF クルーズポルシェ」でした。モデル化は関係各位のご好意により実車取材、大型デカールにて鮮やかなマーキングを再現致します。

◎表示の価格はメーカー標準希望価格です。消費税は含まれておりません。

FUJIMI　FUJIMI Corporation / 4-21-1 TORO SHIZUOKA CITY JAPAN
フジミ模型株式会社 /静岡市登呂4-21-1 〒422 ☎(054)286-0346(代) FAX(054)286-0349

NEW KIT REVIEW!

# JAGUAR A

エレール／グンゼ産業1/48

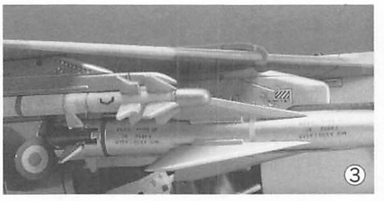
阿久津　修




①



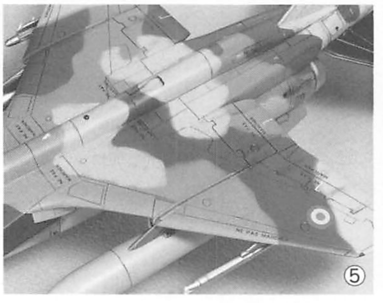

②



③



④



⑤



⑥

欧州機ファンの一人としては、このキットが出る事をどれだけ首を長くして待っていたかは、昔○ッ○ーのキットを買った事がある方には痛い程この気持ちが解ってもらえると思いますが、世の中そんなに甘くないと言う事をほんの少しモデラーに解らせてくれるキットであった……。

## キットについて

広告で本キットのリリースが発表になり頭の中では最近のエレールは出来が良い物が多く、エタンダールやコルセアの様な物を思い浮かべていたが、このキットはちょっと肩透しを喰らった様な物になったのは残念だが、基本形はしっかりしているので手を加えれば、それなりの見返りが期待でき充分に作る者の個性を引き出してくれるキットだと思う。また、このキットはパーツ割りを見るとエアフィックスからGr.1用のパーツとアクセサリーを差し替えたタイプが湾岸デカール入りで出ると思われるので改造してまで作る事はないと思う（これに触発されイタレリから出るかも？）。

キットはかっこいいイラストの箱にいつもの様にモサッと納まっているが、割合はごく普通の物で、あまり細かな意味不明な物はなくフジミのF-1/T2のキットによく似ている（実機も似てるから同じか）。

内容はいつものようにプラ自体はやわらかく、細かいパーツはモッタリ厚ぼったく逆に機体自体はフチが薄くなっていたりでその辺りで作るのに手が掛かるかもしれない。

パーツ数も国産の物に比べ実にシンプルで、アクセサリーを除くとそれこそ機体自体はアッと言う間に出来上がる。

機体自体は機首下面のセンサーポッドの違いで初期型と最近の物が選べる。

## 製　作

最初はコクピットを組むが、シートを含めわずか7個のパーツのみで、フロアーには計器盤がデカールのみの表現になっていて、完成後も良く見えるのでランナーやプラ板で自作するか、人形でも乗せてみても良いだろう。

シートはモールドをドライブラシで塗りシートベルトを追加すると良くなるが、出来る事ならメタルシート等を手に入れ乗せ替えてもぐっと見映えが良くなる。

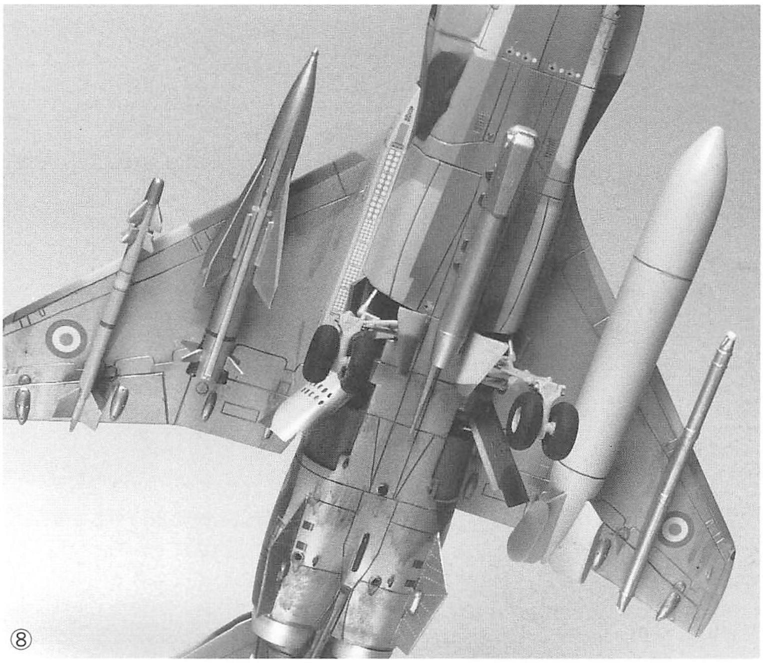
先にも書いたが、胴体はフチが薄いため整形時に割ったりするので内側にベロをつけておくと安心だ。

全般的に基本部分の接着面は薄いのでしっかり接着し、できれば裏打ちをしておいた方が安心だ。

銃口が別パーツになっていて、唯一A型らしくなっているが、カバーの部分がムクで埋まっているので切り取ってプラ板で自作するか、私のようにピンバイスなどで穴を貫通させて、カッターで穴を切り開いていき丸棒ヤスリで整形していくと良いだろう。



⑦



⑧

①②コクピットはわずか７個のパーツで構成される。このスケールではやや物足りない感じ。自作、流用、別売パーツを用いてディティールアップをしたい。
③⑤主翼のフェンスは前縁のＲに合わせて整形、接着する。
④⑥前、主脚とも形状は良いがシャープさに欠ける。エッジを出す様にヤスッてシャープにすると良いだろう。
⑧アクセサリーは必要以上に豊富にセットされる。デカールで表現されたチャフ・フレアディスペンサーも感じいい仕上がり。



⑨

銃口、インテーク、レドーム部を接着・整形したならば、消えてしまったモールドや型割りの関係で薄くなっているモールド、ビス穴を彫りおこして、ナシ地の表面もペーパーでツルツルにしておき、細かいパーツを付ける穴は浅いので貫通させても問題ないので深く穴をあけておく。

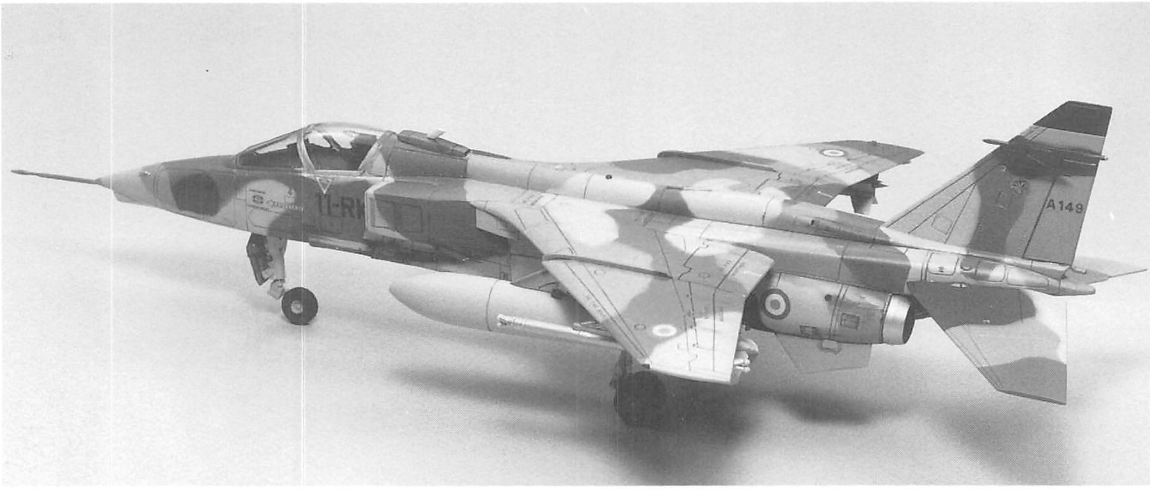
主翼は上下２分割のオーソドックスな物だが、後縁が厚ぼったいのでヤスリがけしてやるのだが、プラがやわらかいので程々に様子を見つつ整形しないと簡単にカケてしまう。これは尾翼にも言えるので注意が必要だ。

また、主翼のフェンスは厚ぼったいが良い出来なので主翼のＲに合うように仮合せをして接着部が目立たないように注意する。

このキットの一番のミスはキャノピーが機体に対し小さめになってしまっていて、クローズにすると隙間が目立ってしまうので、閉めるのであれば前後にパテを盛って隙間を埋めてやるか、コクピット内を作り込んで開けてごまかすようにすると良いだろう。

降着装置は、モッサリしているが形状は良い出来と言うへんな表現だが、仮組みなしに組んでもちゃんと出来てしまうので、回りに付けるパーツをシャープにするとより良くなる。

脚トビラやエアブレーキなどフチをやすってエッジを出してやれば違和感もなくなる。



アクセサリーはパイロンともども少ないパーツでも実に実感良くシャープで細かく表現されていて、初のキット化のECMポッドやATLISポッドなど合わせ目やパーティングラインを修整しデカールを貼るだけですばらしい物が出来上るが、半分は余分になるので大切にとっておき、他のフランス機を作った時に付けて見たいものだ。

## 塗装とマーキング

デカールはEC3/11とEC03/03の２種類の部隊でどちらも中東迷彩だが、デカールはそのままにグレイとグリーンの迷彩の時にも使える。小さな文字もシャープに印刷されていて、マークソフターを使わなくてもちゃんとモールドに馴染んでくれたのは少し意外だった。

塗装はどちらもブラウン系の迷彩で２色塗りの方は湾岸戦争時の物でイギリスと違い応急塗装ではなく、ステンシルなどもしっかり入っている機体がTV等で目についたのでモデルでもちゃんと貼ってやろう。

４色迷彩の方は写真で見る限り中間の２色の明度の差は少ないように思える。説明図のように色を作ってやるが指定はハンブロールのナンバーのみなので一応の目安に(186)はサンディブラウンに白、(93)はマホガニーに黒を(103)はセールカラーに白、(118)はタンにレッドブラウンをそれぞれ加えていき、それぞれの色を少しずつ加えながら作る。下面は銀の指定だがライトグレイに銀を混ぜた物を吹いてみた。

付属デカール以外の部隊を使ってみたくなったが、そんな時は雑誌の広告ページなど使えそうな物が見られるので通販等を利用して取り寄せてみてはいかがだろうか。

NEW KIT REVIEW!

# TIE-FIGHTER TIE INTERCEPTOR

アルゴノーツ／アオシマ1/72
今野清司






## 2機同時発信

前回のダースベイダーに引き続き、今回はアルゴノーツのTIEファイターとインターセプターを紹介することとなった。初の二カ月連続掲載、しかも2アイテムずつということで、ライターとしてはもちろんプライベートをあわせても新記録となった（←情けない）。正直、ちょっとしんどかったが、あのスターウォーズの、それも最愛のキャラとメカをやらせてもらえるとなったら、そんな泣き言を言ってる暇はない。フォースのともにあらんことを！

さて、この号の発売時にはもう終わってしまっているが、ルーカス展にはみなさん足を運ばれただろうか？あれほど大量のブツが持ち込まれているとは思わずに行ったぼくは、あまりの情報量に頭がクラクラしてしまって、ディティールもなにも覚えていない状態になってしまった。それでも、TIEファイターだけはなんとか観察してきた。その時の記憶をよみがえらせながらこのキットを見ると、あきれるほどよくできている。わずか10cmほどのサイズの中に、40cmほどのプロップの情報をほとんどつめこんでいる。おまけに、そのハードディティールが気泡もなくきれいに抜けているのには舌を巻いた。前回の原稿でもちょっと書いたけど、この繊細さやこだわりは、やはり日本人の作ったキットならではだと思う。

さて、そういうこだわりのキットを手にしたモデラーは狂喜するだろうが、一方ライターはというと手も足もでなくなってしまう。ほとんどディティールアップの余地がないのだ。あー、またなんか前回とおなじパターンだけど、ほんとにそうだから仕方がない。それでも、なんとか目を皿のようにしてキットをながめた結果、ソーラーパネル中央部がややプロップと違うのを発見（図参照）。とはいっても、さっきも言ったようにキットの何倍もおおきなプロップのディティールだから、下手に手を出していじらない方が無難だと思う。

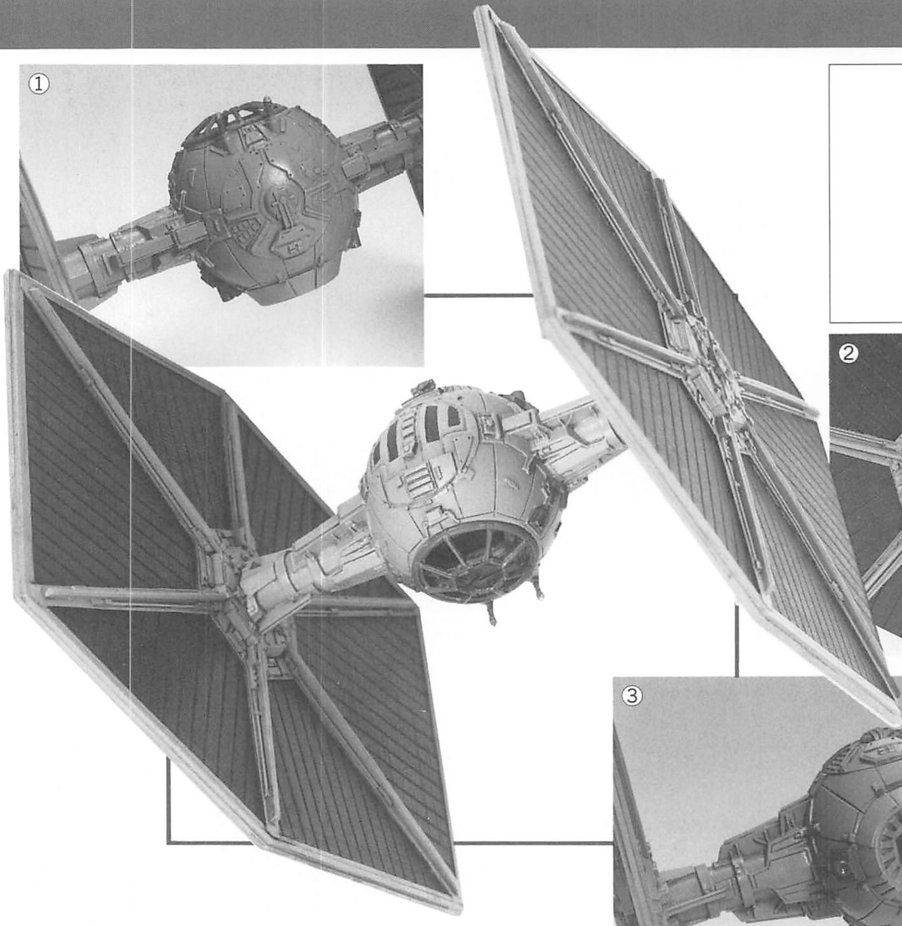
その他に、もし手を加えるとするとコクピットや上面ハッチをくり抜くことが考えられるが、これはそれこそ大事なので、モーターツールを持っている人以外にはあんまりおすすめできない。

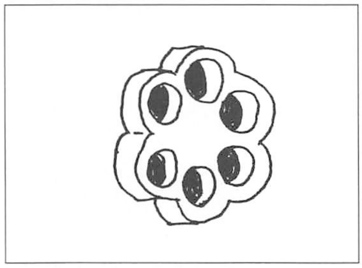
結局、作例ではインターセプターのパネル先端の砲身がちょっと太いような気がしたので、流用パーツで細く仕上げてやったが、ディティールアップと言えるのはそれくらいになった。

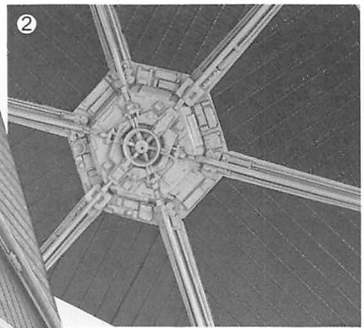
## 製　作

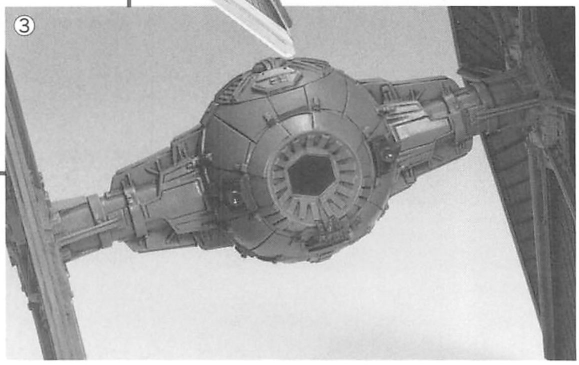
さて、順番が前後するが、実際の製作手順を説明していこう。

まず最初に、キットのパネルは薄く仕上がっているので、事後変形が生じやすくなっている。もし、買ったキッ


①




②


③

トのパネルが歪んでいたら、お湯につけて柔らかくしてから、ゆっくり手でもどしてやろう。

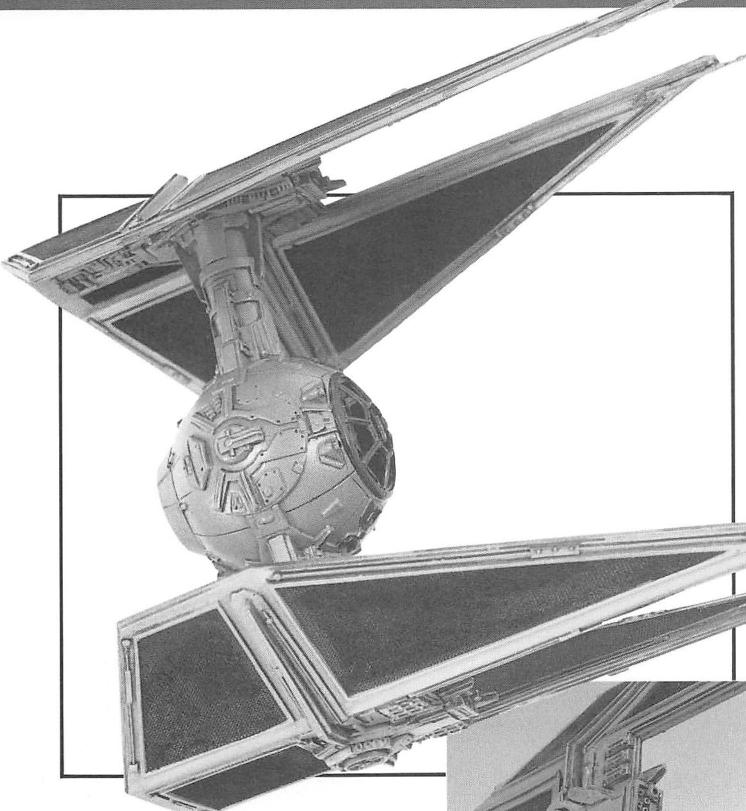
それから、レジンキット製作のセオリーであるパーツ洗浄を行なうわけだが、このキットはすばらしいディティールを誇る分、離型剤も強烈に残っている。さらに、細かいディティールが多いため、全面にペーパーをかけて一皮剝くというわけにもいかない。そのため、洗浄はいやというほどやっておくこと。ぼくは、普通のレジンキット並みの洗浄ですませて塗装したところ、サーフェイサーごとパリパリはがれてきて、結局ラッカーシンナーで洗いなおすはめになってしまった。

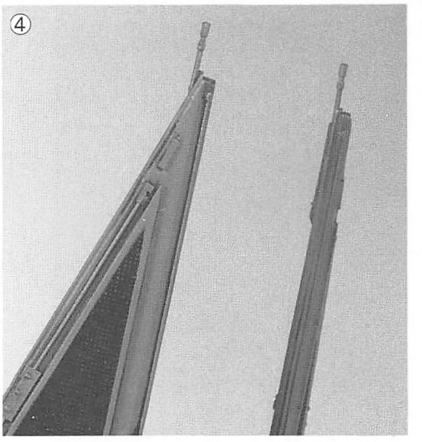
パーツ洗浄が終わったら、パーティングライン消しと表面仕上げ。いくらきれいとはいえ、レジンキットの限界で気泡も表面の荒れも皆無というわけではないので、きちんとチェックしておくこと。400番か600番くらいのペーパーをかけ、サーフェイサーを吹く。それから1000番か1200番くらいのペーパーで荒れた部分を整え、いよいよ塗装に入る。

さて、先述のルーカス展でぼくが一番ショックを受けたのは、実はこのTIEファイターの色だった。頭の中では、TIEファイターというのはライトグレイだとばかり思っていたのだが、なんと、ルーカス展で見たプロップは青灰色だったのだ。

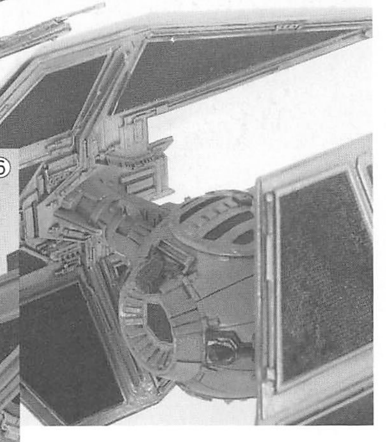
一説によると、1作目のTIEファイターはライトグレイだったのだが、2作目の時にこの色に塗られたという話がある。また、この色はライティングを計算に入れたもので、実際の画面ではこのようには見えないとの話もある。ぼくも一応ビデオを見てみたが、正直そのどちらの説も真偽ははっきりとはわからなかった。

正直、この色は自分のイメージとのギャップがあり、あまりなじめなかったが、せっかくプロップを見た直後のことでもあり、エアスペリオリティーブルーをベースに調色した色を塗ってみた。そうやってみると現金なもので、青いTIEファイターも急にかっこよく見えてきた。読者のみなさんは、いかがだろうか？

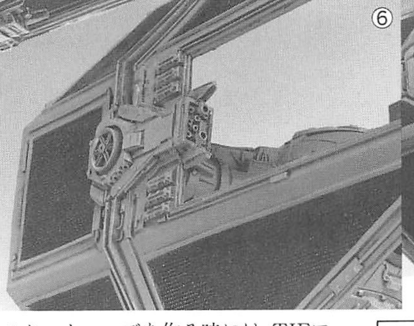




④



⑤



⑥

また、実際のプロップは、Xウイングなどと違ってほとんど汚しはかけられていないが、作例ではせっかくのディティールを際立たせたいと思い、軽く墨流しをやってみた。

ソーラーパネルは、あまり重い感じにならないよう、白や青をまぜた黒で塗ったが、インターセプターのメッシュ部は、一部目が潰れているので、目立たなくする意味で艶消し黒で塗ってやった方がいいかもしれない。

この、TIEファイターとTIEインターセプターのキット、キット状態では小さくて物足りなく思えていたが、完成するとなんだか遠景用プロップそのまんまという感じに見えてきて、妙にうれしくなってしまう。ルーカスも次のスターウォーズを作る時には、TIEファイターのプロップには不自由しないだろう。

## これからにも期待

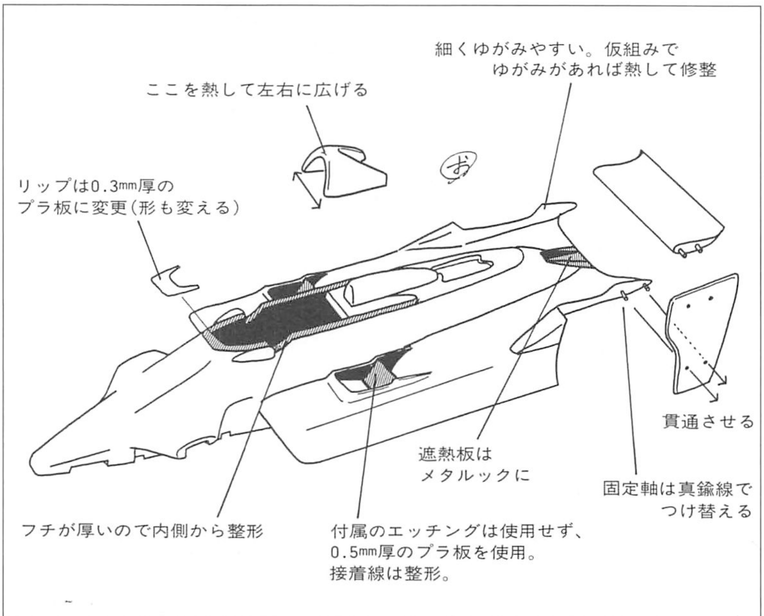
アルゴノーツのラインナップを見ると、とりあえずXウイング以降は未定らしいが、なんとかゆっくりでいいからシリーズを続けてほしいものだ。せめて、ダースベイダー'S TIEファイターくらいは出してくれないだろうか？ せっかくだから、TIEファイターシリーズ３機を並べたいと思っているのはぼくだけではないだろう（あ、TIEボマーもあったな……）。

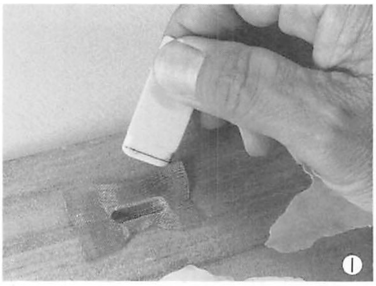
①～③はTIEファイター。
①下面。TIEファイターには脚はなく、基地では吊り下げられている。模型として見た場合はスタンドを作った方がいいかもしれない。
②ソーラーパネルはシャープだが、その分変形が出てしまっている。お湯につけて修整しよう。
③後方より見た本体。
④～⑥はTIEインターセプター。
④パネル先端の砲身を細く修整した。
⑤パネルはメッシュになっているが、目が潰れているところが多く残念。まな変形もTIEファイター以上にある様なので、これもていねいに修整したい。
⑥ディティールが素晴らしいパネル中央部。両機ともミニチュアモデルに合わせてブルーとしたが、映画はスクリーン上がその世界の全て、とするならばグレイにペイントするのもいいだろう。

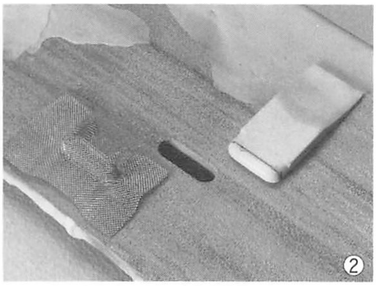
NEW KIT REVIEW!

# LOTUS79

ウェーブ1/24
オガタマサト





①


②

ウェーブのF1名車シリーズ第２弾、ロータス79／1978チャンピオンマシンがリリースされました。詳しくは他誌に譲るとしてロータス79は1976年のF1日本GP以来の万年F1小僧ども(現在では20代後半～30代半ばの親父ども）に異様に人気の高いマシンです。タミヤが前年の78をリリースしていたがゆえに79のリリースはなく怨念をいだきつつ15年、小僧たちも既に親父になりました。でも心はあの時の小僧のままです。ありがとうWAVE！本当にありがとう。ありがとうついでにお願い！フェラーリ312T2／1977やビルヌーブの126CKも出してね。

## 製 作

歴史上の名車となると対象年齢はやや高めに設定されます。経済的に多少ゆとりがあるから多少高価になってもグレードの高いキットが望まれます。従来のキットと異なりエッチングパーツがふんだんに用いられ、デカールにはシルクスクリーン印刷も導入されています。特にシルク印刷のデカールの導入の効果は絶大です。生産休止中のＴ社ロータス78の欠点が色透けの激しいデカールにあったことを考えれば嬉しい措置ですね。

誌面の都合上、細かいレジンモデル製作のテクニックは省略します。本誌のF1モデルテクニック２（92.10)、３（93.7）を参照してください。そのかわりこの79の製作上のポイントを私の15年越しの思い（オイオイ）を込めてピックアップします。今回製作前にWAVE直営店で試作見本（？）を見ることができたのでかなり参考になりました。

## ポイント１

**〔車体は先に全部組んでしまうと塗装が楽〕**

今回は黒１色のみの塗装です。作業性を考え、以下の部品は全て先に接着してしまいます。ボディ、フロントウイング、フロント翼端板、リアウイング、リア翼端板、バックミラー、コクピット前のリップ（後述するが付属のエッチング部品を使用せず0.3㎜厚プラ板使用)、サイドポンツーン上排気口の仕切り板（エッチング部品、これもプラ板0.5㎜厚に変更)。ただしこうすると一部（サイドポンツーン上の排気口内側など）塗りにくくなるところが生じるので缶スプレーで塗装される方には不向きかもしれません。また先に全て組んでしまうのは強度を確保し易くすることも理由です。塗装後の接着では強度が確保しにくい上に塗装面を汚してしまう可能性が非常に高いのです。

さてこれらの組付けを行なう時に以下の点を押さえておくとベターです。

**①コクピット開口部の処理**

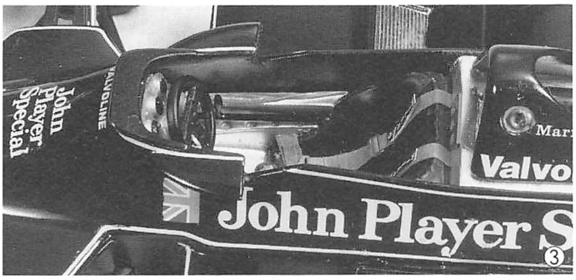
スケール感皆無なまでにコクピット開口部の縁（ふち）が厚いので対処したい。どうやら成形上の強度確保、脱型上の都合からわざと厚みを持たせてあるようなのですが見た目が良くありません。縁を削って薄くするだけでぐっと良くなるから是非実行してください。もっともそのままでも黒で塗装するとパーツ状態の時程気にはならないようです。

**②コクピット前部のリップの処理**

①の加工を行なうとコクピット開口部前部に付くリップのエッチングパーツが合わなくなります。このエッチング、削ろうにも堅すぎる（材質はステンレス？)ので0.3㎜厚のプラ板で作り直します。なおこのリップの下に付くバックミラーは、実車ではコクピットカウルと一体成形なので先に接着して隙間はパテ埋めしておきます。

**③ロールバーの処理**

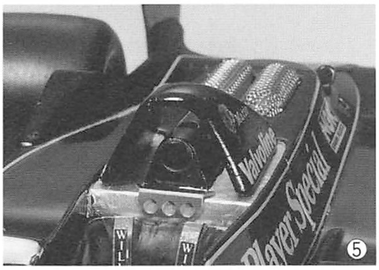
①の加工を行なうと、ロールバーがコクピット開口部の厚い縁に合わせて作られているのでロールバーの幅が不足します。作り直し？いえいえ、その必要はありません。ロールバー中央部



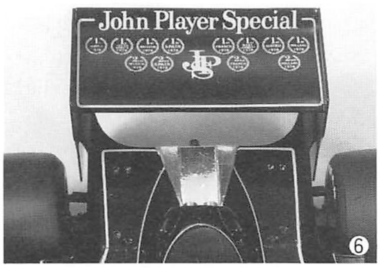
③



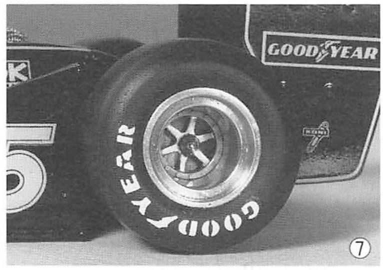
④



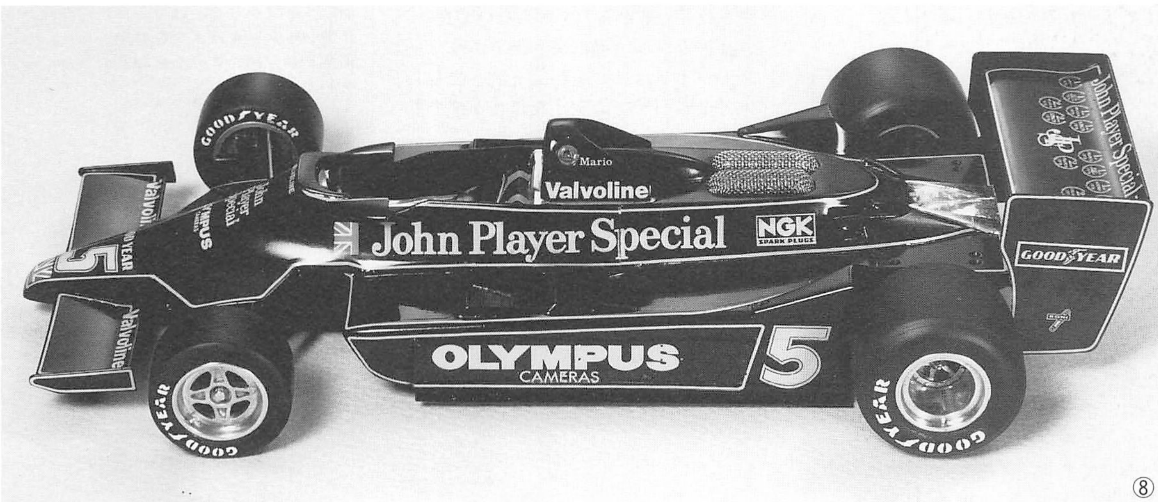
⑤



⑥



⑦



⑧

を熱して少し広げてやれば良いのです。レジンパーツは加熱すると少々軟化するのでドライヤーで熱したりお湯に漬けてちょいと曲げてやるのです。この方法なら歪んでしまっているレジンパーツの形を修整することも可能です。

**④ウイングの接着**

リアウイングは組付けに少々注意する必要があります。79のリアウイングはリアタイヤのフェアリングから一体で後方に伸びたステーに左右翼端板が固定されリアウイングをマウントする、という凝った方式が取られているのですがこれをレジンキットで再現する場合、少々問題が生じます。まずウイングステー部分ですがレジンで成形され少々細い部分なので脱型時に歪みが生じている場合があるようです。翼端板（薄いエッチングで大変良い）とウイングを組付けた上でリアウイング全体に歪みが生じないかチェックする必要があります。歪みがあればドライヤーなどで熱して力を加えて修整してみてください。できましたか？次に翼端板と接続するウイングの軸（レジン）とウイングステーの軸（レジン）を切り飛ばしこれを真鍮線（0.8㎜径）に変えます。この時、仮組みをし易いように軸を少々長めにしておきます。エッチングの翼端板の軸の取り付け部分の穴は段落ち処理はされていますが貫通されていないのでピンバイスで貫通させます。材質が硬いのでちょっと大変。

これでパーツをはめこむだけで仮組みをすることができるし上部に接着することも可能です。仮組みをしてウイングステイに歪みが見つかれば前述の方法で対処します。問題がなければ接着しますがこの時少々長めにしておいた軸はちょうど良い長さにカットします。

**⑤サイドポンツーン上、排気口の仕切り板**

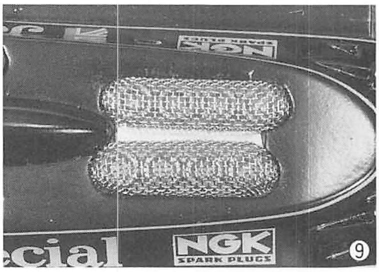
エッチングパーツが使用されています。メーカーによる完成見本では塗装後、このパーツを接着していますが、実車ではこの仕切り板がサイドポンツーン上のモールドとなだらかにつながっています。つまり接着線を整形した方が良いのです。整形し易さを考えればエッチングをプラ板（0.5㎜厚）に変えた方が絶対に楽です。エッチングパーツを型紙にしてプラ板を切り出し接着し整形します。

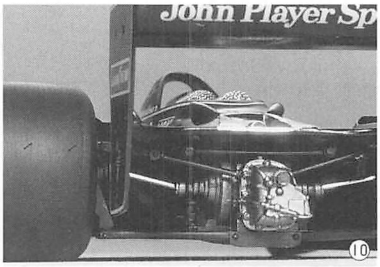
## ポイント2

**あった方が良い電動工具？**
**ホイールの磨きだし、タイヤの処理**

実車のホイールはスチール製の光物です。幸い部品はホワイトメタル製。磨き出しによる金属表現にチャレンジしてみます。ただし今回入手したリア・ホイールは内側にかなり「ス」があるので少し苦労しました。「ス」というのはメタルの表面に生じた月面クレータ状の荒れのことです。「ス」がある場合は「ス」のない層まで表面を磨く、削るしかないのです。もちろん「ス」をパテで埋めるのは簡単ですがそれでは金属地を生かした表現はできないよね。

磨きには電動工具があると非常に楽です。特に今回は「ス」が結構深くあ




るから。高価な工具は不要です。東京マルイなどの組立式電動工具があれば十分です。

ホイールの軸をドリルのチャックにはめて耐水ペーパーをあてて回転させて磨きます。表面の状態を見て使うペーパーの番数を変えて磨きますがリアホイールは「ス」の問題からかなり削り込む必要があり、400番あたりからあてて徐々に目の細かい番数に変えていきます。最終的には800～1000番あたりまで磨き、ティッシュにコンパウンドをつけてさらに磨き込みました。銀で塗装するよりもずっと良い表現ができたと思うのですがどうかな。将来の色アセ防止を考えてプライマーを表面に吹いておきます。

付属のタイヤはゴムキャスト製です。質感は良好ですが多少気泡が表面に見受けられるのとレジンを流す湯口も大きめで処理が面倒なのが欠点です。また通常のゴムより少々パーティングラインが消しにくいようです。ホイールにタイヤをはめて地道に耐水ペーパーをあてて消す（削る）しかありません。とりあえず400番～600番位の耐水ペーパーで地道に削ります。もちろんここで電動工具を利用することはグーです。電動工具を使用した場合は手作業の1/10以下の時間で処理できると考えてください。方法はご存じの通り。ホイールの軸をドリルのチャックにかませタイヤをはめて回転させて耐水ペーパーをパーティングラインにあてるだけ。

これらの作業は時間をかければ手作業でも同じ成果を上げることはできます。でもF1モデルを今後も継続的に製作される方には安いもので構わないから電動工具の導入をお勧めします。絶対に損はしませんよ。

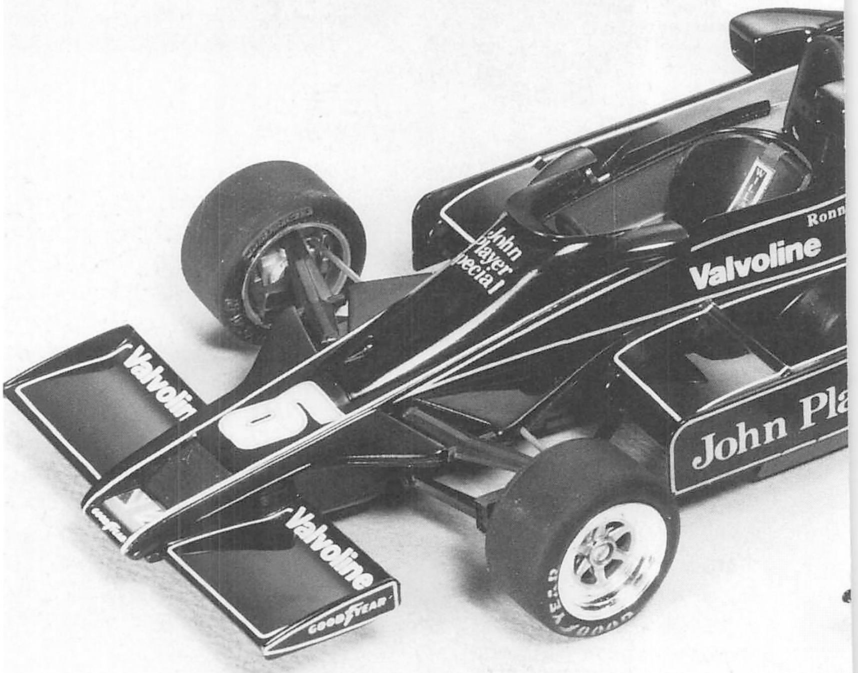
## その他

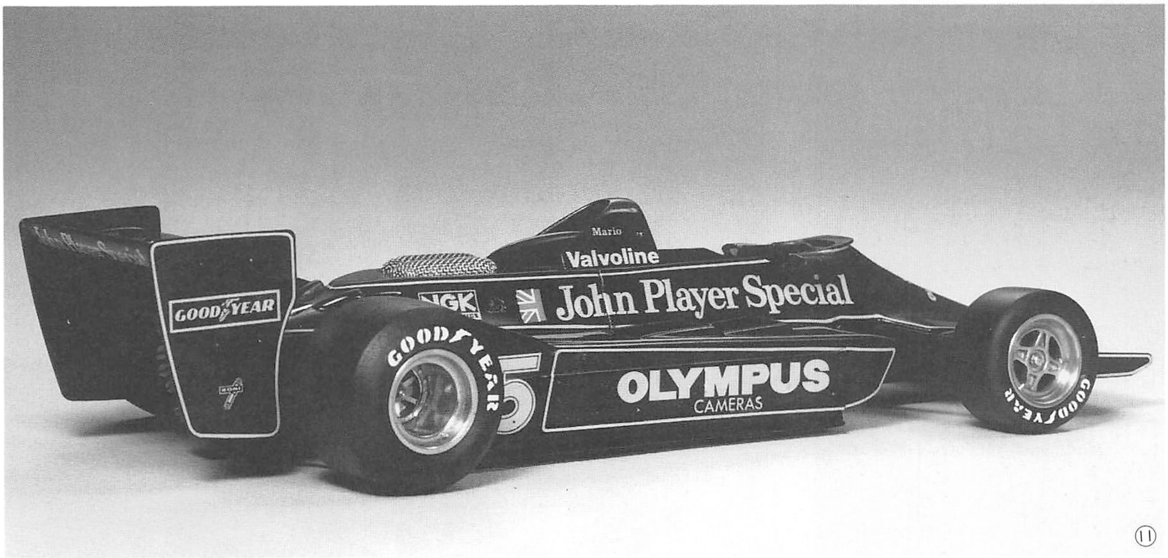
**エンジン吸気口上のネット**は真鍮製のメッシュで製作します。キットに付属する雄型に付属するメッシュを巻きつけて製作する方法が説明書ではとられていますが、ここでは伝統的な雌型（付属の雄型の大きさに合わせ木枠を自作）と雄型でメッシュをプレスする方法で製作しました。このメッシュの指定色はシルバーなので付属の真鍮メッシュを使わず、ワークの発売している銀メッキされたメッシュ金網(50番)を使いました。派手で良いし色を塗らないで良いのも楽。

ついでにレジンのパーツを整形するよりも楽なので**ドライブシャフト**は同じくワークの商品、メッキパイプ（1mm径）を利用しました。これも銀メッキされているから色を塗らないで良い。

リアカウル後部に突き出るエキゾーストパイプはメタル部品を磨き出したけど金属パイプに変えたほうが楽でし

③コクピット開口部の縁は内側から削り込むとシャープさが増し実感が出る。この加工をするとエッチング製のリップの部品が合わなくなるので0.3mm厚のプラ板で作り替えた。
④ラジエターの仕切り板とサイトポンツーン上のモールドがなだらかにつながっているので整形が必要。そのため作業性の良さを考え、キットのエッチングパーツをプラ板に置き替えている。
⑤整形したコクピット開口部に合わせて広げたロールバー。
⑥リアウイングとウイングステーの接着は、ステーのゆがみやウイング自体の歪みに注意する。
⑦ホイールはメタル製。今回はこの材質を生かし磨き出して金属の輝きを表現した。なおホイールのエアバルブはリアクトから発売されているパーツを使用。
⑧エンジン吸気口のネットは真鍮メッシュを使用。作り方は写真①②の様に雌型を作って付属の雄型と合わせプレスする。
⑩ドライブシャフトはワークから発売されているメッキパイプを使用。
⑫タミヤ1/20のロータス78とのツーショット。






⑪

たね。遮熱板にはノリ付きアルミ箔を貼りましたが、薄手の洋白板で作り直した方がきれいかな（でもこっちのほうが楽）。

ついでに個人的な趣味で製作したロータス78（1/20タミヤ）を紹介。1978年版R.ピーターソン車とした。色透けが問題となるマークは元原拓也氏が趣味で製作したインレタを分けてもらって使用している。78→79の進化を感じ取れたら幸いです。

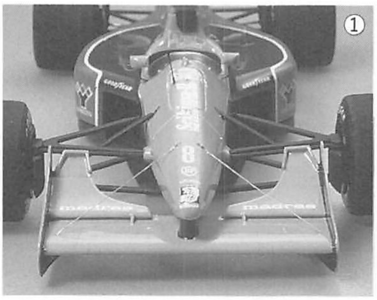



⑫

NEW KIT REVIEW!

# Brabham BT60B

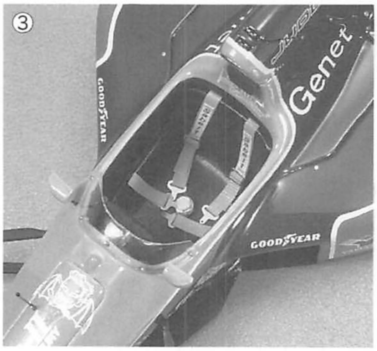
## ヤシオ／ZACO制作室1/24
## BROS.



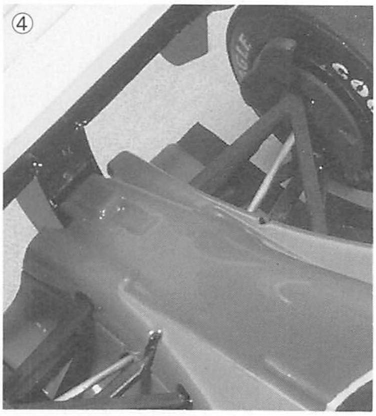
①



②

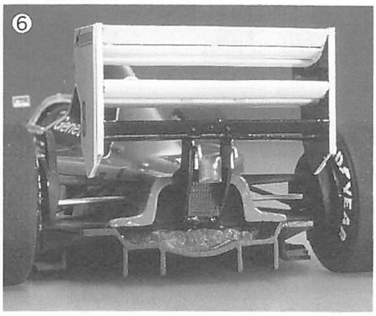


③


④



⑤


⑥

92年F-1GP開幕前、女性ドライバーアマティの加入などで話題だけはトップクラスだった名門ブラバム。

しかし、シーズンが始まってみれば、もうボロボロ。アマティはもちろんバン・デ・ポールも予選通過がままならず、アマティは結局３戦で解雇されてしまいました。その後に乗ったのが今年ウィリアムズで大活躍のデーモン・ヒルでした。まぁとりあえず、アマティよりはマシでしたが。

チームの方も、スペインGP前にマシンの差し押さえに始まり、トラブルの連続。シーズン終了を待たず活動休止、そのまま撤退ということになりました。

いやーっなんか思いっきり暗い書き出しでしたが、今回から正式にライターをさせていただくことになりました。某誌でもやっているのですが、今後ともよろしくお願いします。

### キットについて

という訳で、今回はヤシオのブラバムBT60Bです。なかなか思い切ったアイテム選びで、まさかキットとして出るとは思いませんでした。ただし今回は、パーツが遅れに遅れ、結局ボディ、アンダーパネル、フロントウイング、バイザースクリーン、そしてデカールをいただき、他のパーツは、他キットからの流用や自作となりました。

そういうことなので、まぁ今回はキットの製作記事というより、半スクラッチ記事ってとこでしょうか。

じゃあ早速製作にかかります。

### 製　作

ボディパーツ等はキャストで抜かれています。何か変ったキャストのようで、切ったり削ったりがケッコー大変でした。何か切り口がソフビみたいな感じ。

今回は足回り等を他キットから流用することになったので、色々と物色していた所、ハセガワのジョーダンが、専用設計？と思っちゃうくらいピッタシで、アップライトその他すべてソレからの流用です。

プラモデルと違い、この手のガレージ・キットや1/43メタルキットに言えることなのですが、組み立て前の仮組みだけはしっかりやっておきましょう。

今回は、フロントは流用パーツがそのまま差し込めました。ハハハ。リアもキットでは差し込みになるのでしょうが何せジョーダンの足回りなのでさすがに差し込むことはできず、しばし熟考。カウル後端がふさがっているのをいいことに中で強引に接着してしまいました。まぁこのやり方の方が「穴からサスアームが出てる」感じがするので作例としてはOKでしょう。

ここで、車高なども全て決定し、来たるべき本組みに備えておきましょう。

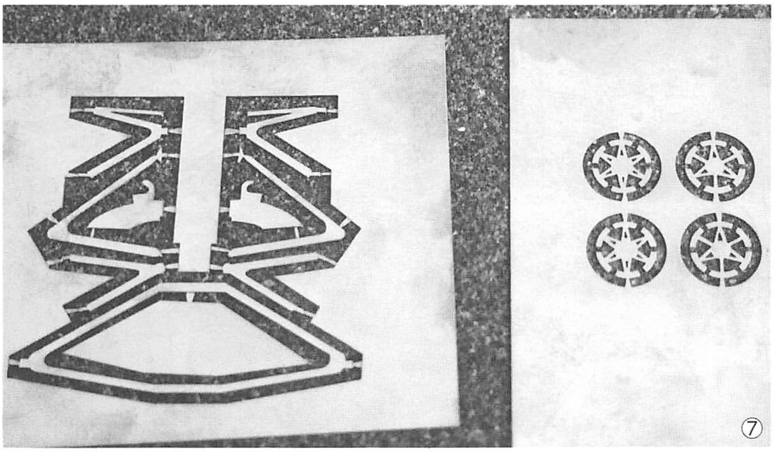
足回りは簡単にできたのですが、問題はウイング関係です。

今回の製作にあたってBT60Yの図面を借りることができたので、それを参考に60Bに置き替えていきます。

翼端板等はプラ板から。フロントは0.5㎜の１枚物、リアは0.3㎜の２枚貼り合わせで作ってあります。

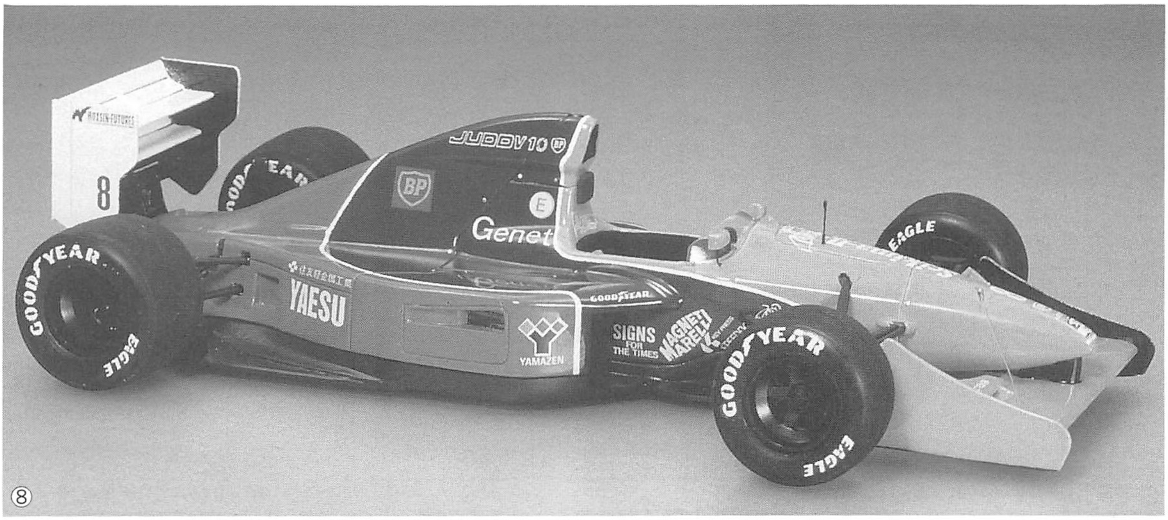
実車の写真等も参考にするのですが、車が車だけに写真がまったくなく、これは借りて参考にしました。

コクピットパーツもあっちこっちから引っぱり込み、なんとか形にしてやりました。こういう時のために日頃か

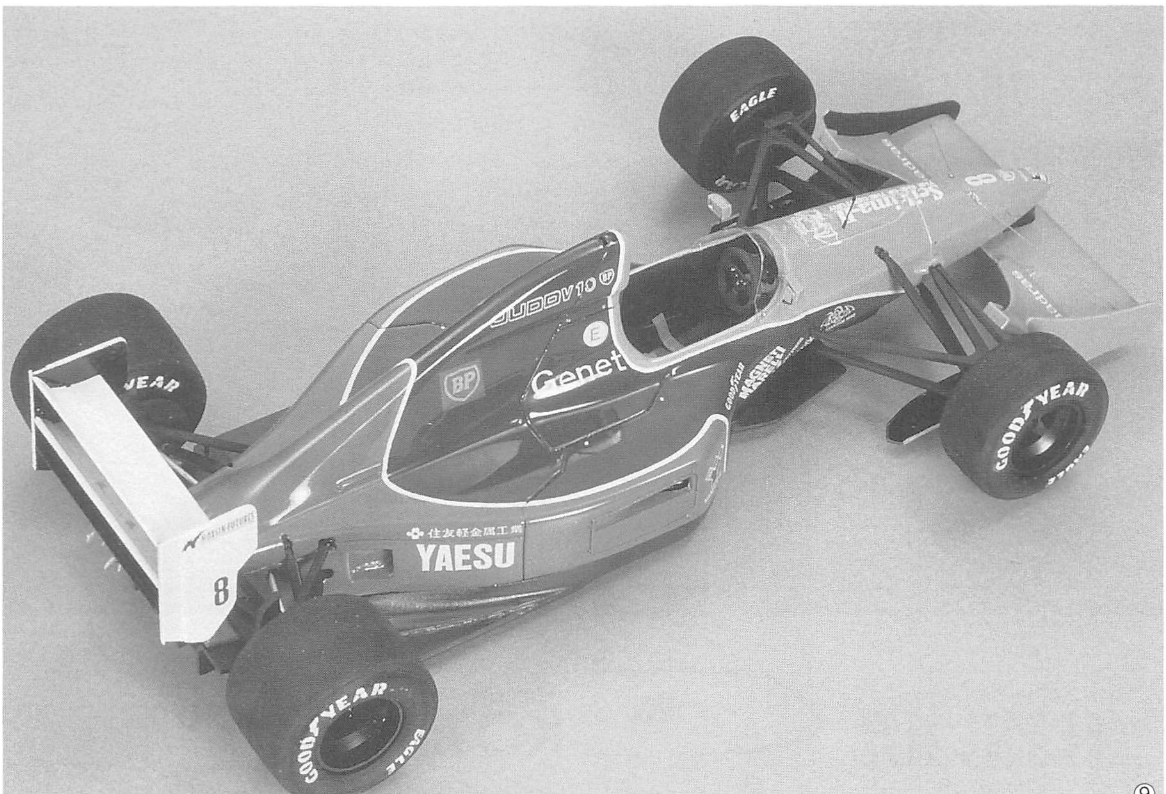


⑦

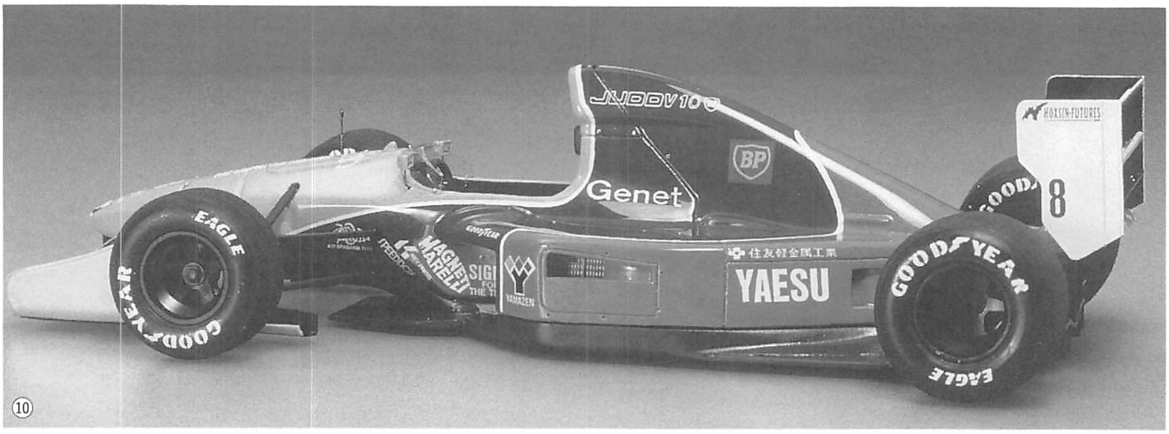
①フロントウイング翼端板は0.5mm厚のプラ板から製作。
②フロントサスペンションはハセガワ1/24のジョーダンから流用。ノーズのSeikima IIのロゴとデーモンマークはセットされないので自作したものを使用。
③コクピットも様々な流用パーツから。
④リアサスペンションもジョーダンのキットから。取り付けにはちょっと工夫が必要。ただしキットにはフロント・リアともエッチングパーツが用意される(⑦)。
⑥リアウイングの翼端板は0.3mm厚のプラ板の2枚合わせのもの。




⑧




⑨



⑩

ら、ジャンクパーツを集めておくと良いでしょう。

まぁ苦労して作ったパーツもキットにはすべて入っているので(号泣)、あんまり関係ないですね、ハイ。

## 塗装とマーキング

塗装にいきましょう。サーフェイサーでしっかり下地仕上げしてやり、まず全体に白を吹きます。で、キモチワルイ、ピンクを吹きます。このピンク、当然市販されていないので調合しますが、超むずかしい。割合がわからなくなったので使った色だけ書きます。すべてMr.カラーで、クリスタルピンク、クリアーレッド、ホワイト、クリアーブルーです。メインはクリスタルピンクです。まぁもっと簡単な調合があればそれで良いでしょう。

ブルーは、前がインディブルーそのまま、後はタミヤスプレーのライトブルーを吹きました。マスキングは必要な所にテープを貼り、鉛筆等で下書きし、デザインカッターでそのまま切り取りました。ただし、塗面に直接刃を入れるので、この方法はあまりおススメできませんが。あとは地道にテープの細切りを貼っていくしかないでしょう。どちらにしてもゆっくり慎重に。

乾燥後デカール貼りをします。

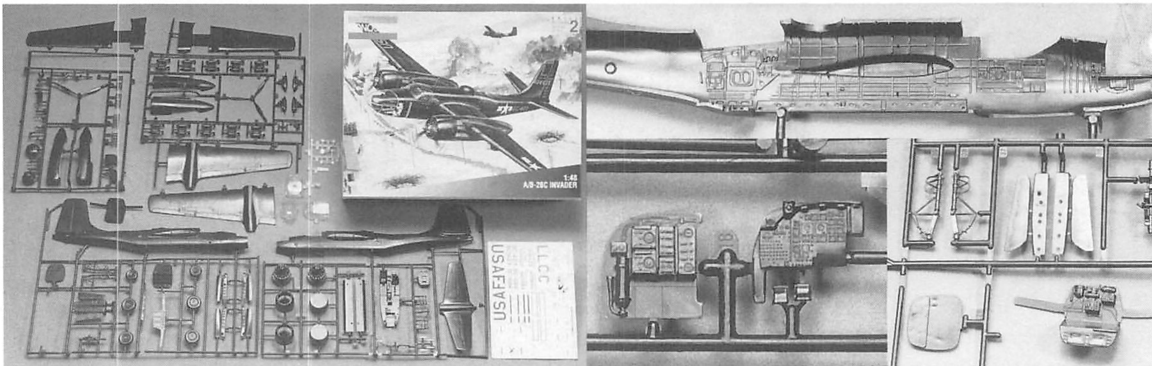
作例に入っていますが、キットには版権の都合でSeikima-II～のロゴは入っておらず、しかしこのロゴがないとキマらないのでイントで自作、貼り込んであります。そしてあくる日(強引!)ウレタンクリアーでコートし、気がすむまで磨いてやります。

仮組みもしっかりやってあるので残りは簡単に組めるハズです。あとはテンションワイヤーを付けたりピン打ちしたりして完成です。

今回は色々ゴタゴタしてしまい、イマイチだと思いますが、次回ジャガーXJ220、気合入れていくんで、これからもどうぞヨロシク。んじゃ、また。

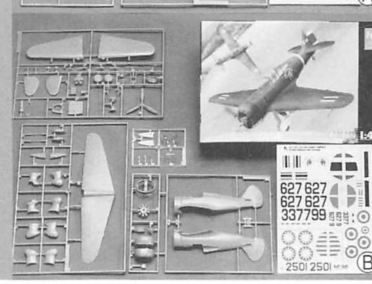
# でものはつもの

①商品名②メーカー名・スケール③価格
④備考⑤問い合わせ

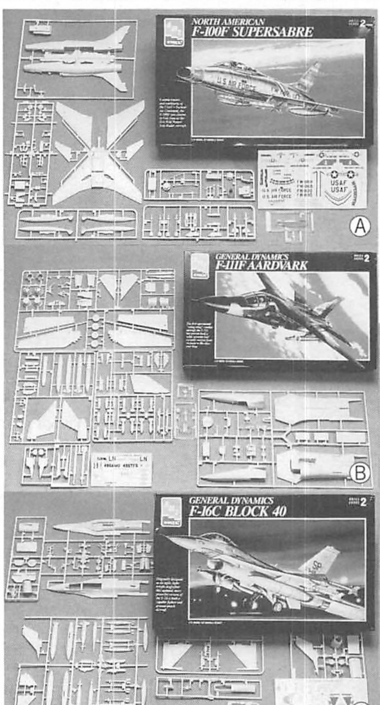



①A/B-26C インベーダー②ハセガワ／モノグラム1/48③3,600円④インベーダーのキットと言えば、エアフィックスとモノグラムの1/72しかなく、それもずいぶん昔に絶版となってしまい長い間空白となっていたが、その長い沈黙を破り、ここに完全無欠のインベーダーが誕生した。内容はモノグラムならではの凝ったつくりで、コクピットから爆弾倉、後部銃座、主脚収容部まで精密再現。特に胴体内側の構造材等のモールドの素晴らしさはモノグラムならでは。デカールは朝鮮戦争時の派手なノーズアート２種が選ばれている。マーキングも多種あることで、別売デカールやハセモノ版オリジナルデカール付きも期待したい。

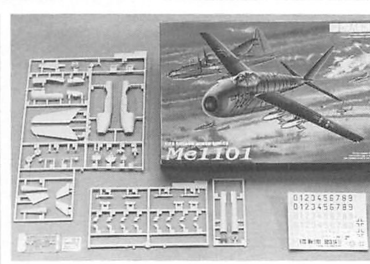



Ⓐ①P-26Cピーシューター
Ⓑ①カーチスホーク75M/N/O
②ホビークラフトカナダ／ツクダホビー1/48③各2,200円④Ⓐはスケール初のプラキット。ホビークラフトスタンダードとも言えるシャープなスジ彫り。デカールはフィリピンとグァテマラ空軍。米陸軍のP-26Aも発売。Ⓑは固定脚のホーク75で、タイで使用されたN型、中国のM型、アルゼンチンのO型が選べる。デカールもこの３国のもの。



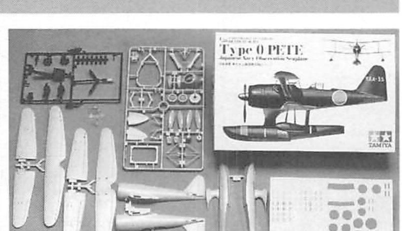

Ⓐ①F-100Fスーパーセイバー
Ⓑ①F-111Fアードバーク
Ⓒ①F-16Cブロック40
②AMT／アーテル／ツクダホビー1/72③Ⓐ2,300円ⒷⒸ2,200円④Ⓐは定評あるエッシーのF-100を複座としたもので、胴体、コクピット、キャノピーが新しくなった。Ⓑもエッシーのバリエーション替え。トリプルプロウ２・エアインテーク、ペーブタックポッド、GBU-28/Bレーザー誘導爆弾が新たに追加。Ⓒも同様エッシーの仕様変更版。垂直尾翼、排気ノズル、エアインテーク、主車輪が新パーツとなっている。なおデカールはいずれもスケールマスター製。



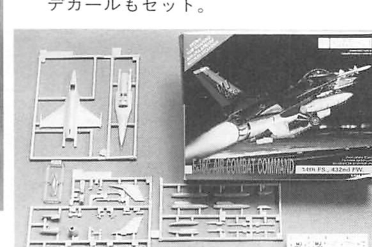

①メッサーシュミットMe1101②ハセガワ／ドラゴンモデル1/72③1,800円④ドイツのジェット戦闘機計画で高速飛行と後退角の研究用に開発された機体で、後に米軍のX-5のもとになったことは有名。キットはユモ004Bエンジンもパーツ化。ミサイル４発付き。他エッチングパーツとデカールもセット。



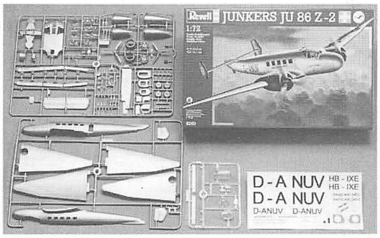
①リピッシュP13a・ジャーマンファイターエース②モーヴ1/48③4,800円④好評のリピッシュP13aにメタル製のハルトマンと専用デカールが追加となったもの。架空のマーキングが実にらしい仕上がり。



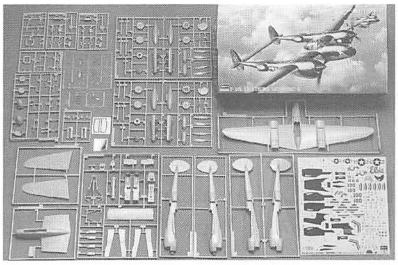

①零式水上観測機②タミヤ1/50③1,200円④各地で開催された「タミヤモデラーズギャラリー」会場で先行発売されていた零観が近所の模型店で入手出来るぞ。ギャラリーに行けなかった人には朗報だ。



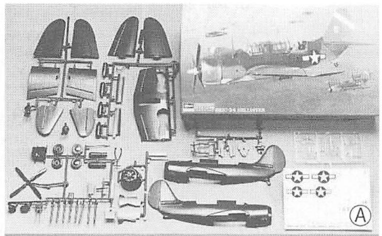
①F-16Cエアコンバットコマンド②ハセガワ／ドラゴンモデル1/144③400円。

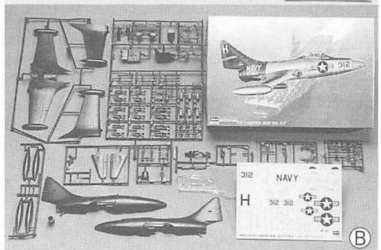



①ユンカースJu86Z-2②ドイツレベル1/72③2,900円④イタレリのキットと基本的に同じ。軍用のパーツも入っているが当然ながらこの民間タイプでは使用しない。デカールはドイツレベルオリジナルで、ルフトハンザ航空とスイス航空のもの⑤ジャーマンホビードラ。

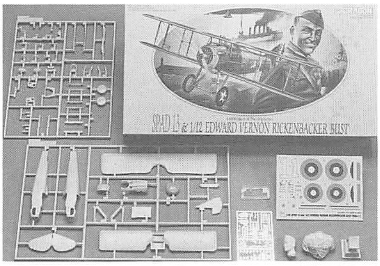


①ロッキードP-38Lライトニング"ジェロニモII"②ハセガワ1/48③3,600円④先月号でダイブブレーキ用のエッチングを紹介したが、今回改めてフルキットで紹介。デカールはタイトルの"ジェロニモII"の他2種セット。

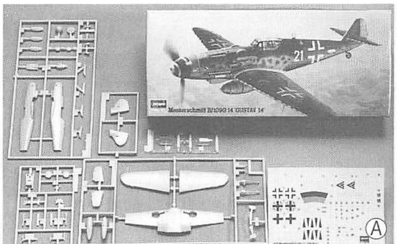


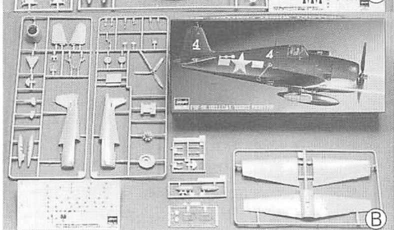



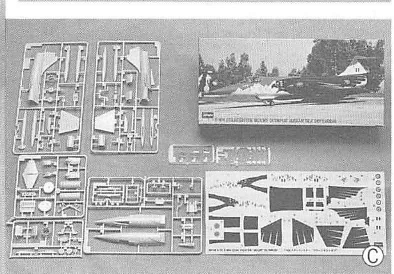

Ⓐ①カーチスSB2C-3/4ヘルダイバー
Ⓑ①F9F-5パンサー"ブルーテイルフライ"
②ハセガワ/モノグラム1/48③各2,600円④ハセモノシリーズの新作。と言ってもⒶは30年以上も前のキット。Ⓑは90年に発売されたもので、デカールはタイトルの"ブルーテイルフライ"の他、VF-192"ゴールデンドラゴンズ"もセット。



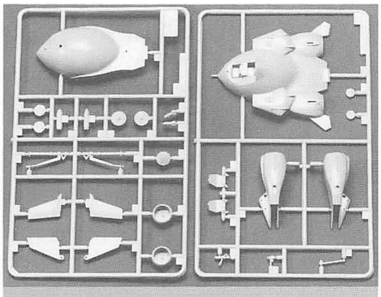
①スパッド13&1/12E・リッケンバッカー胸像②ハセガワ/ドラゴンモデル1/48③3,400円④エースの愛機と胸像をセットにしたナイツオブザスカイシリーズの新作は米陸軍航空隊のトップエース、エディ・リッケンバッカー大尉。



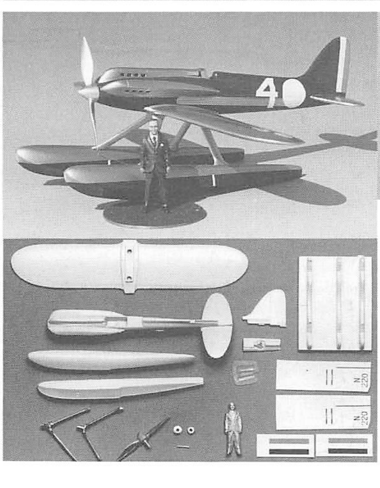



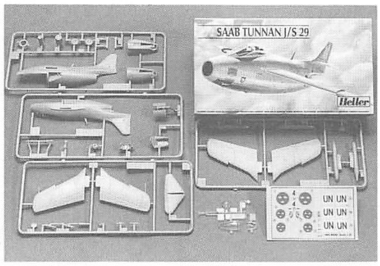

Ⓐ①メッサーシュミットBf109G-14
Ⓑ①F6F-5Eヘルキャット"ナイトファイター"
Ⓒ①F-104Gスターファイター"マウントオリンポス"
②ハセガワ1/72③Ⓐ1,200円Ⓑ1,000円Ⓒ1,300円④Ⓐはリニューアル版のG型第2弾・エルラハウベキャノピー、木製大型垂直尾翼のG-14。Ⓑは先の-5Nに続いての夜戦型。-5Nが主翼にレーダーを搭載したのに対し、-5Eでは主翼下に吊り下げ装備としている。Ⓒはギリシャ空軍のF-104Gで、機種改編での退役を記念して描かれたスペシャルマーキング機。他タイガー迷彩機用のデカールもセット。



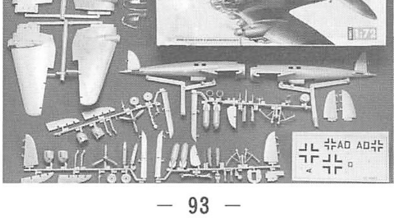
①たまごひこーきF-14②ハセガワ③800円④究極のディフォルメヒコーキ・ハセガワのたまごひこーきに久々の新金型新製品が登場。実機の特徴を完全に押えたうえでのディフォルメだけにマニアにも受けはいい。このF-14、人気のジョリーロジャースとサンダウナーズの2種類の発売が予定されている。



①スーパーマリーンS.5②アトリエ・ノア1/48③7,000円④レジン製。エアレーサーの第3弾は、1927年のシュナイダー・トロフィーレースで優勝したスーパーマリーンS.5。プロペラ、フロート支柱はメタル製。メタルフィギュア1体、デカール付き⑤アトリエ・ノア。

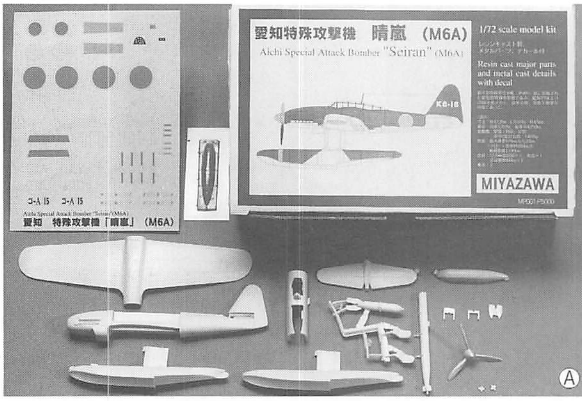


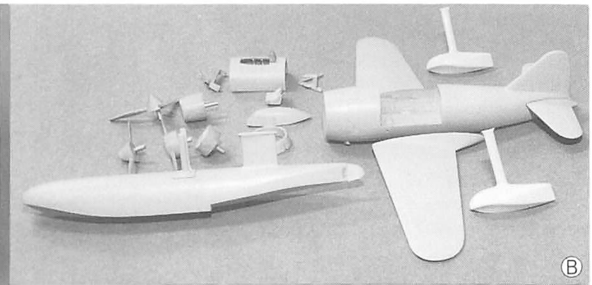

①サーブJ-29テュナン②エレール/グンゼ産業1/72③850円④"空とぶビア樽"嬉しい再販。エレールのスウェーデン機は定評あって人気が高く、このテュナンと同時にサーブJ-32ランセン(1,200円)も再販となった。



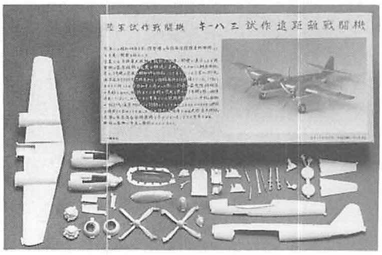

①ハインケルHe111 H20②エアフィックス/グンゼ産業1/72③2,300円④懐しい再販キット。古いキット故、動翼が可動式となっていて苦労しそうだが、アウトラインの捉え方は工社らしさが出ている。

# でものはつもの

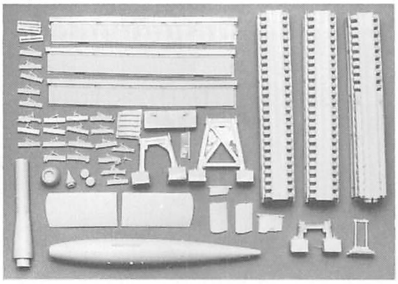


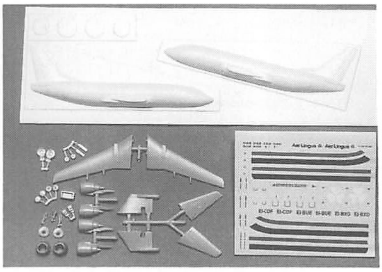
①愛知特殊攻撃機・晴嵐②MIYAZAWA1/72③5,000円④キットはレジン製でプロペラ一体のスピンナー、計器盤がメタル製。全体のパネルラインは全てスジ彫りで再現され、質感高い仕上がり。デカールは第631海軍航空隊と増加試作機用。第2弾は水上戦闘機・強風(Ⓑ)で、2重反転プロペラ装備の15試水戦試作1号機と前期型のコンバーチブルとなる。11月発売⑤宮沢模型。



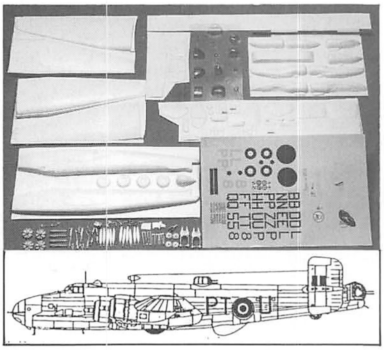
①日本陸軍試作戦闘機・キ-83試作遠距離戦闘機②メカドール1/72③5,800円④量産品が届いたので再度紹介。手馴れたパーツ構成で、プラモデルを何度か作ったことのある人ならそれ程難しくはない。次回作は強風11型を予定⑤メカドール。



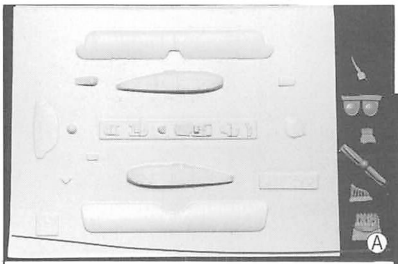
①V-1ロケット&発射カタパルト②アキュリットアーマー1/35④オールレジン製。このスケールになると実に大モノで、V-1本体が20cm近く、カタパルトも入れると50cmを越える。モールドはシャープで細かい所も良く出来ているが、薄すぎて欠損が心配。エッチングに置き替えてくれると有難いのだが。国内未入荷。

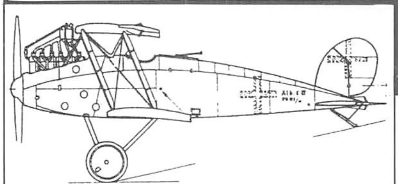


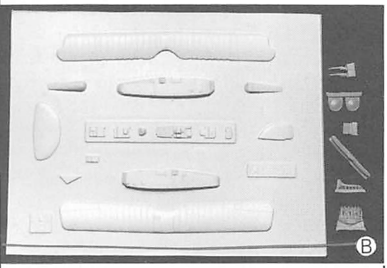
①ボーイング737-548②ウェルシュモデル1/144③5,200円④スカイライナーシリーズの新作。胴体は真空成形で、主翼や水平尾翼、エンジンナセル等は簡易射出成形パーツが用意。脚関係はメタル製。デカールはアイルランドのエアライン・エアリンガス⑤ジャーマンホビードラ。

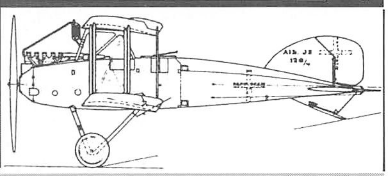


①ハンドレイページ・ハリファックス②コントレール1/48③7,800円④ボリュームたっぷりの真空成形キット。BMk.IIIからBMk.VI、CMk.VIIIに対応。メタルパーツは豊富で、エンジン、プロペラ、排気管、脚柱等50点以上。デカール付き⑤ジャーマンホビードラ。

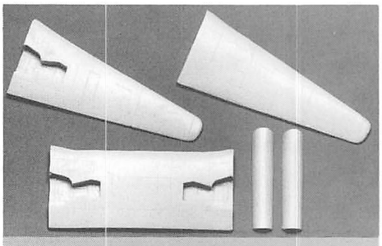






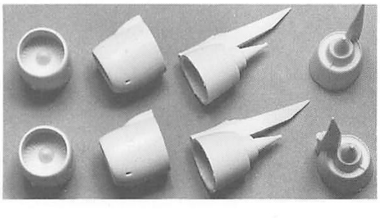


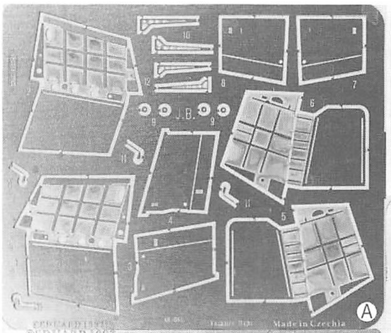
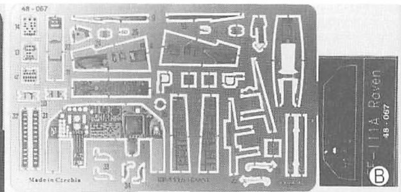
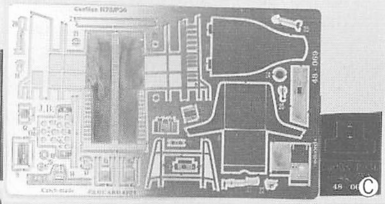
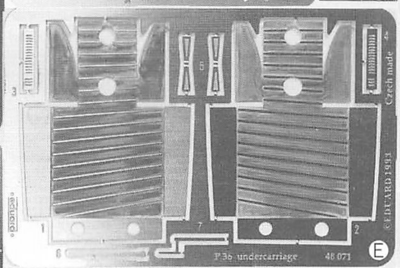
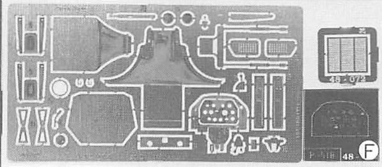
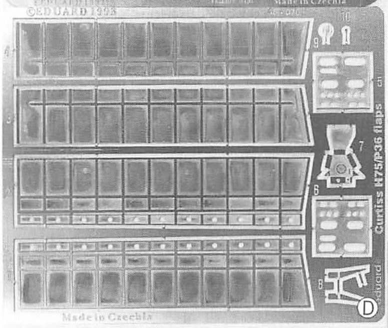
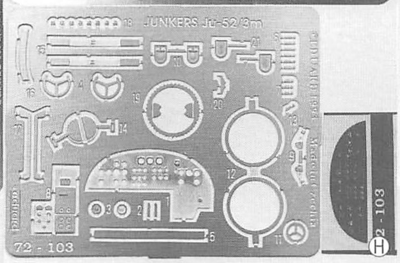
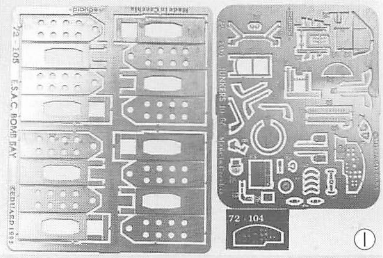
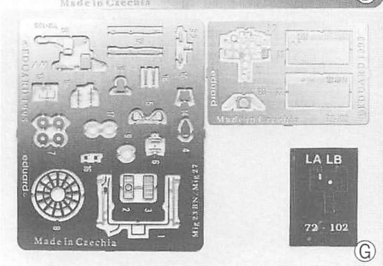
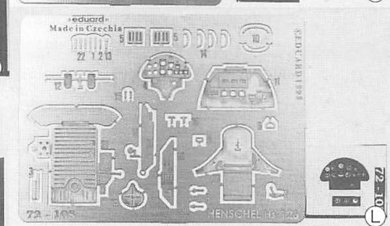
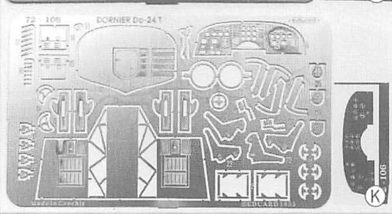
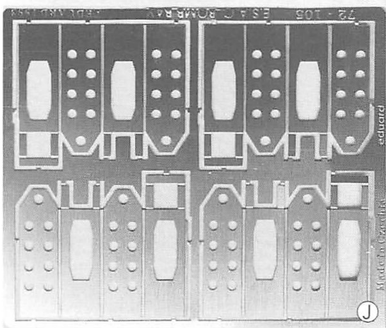
Ⓐ①アルバトロスD.XV
Ⓑ①アルバトロスJ.II
②エクストラバック1/72③各2,000円④真空成形キット。成形状態はかなり高品質で、この手のキットに見られるダルさはほとんどない。特筆は小物パーツで、この手のアイテムではメタルパーツが用意されているが、本キットではレジンパーツがセット。他、アルバトロスD.III、アルバトロスC.IX(各2,000円)も入荷⑤ジャーマンホビードラ。



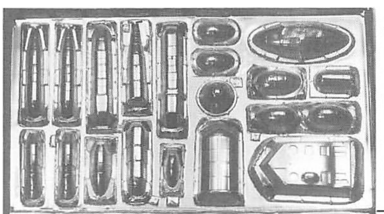
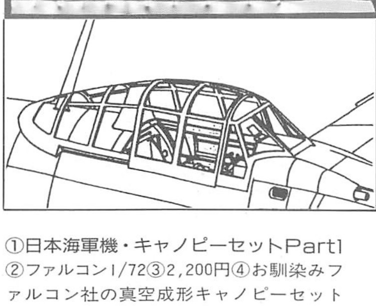
①ドルニエDo635パーツ②トウドレジン1/72③4,000円④ユンカース社が計画した、Do335を2つつなげた機体。キットはドラゴンのDo335用で、外翼と中央翼、胴体背部のレジンパーツがセット。説明書が凝っていてDo335の詳しい資料が6ページも付く⑤ジャーマンホビードラ。

①C.F.M.56エンジン②D.B.プロダクション1/72③5,300円④KC-135RやE-6に装備されるエンジン。レジン製。4個セット⑤ジャーマンホビードラ。

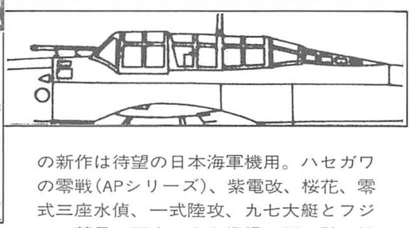


●新着エデュアルド・エッチングパーツ
Ⓐ①48-066 バンパイア フラップ②1/48③1,400円④ホビークラフトカナダ用。
Ⓑ①48-067 EF-111Aレイブン②1/48③1,400円④アカデミー用。コクピット回り他。同構成のF-111E用(48-068。1,400円)もある。
Ⓒ①48-069 カーチスH75/P-36②1/48③1,400円④AMT/アーテル用。コクピット作り直し用。
Ⓓ①48-070 P-36フラップ②1/48③1,400円④AMT/アーテル用。フラップの他、照準器もセット。
Ⓔ①48-071 P-36降着装置②1/48③1,400円④AMT/アーテル用。主脚収容部、オレオの他、ピトー管等もセット。
Ⓕ①48-072 P-51Bムスタング②1/48③1,400円④モノグラム用。コクピットの他、機体各部用。
Ⓖ①72-102 MiG23BN/MiG27②1/72③1,100円④ハセガワ用。コクピットの他、機体各部、各部アンテナもセット。
Ⓗ①72-103 ユンカースJu52-3M②1/72③1,100円④エレール用。コクピット、各部アンテナ等のセット。
Ⓘ①72-104 ユンカースJu86D-E②1/72③1,400円④イタレリ用。コクピット、爆弾倉、二重翼ヒンジ等のセット。
Ⓙ①72-105 W.W.IIドイツ軍機爆弾倉②1/72③1,100円④He111やJu86等の爆弾倉のセット。72-104にセットされているものと同じもの。
Ⓚ①72-106 ドルニエDo24T②1/72③1,400円④イタレリ用。コクピット作り直し用のパーツの他、機体細部用のパーツもセット。
Ⓛ①72-108 ヘンシェルHs126②1/72③800円④イタレリ、エアフィックス用。コクピット回り用。
⑤ビーバーコーポレーション。

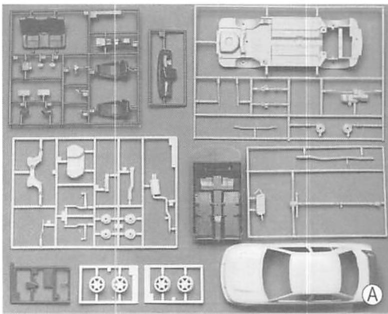
①日本海軍機・キャノピーセットPart1
②ファルコン1/72③2,200円④お馴染みファルコン社の真空成形キャノピーセット

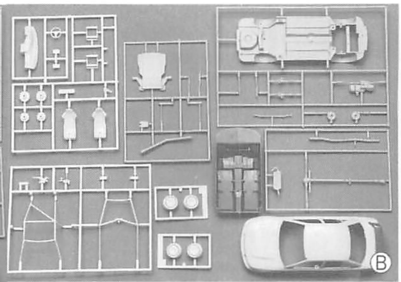


の新作は待望の日本海軍機用。ハセガワの零戦(APシリーズ)、紫電改、桜花、零式三座水偵、一式陸攻、九七大艇とフジミの彗星、天山、九九艦爆2種の計10機分のセット⑤ジャーマンホビードラ。



①F-117A"37TFWウイングコマンダー"
②ハセガワ/ドラゴンモデル1/144③400円。

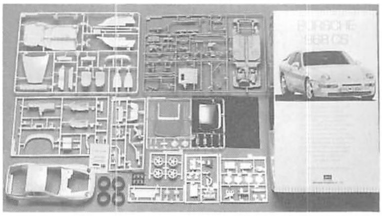




Ⓐ①三菱ランサーGSRエボリューション
Ⓑ①三菱ランサーエボリューション"1993モンテカルロラリー"
②ハセガワ1/24③Ⓐ1,800円Ⓑ2,200円④待望のランサー発進間近!! Ⓐは市販車で、インテークにメッシュ、フロアーカーペットに特殊素材が用意される。ⒷはWRC仕様車。ラリーカーを作り馴れたハセガワだけあって、たった2分割のロールゲージやシートスライドレール、大型ディスクローター等要点は確実に押えている。




①モーリス ミニクーパー・レーシング②タミヤ1/24③1,200円④従来品にレース仕様のパーツを追加。オーバーフェンダー、ホイール、ロールゲージはもちろん、カムカバーやストラップ等もパーツ化。



①ポルシェ968クラブスポーツ②ハセガワ1/24③2,600円④内装を簡略化し、軽量化が図られたレースベース車とも言えるクラブスポーツ。17インチホイールとバケットシート入り。

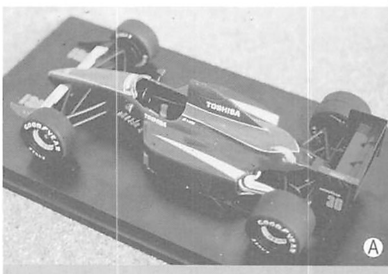






Ⓐ①1975年トヨタセリカLB2000GT
Ⓑ①1969年ダットサンブルーバードSSS
②童友社③各1,200円④ノスタルジックヒーローシリーズの新作2点。最近の丸い車を見慣れた目には、すごく新鮮。

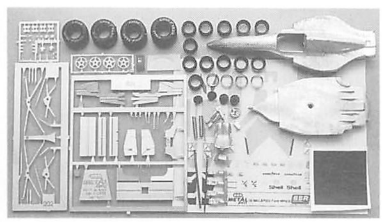


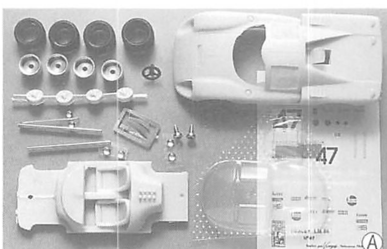
Ⓐ①ラルースLC91
Ⓑ①フェラーリ512M
②ZACO制作室1/24③Ⓐ予価9,800円Ⓑ5,800円④Ⓐはレジン製。ベースキットとなるハセガワ製ラルースLC90のプラキット付き。デカールは91年シーズン後半戦のものがセット。11月末発売予定。Ⓑはレジン製トランスキット。スロット用だが、エレール1/24の512Sをベースにスケールキットに改造するのもいい。フレッドキャディデカール付き⑤ZACO制作室。

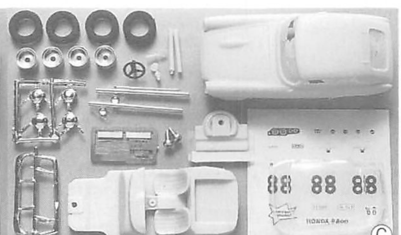


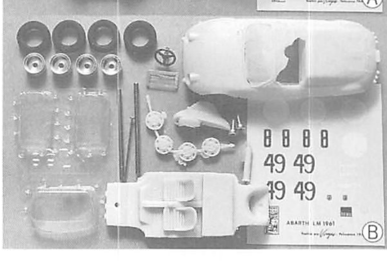

①TSサニー・レーシングフォージ8②ピットロード1/24③11,000円④レジン製。今回のサニーはレーシングフォージ8番車。以前発売の84番車のデカールも付属している。限定品⑤ピットロード。



①マクラーレンフォードMP4/8②BBR1/43③5,800円④メタル製。セナの地元ブラジルGP仕様。あえてマイケル（涙）車にするのが男というもの!?⑤モデルガレージ・ロム。

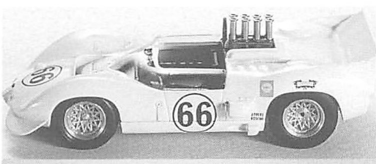






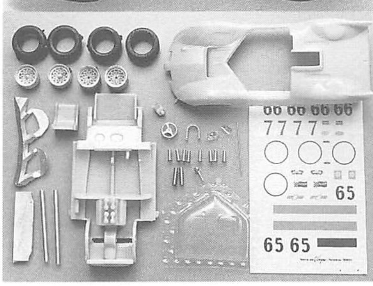
Ⓐ①ヒーレーSR・ルマン1968
Ⓑ①アバルトスパイダー・ルマン1961
Ⓒ①ホンダS800ファストバック1967
②プロバンスムラージュ1/43④レジン製。Ⓐはフォード GT40が速かった時代、1968年のルマンに出場したイギリス車で2ℓV8エンジンを搭載し、アルファ33と同クラスで戦ったが、早々とトラブルでリタイヤしてしまった。Ⓑは、アバルトシムカ1300に似ているが全く関係なく、シムカの登場する前年、1961年のルマンに出場したマシン。Ⓒは日本の名車・ホンダS800のクーペモデル⑤ミニカーショップ・コジマ、モデルガレージ・ロム





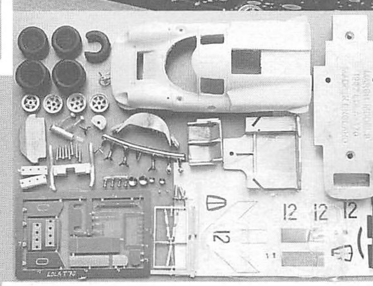
●アメリカ・ニュージャージー州マーモラに本拠を置く、新しいカーモデルメーカー・レジェンダリー モーターカーズの第１弾完成品モデルカーとなる1/43スケール1960年型リンカーンコンチネンタル・マークⅤ。材質は、細かなディティールが再現出来るレジン製で、パーツ数は112点(内、約50点はエッチング)。ボディカラーは純正のファクトリーカラーが用いられ、クーペがペール・ターコイズで、オープントップがチェロキー・レッドに塗装。完全手作業で完成させられるため各タイプとも100個の限定となる。モデルには、コンチネンタル社の紋章をゴールドで型押しした小冊子とシリアルナンバー付きの書面が付く他、ネームプレート付きのディスプレイ台に載せられ、贈答用ボックスに入れられている。価格は325ドル＋送料、保険料。問い合わせ、注文は下記まで。VISAとMCの利用可。

Legendary MOTORCARS
One Wayside Village, #350
Marmora, New Jersey 08223
U.S.A.
☎800-926-3950／FAX609-399-2512

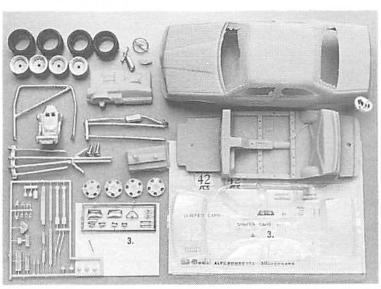


①チャパラル2C・カンナム1965②ESDOモデル1/43③キット6,000円、完成品17,000円④材質はレジン製で、細部はメタルパーツという構成。エアファンネルは加工済みのメッキパイプが用意され質感を高めている。完成品は美しい仕上がりで、ジム・ホールの〝白い怪鳥〞の魅力がお手軽に楽しめる⑤メイクアップ。

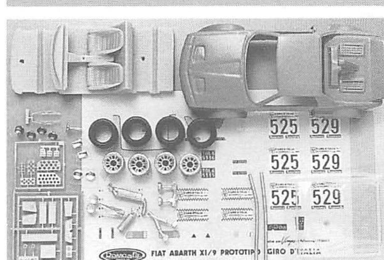




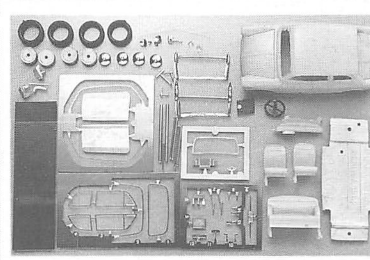
①ローラT73アストンマーチン②マーシュモデル1/43③キット9,000円、完成品31,000円④ボディのみレジン製で、その他はメタル製。細部ディティール用のエッチング付き。シートベルトもエッチングで再現。完成品は、ボディカラーはグリーンで、ディスプレイ台とネームプレート付き⑤メイクアップ。



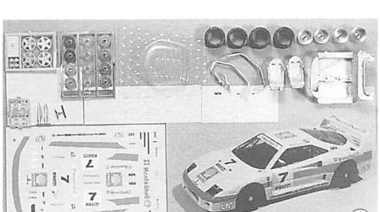
①アルファロメオ164Q.V.ゲーファーカーズ②SCモデル1/43③7,000円④1992年イタリア・スーパー・ツーリングカー選手権(C.I.V.T.)仕様の164。DTM仕様の155と並べてやりたい⑤モデルガレージ・ロム。



①フィアットアバルトX1/9②ロッソ＆フライ1/43③9,800円④ボディはレジン製で赤で塗装済み。ただしあまりきれいな仕上がりではないので再塗装かクリアー仕上げが必要だ⑤モデルガレージ・ロム。

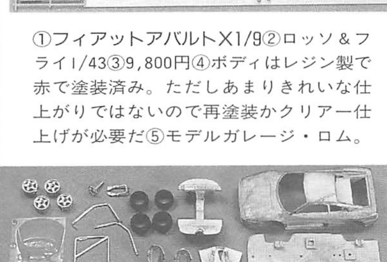


①ビアンチナ ベルリーナ4・1962②クラゾン1/43③7,800円④レジン製。小粒なボディながらも窓枠や内装の細かい所までエッチングて再現。本格的ディティールモデル⑤モデルガレージ・ロム。





Ⓐ①フェラーリF40・モンツァ93
Ⓑ①フェラーリ348tb・モンツァ93
②トロン1/43③各3,600円④ともにブラーゴ用トランスキット。メタル＆エッチング。デカール付き。



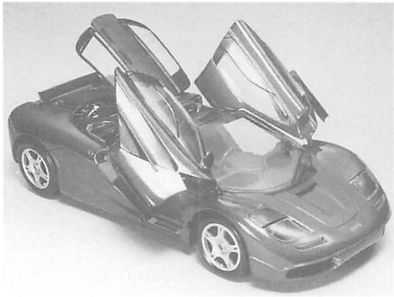
Ⓒ①フェラーリ348tb・モンツァ93②トロン＆スター1/43③7,000円④メタル製。こちらはオリジナルフルキット。窓枠やサイドスリット、エンジンフード等はエッチング⑤ミニカーショップコジマ。



①アバルト キャリアカー②バルニーニ1/43③23,000円④レジン製。ホイール、内装、キャリアの支柱はメタル、部分的にエッチングも使用。搭載車用のタイヤ、ホイールが屋根の裏にギッシリ⑤モデルガレージ・ロム、コジマ。



①フェラーリ365 P2/3② BBR1/43③29,000円④1966年のル・マンに出場したゼッケン⑲番車のメタル製完成モデル。いつもながらの見事な仕上がり⑤メイクアップ。



①マクラーレンF1②サニーインターナショナル／マイスト1/18③4,800円④ダイキャスト製完成品モデル。左右ドア、リアエンジンハッチ、リアスポイラーは可動。ハンドルと連動して左右ステアも可能となっている。ディスプレイ台付き。



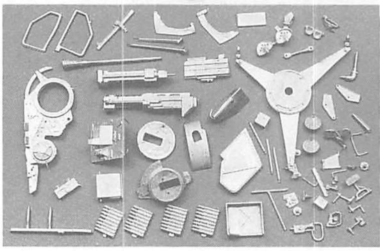
①オースチンミニ・1967 ブリティッシュパビリオン②ビテス1/43③3,000円④5,000台限定シリーズのダイキャストミニカー⑤ミニチュアカーショップイケダ。



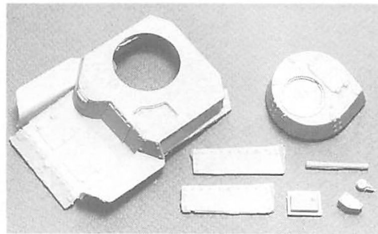




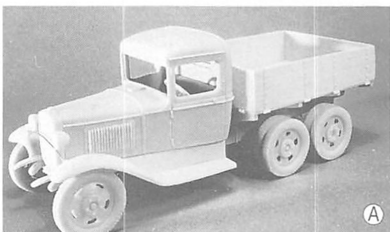
Ⓐ①グラハム・ヒル
Ⓑ①マイク・ホーソン
②モデラーズ③各30,000円④コールドキャスト製法によるセラミック製完成塗装済みフィギュア・ワールドチャンピオンシリーズの新作。Ⓐは全高19cm（台座含む）、Ⓑは全高23cm（台座含む）。息子デーモン・ヒルの活躍で再び脚光を浴びるグラハム・ヒルに人気が集まりそう。各5000体限定⑤ミスタークラフト。

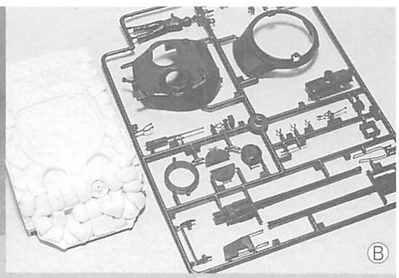


①ドイツ3.7cm対空砲Flak43②ピットロード1/35③11,500円④メタル製。メリハリの利いたシャープなモールドのパーツは50点を超える。砲身が可動するため各パーツの精度も高いハイグレードなものに仕上がっている。砲身と照準器は連動で可動。キットにはエッチング製の防盾付き⑤ピットロード。



①日本軍・指揮戦車シキ②アリマ1/35③6,500円④戦車隊の指揮官用に97式中戦車のシャシーをベースに作られたシキ車。キットはタミヤの97式中戦車のシャシーを使用するコンバージョンキット。レジン製⑤アリマカンパニー。

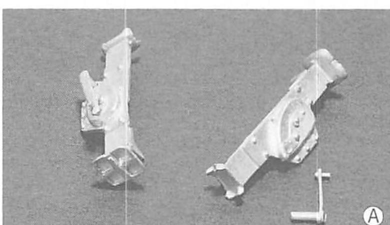


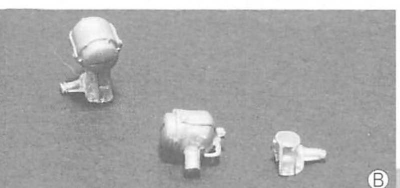


●レジーキャスト1/35・NEW
Ⓐ①ソ連GAZトラック タイプAAA/AA
Ⓑ①M4A3シャーマン76㎜サンドバッグ装甲キット
③Ⓐ未定Ⓑ4,500円④ベルギーのレジンキットメーカー・レジーキャストの新製品2点。Ⓐはレジン製フルキットで、6輪（タイプAAA）と4輪（タイプAA）が発売される。なお荷台に載せるマキシム4連装対空機銃座の発売が予定されている。Ⓑはレジン＆プラの改造パーツ。サンドバックの装甲を施した車体は見事な一体成形。砲塔はイタレリのプラパーツがセット。他はタミヤベース⑤バウマン。

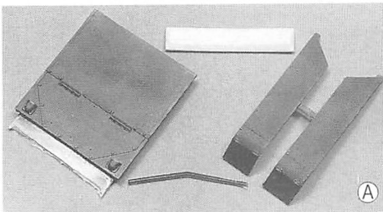
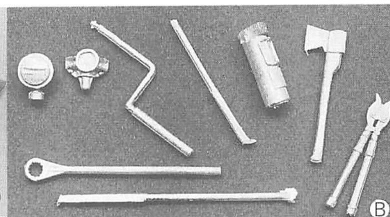
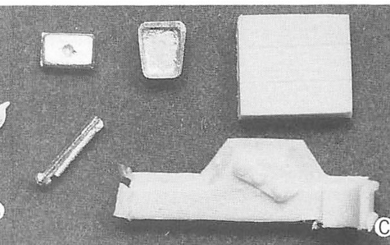
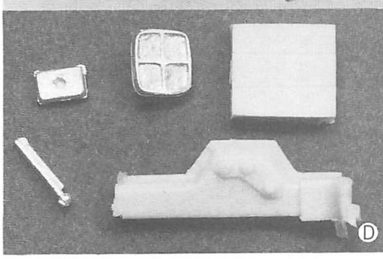
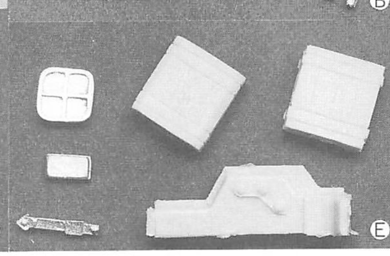


①プジョーDMA 1.5トントラック②JMP1/35③9,800円④大戦中にドイツ軍で使用されていたフランス・プジョーのキャブオーバートラック。キットはレジン製のフルキット。モールド、ディティールの良さはレジンならでは。エッチングパーツとドイツ軍用デカール、カラー写真付き⑤バウマン。

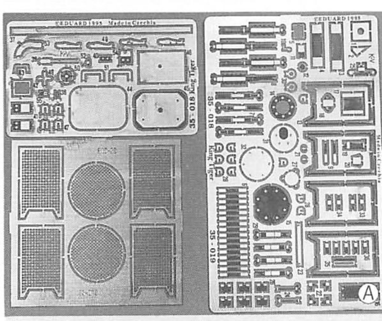
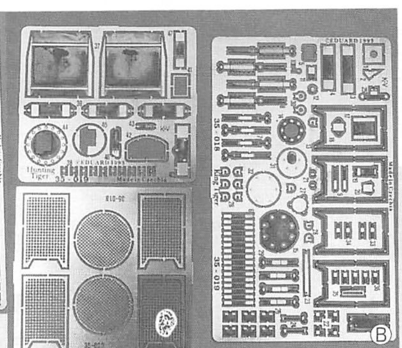
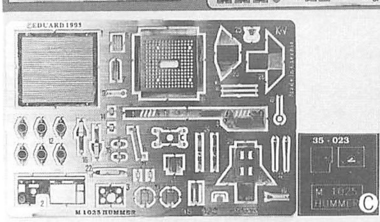
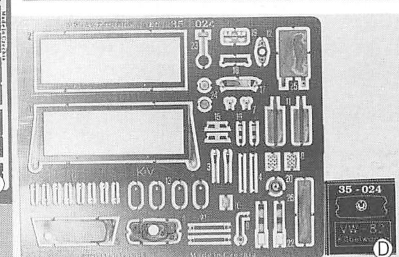




Ⓐ①ドイツ4・3号戦車用ジャッキ
Ⓑ①ドイツボッシュライトパーツ
②ザ・ショーモデリング1/35③Ⓐ650円Ⓑ480円④トニー・グリーンランド氏原型による車両装備パーツ。真鍮製のロストワックスで、小さいながらも精巧な仕上がり。今後もトニー氏原型によるパーツの発売が予定されている⑤バウマン。

●クリッパーモデル1/35・NEW
Ⓐ①613 フンメル後期型グレードアップセット③1,800円④レジン製。車体前面上部パネル、左右フェンダー、パネルリベット、跳弾板のセット。
Ⓑ①621 ドイツ軍OVMセット③1,800円④メタル製。
Ⓒ622 Ⅳ号ジャッキ（前期型）セット③800円④レジン＆メタル製。
Ⓓ623 Ⅳ号ジャッキ（後期型）セット③800円④レジン＆メタル製。
Ⓔ624 Ⅳ号ジャッキセット③800円④レジン＆メタル製。
⑤おもちゃクラブ喜屋。

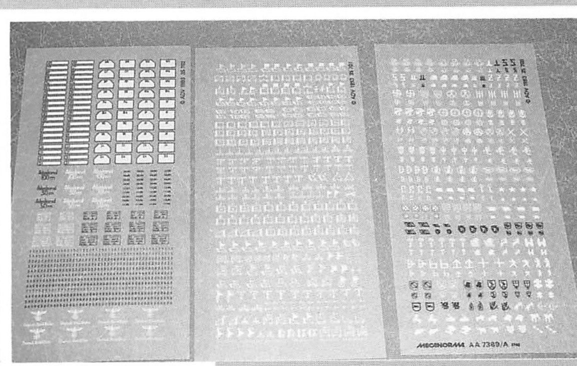
●新着エデュアルド・エッチング（1/35）
Ⓐ①35-018 キングタイガー③1,700円④タミヤ用。車体各部の他、エンジンルーバー部のメッシュグリル付き。
Ⓑ①35-019 ハンティングタイガー③1,700円④タミヤ用。3枚中2枚は35-018と同じもの。
Ⓒ①35-023 M1025ハマー③1,400円④タミヤ用。インテリアのディティールアップの他、車体各部用。
Ⓓ①35-024 VW82キューベルワーゲン③1,400円④イタレリ用。フロントウインドウ枠、ワイパー、ドアノブの他、車体各部ディティールアップ用。
⑤ビーバーコーポレーション



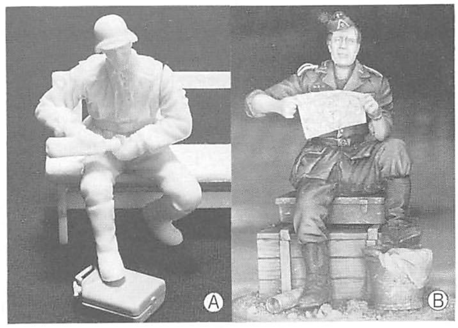

①ドイツ第6軍"スターリングラード1943"
②ハセガワ／ドラゴンモデル1/35③700円
④冬季仕様の兵士4体セット。



①ドイツ歩兵食事運搬・1943クルスク戦
②ヘッカー＆ゴロシ54㎜③1,900円④メタル製フィギュア⑤バウマン。

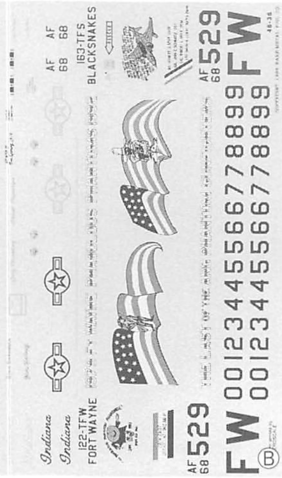


①ドイツ軍用車両ドライデカール②アズムット1/35③各1,200円④通常の水に浸すデカールより違和感の少ないAFV用ドライデカール。師団マーキングセット（装甲師団、重戦車大隊、突撃砲旅団他）、兵科マーキングセット（戦車部隊、装甲偵察部隊他）、車体ナンバーセット（陸、空、親衛隊他、ソフトスキン用）の3種発売で、3枚揃えればドイツ軍のほとんどの車両をカバーできる。価格的に見てもとてもお得な内容。白黒2色⑤バウマン。

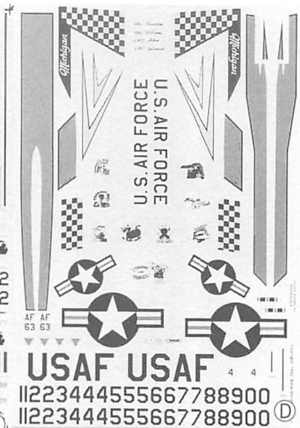


Ⓐ①ドイツ兵・水をそそぐ兵士
Ⓑ①ドイツ兵・新聞を読む兵士
②S.M.A.1/35③各1,600円④レジン製フィギュア。立ちポーズで戦闘スタイルの多いフィギュアだが、これはどちらもリラックススタイル。ディティールは抜群で、Ⓑのような単体ジオラマでも戦車等の車両と合わせたジオラマでもグッド！⑤バウマン。

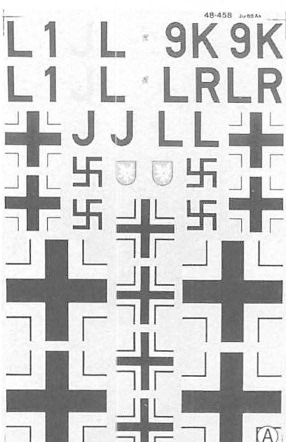


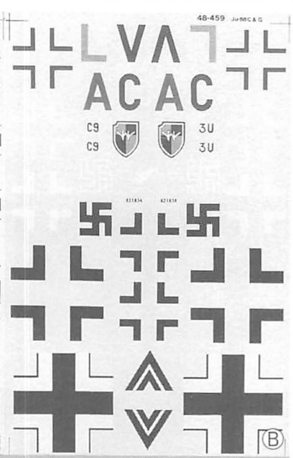




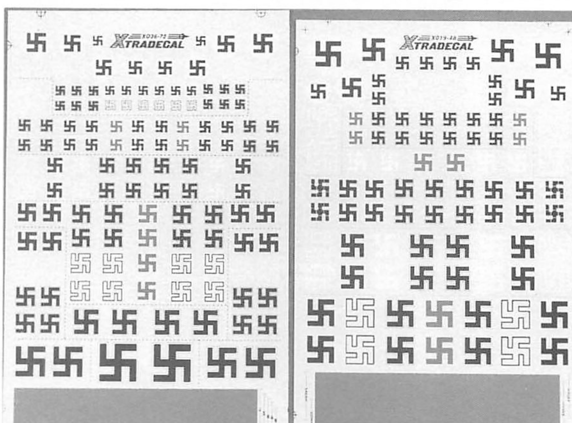


●新着ベアメタル・エキスパートチョイスデカール
Ⓐ①32-3 州空軍F-16's・サウスダコタ、アイオワ、フロリダ②1/32③1,200円④サウスダコタ用は6種類のノーズアート付き。
Ⓑ①48-36 F-4Eインディアナ州空軍122TFW/163TFS②1/48③1,200円④引退記念スペシャル塗装機。1/72(72-14)もある。
Ⓒ①48-37 州空軍F16・テキサス、ノースダコタ、ミシガン&NASA②1/48③1,200円④テキサス用は147FG/111FS75周年塗装機。
Ⓓ①48-40 F-4Cミシガン州空軍②1/48③1,200円④ミシガンのグレイファントム用。ノーズアート9種入り。インテークベーンのチェッカーは正確に再現⑤テッド・ヤマモト。

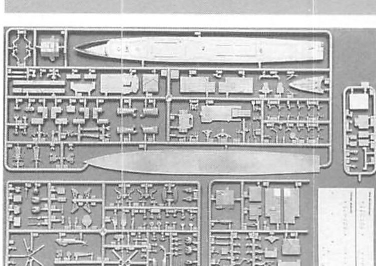




●新着スーパースケールデカール (1/48、900円)
Ⓐ①48-458 ユンカースJu88A's④バトルオブブリテン時フランスに展開した7./KG51のA-1と1943年北アフリカ戦線の3./LG1のA-11用。東部戦線の5.(F)/122のA-1-0を加えた1/72(72-669、900円) もある。
Ⓑ①48-459 ユンカースJu88C&G④II/NJG5のG-6、1943年地中海戦線のI/ZG26のC-6用。IINJG-2を加えた1/72(72-670、900円) もある⑤ビーバーコーポレーション。



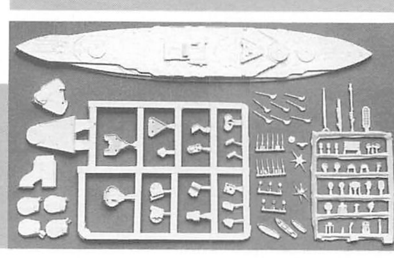
①ドイツ空軍・スワスチカ②エクストラデカール1/48、1/72③各900円④キットでは「事情」でセットされないスワスチカ。その各サイズを集めたデカール。ドイツ機ファンなら1/48、1/72用とも是非揃えたい⑤ジャーマンホビードラ。



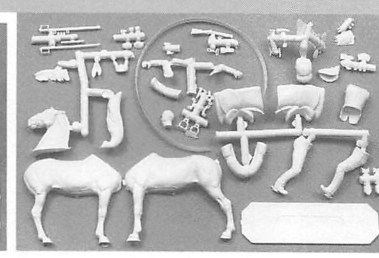
①海上自衛隊護衛艦DDG168たちかぜ②ピットロード1/700③1,500円④先の「さわかぜ」に新パーツを追加して、同型艦の「たちかぜ」と「あさかぜ」の最新の姿を再現。

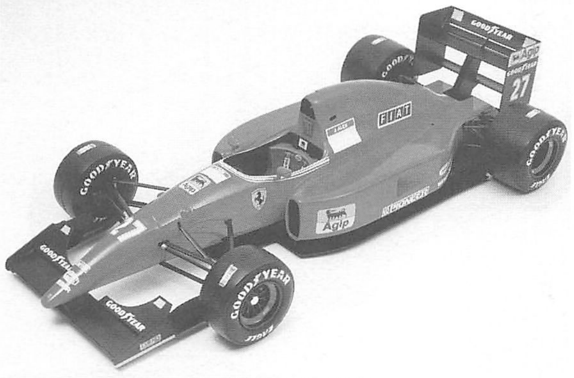



●フランス・ヒストレックスから発売されている、ナポレオン戦争時代の兵隊をモデル化したアイテム。スケールは1/30で、歩兵やナポレオンの単体ものから騎馬モデル、大がかりなジオラマセットまで各種揃っていて、価格も900円から11,000円まで幅広く設定されている。カタログは600円⑤ビーバーコーポレーション。

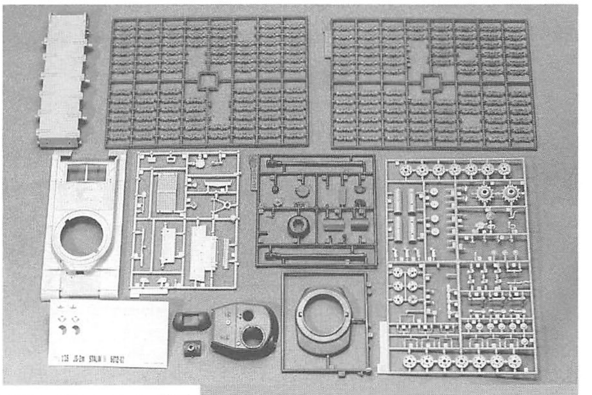


①英海軍戦艦バーラム・1941②P.T.エイジェンス1/700③8,000円④先の「クィーンエリザベス」と同型だが、こちらは1941年時の姿を再現しているためほぼ全てのパーツが作り替えられている。レジンキャスト&メタル製⑤P.T.エイジェンス。

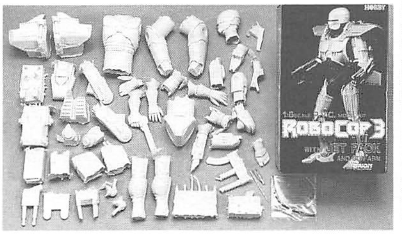




①フェラーリF92AT②モデラーズ1/20③3,400円④92年一番の独創マシン遂に登場。キットは先のフットワーク同様フルディティールで、V12エンジンや横置きミッションも再現。もちろんBBSホイールも。デカールはお馴染みカルトグラフ製。今回も資料集「プロファイル」、お買得セット「イナフ」の他、ラジエター止め金具やカウルファスナーをセットした「92AT用エッチングセット」も同時発売。



①JS-2スターリン②ハセガワ／ドラゴンモデル1/35③3,400円④このキットの注目点は何と言っても砲塔や車体部の鋳造部を、同社として初めてモールドで表現していること。その他の部分は、同社スタンダードとも言える細かなパーツ構成で細部も見事に再現。キャタピラは1枚ずつの連結式。




①ロボコップ3・ジェットパック装備②ツクダホビー1/6③9,800円④ソフビキット。先の「ガンアーム」にジェットパックを追加。スプリング、ビニールチューブ付き。




①Yウイングファイター②アオシマ／アルゴノーツ1/72③7,800円④ソフトビニール主体の複合キット。脚柱や機銃がメタルで、他レジンパーツ、真鍮アングル材が用意される。




●9月号の当コーナーで紹介した、ハンブロールの塗料類が入荷した。ヒコーキモデラーには昔から好評で、是非この機会に使用することをお勧めする。14mℓ入り塗料が1つ200円⑤ビーバーコーポレーション。

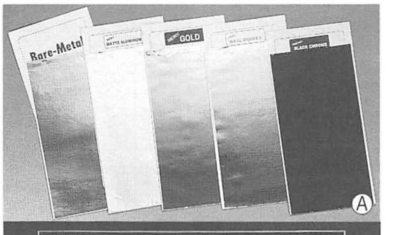


①チタンコーティング・ドリル刃&ルーター切削用太刃②プロホビー④高性能ハイス鋼にチタンコーティングを施し、従来の刃先寿命の8倍を実現。ドリル刃は1本1,250〜1,650円、切削用太刃が1本3,800円となっている。ラジコンシャシーの加工にも有効⑤アイコム。



①デカールバサミ②タミヤ③1,200円④デカールやシールのカット専用ハサミ。刃先はフッ素樹脂コーティング加工。





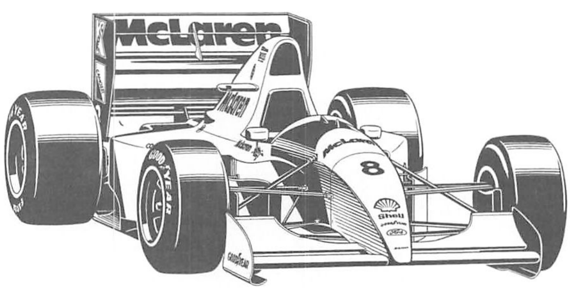


Ⓐ①スコードロンステッカー・U.S.ネービー&マリーンセット③3,000円(〒共)④直径14cmの大版ステッカー。200種の中から写真9種をセレクトしての発売。
Ⓑ①メタルフォイル②ベアメタル③各900円④マニア愛用のアルミホイールシート。飛行機、カーモデルてに各種使い分けて一層のグレードアップを!!
Ⓒ①アビエーションアート・P-51③2,000円④255×205mmのモノクロイラスト。厚紙製の額入り。Perriello氏画。氏の直筆サイン入り。
⑤テッド・ヤマモト。

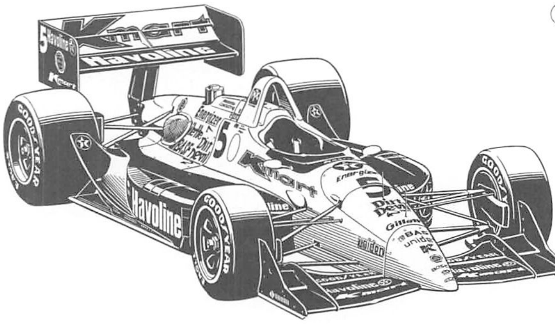
## 問い合わせ先

●アイコム▶☎03-3946-4621　●バウマン▶☎03-3324-7797
●アトリエ・ノア▶〒251 藤沢市宮前366-5　●ピットロード▶☎044-865-2460
●アリマカンパニー▶〒336 浦和市三室2360-2　●メイクアップ▶☎03-3960-2829
●ミニチュアカーショップ・イケダ▶☎03-3806-1219　●メカドール▶☎0977-25-9046
●おもちゃクラブ喜屋▶☎03-3398-1424　●モデルガレージ・ロム▶☎06-458-9779
●ミニカーショップ・コジマ▶☎03-3491-3243　●宮沢模型▶☎03-3862-7411
●ZACO制作室▶〒248 鎌倉市長谷1-15-5　●P.T.エイジェンス▶☎044-865-2624
●ジャーマンホビー・ドラ▶☎03-3469-2030　●ミスタークラフト▶☎03-3461-2665
●テッド・ヤマモト▶☎044-932-2367　●ビーバーコーポレーション▶☎03-3655-5300

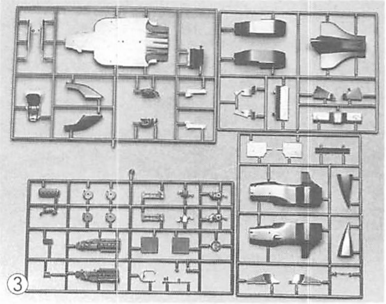
# 速報：プラモデル・ラジコンフェア'93

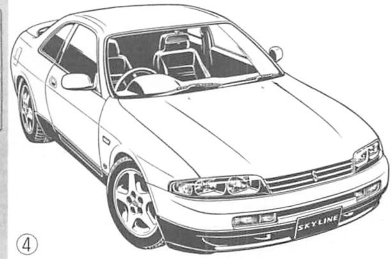


①



②

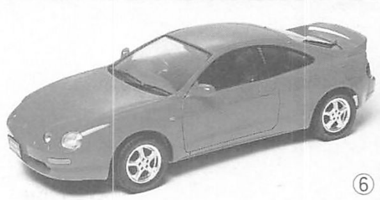

③



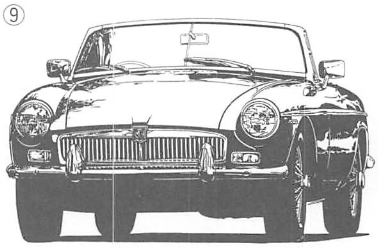
④


⑤


⑧


⑥

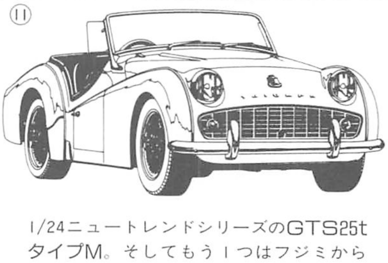

⑦


⑨



⑩


⑫


⑪



⑬

●クルマ

やはり何んと言っても気になるのがF1。と言えば1/20ではタミヤのグランプリコレクションシリーズだが、今回は２点発表された。１つはマクラーレンMP4/8フォード（①）で、第３戦ヨーロッパGP仕様をモデライズ。内容はシリーズ通例のフルディティールで整流板やナロータイプのタイヤも再現。そしてもう１つがシリーズ初のインディカー・ニューマン・ハース Kマート テキサコローラT93/00フォード（②）が登場。シリーズ通例のフルディティールキットだが、手軽に組み立てられるスナップ方式を採用している。また1/24ではハセガワのフォーミュラストーリーシリーズだが、こちらはティレルヤマハ021（③）が登場。もちろんヤマハエンジンを再現したフルディティールキットだ。

今年は東京モーターショーの開催される年で、新車ラッシュの続く国産車だが、模型もそれに合わせたかの様に新製品が続々。中でも注目は9代目スカイラインで３社競作となった。④はタミヤ1/24スポーツカーシリーズの新作として登場するGTS25tタイプM。そして⑤がアオシマ1/24ニュートレンドシリーズのGTS25tタイプM。そしてもう１つはフジミから登場する。

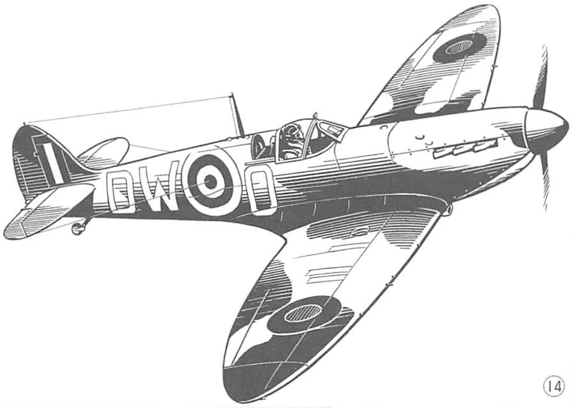
つい先日発表されたばかりの6代目セリカが早くもキット化(⑥)。このタミヤ1/24ニューセリカは、先代セリカと同様、実車と同時発表というニクイ演出で、今後もこのパターンが定着しそうだ。

⑦はハセガワ1/12のアンフィニRX-7タイプX。従来品のバージョン替えだがビッグスケールならではの精密感がいい。

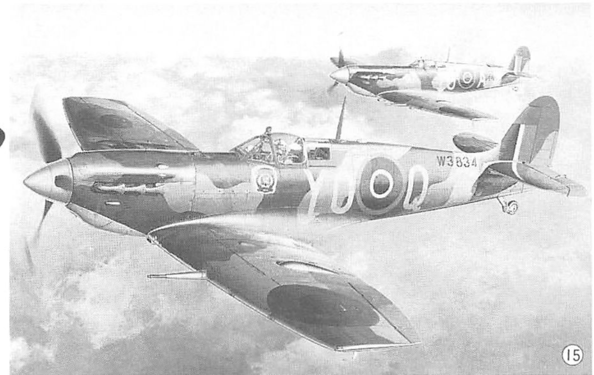
フジミの1/24インチアップシリーズには日産マーチG（⑧）が仲間入り。リッターカークラスのキット化は久し振りで、マーチi・Z-f、マーチニスモ（ライトウエイトスポーツカーシリーズ）も予定されている。

今回のホビーショーで目についたのが「イギリス」関係のもの。アオシマからは1/24ユーロスポーツクラブシリーズの第１弾としてMG-B Mk-Ⅰ（⑨）が登場。またフジミも1/24ライトウエイトスポーツカーシリーズと言う新シリーズを展開、第１弾としてローバーミニクーパー1.3i(⑩)を発表。センターメーターやウッドタイプハンドル、センターマフラー等のオプションパーツも魅力的で今後の展開が楽しみなところ。なお第２弾はミニメイフェア1.3ATが予定されている。グンゼ産業の1/24名車シリーズには、トライアンフTR3A（⑪）が追加となる。これは先のTR3がベースとなっているが、英国車ファンには嬉しいキット化だ。なお同シリーズにはフィアット500のアバルトチューン版・フィアットアバルト595ベルリーナ（⑫）も予定されている。

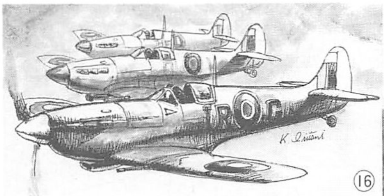
最近の4WDブームもますます絶好調な様で、タミヤの1/24グランドチェロキーに続き、アオシマからは1/24アーバン4WDシリーズの新作としてイギリスを代表する4WD車・レンジローバー(⑬)が遂に登場。



⑭



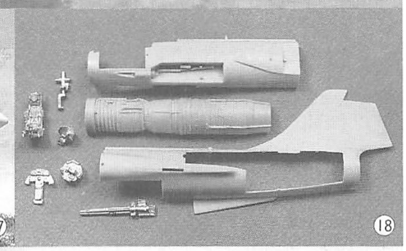
⑮



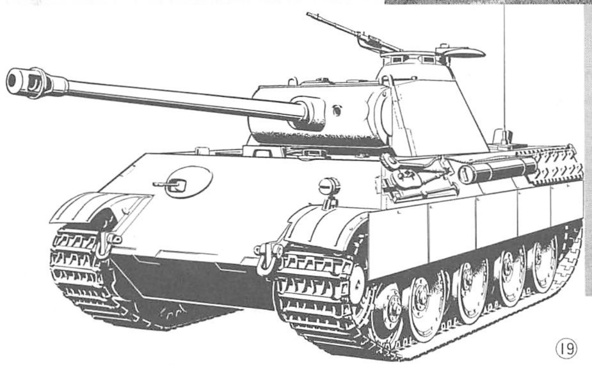
⑯



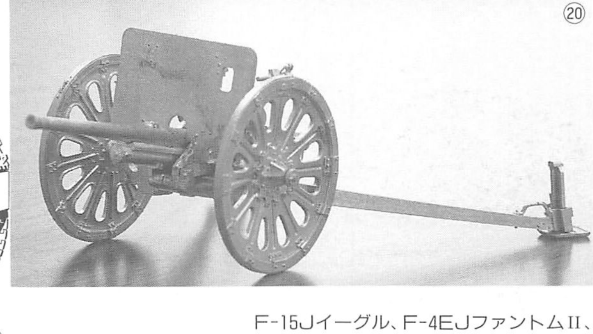
⑰



⑱



⑲



⑳

●ヒコーキ

ヒコーキの新製品もやっぱり「イギリス」。名機スピットファイアが３社から登場することになった。タミヤからは久し振りの1/48傑作シリーズの新作としてスーパーマリンスピットファイアMk. Ⅰが登場。初期型とバブルタイプの２種類のキャノピーやパイロットフィギュア等も用意され、最初の量産型であるMK. Ⅰを存分に楽しめる内容。ハセガワからは1/48JTシリーズの新作で、スピットファイアMk. Ⅴb（⑮）が登場。こちらはプロペラや主翼端等のバリエーションパーツが多数用意されている。またハセガワからはアボーキーフィルターを装備したスピットファイアMk. Ⅴb "Ⅰ・R・グリード"（⑯）も予定されている。

フジミからは1/72スピットファイアF. R.Mk.14E（⑰）とF.Mk.14Cが登場。それまでのマリンエンジンに変えグリフオンエンジンを搭載した型で、タミヤとハセガワの1/48、フジミの1/72と同じ機種ではあるが、それぞれタイプが違っているので、スピットファンはもちろん、ヒコーキファンには嬉しいキット化だろう。

この他のヒコーキの新製品で気になるところでは、ハセガワ1/72のAPシリーズ関係で、モランソルニエMS406"フレンチエアフォース"、P-51Dムスタング"ノーズアートパートⅠ"、ムスタングMk.Ⅲ"ロイヤルエアフォース"、マッキMC202"バラッカ"、フォッケウルフFw190A-9/F-9（コンパチ）等が予定されているが、中でも注目はモランソルニエMS406とP-51Dムスタングの２点だろう。なおP-51Dは完全新金型のNEWキットだが、APシリーズより先にSPシリーズで発売されるので、店頭で見逃さない様に。

またハセガワの1/48シリーズでは、メッサーシュミットBf109E-3"エミール3"とメッサーシュミットBf109E-4/7"エミール4/7"が登場となる。このE型、マニアの要望に応え、胴体を完全新金型で作り替え、より正確さを求めたものとなっている。

ハセガワのヒコーキに対するこだわりはこんなキットも登場させた。従来のプラキットにレジンやメタル、エッチングパーツを加えた1/72ガルテックスシリーズがそれで、第１弾が10月号でも紹介した零式練習戦闘機。そして第２弾となるのが、ロッキードF-104Jスターファイター（⑱）。これは一部パネルを切り欠いたレジン製の胴体パーツとエンジンの他、バルカン砲やシート、計器盤等をメタルパーツで用意。完成後は内部メカが見えるカットモデルとなる。またジェットサウンドや交信の音声を収録したCDシングルとその機体のキットをセットにした1/72CDシングルシリーズと言うのも発売する。今のところ４種類が予定されており、F-15Jイーグル、F-4EJファントムⅡ、三菱F-1、三菱T-2が順次リリース。中でもF-1/T-2のCDにはバルカン砲の発射音も収録されているそうだ。

●ミリタリー

このところ着実に新製品がリリースされているタミヤ1/35MMシリーズからは、ドイツ重戦車キングタイガー（ポルシェ砲塔）に続き、完全新設計のドイツ戦車パンサーG初期型（⑲）が登場。内容は先のキングタイガーと似た構成で、砲塔内の75mm砲装塡部の再現や各ハッチ類の別パーツ化等マニアにも充分満足出来るものに仕上るそうだ。

マニアックな商品開発で毎度楽しみなファインモールドからは、1/35日本陸軍九四式37mm速射砲（⑳）が登場。キットはオールホワイトメタル製で、フィギュア２体を含めて部品点数35点、細部まで精密に作り込まれている。

グンゼ産業の1/35ハイテックシリーズからは10.5cm軽野戦榴弾砲18/40２型とⅢ号突撃砲G号後期型の２点が発表となった。

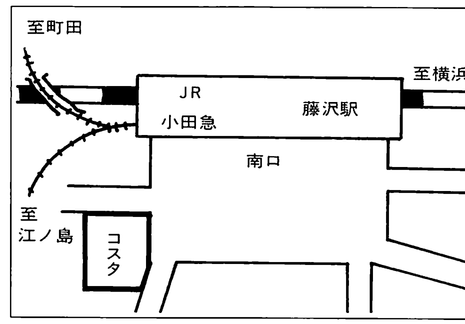
※10月21日から23日の３日間開催されたプラモデル・ラジコンフェア'93の模様は次号12月号で詳細にレポートします。この他にも気になる新製品がまだまだ登場します。お楽しみに!!

# READER'S CLUB

## EXHIBITION 展示会

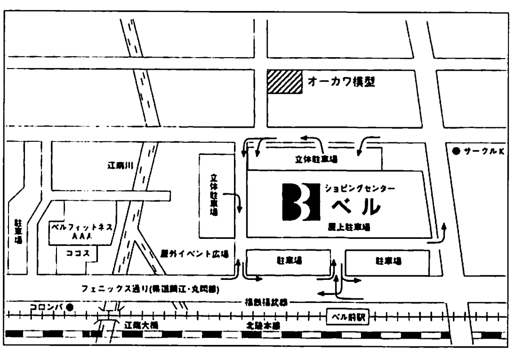
### 第2回 楽趣倶楽部作品展

日　時：11月20日(土)
PM0:00～PM7:30
11月21日(日)
AM10:30～PM5:30
場　所：藤沢駅南口コスタ3階・大会議室
連絡先：コスタホビー内「楽趣倶楽部」事務局▶
☎0466-22-8461
松本晃孝、金子富裕




### 第3回 Fukui Scale Modelers 作品展示会

日 時：11月20日(土)PM1:00～PM7:00
21日(日)AM10:00～PM6:00
22日(月)AM10:00～PM6:00
23日(火)AM10:00～PM3:00
場　所：ベル・2階NTTホール
0776-35-4444
テーマ：ナイスチャレンジ
内　容：1/35Ⅳ号シリーズ、1/48・1/32F-15シリーズ他
連絡先：オーカワ模型
〒910 福井市花堂南2丁目15-13　☎0776-35-6013



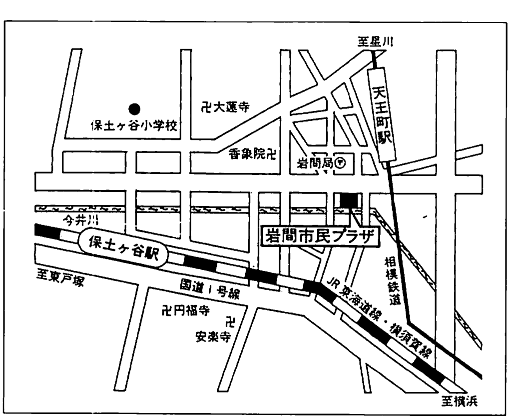

### 東大戦史研究会作品展示会

日　時：11月21日(日)～23日(火)
AM10:00～PM4:00
場　所：東京大学駒場キャンパス1号館118番教室
京王井ノ頭線「駒場東大前」駅徒歩0分
テーマ：クルスク大戦車戦
連絡先：〒271 松戸市三矢小台5-21-18 ☎0473-61-8176
羽山　健
※1/35スケールで大ジオラマを展開（予定）。なお、当会ではやる気のある学生モデラーを募集中。年令、学校不問ですので、会場でお気軽に声をかけて下さい。

●大阪経済法科大学模型研究会・経法祭展示会・10／31(日)・11／1(月)・同大学3号館

### 第3回 ひやめしの会 模型展示会

日　時：11月27日(土)
PM0:00～PM7:00
11月28日(日)
AM10:00～PM4:00
場　所：横浜市岩間市民プラザ
横浜市保土ヶ谷区岩間町1-7-15
相鉄線「天王町」徒歩2分
テーマ：1/48自衛隊機、1/72零戦・南方基地ジオラマ
※航空機、AFV、カーモデル、船、SFとジャンルを問わない展示会です。今年もフリースペースを設けます。当日持ち込み歓迎、腕前気にせず、ぜひお持ち下さい。
連絡先：〒354 横浜市旭区東希望ヶ丘198-1-208号
☎045-365-6520
土屋順裕




### 慶應義塾大学模型クラブ 三田祭定例展示会

日　時：11月20日(土)～23日(火)
AM10:00～PM5:00
場　所：慶應義塾大学・三田キャンパス・第一校舎2階ロビー
JR「田町」駅、都営三田線・浅草線「三田」駅下車徒歩5～10分、都営バス「慶大正門前」下車。
内　容：フェラーリ643を大から小まで。スクラッチビルドのコーナー。他、飛行機、艦船、AFV、車などを出展。なお入場は無料。
連絡先：☎03-3743-1013
野呂政幸

### 関西大学模型研究会 Modeling Team KANSAI 秋季展示会

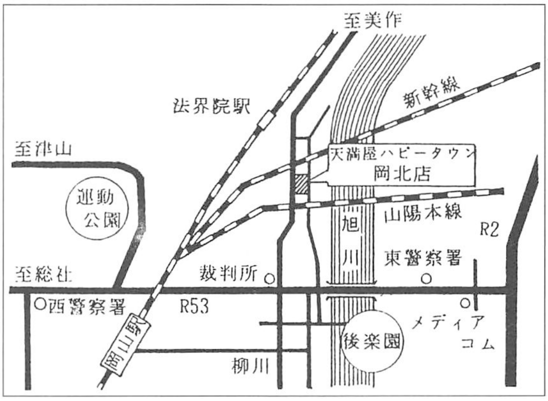
日　時：11月1日(月)PM0:00～PM5:00
2日(火)、3日(祝)
AM10:00～PM5:00
4日(木)AM10:00～PM3:00
場　所：関西大学学内（会場までの道順は、当日学内にポスター等で掲示します）
阪急北千里線、地下鉄堺筋線「関大前」駅徒歩8分
テーマ：スターウォーズ
連絡先：〒536 大阪市城東区成育2-4-5　☎06-932-4567
細川智行

### 桃山学院大学模型愛好会 桃山祭展示会

日　時：11月12日(金)～14日(日)
AM10:00～PM5:00
場　所：桃山学院大学内
南海高野線「北野田」駅より徒歩15分
連絡先：〒664 兵庫県伊丹市日比陽7-39　牧落　浩

## 第12回 未完成チーム 模型展示会

日　時：11月20日(土)～23日(火) AM10:00～PM7:00（最終日はPM6:00まで）
場　所：天満屋ハピータウン岡北店・3階シティギャラリー 岡山市中井町
☎086-234-5111
テーマ：メインテーマ・1/72アメリカ艦載機
サブテーマ・メッサーシュミットBf109、M4シャーマン、ミニクーパー、スターシップ、潜水艦
共　催：倉敷翼端灯、勝間田ルフトバッフェ
連絡先：〒704 岡山市可知5-51-10 道源秀夫




## 同志社大学模型研究会 EVE展示会

日　時：11月26日(金)～28日(日)
場　所：同志社大学内
連絡先：〒561 大阪府豊中市庄内栄町1-5-12 小畑博信

※同志社大学模型研究会では上記のとおり展示会を行ないます。多くの方のご来場を心よりお待ちしています。また会員を随時募集しています。京都市内に週1回来られる大学生なら誰でもOK。会員の半分以上は同志社大以外の方です。どなたもふるって御応募下さい。

## 第7回 S.L.B.作品展

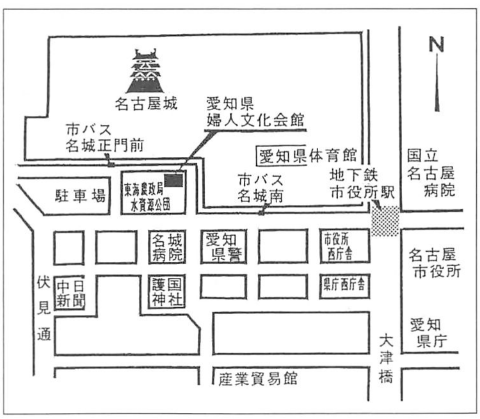
日　時：11月20日(土) PM0:00～PM5:00
11月21日(日) AM9:00～PM5:00
場　所：文京区民センター・4A会議室
地下鉄丸の内線「後楽園」徒歩3分、地下鉄三田線「春日」徒歩0分
連絡先：ホビーショップはせがわ内 S.L.B.事務局
〒354 入間郡三芳町北永井865-7☎0492-59-0169
※今年も私共S.L.B.（ストックレスブラザース）の作品展示会を開催致します。テーマは、スペイン内乱「パート4」とモデルバラエティです。




# EVENT イベント

## オートモデラーの集い 1993

日　時：11月14日(日) AM10:00～PM4:00
場　所：愛知県婦人文化会館・3階第1集会室
愛知県名古屋市中区三の丸1丁目2番
☎052-211-3441
内　容：オートモデラー同志及び模型メーカーとの交流&作品展示
・作品コンテスト（何作でも持ち込みOK。入賞者には賞品あり）
・コンテスト以外の展示も大歓迎
・今回は特にテーマを設けませんが、オートモデルを対象とする
参加費：無料（但し、コンテストに参加の場合は1作品につき100円）
主　催：TMCC（東海モデルカークラブ）、TDMC（トヨタデザインモデラーズクラブ）
連絡先：クーゲル内TMCC事務局
〒440 豊橋市牛川通5丁目2-19
☎／FAX0532-55-9191




## 第4回 スーパーフェスティバル

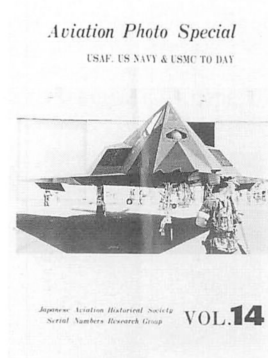
日　時：12月26日(日)
場　所：科学技術館（北の丸公園内）
内　容：ガレージキット、アンティークTOYなどの展示即売会
主　催：ART STORM Co.Ltd.
※参加ディーラー募集中。申し込み案内書をご請求下さい。なお参加受け付け、お問い合わせは下記まで。
連絡先：(有)アートストーム
〒156 東京都世田谷区大原1-20-16
☎03-3469-8557
FAX 03-5478-1317

# BOOK GUIDE ブックガイド

## Aviation Photo Special 14 USAF. US NAVY & USME TODAY

JAHSの発行する、マニアのための資料写真販売用のリスト写真集。最近のアメリカ空軍、海軍、海兵隊の使用機を、昨年アメリカ西海岸の基地で撮影したもの。中には州空軍のF-16ADFの姿も。

1部400円（送料サービス）。送金は切手または郵便振替で（広島7-24644ホビーショップコウダ／広島7-32220JAHSのどちらか）
連絡先：〒734 広島市南区本浦町6-27 幸田恒弘



# REPORT レポート

## 第22回 木更津航空祭

9月26日、陸上自衛隊の木更津航空祭が、秋晴れのもと約30,000人の観衆を集めて開催された。

主な行事は、記念式典、展示飛行、祝賀編隊飛行、立体模擬戦、早見優のチャリティサイン会等で、抽選の当選者にはヘリコプター体験搭乗も行なわれた。何と言っても圧巻は、CH-47、V-107、AH-1、シュペールピューマ等大小約30機のヘリコプターの一斉離陸で、他では見ることのできない迫力あるこのショーは一見の価値あり。

比較的首都圏に近い基地で、これだけのヘリコプターの乱舞をゆったりと見られるのはヘリフリークにとってはこたえられまい。ただひとつ残念だったのは、予定されていた米海兵隊のF/A-18とAV-8Bの参加がキャンセルとなったことだ。


▲各種ヘリコプター約30機による編隊一斉離陸


▲PKOを意識してか、ヘリボーンは医療班派遣の模擬訓練

## 第11回 徳島モデラーズ倶楽部 模型展示会

9月4、5、6日の3日間、私たち徳島モデラーズ倶楽部の第11回展示会を開催致しました。当日は台風一過の晴天に恵まれ、2年振りに来場者も200人を越える盛況となりました。テーマの四発機は、数は？ですがバラエティーにだけは富み、それ以外のエアモデル、AFV、カーモデル等も仲々好評でした。

今年は一般のモデラーの方にも自慢の作品を飾っていただこうとフリースペースを設けてみたのですが、県内外のモデラーの方から沢山の展示をしていただき、その作品のレベルの高さに感銘を受けました。また、来場者の方にアンケートも書いていただき、来年の展示会に向けて努力課題もでき、94年テーマと共に今からガンバッて？います。最後に県内外のクラブの方々やご来場していただいた皆様に誌面をお借りしてお礼申し上げます。








## 第35回 陸上自衛隊 富士総合火力演習

9月5日、陸上自衛隊東富士演習場に於いて、総合火力演習が中西防衛庁長官を迎えて挙行された。

前日4日は台風の通過で中止となったが、5日は文字どおり台風一過の秋晴れとなり、招待者、一般公募者約3,300人が見学する中で、各種装備品の紹介、実弾射撃を含む模擬戦闘が披露された。

この演習に参加したのは、人員約1,700名、各種車両約270両、火砲70門の他、約30機の各種航空機である。

今回初公開されたのが、米陸軍のハマーに相当する高機動車（トヨタ製）とフランス製の120㎜迫撃砲で、さすがにこれら新装備のまわりには多くのマニア達が終始群がっていた。


▲中西防衛庁長官に対する栄誉礼


▲203mm自走榴弾砲の砲撃


▲今回初めて展示された高機動車。


▲これも初お目見得の120mm迫撃砲

## JMC'93 作品展

ハセガワ主催によるJMC作品展も今年で3回めとなった。東京では9月4、5日、大阪では9月18、19日にそれぞれ開催され、熱心なマニア達で終日にぎわった。当日は作品の展示と名誉の発表の他、ジャンク市やメーカーとの意見交流会等も行なわれた。



▲1/72「F-106デルタダート」　白井朝生
（シニア賞）


▲1/24「'39シェビークーペ」　蜂谷　力
（特別賞・モデルアート賞）


▲1/35「'91イラク」　小野山康弘
（特別賞・モデルアート賞）

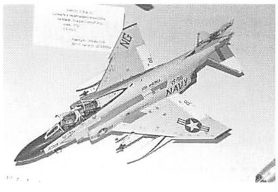

▲1/72「VF-1（九一式艦戦）」　西山清和
（特別賞・モデルアート賞）

## フジヤ ルマンの会

毎年恒例になりました、フジヤ・ルマンの会が今年も開催されました。ジャガーXJ220、フェラーリ348、ベンチュリーの参戦は従来のルマン、新風を吹き込みました。フジヤ・ルマンの会も新人さん4人が加わり、出展車がアッと言う間に過ぎ、来年の再会を約して散会しました。なおルマンの会85点の作品展をフジヤで開催しています。ご来店のうえ、ご鑑賞ください。



## NIFTY-Serve 模型フォーラムメンバーズ 第2回展示会

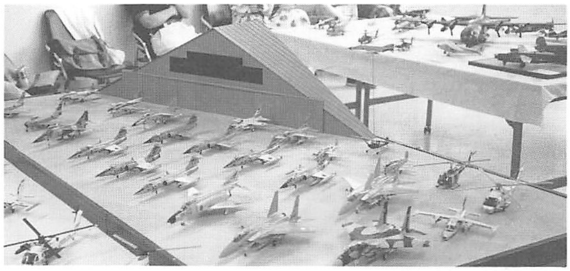


9月18日、コンピューター・ネットワーク、NIFTY-Serve「模型フォーラム」の展示会が原宿で開催された。模型といっても、ラジコンやモデルガン等もカバーしているため、展示もスケール、キャラのディスプレイモデルを中心に多岐にわたるものとなった。通常のプラモサークルの展示会とはやや趣が異なるといった感じだ。当日は天候にも恵まれ来場者も多く、また普段はモニター上でしか会えないメンバー達も交歓を楽しんでいた様子だ。同展示会は今後も定期的に開催される予定。



## 関西大学模型研究会 Modeling Team KANSAI 夏季特別展示会

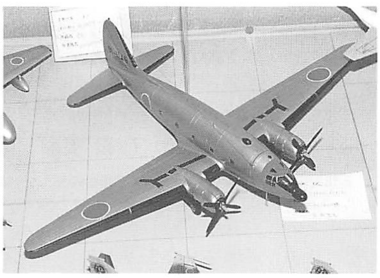
去る8月7日、8日の両日、関西大学模型研究会（Modeling Team KANSAI）では、アピオ大阪に於いて夏季特別展示会を開催いたしました。当日は大阪近郊はもちろん、遠方からも多数御来場いただき、盛況のうちに終了いたしました。

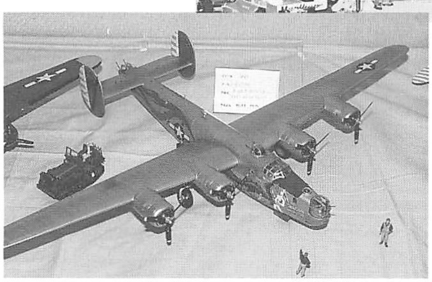


## 第5回 トムキャッツ 合同展示会

去る8月26日から31日の間、熊本市の熊日ニューギャラリーに於いて展示会を開催致しました。当日はスケール作品を中心に200点以上を展示、新聞、TV取材もあり、昨年にもましてアピールできました。また、同一キットを用いて各会員で完成までの工程別に製作した実物や、工具・マテリアルの展示コーナーを設け、来場者の方々も関心たかく見入っておられました。



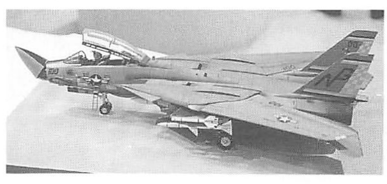






## 香港軍事模型會 全港公開模型大賽

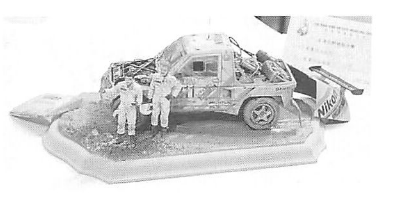


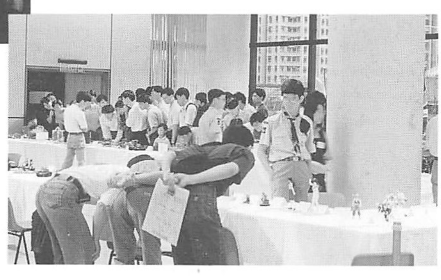



先般8月21、22日に沙田大会堂（Shatin Town Hall）にて香港軍事模型会主催のコンテストがあり見物してきました。

同会は会員数約20名で、今回初めての試みとしてコンテストを開催したとのこと。有料（HK＄10）にもかかわらず、子供から老人まで多くの参観者でにぎわっておりましたが、先日の台風の影響で、初日はエントリーが主催者側の予想より少なく残念がっていました。

ホラブロワーズ香港支部
大泉　淳

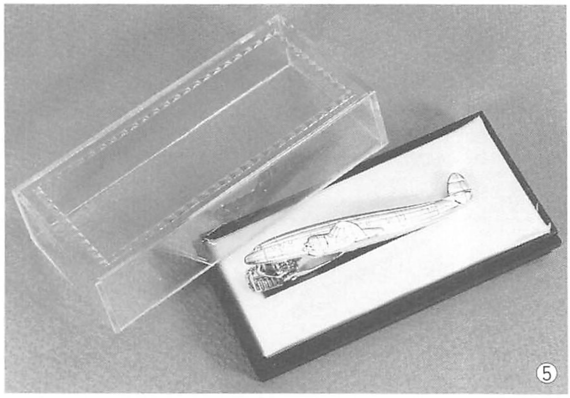




# PRESENT プレゼント

①MPM1/72カーチスXP-55アセンダー・簡易射出成形キット …2名様
②1/24ロータス79・レジン製キット ……………………………1名様
提供：ウェーブ
③1/72TIEインターセプター、TIEファイター・レジン＆メタルキット ……………………………各1名様
提供：アルゴノーツ
④ブラバムエイドTシャツ　5名様
提供：ヤシオ/ZACO制作室
⑤ロッキード・コンステレーション ネクタイピン ………………5名様
提供：日本航空協会

応募はハガキで。今月号はおもしろかった記事2つ、つまらなかった記事2つ、住所、氏名、年齢、職業、希望する商品番号と特集の感想を必ず明記のうえ、
〒102 東京都千代田区飯田橋2-11-5栄昇ビル207号
モデルアート社11月号プレゼント係まで。締め切りは11月30日（消印有効）。


⑤

## 日本モーターレーシングセンターよりレース招待券をプレゼント

全国のサーキットを舞台に国内ビッグレースを主催プロモートする、日本モーターレーシングセンターより、11月に開催されるレースイベントのペア招待券を各5組（10名様）にプレゼント。
●N1耐久ラウンドシリーズ第8戦・SUGO500kmN1耐久レース大会
11/7・スポーツランドSUGO
●4thEURO-MACAU-JAPAN CHALLENGE CUP・インターナショナルF3リーグ1993
11/28・富士スピードウェイ
各提供：ビクトリーサークルクラブ（VICIC）

ハガキに、必ず希望のイベント名ならびに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、
〒150 東京都渋谷区東1-10-9-201
プロワーク（株）内
日本モーターレーシングセンター広報事務局
「モデルアート・招待券プレゼント」係まで。
締め切りはイベント開催日の10日前必着のこと。

# VOICE こえ

僕の家は、標高400m、岐阜県の最も東にあり、山と森にかこまれたド田舎です。それだけに、最近市内で模型屋さんを見つけた時は、ひじょーにおどろきました。
しかし、田舎だけに古いモノが多く、特に先日買ったグンゼ/エアフィックスのB-29なんかは、とても手に負えないほど変形していました。こんな所ですから、当然材料もなく、はるばる都会へも行けずこまっています。特に、パテ、ファンド等が全くと言っていいほどありません。どなたか、取扱店を知っている方、お知らせください！

岐阜県　伊藤　陽

私が模型を手にして何回四季を繰り返して感じてきたことでしょう。子供も大きくなり私も年齢を感じてきたようで、口先から「よいしょ、どっこいしょ」という言葉が何をするにしても出てくる様になりました。
模型のショーケースをかっぱ橋で購入してきて、一つずつ、まるで子供の成長を柱に残すように、私のコレクションも多くなってきました。
もう私は60才、子供の頃、軍隊の飛行機のりに憧れていました。その夢を模型という世界に託したのです。本当に空を飛ぶのではなく、私の心の中の大きな青空を誰に遠慮するのでもなく敵に打ち落とされることもなく、ただひたすら飛んでいるのです。
私の作業台の上には、今まさに翼を広げようとしている「飛燕」があります。
さて、今日も私の心の青空の中で、冷たいビール片手に自由に空を走ってみるとするか。

戸久一男

F-15Eストライクイーグルを作る!!の連載はいいですね。ワンステップ毎に写真とていねいな解説があってとてもありがたいと思います。ニューキットは、少しでも早く完成品を見てみたいものですが、F-15のような大物はこのようにじっくりと見たいものです。他の大型キットや特集でも製作中の写真をたっぷりと使った、分かりやすくて、見ているだけでも楽しくなる様な記事をお願いしたいと思います。

千葉県　高山利夫

やっぱりWRCカーは補助ライトがドーンと載っている姿が実に良く似合いますね。次回は是非ともスバル初勝利のレガシィを早急にお願いいたします。
実は私もタバコを吸わないが加藤氏と同意見なんです。そのために近年F1カーを買った事がないのです。だってマルボロのマークが入っていないモデルを作ろうとは思わないからです。
次はAFVですがやはり塗装が上手すぎてタメ息が出てしまいます。同じくフィギュアもどうしたらあんな顔の表情が出来るのかとつくずく才能のある人はちがうナーと思い知らされます。
それから今月号でびっくりした事は恐竜に結構力を入れている事です。今までこんな事があったでしょうか？モデルの皮膚の表現はさすがタミヤと思わされます。そして歯ブラシの使用やスタンプ自作など結構勉強になりました。私としてはこのシリーズに海竜や翼竜を加えていただきたいと思っているのです。
ところでトヨタ・アリストはブガッティEB112に似ていると思ったのは私だけでしょうか？
来月号は私の一番好きなジャンルの試作機なので楽しみにしています。

福島県　増山佳彦

1/48が2機に1/72が1機、突然のスピット・ラッシュにファンとしては嬉しい限りです。モデルアートでも特集して下さい。また同時に中野D児氏には古いスピットのキットを特集してもらいたいと思います。

東京都　鈴木　敏

## まってます！

当コーナーでは読者のみなさんからのお便りをお待ちしています。
本誌、増刊の感想はもちろん、模型を作っていて思うこと、新しくみつけたテクニック等どんな内容でも結構です。「こえ」のコーナーまでお送り下さい。採用の方には掲載誌をさし上げます。
また、会員募集、展示会やイベントの紹介もお待ちしています。ただし、催しもののお知らせは編集の都合上、掲載希望号発行日の1ヶ月前までには届く様にお願いします。

# 求む 譲る

## 応募要項

■求む、譲るのいずれか一方を1枚の葉書にハッキリとわかりやすく書いて下さい。
■郵便番号、住所、氏名もハッキリ書いて下さい。
■このページ右上の応募券を貼って下さい。
■封書、内容的に不明瞭なもの、取り扱い量が極端に多いものは掲載しません。
■送られて来たものは掲載するのみで、その後のトラブルなどについては当社はいっさい関知せず、責任は負えませんから当事者同士で責任をもって対処して下さい。
■編集の都合上、送られて来たものの取り消しなどはトラブルの原因になりますので注意して下さい。尚、掲載に時間がかかる場合がありますので御了承ください。

## 譲る

■マルサン・ラベール1/424U.S.S. CURRITUCK、U.S.S.FLERCHER。マルサンP-8級高速魚雷艇。モノグラム1/72B-52(爆音装置付)。同1/32P-51Dファントムムスタング(コントロールタワー付)。レンウォール1/200ポラリス潜水艦トーマスジェファーソン(胴体右半分クリアーモデル)。以上を高価で。希望価格、TEL明記の上、往復ハガキもしくはTELで。
〒146 東京都大田区鵜の木2-14-7 ☎03-3750-2450 (PM6：00～11：00) 菅沼繁雄

■ハセガワドラゴン1/72アラドAr234B-2/B2bブリッツ、1/48ホルテンHo229A-1、1/48ユンカースJu88G-6ナハトイエーガー(一部ビニール開封あり) 以上まとめて買って下さる方、グンゼハイテックモデル1/35三号戦車J型(ビニールパックなし) 高く買っていただける方いずれも連絡は往復ハガキで。
〒483 愛知県江南市宮後町砂場東346 一柳滋

■バンダイ1/16ディーノ206、1/20マクラーレンM6B、マルイ1/24カウンタック初版(青)、ユニオン1/20ミウラS、1/24GT40Mk-II、Mk-IV、917Kガルフ、トミカミウラ各色、シンセイミウラ・ディーノ246GT ('72ルマン) 以上を適価にて譲る。
〒860 熊本市坪井2-2-41-602 柏原憲二

■タミヤ1/48バッファロー(英)、モノグラム1/72スペースシャトル、2パイロンレーサーズ(P51B&F8F、イラスト箱)、バンダイ1/48ソリューション(ホークコピー)、LS1/72靖国。その他の飛行機キット、少数ですが、なるべく安くお譲りします。リスト御希望の方は62円切手同封にて。
〒557 大阪市西成区玉出西1-3-33 和田芳樹

■ハセガワ1/144屠龍×2、月光×2 二式陸偵、九九式双軽、飛龍、以上お譲りします。1機￥900、先着順です。送料別。他にも1/32F86F、バンダイ1/72YS-11等有。
〒573 大阪府枚方市渚元町10-23 北條俊彦

■ジェット戦闘機1/32 (レベル、ハセガワ、フジミほとんど全てあります) シリーズ、適価 (半額くらい) で譲りたし。できたら取りに来られる方。詳しくはTELにてお問い合わせ下さい。
〒444-12 愛知県宝飯郡一宮町大字一宮字大プロ15-3ロイヤルハイツK1-202☎05339-3-6026 杉浦雅紀

■レベルDC-7エアポートシーン、エアパワーギフトセット、オーロラX-13、その他UPC、マルサン、フロッグ、ホーク等のキット約2000個を放出します。価格表を希望の方は62円切手と返信用封筒を同封して下さい。
〒111 台東区松が谷4-28-3-901 平塚正幸

■1/72、1/48の飛行機キット約400個を、定価の5～8割引で譲ります。現用、大戦機が半々くらいです。絶版品も有。AFV、車も少し有。詳しくは、72円切手1枚でリスト送ります。
〒300-05 茨城県稲敷郡江戸崎町月出里175-14 西川政一

■エアライナー関係資料、航空洋書(クーカバラ、マクドナルド、ブットナム、スコードロンetc)航空和書(航空ファン月刊誌、増刊、週刊エアクラフトetc) 1/72キット・デカールも少し有り。安価にて譲ります。リスト請求して下さい。72円切手2枚にて送ります。
〒760 香川県高松市木太町6区2525-2(株)シケン内 植田哲二郎

■飛行機のキット、車 (タミヤ1/20タイレルP34)等を譲ります。62円切手2枚、返信用封筒を同封の上御連絡下さい。
〒546 大阪市東住吉区東田辺2-21-25 澤井美香

■オーロラ、アルバトロスC3、P-6Eホーク、ハルバーシュタット、K&Bゴータ G、V、フォッカーE、V、ホビータイムXV-3、Allyn1/48XF-92。連絡は往復ハガキに希望価格を書いてお送り下さい。
〒910-22 福井県足羽郡美山町高田21-11 橋本経一郎

■タミヤ1/6BMW-R80S、ホンダCB750ポリスタイプ、1/24チーフテンを適価で。他にも海王丸等あり。リスト送りますので、封筒に切手添付の上お送り下さい。
〒640 和歌山市友田町3-28-301 前田雅史

## 求む

●アオシマ1/72クラス飛行機 (アベンジャー等)のモーターライズ版(初期のもの) を適価にて。まずはハガキにて連絡して下さい。
〒791 松山市三津2-6-55ポートサイドビラ106号 堀正章

●JNモデル1/48Ju87Aを適価もしくは当方のスパンカー1/72白菊＋レビ1/72零観との交換も可能。その他交換条件等があればご連絡下さい。
〒675 加古川市加古川町粟津81-2 庄司聖彦

●モデルアート'81年11月、'83年12月、'87年4月、'88年5月、'89年2月、6月、'90年5月、7月、'91年1月、11月各号と臨時増刊「空自の戦闘機」('83年発行の旧版)「ベトナム航空戦1・2・3」「モデラーズカラー」「プラモテクニック入門」「プラモダイジェスト」「プラモロジーA to Z」を適価で。汚れ等不問。送料当方負担。
〒233 横浜市港南区笹下3-37-36-A102 鈴木泰彦

●ピットロードウェーブラインシリーズWL-2、3、4、6、7、8、20、21、23。工房飛龍A-1～12を求めています。
〒154 東京都世田谷区太子堂4-28-8 山本昭太

●レベル1/32紫電、雷電、飛燕、スワロー1/32紫電改、零戦21型、疾風を￥2,000～￥2,500で譲って下さい。
〒252 神奈川県綾瀬市大上2-1-4 菅野裕二

●レベル1/32飛燕、雷電、紫電、1/72銀河、月光、屠龍、呑龍、九七重爆を譲って下さい。希望金額を明記の上〒で連絡下さい。
〒783 高知県南国市後免町1-3-12 岡上正喜

●ピットロード1/700護衛艦「ゆきかぜ」「はるかぜ」「てるづき」、PF「くす」型、LSSL、旧LS1/72日本海軍機、箱無し可。気長に待ちます。
〒253 神奈川県茅ヶ崎市香川921-8 FAX0467-58-1788 佐藤敏洋

●ブラジル、メキシコ、スペイン／レベルの大戦機を探しています。出来るだけキットの内容 (フォト・イラスト箱) を詳しく明記していただければ幸いです。気長にお待ちしていますので〒にて連絡下さい。
〒943-03 新潟県中頚城郡三和村井ノ口1684 藤崎慎一

●Zモデル(レジンキット)1/48梅花、グンゼ・レベル(タカラ・レベルでも可)1/72九七式重爆、ウイングスバキュームキット1/72景雲。是非とも欲しい機なので以上3機種をお持ちの方がいらっしゃいましたら適価にてお譲り下さい。当方、日本機のみのマニアです。尚、当方所有の外国機の絶版品との交換も歓迎。まずは往復ハガキでお願いします。
〒257 神奈川県秦野市北矢名1302-1ハイヴィラ湘南105号☎0463-78-8938(PM9：00～PM11：00) 田上周

●タミヤ1/16ラジコンM4シャーマンを￥20,000～￥30,000位、サニー川崎C1を￥500、1/24オートバイを適価でお願いします。〒にて連絡下さい。
〒596 大阪府岸和田市加守町4-5-28 西山博美

●エアフィックス1/72ホワールウィンドを適価にて。気長に待ちます。
〒611 京都府宇治市広野町小根尾10-2 才間主税

from VERLINDEN PRODUCTIONS to MIYAZAWA Co., Ltd.

# バーリンデン1993年10月の新製品情報




## 1/72川西水上戦闘機
## 強　風(N1K1)



強風11型前期タイプと15試水上戦闘機、試作1号機(2重反転プロペラ装備)のコンバーチブルです。

11月5日発売予定　¥5,000

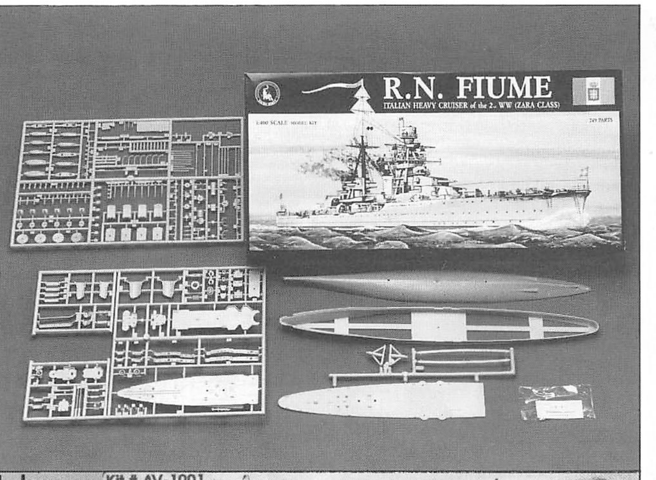
世界のホビーをあなたのもとへ
模型総合卸 宮沢模型株式会社
本社 〒111 東京都台東区柳橋2-5-9
TEL 03-3862-7411 FAX 03-3864-5787
京都店・札幌店・越谷店・上野店

お問い合せは、お近くの模型販売店にお申込ください。当社は模型の総合卸問屋のため直接の販売・通販はできません。

NEW

タウロ・イタリア
1/400 WWII
イタリア海軍巡洋艦
・フィウム（ザラ級）
・ポーラ（ザラ級）

※エッチングパーツ付きもあります。




アビエーションUSK・アメリカ




1/72 川崎 キ-32 九八式軽爆撃機




1/72 中島 キ-115 剣



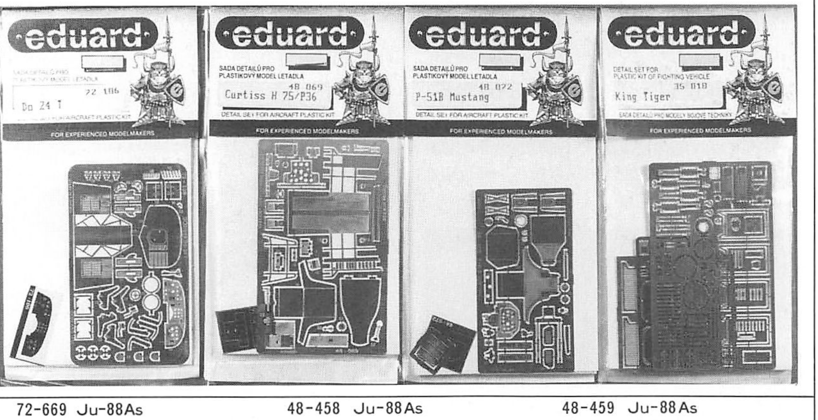

1/72 三菱 零式観測機

·eduard·

エデュアルド・チェコ

エッチングパーツ
AFV35、AFV72
32、48、72
各シリーズ発売中

72-106 Do 24 T
48-069 Curtiss H75/P36
48-072 P-51B Mustang
35-018 King Tiger

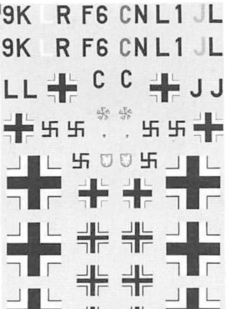



SUPER SCALE INTERNATIONAL INC.

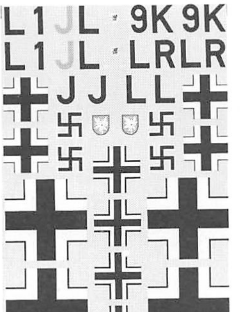
スーパースケール
デカール
各スケール発売中
¥900

ピクチャーカタログ発売中

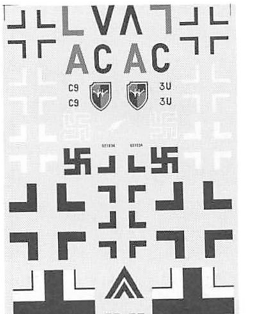
72-669 Ju-88As
7./KG51, 3./LG1, 1.(F)122



48-458 Ju-88As
7./KG51, 3./LG



48-459 Ju-88As
11 Staffel/ZG26,
Gruppenkommandeur II/NJG5

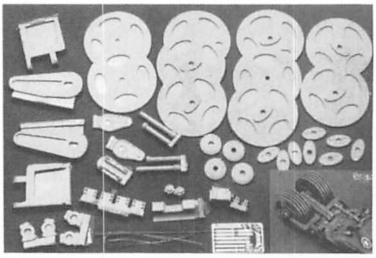


輸入・卸元 ㈱ビーバーコーポレーション
〒132 東京都江戸川区松島4-8-5
☎03(3655)5300 FAX.03(3655)3115

# ガレージキットはサニーで充実・大満足!

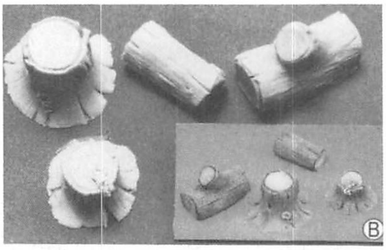
■AFV

●バーリンデン



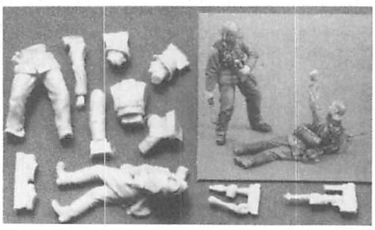
1/35シャーマンマインローラーT1E3 ¥5,100

120㎜W.W.IIドイツ戦車猟兵…………¥4,600



120㎜木の幹……………………………¥2,300

120㎜W.W.II道路標識セット…………¥1,800

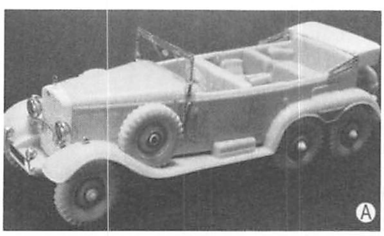


1/35W.W.IIドイツ対戦車兵チーム………¥2,500

1/35ドイツ人間魚雷ネガー……………¥4,000

150㎜クリリアンダンジオンガード…¥3,800

●アズムット&ADV



1/35メルセデスG4スタッフカー……¥10,200

1/35キュベルワーゲンフィールドワークショップ…¥2,200

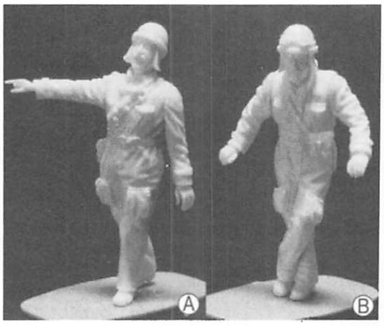



1/35ツールセット…………………………¥1,500

●ヘッカー&ゴロチ（フィギュア）

50㎜ドイツ歩兵・塹壕戦W.W.I……¥1,900

●ホーネット（フィギュア）

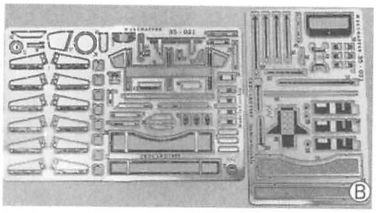


1/35イタリア戦車兵砲手………………¥1,500

1/35イタリア戦車長……………………¥1,500

●エデュアルド（エッチング）

1/35M113ACAV………………………¥1,400



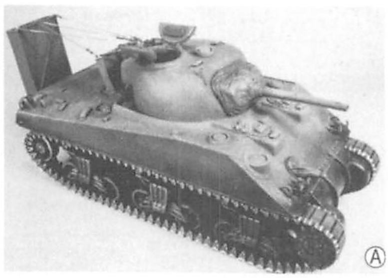
1/35M24チャーフィー…………………¥1,700

●ザ・ショーモデリング（エッチング）

1/35フンメルVol.1……………………¥1,800

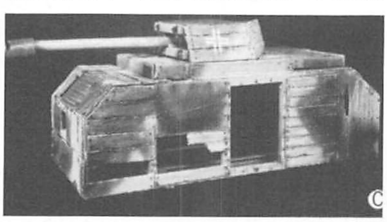
1/35フンメルVol.2……………………¥1,800

●レジー・キャスト（レジン）



1/35M4A4シャーマンDD上陸用装備車 ¥9,700

1/35M4A4シャーマンA.R.V.戦車回収車‥¥16,500



1/35デンジャーパンツァ模擬戦車……¥4,500

●アーマーモデルス（レジン&メタル）

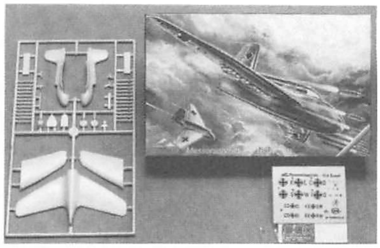
1/35Pak38 50㎜対戦車砲………………¥4,000

●フェニックス（メタル）

BX75ザ・マウンティB…………………¥4,400

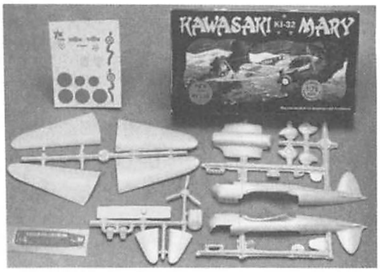
■AIR

●コンドル



1/72メッサーシュミットMe163A………¥900

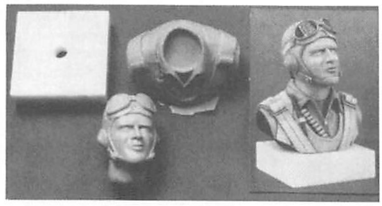
●アビエーションUSK




1/72川崎キ-32（九六式軽爆撃機）……¥3,100

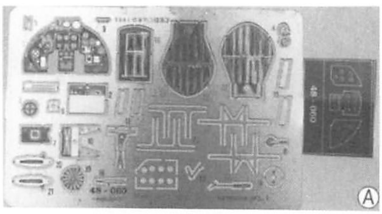
●バーリンデン

1/48A-6Eイントルーダー・アップデートセット‥¥4,800



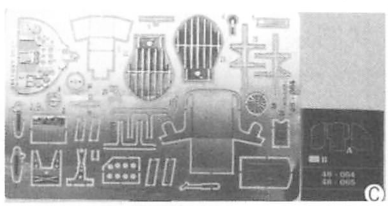
1/4 アメリカ海軍戦闘機パイロット胸像（W.W.II太平洋戦線……………………………¥3,800

●エデュアルド（エッチング）



1/48D.H100バンパイアMk.I…………¥1,400

1/48ドルニエDo335……………………¥1,400



1/48D.H100バンパイアFB5…………¥1,400

●スーパースケールデカール

1/48P-47Dレザーバック・56FGエース…¥900

1/48第2次世界大戦前のF4F-3ワイルドキャット……¥900

1/72P-47Dレザーバック・56FGエース…¥900

1/72第2次世界大戦前のF4F-3ワイルドキャット……¥900

※品切れの場合がございますのでご注文の前に在庫の確認、送料をお問い合せ下さい。なお、ご紹介の商品には消費税が含まれておりませんので、ご送金の際はこの価格に3%を加えてお申し込み下さい。

サニー
**SUNNY**

定休日：火曜（祝祭日を除く）
東京都世田谷区北沢2-12-1
TEL.03-3413-0857 〒155

# ほしかったものが手に入る! だからラッキーでいいのだ!

●ウェルシュモデル1/144シリーズ

RAF ミリタリーシリーズ

PJW-1 キャンベラB.2/T4…………¥1,300
PJW-2 ホーカーハンターF6…………¥900
PJW-2-1 ハンターF6(インジェクション)…………¥1,900
PJW-2A ホーカーハンターT7…………¥900
PJW-4 ライトニングF6…………¥1,300
PJW-8 バッカニアS2B…………¥1,300
PJW-9 ミーティアF8…………¥900
PJW-10 ジェットプロボストT5…………¥900
PJW-11 ホークT1…………¥900
PJW-12 シミターF1…………¥1,300
PJW-16 ガネットAEW3…………¥1,300
PJW-18 C47ダコタ…………¥2,200
PJW-19 アンドーバーC2…………¥2,200
PJW-21 バーシティT1…………¥1,900
PJW-22 ヘスティングC1…………¥3,900
PJW-25 デボンC2…………¥1,100
PJW-26i アブロアンソンC19/T22…………¥2,600
PJW-27 ハーキュリーズW2/C1…………¥3,800
PJW-28 ジェットストリームT1…………¥2,800
PJW-28A ジェットストリームT2…………¥2,800
PJW-30 バリアントBK1…………¥3,800
PJW-33 シャクルトンAEW MR2…………¥3,600
PJW-34 ビバリーC1…………¥3,900
PJW-35 ペンブロックC1…………¥1,300
PJW-36 ツインパイオニア…………¥1,800
PJW-41 チヌークHC1…………¥1,900
PJW-43 バレッタC1…………¥2,100
PJW-43A バレッタT3…………¥2,100
PJW-44 アーゴーシC1…………¥3,500
PJW-45 ブリタニアC1…………¥3,900
PJW-46 ベルファーストC1…………¥4,900
PJW-47 BAE148/100…………¥3,200
PJW-51 ビッカース バイカウント800…………¥3,200
PJW-52 アブロヨークC1…………¥3,800

スカイライナーシリーズ

SL-1 ダグラスDC3 ダコタ・イントラ…………¥2,300
SL-2 ビッカース・バイカウントV802・B.E.A…………¥3,200
SL-3 ホーカーシドレーHS748・オートエア…………¥2,300
SL-4 ブリストル・ブリタリア312・B.O.A.C…………¥4,000
SL-5 BAC146/100・ダンエア・ロンドン…………¥3,200
SL-6 BAC-ATP・カリビアンエアライン…………¥2,800
SL-7 ダグラスDC4 スカイマスター・インピクタ…………¥3,600
SL-8 DC3ダコタ・ブリティッシュユナイテッド…………¥2,300
SL-9 ホーカーシドレーHS748・ダンエアロンドン…………¥2,300
SL-10 BAE146/100・中国民航…………¥3,200
SL-11 ビッカース・バイカウントV806・ノースイースト…………¥3,200
SL-12 ブリストル・ブリタニア312・ブリティッシュイーグル…………¥4,000
SL-13 ボーイング377ストラトクルーザー・B.O.A.C…………¥3,900
SL-14 AS57アンバサダー・ダンエアーロンドン…………¥3,200
SL-15 コンベア440・サベナ…………¥3,200
SL-16 バイカウント739・ブリティッシュイーグル…………¥3,400
SL-17 カナディアDC4・M2アルゴノート・B.O.A.C…………¥3,900
SL-18 バイカウント806・キャンブリアンエアウェイズ…………¥3,400
SL-19 DC3ダコタ・ブリティッシュアイスランド…………¥2,400
SL-20 ダグラスDC4スカイマスター・サベナ…………¥3,800
SL-21 ホーカーシドレーHS748・インディアンエア ¥2,400
SL-22 ビッカース・バンガード・B.E.A.カーゴ…………¥4,200
SL-23 ショートSH360 中国民航…………¥2,100
SL-24 ショートSH330 エアU.K.…………¥2,100
SL-25 ブリストル170 スーパーフレイターMK32・ブリティッシュユナイテッド…………¥3,400
SL-26 BAC111-500・ダンエア・ロンドン…………¥4,200
SL-27 フォッカーF27フレンドシップ・エアU.K:…………¥3,200
SL-28 ホーカーシドレーHS748・ランチリー…………¥2,300
SL-29 ビッカース・バイカウント814・イントラ…………¥3,300
SL-30 コンベア440・スイスエア…………¥3,300
SL-31 DC3ダコタ・サベナ…………¥2,300
SL-32 BAEジェットストリーム31・ピードモント(インジェクション)…………¥2,800
SL-33 ジェットストリーム31・スカイウエスト(インジェクション)…………¥2,800
SL-34 BAE146/200・ロカンチア…………¥4,200
SL-35 BAE146/300・エアU.K.…………¥4,400
SL-36 ツポレフTU114クリート・アエロフロート…………¥8,500
SL-37 マグダネル・ダグラスMD82・エアカル…………¥5,900
SL-39A/1 DC3ダコタ・スパンタックス…………¥3,200
SL-40 ボーイングB757/200・アイスランドエア…………¥8,600
SL-41 ドルニエDo228/201・ノースウエスト…………¥2,600
SL-42 エンブラエルEMB120ブラジリア・ノルスクエア…………¥2,800
SL-45 フォッカーF50・D.L.T.…………¥2,800
SL-46 ボーイングB757/236ER・ブリティッシュカレドニア…………¥6,700
SL-47 ボーイングB737/548・エアリンガス…………¥5,600
SL-48 カナディアCL-443・AER・TURAS…………¥5,200
SL-49 アエロスペシャル/アエクタリアATR42/300・ライアンエア…………¥2,900
SA-1 フェアチャイルドF27A・ヒューズエアウエスト ¥3,300
Y-01 ショートS23・Cクラス エンパイア フライングボート…………¥3,900

この広告の価格に消費税は含まれていません。

**通販大歓迎!! まず、お電話で。**

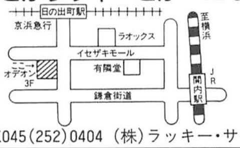
**モケイ ラッキー 東神奈川店**

〒221 横浜市神奈川区西神奈川1—6—1
東神奈川駅前サクラビアビル3F
☎045(324)3473 営業時間AM10:00~PM8:00

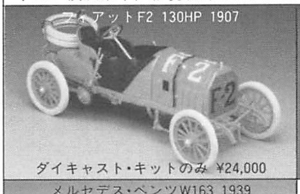
---

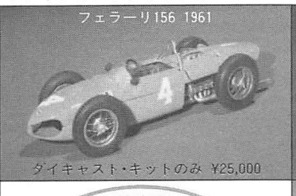
ヨコハマってやっぱしラッキーとかラッキーとかラッキーとかラッキーとか…だな

HOBBY & CARMODEL SHOP LUCKY MK IV

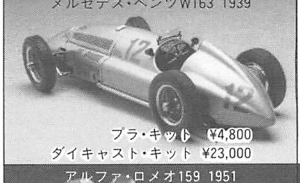



〒231 横浜市中区伊勢佐木町3丁目98 ファッションプラザオデオン3F TEL&FAX045(252)0404 (株)ラッキー・サン


アット F2 130HP 1907
ダイキャスト・キットのみ ¥24,000


フェラーリ156 1961
ダイキャスト・キットのみ ¥25,000

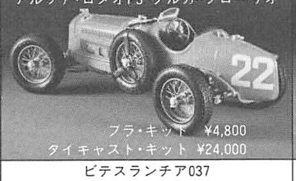

フェラーリ500F2 1952
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥23,000


メルセデス・ベンツW163 1939
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥23,000

"REVIVAL" Minerbio (Bologna) Italy


フェラーリ500F2 1953
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥23,000


アルファ・ロメオ159 1951
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥23,000


アルファ・ロメオP3 タルガ・フローリオ
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥24,000


アルファ・ロメオP3 スクーデリア・フェラーリ
プラ・キット ¥4,800
ダイキャスト・キット ¥20,000

VITESSE

ミニ・チャンプス、ベスト・バン、コーギー、ソリド、ブラゴ、ONYX、ヘルパ、プロジェットK、リオ、トロフュー、ARS、ジョエフ、アンソン、シャバク。他完成品ミニカーも多数!

ビテスランチア037




ビテスランチア037ラリー
'82モンテカルロ#1 ベッテガ
#6 アレン
ストラダーレ赤黄
各¥2,800

**1/43ミニカー・キット たくさんあるぞっ! 以下ほんの一部**

**BBR F1メタル・キット**
フェラーリF93A
マクラーレンMP4/8
ウィリアムズFW15
ベネトンB193
ロータス107B
…………各¥5,800

**レーシング43ホワイトメタル・キット**
ランチア037オープンボンネット 10月
ランチア037 '84モンテマルティニ 10月
ランチア037 Evo II TOTIP 10月
フェラーリ456GT2+2…………¥6,800
ランチアデルタHF ESSO…………¥6,800
ランチアデルタHF ART ニュージーランド…………¥6,800
ランチアデルタ '87 '88 '89 サファリ…………¥6,800
ランチアフルビア '72 サンレモ…………¥6,800
ランチアデルタ '93 アギーン ¥6,800
ランチアデルタマルティニロード…………¥6,800
アルファロメオ155GTA'93DTM 10月下旬 ¥6,800
トヨタセリカ '93 カストロール…………¥6,800

**メリ 1/43 ホワイトメタル・キット**
フェラーリ312T3 '78 USA…………¥15,000
フェラーリ126C…………年内予価¥20,000

**とにかく見に来て♡**

ミニカー・キットで通信販売御利用の方、お買い上げ1万円以上は送料サービス!!(代引は不可)

# 今月のNMCお勧めキット nmc



グンゼ産業1/24
アルファロメオ1750GTヴェローチェ ¥5,000




モデルアート増刊
**陸軍航空英雄列伝**
定価¥2,100
**好評発売中**

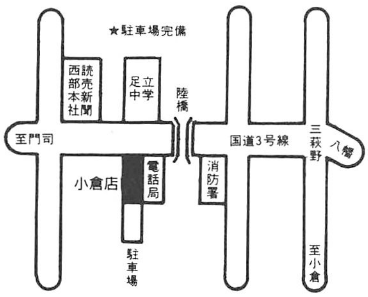



アオシマ1/24
三菱パジェロミッドルーフワイド¥2,800

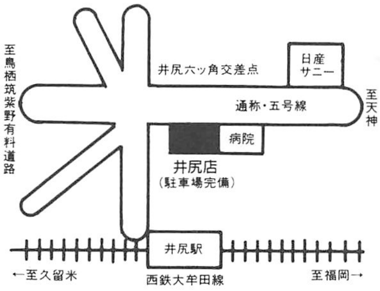
# AFVはおまかせ下さい! 11月、12月新製品情報

〈タミヤ〉
1/35 キングタイガー ポルシェ砲塔型 ¥3000 10月
1/35 パンサーG型初期型 ¥3200 12月
1/25 T34/85 ¥4800 12月
1/25 SU-100ジューコフ ¥4800 12月
〈バーリンデン〉
1/15 ドイツII号戦車C型 ¥28000 発売中
〈ドラゴン〉
1/35 JS-2スターリン ¥3400 10月
1/35 JSU-122 ¥3400 12月
〈ハセガワ〉
1/35 キューベルワーゲン「アフリカ軍団」 ¥2400 12月
1/72 列車砲レオポルド ¥1700 12月
1/72 自走臼砲カール ¥1700 12月
〈ファインモールド〉
1/35 九四式37ミリ速射砲 ¥6800 11月
—鳥山 明デザイン—
1/12 ドイツ武装親衛隊 ¥1800 12月
1/12 WWII米軍歩兵 ¥1800 12月

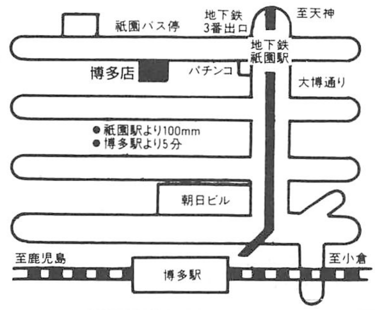
**ホビーボックス小倉店**
〒802 北九州市小倉北区江南町7-1
TEL.093-922-0240




**ホビーボックス博多井尻店**
〒816 福岡市南区井尻5丁目25-14
TEL.FAX.092-573-4740




**ホビーボックス博多祇園店**
〒812 福岡市博多区祇園1-23
TEL.092-271-0146



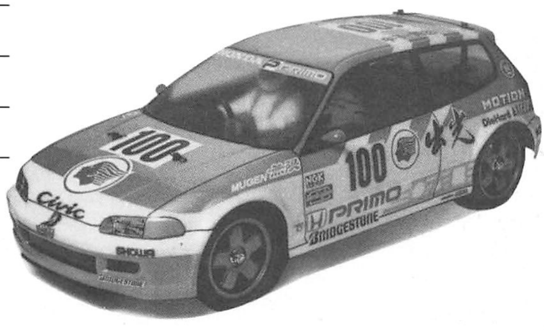

# 迅速な発送で親しまれる—。

## プラスチックモデルの総合問屋

## 株式会社 富士模型

タミヤ ●1/10電動RCカーシリーズ NO.121
IDEMITSU MOTION MUGEN CIVIC
**出光モーション無限シビック**
**¥13,800**

●プラモデル●エンジンR/C●Nゲージ
●工作材料●ミニカー●ゴム動力飛行機
●各種工具●ナショナルハイトップ
●雑誌モデルアート取扱



# 何でも揃う 幅広い商品構成

松屋町営業所☎761-1057〜8
西宮営業所☎0798(35)4491〜3

株式会社 富士模型
本社☎06-768〜7071(代表)
〒540 大阪市中央区上町1丁目8番7号

京都営業所☎(661)6171
九州営業所☎582-0581-4

# 11～12月入荷予定の新製品のご案内

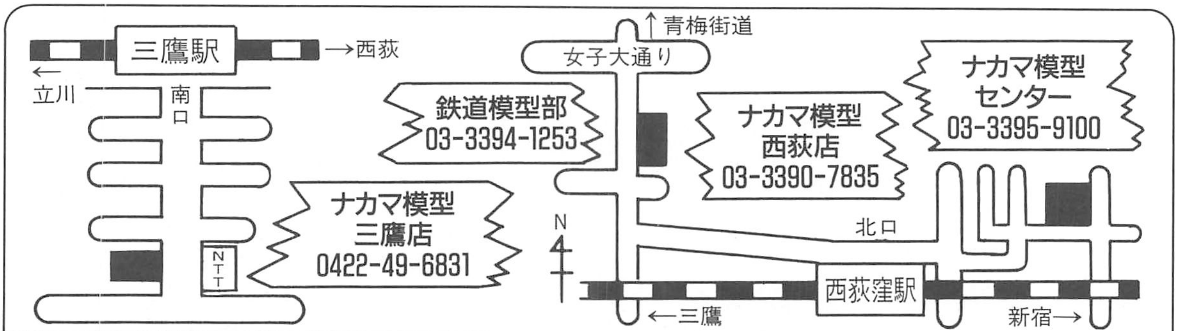
(ＶＶＳモデル)…ウクライナ…1/72 スホーイSu-4(メタルパーツ付)
……………………………………………………¥2,000
(Ｋ　　　Ｐ)1/72 アラド96B・ルフトバッフェ…………¥未定
Newデカール付 1/72 アビアS199・イスラエル空軍…………¥未定
1/72 アエロL39・アクロチーム…………………¥未定
ホワイト・アルバトロス……¥未定
1/72 ジーベルC3・ルフトバッフェ…………¥未定
(Ｓ　Ｍ　Ｅ　Ｌ)1/72 フィゼラー シュトルヒ・ムッソリーニ救出機…
Newデカール付 ………………………………………¥未定
(ウインドソックス・データファイル)本 ……………………¥1,800
No.39 ユンカースJ1、No.40 アンサルドSVA5
(宮　沢　模　型)1/72 川西水上戦闘機 強風 …………………¥5,000
○ご好評の"晴嵐"に続く第２弾・レジンキャスト機
(Ｓ　　Ｍ　　Ａ)…イギリス…V111 シュコダラートシュレッパーオスト(フルレジンキット)………………………¥10,500

(ヘッカー&ゴロシ)…ドイツ…メタルフィギュアー
WKHG36 パンターコマンダー、WKHGドイツパラシューター、
WKHG48 クルスク戦1943 ドイツ兵士 食料品運搬…………各¥1,900
(レジーキャスト)…レジンキット…35201 ダミータンク…………¥4,500
35107 M4A4 A.R.V戦車回収車フルキット……………………¥16,500
35106 M4A4 CRAB地雷除去戦車フルキット……………………¥17,500
(ア ズ ム ッ ト)●ドイツ軍用車輌ドライデカール
35-700 師団マーキング…¥1,200、35-701 兵科マーキング……¥1,200
35-702 ソフトスキンナンバープレート…………………………¥1,200
●35-057(レジンキット)
ベンツ G4-6輪乗用車ヒトラーカー…………………………¥10,200
●'93～'94 オリジナルカラーカタログ ………………………………¥700

〒166 東京都杉並区阿佐ヶ谷北1-42-6
●UC・住友カード・JCB・バンクカード
(¥20,000以上分割OK／NSK信販)

## ベルホビー

定休日　毎週火曜日
営業時間　平日PM 1:00～PM9:30
休日AM11:00～PM9:30




年中無休 **ナカマ模型** 東京都杉並区西荻北4-18-9
TEL.03-3390-7835

# ミニカー・コレクションはイケダから

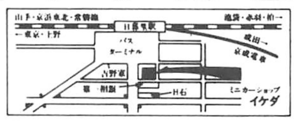


1/43ビテス（リミテッド　エディション）
オースチン　ミニ　1967
ブリティッシュ　パビリオン　¥3,000

ミニカー雑誌、カタログをプレゼント致します。御希望の方は送料実費360円を郵便振替、東京2-21835宛にお送り下さい。(切手送付でも可)

●当店取り扱いのミニカーは下記のお店でもお取り扱い致します。

| | | |
|---|---|---|
| ●仙台市JR裏 | オー&オー | 022-257-7062 |
| ●仙台市三越前 | アベ模型 | 022-222-6622 |
| ●いわき市 | エルエム | 0246-28-2448 |
| ●新潟三条市 | クリヤマ模型 | 0256-34-4079 |
| ●新潟市白山駅 | たけうち模型店 | 025-266-2759 |
| ●西那須野駅 | なかざと | 02873-6-0322 |
| ●本蓮沼 | アイアイアドCo. | 03-3960-8093 |
| ●西日暮里 | ギャロップ・リミテッド | 03-5814-8628 |
| ●高田馬場駅 | ジョーワークス | 03-3200-1223 |
| ●五反田 | ミニカーショップ・コジマ | 03-3491-3243 |
| ●川崎市 | リバーポイント | 044-344-8676 |
| ●伊勢佐木町 | ラッキーマーク4 | 045-252-2557 |
| ●静岡市 | カーモデルグレース | 0542-86-2533 |
| ●静岡市 | ホビーハウス | 0542-78-3650 |
| ●浜松市 | 模型工房サイトウ | 0534-21-0889 |
| ●豊橋市 | クーゲル | 0532-55-9191 |
| ●尾張旭市 | ホビールームもりぐち | 0561-52-0857 |
| ●京都市・阪急桂駅 | ホッホラント | 075-393-8632 |
| ●西宮市・阪急夙川駅 | タントハウス | 0798-36-0011 |
| ●倉敷市 | 人形会館笹沖店 | 0864-22-1711 |
| ●広島市 | ポスターギャラリー茜 | 082-247-1371 |
| ●ミニカーショップイケダ | 渋谷店 | 03-5467-8962 |




〒116東京都荒川区日暮里2-24-13　日暮里駅より歩１分　営業時間(平日)13：00～19：00
(日、祭日)11：00～19：00
☎03(3806)1219、FAX03(3803)6464年中無休
ＪＣＢ、住友ＶＩＳＡ、ダイナース、ＵＣ、ＤＣ、アメックス、ミリオン、日本信販、セントラル各種カード取扱い。

ミニチュアカー・ショップ **イケダ**

## 下記のキットはすべて入荷しています。

**ホビークラフトカナダ**
HC-1557 1/48 カーチスホーク75M ··2200円
HC-1558 1/48 P-26ピーシューター·2200円
HC-1559 1/48 P-26(比軍) ·······2200円
HC-1560 1/48 カーチスホーク75(仏軍) 2200円

**MPM**
MPM-72020 1/72 カーチスXP-55······2200円
MPM-72113 1/72 Me262A-1a/U3 ·······2200円
MPM-72114 1/72 Me262V9/V12 ········2200円

**エレール**
HL-80236 1/72 Me109B-1/C-1····· 850円
HL-80415 1/48 F4U-7コルセア ···3300円

**アビエーションUSK**
AU-1007 川崎98式軽爆撃機······3100円

**エアロクラブ**
AC-4802 1/48 DHC-1チップマンク ·3300円

**リンドバーグ**
LB-541 1/48 ブリストルブルドッグ ··2000円
LB-542 1/48 カーチスP6E···2000円

**エアフィックス**
AF-06360 1/32 SD.KFZ.250/3 ······3300円
AF-08004 1/72 ダムバスター ····4600円

その他のお問い合わせは、往復はがきで!!

当社取り扱い商品の'93年版通販カタログを作成致しました。
'93年版通販カタログ　¥500(送料込み)
お支払いは郵便為替(定額小為替)でお願い致します。

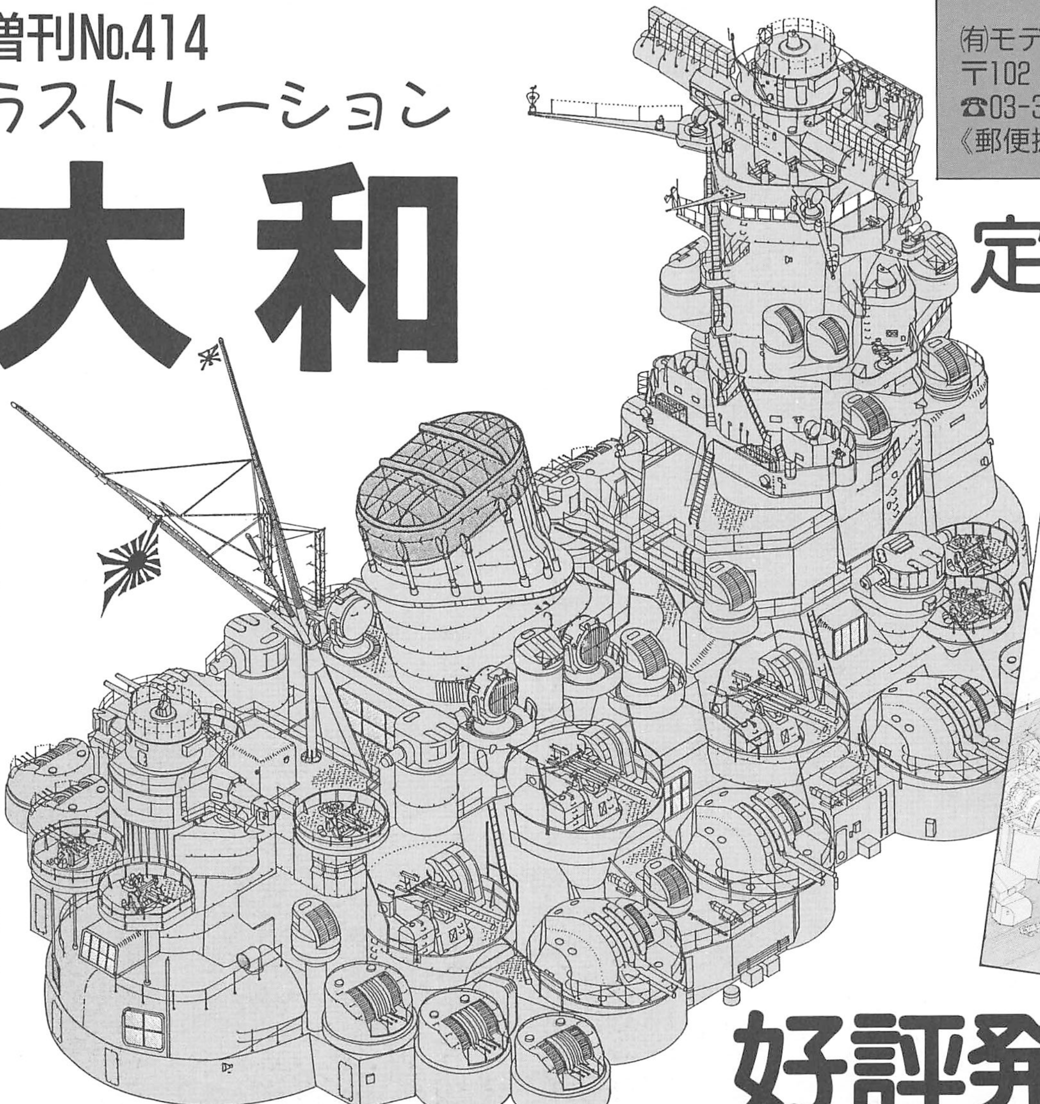
御注文は商品番号、商品名、注文数、住所、氏名を明記し、往復はがきで在庫を確認の上御送金下さい。(注：輸入品や限定品は品切れの場合がございますので、必ず在庫の確認をして下さい。)御送金は現金書留又は郵便為替(定額小為替)でお願い致します。送料は900円均一です。現在、当社では消費税を頂いておりません。

MAIL ORDER ONLY
有限会社**エム・ケー・エム**
〒143 大田区大森郵便局私書箱40号

モデルアート増刊No.414

スーパーイラストレーション

# 戦艦 大和

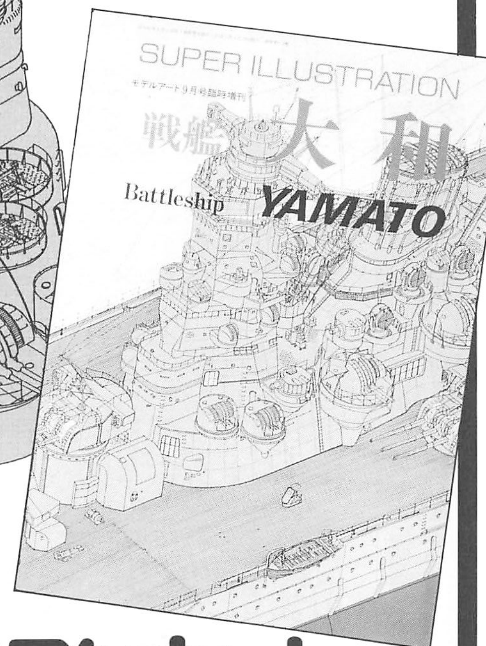


内容

- 艦型図で見る「大和」の変遷
  新造時、改装時、最終時、各部断面図
- 分割図で見る「大和」の全容
  艦首錨甲板、艦首木甲板、主砲及び副砲付近、艦橋付近、煙突付近、後部レール甲板
- 甲板上の艤装品
- 通風口
- 艦橋構造物
  艦橋中央部、中央構造物基本図、高角砲甲板、艦橋基本図、羅針艦橋橋内部、後檣
- 砲熕兵装
  46cm主砲塔、15.5cm副砲塔、12.7cm連装高角砲、25mm３連装機銃
- 光学兵器、電波兵器、砲戦指揮装置
- 航空兵装/艦載艇
- 「大和」行動年表


㈲モデルアート社
〒102 東京都千代田区飯田橋2-8-3
☎03-3262-6450
《郵便振替口座・東京4-196313》


定価2,000円
（送料86円）




好評発売中

# モデルアート増刊

モデルアート社　〒102 東京都千代田区飯田橋2-8-3
☎03-3262-6450FAX.03-3262-7932 振替東京4-196313

## スケールモデル テクニックガイド

No.277　¥1,236(税込)〒70

本書では、スケールモデル全般の工作技術をカラー写真やイラストを使って紹介。工具の使用法からディオラマ、飛行機、ＡＦＶ、メタルキットなど、あらゆるジャンルのスケールモデルの工作法を解説。更に、モーターツールマニュアルや、パーツの複製テクニック、道具や材料のカタログなども掲載、参考教本として絶好の１冊。

## メッサーシュミット Bf109G/K

No.290 ¥2,060(税込)〒81

メッサーシュミットBf109G/Kの各型変遷とバリエーションを中心に、1/48折込図面、原色カラーチップ、折込カラーイラスト、基本塗装図、構造とメカニズム、フォトアルバム、塗装とマーキングなど写真や図面、イラストで分かりやすくメッサーシュミットBf109G/Kの全てを紹介。

## 海軍局地戦闘機 紫電／紫電改

No.304　¥2,060(税込)〒75

大戦中期、日本海軍は水上戦闘機としては、世界最高の性能を誇った強風を登場させた。そしてこの強風は局地戦闘機紫電、さらに改良され紫電改に発達、海軍戦闘機の最後を飾った。
　本書では、写真、イラスト、図面などを多用して局地戦闘機紫電、紫電改の細部に至るまで、その魅力を忠実に解説する。

## ドイツ軍用機の塗装とマーキング 昼間戦闘機編

No.308　¥2,060(税込)〒75

多種多様の塗装パターンを持つドイツ空軍機は、マニアに限らず飛行機ファンにとっては魅力ある存在だ。本書では戦前の複葉機から末期のロケット迎撃機までの昼間戦闘機の、鮮明な写真とカラーイラスト、図面を豊富に使い塗装とマーキングを解説。原色カラーチップ16色付。

## フォッケウルフ Fw190A/F/G

No.316 ¥2,060(税込)〒85

Bf109の補助機として開発を命じられたFw190は、Bf109を凌ぐ高性能のために、補助機などではなく、新鋭主力戦闘機として採用され、大戦の最後まで第１線制空戦闘機としての命脈を保った。本書は、Fw190A/F/Gの各型変遷史、機体構造、基本塗、雑記録などを明快な写真やイラストを用いて解説する。原色カラーチップ８色付。

## フォッケウルフ Fw190D/Ta152

No.336　¥2,060(税込)〒81

レシプロ戦闘機の頂点と言われたTa152&Fw190D…それは、ドイツ機ファンだけでなく飛行機好きなら誰でもその性能を認める名戦闘機である。
　本書では、この両機を多数の写真、折込図面、カラーイラストなどで各型の変遷史を紹介し、模型製作には十分過ぎる内容と的確な解説で、ドイツ空軍最後のレシプロ戦闘機の魅力を追求！

## 第２次大戦 ソビエト戦車の全貌 T-34.KV戦車シリーズ

No.338 ¥2,500(税込)〒86

怒濤の進撃を続けるドイツ軍の前にソビエト軍は成すすべもなく敗退を続けたが、ソビエトという風土と気候が味方し、また膨大な生産量で次々と戦車を生み出し、物量でドイツ軍を圧倒しはじめた。本書は第２次世界大戦中に活躍したソビエト戦車たちの素顔を、プラモデルを通して紹介している。

## 艦艇模型テクニック講座⑥ 日本海軍艦艇図面集 Vol.1戦艦/駆逐艦/小艦艇

No.340　¥1,400(税込)〒70

　太平洋戦争に参加した旧日本海軍艦艇1600隻余を1/700WL用の原寸図と戦歴、要目をコンパクトにまとめたのがこの一冊です。Vol.1では戦艦、駆逐艦、水雷艇、海防艦、海防艇、駆潜艇、駆潜特務艇、掃海艇、掃海特務艇、哨戒特務艇の各艦艇を紹介。

## A-4スカイホーク

No.346　¥2,060(税込)〒80

高速、軽量、低コスト、核兵器の搭載と万能攻撃機として長期に渡り使用されているスカイホーク。本編では、スカイホークの誕生から各バリエーションを写真、図面を使ってくわしく紹介。
　掲載内容…カラーアルバム、その設計思想、各型の変遷、核攻撃機としてのスカイホークとアドバーサリー・スカイホーク、スカイホークと電子戦、塗装とマーキング、スカイホークモデルギャラリー、A-4E M I 48折込図面、オールキットレビュー、モデリングガイド、デカールリスト他。

## 第２次大戦 ドイツジェット機

No.348　¥2,060(税込)〒86

　第２次大戦末期、絶望的な戦局の中で起死回生の必勝兵器として、ドイツ航空界が総力をあげてとりくんだジェット機。現代航空機にまで脈々と続くジェット技術の原点である。■掲載機種…メッサーシュミットMe163、ハインケルHe162、アラドAr234、ユンカースJu287、ハインケルHe280、ホルテンHo229、タンクTa183、ヘンシェHs132他。

## カーモデル テクニックガイド

No.351　¥1,500(税込)〒76

プラモデル本来の「作る楽しさ」を、模型ファンだけでなく、それ以外の人達にも広く知ってもらうため、明快にその工作技術を紹介。基本工作法、塗装法、質問箱の初心者向技術解説から、隙間の埋め方やツヤ出しの方法、各部のディティールアップ等の上級技術まで、カーモデルの製作にはもちろん、プラモデル製作全般において、なくてはならない絶好の教本。

## ドイツ軍用機の塗装とマーキング2 夜間戦闘機/爆撃機他

No.356　¥2,200(税込)〒81

夜間戦闘の激化により、急速にその勢力を拡充させたドイツ夜間航空戦闘団は、暗黒の夜空に身を隠すために様々な塗装を行なった。本編は、Vol.1の昼間戦闘機編に続き、夜間戦闘機と爆撃機の塗装とマーキングの変遷を、写真、カラーイラスト、図面、カラーチップなどを使い解説する。

## 艦艇模型テクニック講座⑦ 日本海軍艦艇図面集 Vol.2巡洋艦/敷設艦/砲艦

No.360　¥1,400(税込)〒70

vol.2では、巡洋艦、敷設艦、砲艦を中心に各艦の実艦解説、データ、経歴、モデリングガイド、1/700原寸図面などをくわしく掲載、<掲載艦>：古鷹、加古、青葉、衣笠、妙高、足柄、那智、羽黒愛宕、高雄、鳥海、摩耶、最上、三隈、鈴谷、熊野、利根、筑摩、天龍、龍田、球磨、多摩、大井北上、長良、五十鈴、名取、神通、阿武隈他

## 航空自衛隊の戦闘機

No.365　¥2,060(税込)〒80

F-86FからF-15Jまでの航空自衛隊戦闘機を実機のカラー細部写真、折込図面、塗装メモ、シリアルナンバーリストなどで解説。さらに空自戦闘機のモデリングガイドと全キットガイドを掲載する事により、空自戦闘機の模型を工作する上で絶好の資料となっている。カラーチップ９色付。

## メッサーシュミット Me262

No.367　¥2,200(税込)〒90

世界最初の実用ジェット戦闘機Me262の全貌を、ヨーロッパ各地に現存する実機取材と、当時の取扱説明書、NASMの復元機の写真を元に、メカニズム、誕生から終戦までの発達史、戦闘記録、塗装とマーキングにより徹底解説。
内容…開発と各型変遷史、Me262の機体構造、Me262のエクスペルテン、Me262を操ったエースの群像、Me262ヨーロッパ見て歩き、原色カラーチップ８色、1/48折込図面etc

## カーモデル テクニックガイド2

No.373　¥1,800(税込)〒90

本編では、実践的な工作テクニックとさらにカーモデル作りの楽しみ方を追求！話題のＦ-1キットを中心に1/12－1/43まで各スケールの作例を掲載。プラスチック以外の素材も多く使われる最新キットをどうこなすかが見所です。メタル・レジンとも、より詳しい解説を公開。

## メッサーシュミット Bf109B/E

No.375　¥2,300(税込)〒100

スペイン内乱から第２次世界大戦初期にかけての航空戦で、Bf-109B～Eは、各国戦闘機に対して常に優位を保っていた戦闘機と言える。本書は、多彩な写真資料とイラストを使い開発、各型の変遷、機体構造などを解説。加えて塗装とマーキングの図解と8色の原色カラーチャートも付き、模型製作の資料としても充実した１冊。

## オートモデリング8 フェラーリPart II

No.380　¥1,800(税込)〒100

F-1ファンを熱くさせる多くのフェラーリF-1をビッグスケールの1/12で製作してみました。また、フェラーリ40周年記念モデル、F-40を1/8～1/87まで揃えて見ました。その他、F-40&フェラーリ・イン・ザ・ムービーズ、'91F-1 1/43 ホワイトメタルキット紹介等々の内容を満載したPart II。

## 日本航空機辞典下巻 (1951～1989)

No.384　¥4,900(税込)〒無料

戦後の航空再開から現在にいたるまでの日本において使用された自衛隊、民間航空機の固定翼機、ヘリコプター、飛行船の全てを網羅した他、国産エンジンも掲載。エピソード、データなどを簡潔にまとめ一読して各機の全貌がつかめる。特に分かりにくい小型単発機のサブ・タイプごとの識別点なども詳細に解説。

## スーパーマリン スピットファイア

No.387　¥2,400(税込)〒100

　バトル・オブ・ブリテンをはじめとする数多くの航空戦においてスピットファイアはイギリス空軍戦闘機隊の主力として戦い抜き、連合軍勝利に大きく貢献した。本書は、多彩な写真資料やイラスト、明快な解説でスピットファイアの12年間に及ぶ変遷史を１冊に収録。(原色カラーチップ８色付)

## オートモデリング9 '91年F1モデルダイジェスト

No.389　¥1,800(税込)〒100

プラスチックモデルで数多く発売されている全'91年型F-1モデル・キット、大は1/12から小は1/43までを製作、改造して紹介し、ダイジェストにまとめてみました。この本１冊で、現在発売されている'91年のF-1モデル・キットのことならすべてがわかり、また、それらキット製作の際、格好の手引書となることと思います。

## ジェリーアンダースン監修 サンダーバードと国際救助隊

No.393 ¥3,500(税込)〒無料

初放映から27年を経た今日でも、依然として高い人気を集めるイギリスのＳＦ人形劇テレビシリーズ「サンダーバード」。本書は、その魅力ある人形と見事な特撮、主役とも言うべき５台のスーパーマシーンなどを多彩な写真や図版を用いて解説。

## 隼 日本陸軍一式戦闘機の塗装とマーキング

No.395 ¥2,500(税込)〒81

海軍の零戦に相当する、太平洋戦争時の陸軍主力戦闘機「隼」。生産数こそ零戦に及ばないが、戦時中すでに一般国民にも「隼」の愛称で公表され、その知名度は、全陸、海軍を通してもNo.１であった。本書は、隼の基本塗装とマーキングを多くの未発表写真や図面、イラストを用いて解説、更に原色カラーチップ８色が付き、より的確な機体色を知る事が出来る。

## ノースアメリカン P-51マスタング

No.401 ¥2,400(税込)〒86

「120日間でP-40より高性能機を作ってみせる」と言うノースアメリカン社の大見栄が後に第２次大戦最優秀戦闘機と呼ばれるP-51の劇的な誕生となった。本書は、P-51の開発から機体構造、各型諸元、シリアルリスト、基本塗装とマーキングなどを網羅したレシプロ機ファン必見の書である。原色カラーチップ８色付。

# モデルアート増刊

モデルアート社　〒102 東京都千代田区飯田橋2-8-3
☎03-3262-6450FAX.03-3262-7932 振替東京4-196313




## 第2次世界大戦の ドイツ自走砲

第2次世界大戦中どの国よりも豊富な自走砲を装備していたドイツ軍。その自走砲の一部を1/35スケールで再現してみた、久し振りの戦車増刊号。製作車輛…1号4.7cm対戦車自走砲、III号突撃歩兵砲33B、マルダーIII7.62cm対戦車自走砲、III号突撃砲F型、ナースホルン、カール、4.7cm対戦車自走砲R35(f)、10.5cm自走榴弾砲ホッチキス39H、8.8cm対空自走砲18tハーフトラック、Sd.kfz234/4

**No.404 ¥2,400(税込)〒86**




## メッサーシュミット Bf109F

Bf109F開発の骨子は新型エンジン搭載と、機体の空力設計を刷新することにあった。これによりE型までの武骨なイメージは一掃され、G型、K型へと続くスタイルを確立させた。本書はF型の開発と各型変遷、機体構造＆ディティール、塗装とマーキング、エクスペルテン(エース達の群像)を紹介。1/48精密折込図面Bf109F-4、カラー塗装図(口絵)、原色カラーチップ8色付属。

**No.408 ¥2,300(税込)〒81**




## 日本海軍機の 塗装とマーキング 爆撃機編

本書では、日本海軍機の爆撃機、攻撃機を中心に塗装とマーキングを紹介。量産された機体だけでなく、大戦末期に開発された四発重爆、ジェット機、特攻機までを網羅し、更に16色もの原色カラーチップと16頁に及ぶカラーピンナップを掲載。海軍機塗装資料の決定版である。

**No.406 ¥2,300(税込)〒86**



## オートモデリング11 ウイリアムズFW14B &RX-7 ハイグレード・モデリング

Vol.11では1/12ウイリアムズFW14B、アンフィニRX-7といった自分じゃ作らないけど"見てみたい"ビッグスケールモデルたちを特集。目で見て楽しめる1冊となっています。

**No.410 ¥1,900(税込)〒100**

## 月刊モデルアートバックナンバー

**'92年6月号No.390特集：フェラーリ、ニューキット…………………¥800(税込)〒70**
■643 細部写真、フェラーリ643 ロッソ1/24・モデラーズ1/24、フェラーリキット91～92
■連載…モデルアート・エアロデーター⑥人形のページ、43MODEL CAR GALLERY43F-1メタルモデル入門構座ウルトラコラム、WL連合艦隊編成講座モデリングJASDF
■ニューキット…F-101Bブードゥーレベル72、Me309Vフーマ、USバズーカガンナーVP120㎜、ポーラベアー
■特別記事…タミヤ人形改造コンテスト厚木基地オープンハウス、S²F²ワールド無限プレリード

**'92年9月号No.394特集：ヨーロッパ戦線のP-47サンダーボルト…¥800(税込)〒76**
レベル1/32、アリイ1/48、モノグラム1/48、テスター1/48、ハセガワ1/72、塗装とマーキング、データファイルほか。
■新製品…タミヤ1/20ジョーダン191、ハセガワ1/24ウイリアムズFW14B、タミヤ/イタレリMi-24ハインド、MPM1/72晴嵐ほか。

**'92年11月号No.398特集：モデルバラエティー3……………………¥800(税込)〒76**
■スカイ1・撮影用オリジナルミニチュアロータス101 ウエブ1/24、フォッカーDr I ハセガワ/ドラゴン1/48、ホルテン229 A-1 ハセガワ/ドラゴン1/48、スカイダイバーフルスクラッチ
■連載…1/43ギャラリー、ウルトラコラム、1/43F-1基礎講座、WL連合艦隊編成講座、モデリングJASDF
■ニューキット…ボーイング767-300ERフェラーリ512TR、レビンGTアペックス、その他

**'93年2月号No.402特集：エアモデルテクニック7…………………¥800(税込)〒76**
木を使って改造する、レジンモデルの作り方、キャノピーを自作する、海外の模型/航空雑誌ガイド
■特別記事…ボーイング727、ベンチュリー・ラルースLC92
■連載…MODEL CAR GALLERY、ウルトラコラム、1/43F1メタルモデル基礎講座、WL連合艦隊編成講座
■ニューキット…KC-135ストラトタンカー、SH-3Hシーキング、キ-87、トーネードIDS

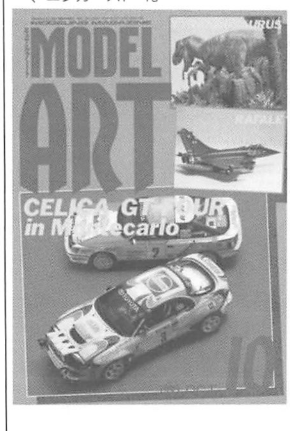
**'93年3月号No.403特集：ベネトンフォーミュラー ワン……………¥800(税込)〒76**
B191B/B192 フォトファイル、B191Bウエーブ1/24、B192 ウエーブ1/24、B192 1/43、B191B/192の変化、
■特別記事…ウエストランド・ウエセックスHU.2、"SAYONARA"
■連載…ウルトラコラム、43メタルモデル講座、WL連合艦隊編成講座、モデリングJASDF
■ニューキット…ロッキードベガ、ドルニエDoJII、ミラージュ2000、2Su-23-4M シルカ
■情報…人形改造コンテスト、所沢航空発祥記念館オープン他。

**'93年5月号No.407特集：第2次大戦のジェット戦闘機…………………¥800(税込)〒76**
グロスター・ミーティアMk.III、デ・ハビランド・バンパイアF.3、ベルP-59エアラコメット、ロッキードXP-80シューティングスター、カプロニ・カンピーニ、メッサーシュミットMe262、ハインケルHe178、He280、スホーイSu-5、ベレズニヤク・イサエクBI-1
■特別記事…現地レポートバキュームホームキットの謎と実態
■連載…ウルトラコラム、43F-1モデル基礎講座、WL連合艦隊編成講座、JASDF 他

**'93年7月号No.411特集：F-1モデルテクニック3…………………¥800(税込)〒76**
コレクションを楽しむ、レジンキットの製作テクニック、改造に挑戦する、ハンダ基礎講座、木からF-1を作る。
■特別記事…USCG、零戦ハセガワ72、第32回静岡ホビーショーレポート
■連載…ゲーム道楽、ラルトラコラム、WL連合艦隊編成講座他
■ニューキット…95式軽戦車ハセガワ・ファインモールド、MiG29ファルクラム・サニーインターナショナル48、セバスキーP-35Aツクダ48

**'93年9月号No.413特集：メッサーシュミットBf109G/K…………¥800(税込)〒76**
グスタフの細部、メッサーシュミットBf109G/K、メッサーシュミットBf109G、Bf109G/Kの塗装とマーキング、Bf109フォトファイル、Bf109G/Kデカールリスト
■特別記事…F4U-4Bコルセア
■連載…F-15Eストライクイーグルを作る!!、ゲーム道楽、活劇倶楽部通信、ウルトラコラム、四三自動車模型製作記、WL連合艦隊編成講座
■ニューキット…マウス、キングタイガー、ユンカースF-13

**'93年10月号No.415特集：モンテカルロのセリカGT-FOUR…¥800(税込)〒76**
セリカGT-FOURフォトファイル '91 WINNER ルナテック1/24、'93WINNER タミヤ1/24、
■特別記事…ホルヒ&ストーバー、ダースベイダー
■連載…F-15Eストライクイーグルを作る!!、ゲーム道楽、活劇倶楽部通信、ウルトラコラム、四三自動車模型製作記、WL連合艦隊編成講座
■ニューキット…マウス、キングタイガー、ユンカースF-13




注上記掲載しているバックナンバー以外は全て絶版となっております。ご注文の際はよく確かめてお申し込み下さい。

## ご購入方法

●バックナンバーご希望の方は、全国の書店又は全国の有名模型店でお求め下さい。店頭にない場合は、書店もしくは模型店にてご注文頂ければ約2週間ほどで入手できます。また、通信販売も行っております。以下の要領にてご利用下さい。
●送料は2冊以上一律100円です。ただし定価合計が3000円以上になりますと送料は当社サービスといたします。
●注文方法は〈現金書留〉〈郵便定額小為替〉〈郵便振替〉の3通りございますが、郵便料金が高くなっていますので、後の2方法をお勧めいたします。(※切手でのご注文をご希望の方は、なるべく小額切手でお願いいたします。)

**■郵便振替口座　東京4-196313■**

**●月刊モデルアート定期販売のご案内**
**①6ヶ月予約―4,800円(送料、税込み)**
**②12ヶ月予約―9,600円(送料、税込み)**
早くて、確実にお手許に届く定期購読をお勧めいたします。期間は半年と一年、ただし途中で発刊される増刊号は含みません。また、定期購読中に価格の変更があっても差額の追加料金は頂きません。ご希望の方は、何年何月号からかを明記して、当社直販部までご送金下さい。

MAGAZINE FOR MODELING
MODEL ART

MODELING MAGAZINE
MODEL ART

## モデルアート12月号予告

特　集：ネオスーパーカー
タミヤ1/24ジャガーＸＪ220、ハセガワ／モノグラム1/24
プジョーＥＢ110、ドイツレベル1/24ナスカＭ12ほか。
新製品：ハセガワ1/72モラン・ソルニエＭＳ406、メカドール1/72Ki-83、ハセガワ／モノグラム1/48A-26インベーダーほか。
連　載：ウルトラコラム、WL連合艦隊編成講座ほか。



ちょっと変則的な特集だったけど、WWIIアメリカ陸軍の試作戦闘は楽しんで頂けただろうか？しかし考えてみれば、P-38やP-39なんていうのも、充分に見なれて何とも思わないが、かなりヘンな機体だよね。ミッドシップの戦闘機や双胴双発の戦闘機なんて他にないもの。もし少数の試作だけに終っていたら、今回特集した試作機みたいにかなり奇異に感じられたんじゃないだろうか？逆に言えば特集の試作機だって、成功して量産されていればごく当り前に見られていたに違いない。XP-56なんてノーズアートの描きでがありそうだから、派手なマーキングで結構人気が出たりして。ところでP-75って景雲よりおっとせいに似てない？
で、AT互換機だ。うーん、来ましたがな。しかし、付いてるハズの日本語マニュアルは入ってないし、コードはつながらないし、340あるべきハードディスクは325しかないし（問い合わせたら、それで大丈夫、入れればちゃんと340入りますだって。ホントなの〜）、マニュアルに描かれてないバックパネルがあるし（しょうがないからマイナスドライバー突っ込んでコジ開けた）、音が変な時があるし（サウンドカードのサポートに問い合わせたら、ソフトによってはそういう事もありますの一言で終ってしまったぞ）等々コマった事がゾロゾロ状態。でもXウイングやスピットは一応飛んでるし、昨日はピンボール（言ってみればこれもシミュレーションだ。ゲーセンの）もインストール。そうそうルーカス・アーツでもスターウォーズやインディのピンボールの移植ものを出してくれればいいのにね。Ⓜ



熱き男・天龍源一郎。天龍率いるWARが、新日本プロレスとの全面対決に突入してから早数ケ月。いくらガッツが売り物のさしもの天龍も、長州、橋本、馳、蝶野、藤波と連日ハードな戦いを繰り広げているため、最近疲れが目立ってきているようだ。連日、新日本の主力選手が天龍の首を狙ってくるだけに、天龍一人でもっているWARとしては、どうしても天龍が全面に立たざるをえない。人間の緊張感なんて何ケ月も続くものではないし、負けん気と向う意気が信条の天龍としても、ここらでひと息つきたいだろうが、それもままならないようだ。細く長くか、太く短くか。やっぱり天龍は後者だろうし、だから天龍を応援しちゃうのだ。Ⓨ



またまたクビンカ・ツアーに行って来ました。今回はなんとクビンカの館長が代わり、見学のみとなったのでした。でもこれが正式な見学のあり方で、個人使用にせよ一切撮影は禁止（時々雑誌に載っているのは？）。これまで我々のツアーに撮影が許されたのはツアー企画者による長年の旧館長とのやりとりがあったからでした。その館長が突然８月ごろ解任されてはどうすることもできません。モニノもそうですがこれらは軍事基地内の教育用の博物館ですから、民間人しかも外国人のためには考慮されていないのが実状。モスクワは残念だったけどペテルブルクで海軍航空隊用の腕時計を入手でき今回の収獲はまあまあでしたね。Ⓚ



ロードスターの調子がイマイチ良くない。この夏の無理がたたってか、エンジンは息ついて吹け上がりは悪いし、ギアの入りも良くない。ギアの方はクラッチ関係のオーバーホールと部品交換で直りそうだが、エンジンの方はちょっと簡単には直りそうもない。どうやらこの夏の炎天下での東北道170km/h巡航時水温急上昇事件に原因がありそうだ。ただオーバーヒートでヘッドガスケットが逝ってしまったという最悪の状態ではなく、何か全体のバランスが狂ってしまっている様だ。修理に出すとお金がかかるし、かと言ってそのままいつまでも乗っているのも心配だし、やっぱり修理に出そっと。ついでにちょっといじるかな。㋖



さて我らがファイターズであるが、健闘虚しく…といった感じで２位止まり。やっぱり王者の壁は厚く、高かった。しかし何と言っても今シーズンを盛り上げてくれたのはリックことリチャード・スペンサー・シュー。広瀬、白井も頑張ったけど、やっぱりリック♥に尽きるのコトよ。で、モデラーズから出てるセラミック人形ってあるじゃない。そうそうワールドチャンピオンドライバーの奴。あれでリック人形とかって凄く欲しくない？俺だったらＴＶの上とトイレに飾っちゃうケドね。あと横浜べの代打横谷（バッティングフォームが世界イチかっちょいい）も欲しいのう。どこか出してくれんかのう（誰が買うんだ？ソレ…）。Ⓣ

## 広告案内

モデルアート　昭和43年４月３日第３種郵便物認可　平成５年11月１日発行（通巻417集）



雑誌08733-11